工　事　設　計　書　(参考)

令 和　7　年 度

工　事　名	岡谷市川岸学園整備第2期(長寿命化大規模改修)建築主体工事
工 事 場 所	岡谷市　川岸中一丁目1番1号、2号
工 事 概 要	前期課程(既存小学校)校舎の大規模改修工事　一式
工 事 期 間	令和7年12月　　日　～　令和9年7月30日

本内訳書 ： 表紙含め 242 枚	現場説明書 ： 1 枚	設計図書 ： 277 枚

工事費内訳

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		
調査基準価格	1	式		
調査基準価格の100/110	1	式		

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
長寿命化大規模改修工事	1	式		
部分解体工事 【補助対象外】	1	式		
外構工事 【補助対象外】	1	式		
計				

長寿命化大規模改修工事　種目別内訳

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
長寿命化大規模改修工事 (校舎部分) 【補助対象】	1	式		
長寿命化大規模改修工事 (体育館部分) 【補助対象】	1	式		
トイレ整備工事 【補助対象】	1	式		
増床工事 【補助対象外】	1	式		
計				

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
直接仮設工事	1	式		
防水改修工事	1	式		
外壁改修工事	1	式		
建具改修工事	1	式		
内装改修工事	1	式		
塗装改修工事	1	式		
躯体改修工事	1	式		
環境配慮改修工事	1	式		
発生材処理	1	式		
計				

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
直接仮設工事		1	式		
計					
防水改修工事	撤　去	1	式		
防水改修工事	改　修	1	式		
計					
外壁改修工事	撤　去	1	式		
外壁改修工事	改　修	1	式		
計					
建具改修工事	撤　去	1	式		
建具改修工事	改　修 ＜木製製建具枠＞	1	式		
建具改修工事	改　修 ＜木製製建具＞	1	式		
建具改修工事	改　修 ＜学校間仕切＞	1	式		
建具改修工事	改　修 ＜ｱﾙﾐ製建具＞	1	式		
建具改修工事	改　修 ＜鋼製建具＞	1	式		
建具改修工事	改　修 ＜軽量鋼製建具＞	1	式		

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
建具改修工事	改　修 ＜樹脂製建具＞	1	式		
建具改修工事	改　修 ＜カーテンウォール＞	1	式		
建具改修工事	改　修 ＜トップライト＞	1	式		
建具改修工事	改　修 ＜シャッター＞	1	式		
建具改修工事	改　修 ＜スライディングウォール＞	1	式		
建具改修工事	改　修 ＜ガラス＞	1	式		
建具改修工事	改　修 ＜その他＞	1	式		
計					
内装改修工事	撤　去	1	式		
内装改修工事	改　修	1	式		
計					
塗装改修工事	改　修	1	式		
計					
躯体改修工事	撤　去	1	式		
躯体改修工事	改　修	1	式		

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
計					
環境配慮改修工事	撤　去	1	式		
計					
発生材処理	運　搬	1	式		
発生材処理	処分費	1	式		
計					

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　直接仮設工事

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
墨出し		1	式			別紙 00-0001
養生		1	式			別紙 00-0002
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0003
外部足場		1	式			別紙 00-0004
内部仕上足場		1	式			別紙 00-0005
災害防止		1	式			別紙 00-0006
計						

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　防水改修工事　　撤　去

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
屋上 床 ｼｰﾄ防水撤去		17.1	㎡			
屋上 立上り ｼｰﾄ防水撤去		336.	㎡			
屋上 立上り 防水押え金物撤去		1,019.	m			
笠木撤去	ｱﾙﾐ製 W=210	703.	m			
屋上 水切撤去	ｱﾙﾐ製	314.	m			
ﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ撤去	鋳鉄製 φ100 竪型	34.	か所			
ﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ撤去	鋳鉄製 φ75 竪型	4.	か所			
樋受石撤去		9.	か所			
RD新設部 ｽﾗﾌﾞ穴あけ	φ100 既存防水撤去共	3.	か所			
計						

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　防水改修工事　　改　修

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
(外部)						
屋上 床 ｼｰﾄ防水	高耐候性 塩化ﾋﾞﾆﾙ樹脂系 t=1.5 硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ t=35 断熱機械固定方法 元旦ﾋﾞｭｰﾃｨｰ:ｻｰﾅﾙｰﾌ同等品 既存面下地処理共	2,991.	㎡			
屋上 床 ｼｰﾄ防水	高耐候性 塩化ﾋﾞﾆﾙ樹脂系 t=1.5 硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ t=35 断熱機械固定方法 元旦ﾋﾞｭｰﾃｨｰ:ｻｰﾅﾙｰﾌ同等品	38.	㎡			
屋上 立上り ｼｰﾄ防水	高耐候性 塩化ﾋﾞﾆﾙ樹脂系 t=1.5 既存面下地処理共	316.	㎡			
屋上 立上り ｼｰﾄ防水	高耐候性 塩化ﾋﾞﾆﾙ樹脂系 t=1.5 硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ t=35 既存面下地処理共	113.	㎡			
屋上 立上り ｼｰﾄ防水	高耐候性 塩化ﾋﾞﾆﾙ樹脂系 t=1.5 硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ t=35 耐火野地板面	21.6	㎡			
屋上 立上り ｼｰﾄ防水	高耐候性 塩化ﾋﾞﾆﾙ樹脂系 t=1.5 新設ｺﾝｸﾘｰﾄ面	12.1	㎡			
屋上 立上り ｼｰﾄ防水	高耐候性 塩化ﾋﾞﾆﾙ樹脂系 t=1.5 耐火野地板面	8.3	㎡			
屋上 立上り 防水押え金物	ｱﾙﾐ製 5×30 ｼｰﾘﾝｸﾞ共	1,046.	m			
天端 ｳﾚﾀﾝ塗膜防水	X-2	52.7	㎡			
立上り ｳﾚﾀﾝ塗膜防水	X-2 下地調整共	7.4	㎡			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　防水改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
鼻先 ｳﾚﾀﾝ塗膜防水	X-2	14.3	㎡			
床 ｳﾚﾀﾝ塗膜防水	X-2 下地調整共	74.2	㎡			
立上り ｳﾚﾀﾝ塗膜防水	X-2 下地調整共	27.6	㎡			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2):30×25	299.	m			
笠木1	ｱﾙﾐ製 押出型材 W=200	595.	m			
笠木1	ｱﾙﾐ製 押出型材 W=200 出隅ｺｰﾅｰ L=500+500	40.	か所			
笠木1	ｱﾙﾐ製 押出型材 W=200 入隅ｺｰﾅｰ L=500+500	11.	か所			
ﾊﾞﾙｺﾆｰ 笠木2	ｱﾙﾐ製 押出型材 W=200 井上商事同等品	66.3	m			
ﾊﾞﾙｺﾆｰ 笠木2	ｱﾙﾐ製 押出型材 W=200 出隅ｺｰﾅｰ L=500+500	5.	か所			
屋上 水切	ｶﾗｰGL鋼板 t=0.4 W=70	299.	m			
水切ｺｰﾅｰ加工	出隅	24.	か所			
水切ｺｰﾅｰ加工	入隅	10.	か所			
ﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ1	改修ﾄﾞﾚｲﾝ+鋳鉄製φ75 竪型 ｼｰﾄ防水用	4.	か所			
ﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ1	改修ﾄﾞﾚｲﾝ+鋳鉄製φ100 竪型 ｼｰﾄ防水用	28.	か所			
ﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ1	改修ﾄﾞﾚｲﾝ+鋳鉄製φ100 竪型 塗膜防水用	4.	か所			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　防水改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ3	鋳鉄製φ100 横引型 ｼｰﾄ防水用	5.	か所			
ﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ2	鋳鉄製φ100 竪型 ｼｰﾄ防水用	1.	か所			
竪樋	ｱﾙﾐﾊﾞﾝﾄﾞﾚｽφ100	11.3	m			
呼樋	ｱﾙﾐﾊﾞﾝﾄﾞﾚｽφ100 L=300 ﾁｰｽﾞ ×1共	5.	か所			
屋内(露出部) 竪樋	配管用炭素鋼鋼管φ100 ｸﾞﾗｽｳｰﾙt=25 ﾗｯｷﾝｸﾞｶﾊﾞｰ:ｶﾗｰ鋼板共	4.	m			
屋根2 床 ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板	鋼板 t=1.2 元旦ﾋﾞｭｰﾃｨｰ:ｼﾞｬﾊﾞﾗﾙｰﾌ同等品	38.	㎡			
屋根2 床 ﾀｲﾄﾌﾚｰﾑ		26.2	m			
屋上 立上り 耐火野地板	t=24	8.3	㎡			
屋根2 立上り 耐火野地板	t=24	21.6	㎡			
笠木下 耐火野地板	t=24 W=200	17.2	m			
屋上 立上り 下地組	C-75×45×15×2.3@900	8.3	㎡			
天端 ﾓﾙﾀﾙ金鏝	塗膜防水下 t=20	52.7	㎡			
鼻先 ﾓﾙﾀﾙ金鏝	塗膜防水下	14.3	㎡			
樋受石	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ製(溶接金網入) 250×300×厚150	12.	か所			
(内部)						

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　防水改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｼｰﾘﾝｸﾞ	ｼﾘｺｰﾝ系(SR-1):10×10 防ｶﾋﾞ	23.7	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	ｼﾘｺｰﾝ系(SR-1):10×10 防ｶﾋﾞ	119.	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	ｼﾘｺｰﾝ系(SR-1):10×10 防ｶﾋﾞ	27.1	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2):50×10	78.1	m			
計						

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　外壁改修工事　撤　去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
軽鉄天井下地撤去		307.	㎡			
軒天 ｸﾞﾗｽｳｰﾙ撤去	t=25	187.	㎡			
EXP.J金物撤去	ｱﾙﾐ製 t=1.2	18.7	m			
EXP.J金物撤去	ｱﾙﾐ製 t=1.2 W=100	11.8	m			
EXP.J金物撤去	ｱﾙﾐ製 t=1.2 W=160	9.5	m			
EXP.J金物撤去	ｱﾙﾐ製 t=1.2 W=90	14.5	m			
打継目地ｼｰﾘﾝｸﾞ 撤去	20×20	1,065.	m			
EXP.J金物取合 ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去		80.2	m			
計						

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　外壁改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
躯体欠損部改修	ﾓﾙﾀﾙ塗替工法 150×300 t=20	50.	か所			
浮き部改修	ﾓﾙﾀﾙ塗替工法 150×300 t=20	30.	か所			
壁 ALC版	t=100	40.5	㎡			
ALC版 足元金物	通しｱﾝｸﾞﾙ L-65×65×6 ｱﾝｶｰ筋9φ @600共	13.2	m			
ALC版 頭つなぎ金物	通しｱﾝｸﾞﾙ L-65×65×6 [-150×75×6.5共	17.7	m			
ALC版 開口補強金物		44.1	m			
ALC版頭部 ﾛｯｸｳｰﾙ充填		17.7	m			
壁 押出成形ｾﾒﾝﾄ板	t=60 目地ｼｰﾘﾝｸﾞ共	72.4	㎡			
ECP 足元金物	通しｱﾝｸﾞﾙ 埋込ﾌﾟﾚｰﾄ共	18.8	m			
ECP 取付金物	通しｱﾝｸﾞﾙ+ﾋﾟｰｽｱﾝｸﾞﾙ	18.8	m			
打継目地 ｼｰﾘﾝｸﾞ	ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系(PU-2):20×20	164.	m			
打継目地 ｼｰﾘﾝｸﾞ	ﾎﾟﾘｻﾙﾌｧｲﾄﾞ系 20×20+20×20 ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ材共	901.	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	ﾎﾟﾘｻﾙﾌｧｲﾄﾞ系(PS-2):20×20 ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ材共	95.7	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	ﾎﾟﾘｻﾙﾌｧｲﾄﾞ系(PS-2):20×20/2	284.	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2):15×10	61.9	m			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　外壁改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｼｰﾘﾝｸﾞ	変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2):15×10	31.7	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2):15×10	105.	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2):15×10	1.8	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2):15×10	5.7	m			
軒天 軽量鉄骨下地組	25型 ｹｲｶﾙ板下	305.	㎡			
下り天井 軽量鉄骨下地組	25型 ｹｲｶﾙ板下 H=200	36.5	m			
軒天 廻縁	ｶﾞﾙﾊﾞｺの字見切程度	336.	m			
下り天井 見切縁		36.5	m			
A 外壁-外壁 EXP.J金物	ABC商会:EU-AE100同等品 W=220 ｸﾘｱﾗﾝｽ100 下地C-75×45×15×2.3 捨て板金共	9.5	m			
B 外壁-外壁ｺｰﾅｰ EXP.J金物	ABC商会:EU-AE100C同等品 W=235 ｸﾘｱﾗﾝｽ100 下地C-75×45×15×2.3 捨て板金共	14.5	m			
C 外壁-屋根 EXP.J金物	ABC商会:H325-APW同等品 W=325 ｸﾘｱﾗﾝｽ50	20.5	m			
C 外壁-屋根 EXP.J金物	W=325 小口加工	3.	か所			
D 屋根-屋根 EXP.J金物	ABC商会:H550-APR-ST同等品 ｸﾘｱﾗﾝｽ50	10.	m			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　外壁改修工事　　改　修

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
D 屋根-屋根 EXP.J金物	小口加工	2.	か所			
H 天井-天井 EXP.J金物	ABC商会:EU-BC100同等品 ｸﾘｱﾗﾝｽ100	3.	m			
I 外壁-外壁 EXP.J金物	ABC商会:EU-AE150同等品 ｸﾘｱﾗﾝｽ150 断熱･耐火仕様 下地C-75×45×15×2.3 捨て板金共	2.3	m			
K 外壁-屋根 EXP.J金物	ABC商会:H450-APW同等品 ｸﾘｱﾗﾝｽ150 断熱･耐火仕様	5.7	m			
L 屋根-屋根 EXP.J金物	ABC商会:H700-APR-ST同等品 ｸﾘｱﾗﾝｽ150 断熱･耐火仕様	9.	m			
L 屋根-屋根 EXP.J金物	出隅ｺｰﾅｰ加工	1.	か所			
N 天井-天井ｺｰﾅｰ EXP.J金物	ABC商会:EU-BC150C同等品 ｸﾘｱﾗﾝｽ150	14.5	m			
ｱﾙﾐ庇	ｱﾙﾌｨﾝAF795同等品 W2100×D600	1.	か所			
床 ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭ	φ6 @100 ﾓﾙﾀﾙ内	135.	㎡			
ECP下端 水切	ｱﾙﾐ製	5.7	m			
屋外通路 床 ｺﾝｸﾘｰﾄ表面強化材	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 ｹｲ酸ﾅﾄﾘｳﾑ系 ABC商会 ｾﾗﾐｷｭｱ同等品	74.7	㎡			
床 ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝	塗床下	74.7	㎡			
床 ﾓﾙﾀﾙ木鏝	ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ下 t=125	135.	㎡			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　外壁改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ALC下 均しﾓﾙﾀﾙ	W=100	13.2	m			
ECP下 均しﾓﾙﾀﾙ	W=60	18.8	m			
壁 既存塗料高圧洗浄		3,429.	㎡			
軒天 既存塗料高圧洗浄		196.	㎡			
下り壁 既存塗料高圧洗浄		52.7	㎡			
壁 外断熱工法	ﾌｨﾆｯｼｭｺｰﾄ+ﾍﾞｰｽｺｰﾄ+ ｸﾞﾗｽﾌｧｲﾊﾞｰ製ﾒｯｼｭ+ 防蟻断熱材 t=50 接着工法 ｻﾝｸﾋﾞｯﾄ:ﾄﾞﾗｲﾋﾞｯﾄｱｳｻﾚｰｼｮﾝ同等品 既存面下地処理共	213.	㎡			
壁 外断熱工法	ﾌｨﾆｯｼｭｺｰﾄ+ﾍﾞｰｽｺｰﾄ+ ｸﾞﾗｽﾌｧｲﾊﾞｰ製ﾒｯｼｭ+ EPS断熱材 t=50 ｱﾝｶｰ併用接着工法 ｻﾝｸﾋﾞｯﾄ:ﾄﾞﾗｲﾋﾞｯﾄｱｳｻﾚｰｼｮﾝ同等品 既存面下地処理共	2,682.	㎡			
開口部ﾏｸﾞｻ 壁 外断熱工法	ﾌｨﾆｯｼｭｺｰﾄ+ﾍﾞｰｽｺｰﾄ+ ｸﾞﾗｽﾌｧｲﾊﾞｰ製ﾒｯｼｭ+ EPS断熱材 t=35 W=250 ｱﾝｶｰ併用接着工法 ｻﾝｸﾋﾞｯﾄ:ﾄﾞﾗｲﾋﾞｯﾄｱｳｻﾚｰｼｮﾝ同等品 既存面下地処理共	484.	m			
開口部抱き 壁 外断熱工法	ﾌｨﾆｯｼｭｺｰﾄ+ﾍﾞｰｽｺｰﾄ+ ｸﾞﾗｽﾌｧｲﾊﾞｰ製ﾒｯｼｭ+ EPS断熱材 t=35 W=250 ｱﾝｶｰ併用接着工法 ｻﾝｸﾋﾞｯﾄ:ﾄﾞﾗｲﾋﾞｯﾄｱｳｻﾚｰｼｮﾝ同等品 既存面下地処理共	297.	m			
壁 出隅ｺｰﾅｰ		273.	m			
開口部 壁 出隅ｺｰﾅｰ		781.	m			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　外壁改修工事　　改　修

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
壁 入隅ｺｰﾅｰ		158.	m			
開口部 壁 ｺｰﾅｰ補強	ﾊﾞﾀﾌﾗｲﾒｯｼｭ 240×300 ｺｰﾅｰ部重ね貼共	294.	か所			
梁 水性反応硬化形仕上塗材	既存RC面下地調整共 ｴｽｹｰ化研:ﾉｷﾌﾚｯｼｭ同等品	34.9	㎡			
軒天 水性反応硬化形仕上塗材	既存RC面下地調整共 ｴｽｹｰ化研:ﾉｷﾌﾚｯｼｭ同等品	196.	㎡			
下り壁 水性反応硬化形仕上塗材	既存RC面下地調整共 ｴｽｹｰ化研:ﾉｷﾌﾚｯｼｭ同等品	52.7	㎡			
壁 外装薄塗材E	ECP面 全面下地調整共	72.4	㎡			
壁 外装薄塗材E	既存面下地処理共	378.	㎡			
手摺壁 外装薄塗材E	既存面下地処理共	55.2	㎡			
軒天 珪酸ｶﾙｼｳﾑ板	t=8.0 LGS面 目透かし	305.	㎡			
下り天井 珪酸ｶﾙｼｳﾑ板	t=8.0 LGS面 目透かし	7.3	㎡			
壁 断熱材吹付け	硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ[A種1H]厚35	27.4	㎡			
柱 耐火ｼｰﾄ	1時間耐火 準屋外	17.3	㎡			
計						

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　建具改修工事　撤　去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
A-1 ｱﾙﾐ製建具撤去	W7080×H3185 枠共	2.	か所			
A-2 ｱﾙﾐ製建具撤去	W7080×H3185 枠共	1.	か所			
A-2' ｱﾙﾐ製建具撤去	W5280×H3185 枠共	1.	か所			
A-3 ｱﾙﾐ製建具撤去	W6375×H3185 枠共	1.	か所			
A-4 ｱﾙﾐ製建具撤去	L8250×H3185 枠共	2.	か所			
A-5 ｱﾙﾐ製建具撤去	L11645×H3185 枠共	1.	か所			
A-6 ｱﾙﾐ製建具撤去	W7380×H2085~3185 枠共	1.	か所			
A-7 ｱﾙﾐ製建具撤去	W7380×H2085 枠共	8.	か所			
A-8 ｱﾙﾐ製建具撤去	W7380×H2085~2985 枠共	1.	か所			
A-15 ｱﾙﾐ製建具撤去	W3530×H2085 枠共	2.	か所			
A-16' ｱﾙﾐ製建具撤去	W3145×H2085 枠共	1.	か所			
A-17 ｱﾙﾐ製建具撤去	W2880×H2085 枠共	1.	か所			
A-23 鋼製建具撤去	W2600×H2685 枠共	1.	か所			
A-30' ｱﾙﾐ製建具撤去	L4985×H1785 枠共	1.	か所			
A-37 ｱﾙﾐ製建具撤去	W2880×H2685 枠共	1.	か所			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　建具改修工事　撤　去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
A-37' ｱﾙﾐ製建具撤去	W3595×H2685 枠共	1.	か所			
A-39 ｱﾙﾐ製建具撤去	W1015×H1785 枠共	1.	か所			
S-1 鋼製建具撤去	W2650×H2700 枠共	4.	か所			
S-2 鋼製建具撤去	W1975×H2700 枠共	6.	か所			
S-3 鋼製建具撤去	W2910×H2700 枠共	2.	か所			
S-4 鋼製建具撤去	W1500×H2125 枠共	8.	か所			
S-5 鋼製建具撤去	W1250×H2125 枠共	2.	か所			
S-7 鋼製建具撤去	W800×H2100 枠共	2.	か所			
S-8 鋼製建具撤去	W800×H1800 枠共	5.	か所			
S-9 鋼製建具撤去	W600×H1800 枠共	6.	か所			
S-12 鋼製建具撤去	W3175×H2700 枠共	1.	か所			
S-13 鋼製建具撤去	W1975×H2700 枠共	2.	か所			
S-14 鋼製建具撤去	W1800×H900 枠共	1.	か所			
SS-1 鋼製ｼｬｯﾀｰ撤去	W7320×H2100 枠､ｼｬｯﾀｰﾎﾞｯｸｽ共	1.	か所			
W-1 木製建具撤去	W7260×H550~2600 枠共	20.	か所			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　建具改修工事　撤　去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
W-2 木製建具撤去	W7360×H550~2600 枠共	2.	か所			
W-3 木製建具撤去	W7360×H550~2600 枠共	1.	か所			
W-4 木製建具撤去	W7360×H550~2600 枠共	9.	か所			
W-5 木製建具撤去	W7360×H550 枠共	2.	か所			
W-6 木製建具撤去	W3580×H550~2600 枠共	1.	か所			
W-7 木製建具撤去	W1660×H2600 枠共	1.	か所			
W-8 木製建具撤去	W1160×H2600 枠共	7.	か所			
W-9 木製建具撤去	W810×H2050 枠共	18.	か所			
W-11 木製建具撤去	W550×H1800 枠共	26.	か所			
W-14 木製建具撤去	W1750×H1785 枠共	1.	か所			
W-19 木製建具撤去	W750×H1800 枠共	3.	か所			
W-20 木製建具撤去	W1200×H2050 枠共	1.	か所			
W-21 木製建具撤去	W7230×H2100 枠共	1.	か所			
W-26 木製建具撤去	W900×H1250 枠共	1.	か所			
ｶﾞﾗｽ撤去		895.	㎡			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　建具改修工事　撤　去

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
建具廻り ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	15×10	194.	m			
ｶｯﾀｰ切		643.	m			
計						

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　建具改修工事　　改　修＜木製製建具枠＞

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
＜木製建具枠＞	特記無き限り下記とする ﾀﾓ集成材 枠見込:105					
WD-A106 木製建具枠	片開 W850×H2100	1.	か所			
WD-A107 木製建具枠	片開 W800×H2100	1.	か所			
WD-A108 木製建具枠	片開 W800×H2100	2.	か所			
WD-A109 木製建具枠	片開+片引 W1650×H2100 方立･戸袋枠共	2.	か所			
WD-A110 木製建具枠	片開 W800×H2100	2.	か所			
WD-A111 木製建具枠	片開 W730×H2100	1.	か所			
WD-A112 木製建具枠	片引 W800×H2100 戸袋枠共	2.	か所			
WD-A113 木製建具枠	片開 W800×H1800	2.	か所			
WD-B102 木製建具枠	片引 W900×H2100 戸袋枠･沓摺共	2.	か所			
WD-B103 木製建具枠	両開 W1600×H2100 沓摺共	1.	か所			
WD-B104 木製建具枠	両開 W1600×H2100 沓摺共	2.	か所			
WD-B108 木製建具枠	片開 W800×H2100	1.	か所			
WD-B109 木製建具枠	片開 W800×H2100	2.	か所			
WD-B113 木製建具枠	片引 W900×H2100 戸袋枠共	1.	か所			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　建具改修工事　改　修＜木製製建具枠＞

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
WD-C108 木製建具枠	両開 W1650×H2100	1.	か所			
WD-C109 木製建具枠	片引 W800×H2100 戸袋枠共	2.	か所			
WD-C110 木製建具枠	片引 W850×H2100 戸袋枠共	1.	か所			
WD-C111 木製建具枠	片引 W850×H2100 戸袋枠共	1.	か所			
WD-C113 木製建具枠	片開 W800×H1800	2.	か所			
WD-C114 木製建具枠	片開 W1350×H2700 枠見込:110	1.	か所			
WD-C205 木製建具枠	片開 W800×H2100 沓摺共	1.	か所			
WW-A101 木製建具枠	引違 W1700×H1200	1.	か所			
WW-A201 木製建具枠	嵌殺 W1015×H2590	2.	か所			
WW-A301 木製建具枠	嵌殺 W1015×H2590	2.	か所			
WW-B201 木製建具枠	2段2連引違 W3100×H1775	1.	か所			
WW-C201 木製建具枠	嵌殺 W1015×H2590	2.	か所			
WW-C301 木製建具枠	嵌殺 W1015×H2590	2.	か所			
計						

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　建具改修工事　改　修＜木製製建具＞

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
＜木建特記＞	特記無き限り下記とする 扉・障子:ｽﾌﾟﾙｰｽ ﾊﾟﾈﾙ:杉無垢材(上小節) 扉見込:38 枠は別計上 ｽﾃﾝﾚｽ沓摺は建具金物に含む					
WD-A106 額入片開戸	W850×H2100 ﾒﾗﾐﾝ化粧板	1.	か所			
WD-A107 額入ｶﾞﾗﾘ付片開戸	W800×H2100 ﾒﾗﾐﾝ化粧板	1.	か所			
WD-A108 額入ｶﾞﾗﾘ付片開戸	W800×H2100 ﾒﾗﾐﾝ化粧板	2.	か所			
WD-A109 額入ｶﾞﾗﾘ付片引戸	W1010×H2100 ﾒﾗﾐﾝ化粧板	2.	か所			
WD-A109 片開戸	W640×H2100 ﾒﾗﾐﾝ化粧板	2.	か所			
WD-A110 額入ｶﾞﾗﾘ付片開戸	W800×H2100 ﾒﾗﾐﾝ化粧板	2.	か所			
WD-A111 額入片開戸	W730×H2100 ﾒﾗﾐﾝ化粧板	1.	か所			
WD-A112 額入片引ﾊﾝｶﾞｰ戸	W800×H2100 SAT ﾒﾗﾐﾝ化粧板	2.	か所			
WD-A113 片開ｶﾞﾗﾘ戸	W800×H1800	2.	か所			
WD-A203 片開戸	W530×H1955 ﾒﾗﾐﾝ化粧板	6.	か所			
WD-A303 片開戸	W550×H1955 ﾒﾗﾐﾝ化粧板	6.	か所			
WD-B102 額入片引戸	W900×H2100	2.	か所			
WD-B103 額入両開戸	W1600×H2100	1.	か所			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　建具改修工事　改　修＜木製製建具＞

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
WD-B104 額入両開戸	W1600×H2100	2.	か所			
WD-B108 額入片開戸	W800×H2100 ﾒﾗﾐﾝ化粧板	1.	か所			
WD-B109 額入片開戸	W800×H2100 ﾒﾗﾐﾝ化粧板	2.	か所			
WD-B113 額入ｶﾞﾗﾘ付 片引ﾊﾝｶﾞｰ戸	W900×H2100 ﾒﾗﾐﾝ化粧板	1.	か所			
WD-C108 両開戸	W1650×H2100 ﾒﾗﾐﾝ化粧板	1.	か所			
WD-C109 額入ｶﾞﾗﾘ付 片引ﾊﾝｶﾞｰ戸	W800×H2100 ﾒﾗﾐﾝ化粧板	2.	か所			
WD-C110 額入ｶﾞﾗﾘ付 片引ﾊﾝｶﾞｰ戸	W850×H2100 ﾒﾗﾐﾝ化粧板	1.	か所			
WD-C111 額入ｶﾞﾗﾘ付 片引ﾊﾝｶﾞｰ戸	W850×H2100 ﾒﾗﾐﾝ化粧板	1.	か所			
WD-C113 片開ｶﾞﾗﾘ戸	W800×H1800	2.	か所			
WD-C114 片開戸	W1350×H2700 ﾒﾗﾐﾝ化粧板	1.	か所			
WD-C203 片開戸	W530×H1955 ﾒﾗﾐﾝ化粧板	6.	か所			
WD-C205 額入片開戸	W800×H2100	1.	か所			
WD-C303 片開戸	W550×H1955 ﾒﾗﾐﾝ化粧板	6.	か所			
WW-A101 引違窓	W1700×H1200	1.	か所			
WW-B201 2段2連引違窓	W3100×H1775 扉見込:33	1.	か所			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　建具改修工事　　改　修＜木製製建具＞

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
計						

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　建具改修工事　　改　修＜学校間仕切＞

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
＜学校用間仕切＞	特記無き限り下記とする 枠見込:90 扉見込:30 木目塗装共					
WD-A102 木製学校間仕切	W2000×H2675	2.	か所			
WD-A103 木製学校間仕切	W3765×H2675	1.	か所			
WD-A104 木製学校間仕切	W7295×H2675	1.	か所			
WD-A105 木製学校間仕切	W3765×H2675	1.	か所			
WD-A201 木製学校間仕切	W6625×H2675	4.	か所			
WD-A202 木製学校間仕切	W6625×H2675	1.	か所			
WD-A301 木製学校間仕切	W6625×H2675	4.	か所			
WD-A302 木製学校間仕切	W5950×H2675 枠見込:150 引分ﾌﾗｯｼｭ部分は ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞとする	1.	か所			
WD-B101 木製学校間仕切	W7200×H495~2675 扉見込:38	3.	か所			
WD-B105 木製学校間仕切	W7085×H495~2675	2.	か所			
WD-B106 木製学校間仕切	W2000×H2675	1.	か所			
WD-B107 木製学校間仕切	W3545×H495~2675	1.	か所			
WD-B201 木製学校間仕切	W9480×H2675	1.	か所			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　建具改修工事　　改　修＜学校間仕切＞

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
WD-B202 木製学校間仕切	W7315×H2675	1.	か所			
WD-C103 木製学校間仕切	W6625×H2675	1.	か所			
WD-C104 木製学校間仕切	W6990×H2675	1.	か所			
WD-C106 木製学校間仕切	W2000×H2675	1.	か所			
WD-C107 木製学校間仕切	W4875×H2675	1.	か所			
WD-C112 木製学校間仕切	W2535×H2100 扉見込:38	1.	か所			
WD-C201 木製学校間仕切	W6625×H2675	4.	か所			
WD-C202 木製学校間仕切	W5950×H2675 枠見込:150 引分ﾌﾗｯｼｭ部分は ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞとする	1.	か所			
WD-C204 木製学校間仕切	W2920×H2100	1.	か所			
WD-C301 木製学校間仕切	W6625×H2675	4.	か所			
WD-C302 木製学校間仕切	W5950×H2675 枠見込:150 引分ﾌﾗｯｼｭ部分は ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞとする	1.	か所			
計						

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　建具改修工事　　改　修＜ｱﾙﾐ製建具＞

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
＜ｱﾙﾐ特記＞	特記無き限り下記とする ﾋﾞﾙ用ｻｯｼ 電解着色処理 耐風圧性:S-5､気密性:A-4 水密性:W-5 枠見込:70､網戸:ｸﾘｱﾈｯﾄ#24 ﾊﾟﾈﾙ:ｱﾙﾐ断熱ﾊﾟﾈﾙ ｽﾁｰﾙ額縁､ｽﾁｰﾙ製ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ ｽﾁｰﾙ製方立含む					
AD-B101 ﾊﾟﾈﾙ嵌殺付両開戸	W1600×H3000 一部ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ張	1.	か所			
AD-C101 嵌殺付引分戸	W7000×H2795	2.	か所			
AD-C102 嵌殺付片引戸	W2200×H2795	1.	か所			
AD-C103 嵌殺外倒付片引戸	W6990×H2675~2895 ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ装置共	1.	か所			
AW-A101 ﾊﾟﾈﾙ嵌殺引違付 両開窓	W7280×H2830~2950 網戸付	1.	か所			
AW-A102 ﾊﾟﾈﾙ付引違窓	W7280×H1930~2830 一部ｶﾊﾞｰ工法 網戸付	1.	か所			
AW-A102Z ﾊﾟﾈﾙ付引違窓	W7280×H1930~2830 一部ｶﾊﾞｰ工法 一部防火設備 網戸付	1.	か所			
AW-A103 ﾊﾟﾈﾙ付引違窓	W7280×H1930 ｶﾊﾞｰ工法 網戸付	1.	か所			
AW-A104 嵌殺付引違窓	W1845×H2530 ｶﾊﾞｰ工法 網戸付	1.	か所			
AW-A106 縦ﾆ出窓	W900×H1630 ﾌﾟﾘｰﾂ網戸付	1.	か所			
AW-A107 2連引違窓	W2780×H1630 防火設備 ｶﾊﾞｰ工法	1.	か所			
AW-A108 嵌殺付引違窓	W3265×H1030 ｶﾊﾞｰ工法 網戸付	1.	か所			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　建具改修工事　　改　修＜ｱﾙﾐ製建具＞

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
AW-A109 ﾊﾟﾈﾙ付引違窓	W4730×H1030 ｶﾊﾞｰ工法 網戸付	1.	か所			
AW-A202 嵌殺付引違窓	W1845×H2270 ｶﾊﾞｰ工法	1.	か所			
AW-A206 嵌殺付片引窓	L5355×H1630 ｶﾊﾞｰ工法 一部防火設備	1.	か所			
AW-A301 ﾊﾟﾈﾙ付引違窓	W40330×H1930 ｶﾊﾞｰ工法	1.	か所			
AW-A302 嵌殺付引違窓	W1845×H2270 ｶﾊﾞｰ工法	1.	か所			
AW-A306 引違窓	W1845×H1630 ｶﾊﾞｰ工法	1.	か所			
AW-B101 ﾊﾟﾈﾙ付引違窓	W7280×H1930 ｶﾊﾞｰ工法 一部ﾊﾟﾈﾙ張 網戸付	2.	か所			
AW-B101' FIX付引違窓	W7280×H1930 防火設備 ｶﾊﾞｰ工法 網戸付	1.	か所			
AW-B102 ﾊﾟﾈﾙ付引違窓	W21700×H1930 一部防火設備 ｶﾊﾞｰ工法 網戸付	1.	か所			
AW-B103 ﾊﾟﾈﾙ付引違窓	W7280×H1930~2830 ｶﾊﾞｰ工法 網戸付	1.	か所			
AW-B104 ﾊﾟﾈﾙ付引違窓	W7280×H1930 ｶﾊﾞｰ工法 網戸付	1.	か所			
AW-B105 ﾊﾟﾈﾙ付引違窓	W7280×H1930~2830 一部ｶﾊﾞｰ工法 網戸付	1.	か所			
AW-B108 引違窓	W1580×H1930 ｶﾊﾞｰ工法 網戸付	1.	か所			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　建具改修工事　　改　修＜ｱﾙﾐ製建具＞

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
AW-B110 3連引違窓	W5300×H1630 ｶﾊﾞｰ工法	2.	か所			
AW-B111 引違窓	W1480×H1630 ｶﾊﾞｰ工法	2.	か所			
AW-B201 ﾊﾟﾈﾙ付引違窓	W7280×H1930 ｶﾊﾞｰ工法	2.	か所			
AW-B201' FIX付引違窓	W7280×H1930 防火設備 ｶﾊﾞｰ工法	1.	か所			
AW-B202 引違窓	W3045×H1930 ｶﾊﾞｰ工法	1.	か所			
AW-B203 引違窓	W1900×H1630	1.	か所			
AW-C101 ﾊﾟﾈﾙ付引違窓	W7280×H1930~2830 ｶﾊﾞｰ工法 網戸付	1.	か所			
AW-C102 ﾊﾟﾈﾙ付引違窓	W7280×H1930 ｶﾊﾞｰ工法 網戸付	1.	か所			
AW-C103 ﾊﾟﾈﾙ付引違窓	W7280×H1930~2830 ｶﾊﾞｰ工法 網戸付	1.	か所			
AW-C104 ﾊﾟﾈﾙ嵌殺付引違窓	W7280×H1930~2830 ｶﾊﾞｰ工法 網戸付	1.	か所			
AW-C105 ﾊﾟﾈﾙ付引違窓	W7280×H1930~2830 ｶﾊﾞｰ工法 網戸付	1.	か所			
AW-C106 嵌殺付引違窓	W1845×H2530 ｶﾊﾞｰ工法 網戸付	1.	か所			
AW-C107 嵌殺付引違窓	W7280×H1630~2530 一部ｶﾊﾞｰ工法 防火設備 網戸付	1.	か所			
AW-C202 ﾊﾟﾈﾙ付引違窓	W13630×H1930 ｶﾊﾞｰ工法	1.	か所			
AW-C203 ﾊﾟﾈﾙ付引違窓	W40330×H1930 ｶﾊﾞｰ工法	1.	か所			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　建具改修工事　　改　修＜ｱﾙﾐ製建具＞

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
AW-C204 嵌殺付引違窓	W1845×H2270 ｶﾊﾞｰ工法	1.	か所			
AW-C205 4連引違窓	W7280×H1630 ｶﾊﾞｰ工法 一部防火設備	1.	か所			
AW-C301 ﾊﾟﾈﾙ付引違窓	W40330×H1930 ｶﾊﾞｰ工法	1.	か所			
AW-C302 嵌殺付引違窓	W1845×H2270 ｶﾊﾞｰ工法	1.	か所			
AW-C304 4連引違窓	W7280×H1630 ｶﾊﾞｰ工法 一部防火設備	1.	か所			
AW-C305 引違窓	W1845×H1630 ｶﾊﾞｰ工法	1.	か所			
AW-R001 4連突出窓	W7330×H1400 ｶﾊﾞｰ工法 ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ装置共	1.	か所			
既存ｻｯｼ面 ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ		24.2	m2			
小計						
＜建具調整＞						
AW-A105 嵌殺付縦辷出窓	W900×H2445 建具調整	1.	か所			
AW-A201 ﾊﾟﾈﾙ付引違窓	W40330×H1930 戸車交換	1.	か所			
AW-A203 嵌殺付縦辷出窓	W900×H2445 建具調整	1.	か所			
AW-A204 4連引違窓	W7280×H1630 戸車交換	2.	か所			
AW-A205 4連引違窓	W7280×H630 戸車交換	1.	か所			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　建具改修工事　改　修＜ｱﾙﾐ製建具＞

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
AW-A303 嵌殺付縦辷出窓	W900×H2445 建具調整	1.	か所			
AW-A304 4連引違窓	W7280×H1630 戸車交換	2.	か所			
AW-A305 4連引違窓	W7280×H630 戸車交換	1.	か所			
AW-B107 嵌殺付片引窓	W2780×H630 戸車交換	1.	か所			
AW-B109 嵌殺付引違窓	L8240×H2445 戸車交換	2.	か所			
AW-C108 嵌殺付縦辷出窓	W900×H2445 建具調整	1.	か所			
AW-C201 嵌殺付引違窓	L23560×H1145 戸車交換	1.	か所			
AW-C206 嵌殺付縦辷出窓	W900×H2445 建具調整	1.	か所			
AW-C303 嵌殺付縦辷出窓	W900×H2445 建具調整	1.	か所			
小計						
計						

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　建具改修工事　　改　修＜鋼製建具＞

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
＜ｽﾁｰﾙ特記＞	特記無き限り下記とする 扉:A-BE 枠見込:100 扉見込:38 点検扉は片面ﾌﾗｯｼｭとする					
SD-A101 親子開戸	W1350×H2100 耐風圧性:S-4 SAT 枠見込:350 上部水切(ｽﾃﾝﾚｽ製t1.5)共 扉:DP(別計上)	1.	か所			
SD-A102 両開戸	W2600×H2685 耐風圧性:S-4 SAT 枠見込:350 上部水切(ｽﾃﾝﾚｽ製t1.5)共 扉:DP(別計上)	1.	か所			
SD-A103 額入片開戸	W850×H2100 遮音性:T-2 枠見込:270 扉見込:50	2.	か所			
SD-A104 片開戸	W550×H2100 枠見込:120	1.	か所			
SD-A105 親子開点検扉	W1600×H2100 枠見込:120	1.	か所			
SD-A106 片引ﾊﾝｶﾞｰ戸	W900×H2100 特定防火設備 枠見込:135	1.	か所			
SD-A107 ｶﾞﾗﾘ付親子開戸	W1200×H2100 SAT 枠見込:135 ｶﾞﾗﾘ:木製	2.	か所			
SD-A108 潜戸付片開防火戸	W1450×H2100 特定防火設備 枠見込:240	1.	か所			
SD-A109 潜戸付両開防火戸	W2400×H2675 特定防火設備 枠見込:240	1.	か所			
SD-A110 潜戸付片開防火戸	W1925×H2675 特定防火設備	1.	か所			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　建具改修工事　　改　修＜鋼製建具＞

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
SD-A111 片開戸	W570×H1740 枠見込:60	1.	か所			
SD-A201 親子開点検扉	W1600×H2100 枠見込:120	1.	か所			
SD-A202 潜戸付片開防火戸	W1450×H2100 特定防火設備 枠見込:240	1.	か所			
SD-A203 潜戸付両開防火戸	W2400×H2675 特定防火設備 枠見込:240	1.	か所			
SD-A204 潜戸付片開防火戸	W1925×H2675 特定防火設備	1.	か所			
SD-A301 親子開点検扉	W1600×H2100 枠見込:120	1.	か所			
SD-A302 潜戸付片開防火戸	W1450×H2100 特定防火設備 枠見込:240	1.	か所			
SD-A303 潜戸付片開防火戸	W1450×H2100 特定防火設備 枠見込:240	1.	か所			
SD-B101 片開戸	W800×H2100 特定防火設備 遮音性:T-2 枠見込:170	2.	か所			
SD-B102 潜戸付片開防火戸	W1925×H2675 特定防火設備	2.	か所			
SD-B103 潜戸付片開防火戸	W1925×H2675 特定防火設備	1.	か所			
SD-B201 潜戸付片開防火戸	W1925×H2675 特定防火設備	1.	か所			
SD-B202 2枚折防火戸	W2860×H2675 特定防火設備	1.	か所			
SD-C101 親子開点検扉	W1600×H2100 枠見込:120	1.	か所			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　建具改修工事　　改　修＜鋼製建具＞

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
SD-C102 潜戸付両開防火戸	W2400×H2675 特定防火設備 枠見込:240	1.	か所			
SD-C103 潜戸付片開防火戸	W1450×H2100 特定防火設備 枠見込:240	1.	か所			
SD-C104 潜戸付片開防火戸	W1925×H2675 特定防火設備 枠見込:350	1.	か所			
SD-C105 潜戸付両開防火戸	W2165×H2675 特定防火設備 枠見込:350	1.	か所			
SD-C201 親子開点検扉	W1600×H2100 枠見込:120	1.	か所			
SD-C202 潜戸付両開防火戸	W2400×H2675 特定防火設備 枠見込:240	1.	か所			
SD-C203 潜戸付片開防火戸	W1450×H2100 特定防火設備 枠見込:240	1.	か所			
SD-C204 潜戸付片開防火戸	W2860×H2675 特定防火設備	1.	か所			
SD-C205 潜戸付両開防火戸	W2165×H2675 特定防火設備	1.	か所			
SD-C301 親子開点検扉	W1600×H2100 枠見込:120	1.	か所			
SD-C302 潜戸付片開防火戸	W1450×H2100 特定防火設備 枠見込:240	1.	か所			
SD-C303 潜戸付片開防火戸	W1450×H2100 特定防火設備 枠見込:240	1.	か所			
SF-A101 鋼製開口三方枠	W900×H2100 枠見込:130	1.	か所			
SF-A201 鋼製開口三方枠	W1000×H2100 枠見込:190	2.	か所			
SF-A301 鋼製開口三方枠	W1000×H2100 枠見込:130	2.	か所			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　建具改修工事　　改　修＜鋼製建具＞

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
SF-B101 鋼製開口三方枠	W800×H2100 枠見込:190	1.	か所			
SF-C201 鋼製開口三方枠	W1000×H2100 枠見込:190	2.	か所			
SF-C301 鋼製開口三方枠	W1000×H2100 枠見込:130	2.	か所			
計						

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　建具改修工事　　改　修＜軽量鋼製建具＞

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
＜軽量ｽﾁｰﾙ特記＞	特記無き限り下記とする 亜鉛ﾒｯｷ鋼板 扉:A-BE 枠見込:135 扉見込:38					
LSD-A101 額入ｶﾞﾗﾘ付 片引ﾊﾝｶﾞｰ戸	W850×H2100	2.	か所			
LSD-B102 引分ﾊﾝｶﾞｰ戸	W2100×H2100 特定防火設備 枠見込:360	1.	か所			
LSD-B103 片引ﾊﾝｶﾞｰ戸	W800×H2100 特定防火設備 枠見込:360	1.	か所			
LSD-C101 片引ﾊﾝｶﾞｰ戸	W900×H2100 枠見込:360 扉:DP(別計上)	1.	か所			
LSD-C104 額入ｶﾞﾗﾘ付 片引ﾊﾝｶﾞｰ戸	W900×H2100	2.	か所			
LSD-C105 片開戸	W1030×H2100 特定防火設備	1.	か所			
LSD-C201 ｶﾞﾗﾘ付親子開戸	W1350×H2100	1.	か所			
計						

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　建具改修工事　　改　修＜樹脂製建具＞

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
＜樹脂特記＞	特記無き限り下記とする 枠見込:130					
SF-A102 樹脂製開口三方枠	W750×H2100	1.	か所			
計						

長寿命化大規模改修工事　細目別内訳

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　建具改修工事　　改　修＜カーテンウォール＞

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
ACW-B102 ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ改造	W2880×H6955 引違部ｶﾊﾞｰ工法にて取替え ｽﾁｰﾙ額縁共 既存建具撤去共	1.	か所			
ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙｸﾘｰﾆﾝｸﾞ		20.	㎡			
計						

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　建具改修工事　　改　修<トップライト>

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ		6.7	㎡			
計						

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　建具改修工事　　改　修＜シャッター＞

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
＜ｼｬｯﾀｰ特記＞	特記無き限り下記とする 上部電動式(手動併用) ｸﾞﾘﾙ:ｽﾃﾝﾚｽ製φ13 ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ:ｽﾃﾝﾚｽ製 まぐさ・座板:ｽﾁｰﾙ焼付塗装 障害物感知装置付					
LS-C101 ｸﾞﾘﾙｼｬｯﾀｰ	W2845×H2700 ｽﾁｰﾙ枠共	2.	か所			
SS-C101 防火ｼｬｯﾀｰ	W2845×H2700 特定防火設備 ｽﾗｯﾄ:ｽﾁｰﾙ製 A-BE ｽﾁｰﾙ枠共	1.	か所			
計						

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　建具改修工事　　改　修＜スライディングウォール＞

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
＜ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞｳｫｰﾙ 特記＞	特記無き限り下記とする ｽﾁｰﾙ製A-BE 扉見込:60					
SLW-C101 ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞｳｫｰﾙ	W24000×H2700 両開扉2か所付 ｽﾁｰﾙt1.6枠共	1.	か所			
計						

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　建具改修工事　改　修＜ガラス＞

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
SD-A103 ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ	t=10 120×1800	2.	枚			
LSD-A101他 型板ｶﾞﾗｽ	t=4 120×1050	4.	枚			
Low-E断熱複層 ｶﾞﾗｽ	Low-E4+A12+ST4 2.00m2以下	726.	㎡			
Low-E断熱複層 ｶﾞﾗｽ	Low-E4+A12+ST4 4.00m2以下	33.7	㎡			
Low-E断熱複層 ｶﾞﾗｽ	Low-E4+A12+PW6.8 2.00m2以下	98.7	㎡			
ｶﾞﾗｽ押えｼｰﾘﾝｸﾞ	(片面施工)	6,269.	m			
ｶﾞﾗｽ清掃	(両面)	860.	㎡			
AW-C104 目隠しﾌｨﾙﾑ	住友3M:NANOFGLU同等品	7.3	㎡			
＜ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ＞						
CW Low-E断熱複層 ｶﾞﾗｽ	Low-E4+A12+ST4 2.00m2以下	20.	㎡			
ｶﾞﾗｽ押えｼｰﾘﾝｸﾞ	(片面施工)	145.	m			
ｶﾞﾗｽ清掃	(両面)	20.	㎡			
＜木製建具＞						
木建(WD-A106他) 型板ｶﾞﾗｽ	t=4 120×1800	7.	枚			
木建(WD-A107他) 型板ｶﾞﾗｽ	t=4 120×1050	12.	枚			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　建具改修工事　　改　修＜ガラス＞

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
木建(WD-B102) 学校用強化ｶﾞﾗｽ	t=4 120×1800	2.	枚			
木建 学校用強化ｶﾞﾗｽ	t=4 2.00m2以下	31.3	㎡			
ｶﾞﾗｽ押えｼｰﾘﾝｸﾞ	(片面施工)	342.	m			
ｶﾞﾗｽ清掃	(両面)	34.7	㎡			
木建 ｸﾞﾗﾃﾞｰｼｮﾝﾌｨﾙﾑ	住友3M:SH2SSIM-2同等品	21.1	㎡			
＜学校用間仕切＞						
学校用間仕切 (WD-A105) 強化型板ｶﾞﾗｽ	t=4 2.18m2以下	6.7	㎡			
学校用間仕切 学校用強化ｶﾞﾗｽ	t=4 2.00m2以下	359.	㎡			
ｶﾞﾗｽ押えｼｰﾘﾝｸﾞ	(片面施工)	3,395.	m			
ｶﾞﾗｽ清掃	(両面)	366.	㎡			
計						

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　建具改修工事　　改　修＜その他＞

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
(防水)						
建具廻り 二重ｼｰﾘﾝｸﾞ	変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2):15×10+15×10	150.	m			
既存ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ 建具廻り 二重ｼｰﾘﾝｸﾞ	変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2):15×10+15×10	19.7	m			
(左官)						
建具廻り 防水ﾓﾙﾀﾙ詰		150.	m			
建具廻り ﾓﾙﾀﾙ詰		48.3	m			
(塗装)						
(外部)						
DP塗	鋼製建具面 1級 錆止め塗料 素地ごしらえ共	31.3	㎡			
(内部)						
SOP塗	ｼｬｯﾀｰ面 錆止め塗料 素地ごしらえ共	28.5	㎡			
SOP塗 (細幅物)	鋼製建具面(枠部) 錆止め塗料 素地ごしらえ共 糸-101~200	4.1	m			
SOP塗 (細幅物)	鋼製建具面(枠部) 錆止め塗料 素地ごしらえ共 糸-201~300	340.	m			
SOP塗 (細幅物)	鋼製建具面(枠部) 錆止め塗料 素地ごしらえ共 糸-301~400	146.	m			
SOP塗 (細幅物)	鋼製建具面(枠部) 錆止め塗料 素地ごしらえ共 糸-401~500	44.8	m			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　建具改修工事　　改　修<その他>

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
木材保護塗料(WP)	木製建具面 B種 素地ごしらえ(B種)共	67.5	㎡			
木材保護塗料(WP) (細幅物)	木製建具枠 B種 素地ごしらえ(B種)共 糸-201~300	258.	m			
計						

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　撤　去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(内部)						
1F昇降口 床 増打ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	鉄筋共	3.5	m3			
2F視聴覚室 床 軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	鉄筋共	0.9	m3			
1F機械室 機械基礎撤去	鉄筋共 2500×300×H600	5.	か所			
壁 ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ撤去		16.1	m3			
壁 ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸｶｯﾀｰ入		164.	m			
1F職員玄関 巾木 人工大理石撤去	厚25 H=100	3.6	m			
1F昇降口 巾木 人工大理石撤去	厚30 H=160	14.8	m			
階段 手摺笠木 ﾃﾗｿﾞｰﾌﾞﾛｯｸ撤去	160×25	77.6	m			
床 木床組撤去	H=100	9.8	㎡			
床 木床組撤去	H=150	2.4	㎡			
押入 床 木床組撤去	H=150	1.4	㎡			
壁 木軸組撤去	W=70	6.	㎡			
壁 木軸組撤去	W=100	59.6	㎡			
壁 木胴縁組撤去	W=60	67.3	㎡			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　撤　去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
床 合板撤去	厚12	9.8	㎡			
押入 床 合板撤去	厚12	1.4	㎡			
押入 中段 床 合板撤去	厚5.5 前後框､木根太組共	1.4	㎡			
押入 天袋 床 合板撤去	厚5.5 前後框､木根太組共	1.4	㎡			
押入 壁 合板撤去	厚4	2.3	㎡			
押入 壁 合板撤去	厚4 木胴縁組共	6.7	㎡			
押入 天井 合板撤去	厚4	1.4	㎡			
床 板畳撤去	厚15	2.4	㎡			
壁 有孔ﾍﾞﾆﾔ撤去	厚9	105.	㎡			
天井 杉柾ﾍﾞﾆﾔ撤去	厚4	13.4	㎡			
天井 小幅板撤去	厚12	183.	㎡			
1F休養室 上り框撤去	木製 W50×H150	1.3	m			
巾木 木製巾木撤去	厚20 H=75	831.	m			
畳寄せ撤去	木製	10.	m			
雑巾摺撤去	木製 15×15	5.2	m			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　撤　去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
押入 雑巾摺撤去	木製	10.2	m			
天井 廻り縁撤去	木製	16.5	m			
押入 天井 廻り縁撤去	木製	5.2	m			
1F休養室 付柱撤去	木製 100×40	2.6	m			
1F休養室 付長押撤去	木製 60×30	10.4	m			
三方枠撤去	木製 180×25	4.9	m			
三方枠撤去	木製 190×25	40.8	m			
ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ撤去	木製 厚20 W120×H120 Π型	289.	m			
ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ撤去	木製 厚20 W120×H60･120 Π型	37.1	m			
ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ撤去	木製 厚20 W120×H120 Π型	2.9	m			
暗幕ﾎﾞｯｸｽ撤去	木製 厚20 W120×H120 Γ型	22.2	m			
暗幕ﾎﾞｯｸｽ撤去	木製 厚20 W120×H120 Π型	29.5	m			
ｶｰﾃﾝ+暗幕ﾎﾞｯｸｽ 撤去	木製 厚20 W200×H120 Π型	13.8	m			
OHPﾎﾞｯｸｽ撤去	木製 厚20 W200×H200 Π型 L=2000	28.	か所			
2F視聴覚室 ｽｸﾘｰﾝﾎﾞｯｸｽ撤去	木製 厚20 W200×H200 Π型 L=2700	1.	か所			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　撤　去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
額縁撤去	木製 30×60	44.4	m			
額縁撤去	木製 50×25	59.4	m			
額縁撤去	木製 50×50	458.	m			
額縁撤去	木製 50×70	37.6	m			
額縁撤去	木製 70×50	267.	m			
ｻｯｼ取合方立撤去	木製 160×25+25×150 T型	2.1	m			
ｻｯｼ取合方立撤去	木製 180×25+25×150 T型	2.1	m			
ｻｯｼ取合方立撤去	木製 210×25+25×150 T型	39.7	m			
ｻｯｼ取合方立撤去	木製 310×25+25×150 T型	2.1	m			
1F事務室 受付ｶｳﾝﾀｰ撤去	集成材 厚35 UC W950×D400	1.	か所			
1F事務室 下段ｶｳﾝﾀｰ撤去	集成材 厚20 UC W1850×D520 木製引出し付 W450×4×H150	1.	か所			
1F職員室 ｶｳﾝﾀｰ撤去	木製 厚36 W7410×D400	1.	か所			
2､3F普通教室 ﾗｲﾆﾝｸﾞ甲板撤去	集成材 厚25 W800×D250	20.	か所			
壁 軽量鉄骨下地撤去	40形	347.	㎡			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　撤　去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
壁 軽量鉄骨下地撤去	90形	658.	㎡			
下り壁 軽量鉄骨下地撤去		19.9	㎡			
天井 軽量鉄骨天井下地 撤去	19形	5,148.	㎡			
斜め天井 軽量鉄骨天井下地 撤去	19形	33.2	㎡			
下り天井 軽量鉄骨天井下地 撤去	19形	9.8	㎡			
ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞﾄﾞｱ上部 取付下地撤去	H=375	32.4	m			
ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞﾄﾞｱ上部 取付下地撤去	H=795	17.3	m			
階段 ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ撤去	ｱﾙﾐ製 ﾋﾞﾆｰﾙ付	364.	m			
巾木 ｽﾃﾝﾚｽ巾木撤去	H=100	0.6	m			
ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ撤去	ｱﾙﾐ製 ﾀﾞﾌﾞﾙ	16.7	m			
暗幕ﾚｰﾙ撤去	ｱﾙﾐ製 40×30	44.3	m			
電動暗幕ﾚｰﾙ撤去	ｱﾙﾐ製 40×30	21.2	m			
1F保健室 ﾍﾞｯﾄ 天井吊ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ 撤去	天井吊:H1000 W5100×D2500×3	1.	か所			
EXP.J.C(D) EXP･Jｶﾊﾞｰ撤去	壁用 AL 厚1.2 W80(30+20+30)×D10	8.3	m			
EXP.J.C(E) EXP･Jｶﾊﾞｰ撤去	壁用 SUS 厚1.2 W115(550+15+50)×D10	0.9	m			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　撤　去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
床 ﾓﾙﾀﾙ撤去	厚25	38.	㎡			
壁 ﾓﾙﾀﾙ撤去	厚20	125.	㎡			
階段 段床先端 ﾓﾙﾀﾙ撤去	W20×H158 ▽型(逆二等辺三角形)	204.	m			
階段 段床先端 ﾓﾙﾀﾙｶｯﾀｰ入		444.	m			
床 複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ撤去	厚2.0	59.1	㎡			
蹴込 複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ撤去	厚2.0	57.2	㎡			
床 ｽﾀｲﾛ畳撤去	厚50	9.8	㎡			
床 塗床撤去	厚1.0	33.8	㎡			
壁 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ撤去		49.1	㎡			
柱 布貼撤去		5.2	㎡			
壁 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ撤去	厚12.5+9.5	420.	㎡			
壁 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ撤去	厚12.5+12.5	470.	㎡			
下り壁 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ撤去	厚12.5+9.5	19.9	㎡			
天井 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ撤去	厚9	109.	㎡			
天井 ﾊﾟﾗﾎﾞｰﾄﾞｶﾞﾗｽ布抑えﾊﾟﾈﾙ撤去	厚20	45.	㎡			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　撤　去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
壁 ﾌｪﾙﾄ貼撤去	厚50	105.	㎡			
壁 硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ撤去	厚30	7.8	㎡			
天井 廻縁撤去	ﾋﾞﾆﾙ製	2,836.	m			
1F教材準備室 流し台撤去	W1800×D600×H800	1.	か所			
1F工作室､図画室 流し台撤去	W1400×D600×H800	4.	か所			
1F図書室 流し台撤去	W2000×D600×H800	1.	か所			
1F保健室 流し台撤去	W2000×D600×H800	1.	か所			
1F理科室-1 流し台撤去	W1900×D600×H800	2.	か所			
1F理科室-1 準備 流し台撤去	W1900×D600×H800	1.	か所			
1F理科室-2 流し台撤去	W1900×D600×H800	1.	か所			
2F家庭科-1 流し台撤去	W2500×D600×H800	1.	か所			
2､3F普通教室 流し台撤去	W2400×D620×H650	20.	か所			
1F湯沸室 流し台ｾｯﾄ撤去	W1600×D600×H800 吊戸棚:W1000×D400×H550 ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ:W600×D400×H550 幕板:ﾃﾞｺﾗ貼 W1600+400×H650 L型	1.	か所			
各所 化粧鏡撤去	W350×H500	3.	か所			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　撤　去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
各所 化粧鏡撤去	W450×H450	4.	か所			
各所 化粧鏡撤去	W500×H500	4.	か所			
ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ撤去		677.	㎡			
ｶｰﾃﾝ撤去		34.7	㎡			
暗幕撤去		114.	㎡			
電動暗幕撤去		39.8	㎡			
1F保健室 ﾍﾞｯﾄ区画ｶｰﾃﾝ撤去		21.4	㎡			
1F廊下1～体育館 ｽﾗﾝﾃﾞｨﾝｸﾞﾄﾞｱ撤去	W32400×H2700	1.	か所			
1F工作室～準備 ｽﾗﾝﾃﾞｨﾝｸﾞﾄﾞｱ撤去	W3210×H3000	1.	か所			
1F工作室～準備 ｽﾗﾝﾃﾞｨﾝｸﾞﾄﾞｱ撤去	W6985×H3000	1.	か所			
1F図書室～児童会 ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞﾄﾞｱ撤去	W7110×H3000	1.	か所			
2F家庭科-1 洗濯機ﾊﾟﾝ撤去	FRP製 W800×D640	1.	か所			
階段 壁付手摺撤去	手摺:集成材　φ50 受金物:PL-2.3 控えﾊﾟｲﾌﾟ:φ20	79.5	m			
階段7 A-18前 手摺撤去	手摺:集成材　φ50 支柱:ｽﾁｰﾙﾊﾟｲﾌﾟ φ20 @150 H=1100	2.9	m			
消火器ﾎﾞｯｸｽ撤去	集成材 厚35 300×300 (RC部掘込みに下端のみ)	21.	か所			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　撤　去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
教室ｻｲﾝ撤去	ﾌｪﾙﾄ製 厚2程度 250×300	30.	か所			
室名ｻｲﾝ1撤去	木ﾌﾟﾚｰﾄ 厚15 90×250	30.	か所			
室名ｻｲﾝ2撤去	樹脂ﾌﾟﾚｰﾄ 厚3 90×250	30.	か所			
1F玄関ﾎｰﾙ 下足棚撤去	見掛り:ｼﾅﾍﾞﾆﾔ OP 名札差付 W4025×D350×H1620	1.	か所			
1F職員玄関 下足棚撤去	見掛り:ｼﾅﾍﾞﾆﾔ OP 下部:傘立て 名札差付 W2085×D350×H1780～1800	1.	か所			
1F昇降口 上足箱撤去	9列×5段 (1列) W2280×D300×H1400	2.	か所			
1F昇降口 上足箱撤去	9列×5段 (2列) W2280×D300+300×H1400	14.	か所			
1F昇降口 下足箱撤去	9列×5段 (1列) W1830×D300×H1550	1.	か所			
1F昇降口 傘立撤去	(1列) W1830×D300×H620～720	1.	か所			
1F昇降口 傘立撤去	9列×5段 (2列) W1830×D300+300×620～720	14.	か所			
B棟 1F廊下-2 展示壁･展示棚A 撤去	棚板:4枚 ｼﾅﾍﾞﾆﾔﾌﾗｯｼｭ厚18 OP 取外し可 上部:掲示壁 W4300×D505× H2700(1400+1300)	1.	か所			
B棟 1F廊下-2 展示壁･展示棚A 撤去	棚板:4枚 ｼﾅﾍﾞﾆﾔﾌﾗｯｼｭ厚18 OP 取外し可 上部:掲示壁 W6500×D505× H2700(1400+1300)	1.	か所			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　撤　去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
B棟 1F廊下-2 展示壁・展示棚A 撤去	棚板:4枚 ｼﾅﾍﾞﾆﾔﾌﾗｯｼｭ厚18 OP 取外し可 上部:掲示壁 W7400×D505× H2700(1400+1300)	1.	か所			
B棟 2F廊下 展示棚B撤去	ｼﾅﾍﾞﾆﾔﾌﾗｯｼｭ OP 扉:ｼﾅﾍﾞﾆﾔﾌﾗｯｼｭ OP 枠:同上 棚板:6枚 ｼﾅﾍﾞﾆﾔ厚9 OP (木口共) W4600×D470×H2100	2.	か所			
B棟 2F廊下 展示棚B撤去	ｼﾅﾍﾞﾆﾔﾌﾗｯｼｭ OP 扉:ｼﾅﾍﾞﾆﾔﾌﾗｯｼｭ OP 枠:同上 棚板:6枚 ｼﾅﾍﾞﾆﾔ厚9 OP (木口共) W7400×D470×H2100	1.	か所			
1F準備・展示ｺｰﾅｰ 展示棚C撤去	正面は展示棚Bと同じ ﾊﾞｯｸ:掲示板(下地ﾍﾞﾆﾔ厚9) 連結金物 W1900×D420×H2100	2.	か所			
1F準備・展示ｺｰﾅｰ 展示棚C撤去	正面は展示棚Bと同じ ﾊﾞｯｸ:掲示板(下地ﾍﾞﾆﾔ厚9) 連結金物 W2850×D420×H2100	2.	か所			
A､C棟 2､3F廊下 掃除用具置場撤去	扉､側板､天板､底板共: ﾍﾞﾆﾔﾌﾗｯｼｭ(耐水ﾍﾞﾆﾔ厚4) 仕上はOP(見えがかり) 3/4黄銅ﾊﾟｲﾌﾟｸﾛﾑﾒｯｷ(Sｶﾝ 5ｹ付) 棚板:耐水ﾍﾞﾆﾔ厚12 OP 雑巾掛:ｽﾃﾝﾚｽ製(市販品) L=350 水受皿:SUS304厚0.8加工 ｽﾉｺ:木 20×30 W3600×D470×H2150	4.	か所			
	耐水ﾍﾞﾆﾔﾌﾗｯｼｭ OP 扉共(W-11):W550×H1800×6 ｲﾝﾀｰﾎﾝ置場含 W3600×D415×6×H1800					

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　撤　去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
2､3Fｶﾊﾞﾝ棚､ｺｰﾄ掛 ｶﾊﾞﾝ棚撤去	ｼﾅﾍﾞﾆﾔﾌﾗｯｼｭ OP L-30×30×3:4か所 名札差 W1580×D350×H1305	64.	か所			
2､3Fｶﾊﾞﾝ棚､ｺｰﾄ掛 ｺｰﾄ掛撤去	ｼﾅﾍﾞﾆﾔﾌﾗｯｼｭ OP L-30×30×3:4か所 名札差 帽子棚 帽子掛:SUS304 FB-5 穴20φ ﾊﾝｶﾞｰ(既製品) W1580×D350×H1305	64.	か所			
1F調整室 可動ｶｳﾝﾀｰ撤去	下部戸棚付 W1300×D500×H700	1.	か所			
1F休養室 下足箱撤去	見掛り:ｼｵｼﾞﾍﾞﾆﾔﾌﾗｯｼｭ W750×D400×H900	1.	か所			
1F保健室 脱衣棚撤去	可動式 見え掛りは全て: ｼﾅﾍﾞﾆﾔ OP 可動棚:3段 W2120×D450×H1445	1.	か所			
1F保健室 戸棚撤去	厚4 ｼﾅﾍﾞﾆﾔﾌﾗｯｼｭ 可動棚付 W3990×D500×H2100	1.	か所			
1F理科室-1､2 設備ﾕﾆｯﾄ撤去	天板:ｸﾞﾗｻﾙ ｽﾃﾝﾚｽ流し 化学水栓 ｶﾞｽｺｯｸ 腰:ﾒﾗﾐﾝ化粧板仕上 附属品 W1200×D700×H800	2.	か所			
1F理科室-2 設備ﾕﾆｯﾄ撤去	天板:ｸﾞﾗｻﾙ ｽﾃﾝﾚｽ流し 化学水栓 ｶﾞｽｺｯｸ 腰:ﾒﾗﾐﾝ化粧板仕上 附属品 W600×D600×H750	2.	か所			
1F理科室-1 戸棚撤去	W7310×D450×H800	1.	か所			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　撤　去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
1F理科室-2 戸棚撤去	W3600×D600×H800	2.	か所			
1F理科室-1 観察台撤去	W3600×D600×H800	1.	か所			
1F理科室-2 観察台撤去	W1800×D600×H800	1.	か所			
1F理科室-1 準備 観察台撤去	W1800×D600×H800	2.	か所			
1F音楽室-1､2 教師戸棚撤去	W1000×D500×H1500	2.	か所			
1F音楽準備室 楽器棚撤去	木製戸棚 W1800×D400･300×H1800 棚板:6段 引戸付	1.	か所			
1F工作室 戸棚撤去	ｼﾅﾍﾞﾆﾔﾌﾗｯｼｭ OP ｽﾃﾝﾚｽﾊﾝﾄﾞﾙ L=90 Pﾋﾝｼﾞｱﾝｸﾞﾙ 可動棚 W1200×D500×H3000	1.	か所			
1F工作室､図画室 教師戸棚撤去	W1500×D500×H1500	2.	か所			
1F工作室､準備 窓下戸棚撤去	棚板:1段 W1900×D500×H700	6.	か所			
1F図書室 図書ｶｳﾝﾀｰ撤去	ﾄｯﾌﾟ:ﾒﾗﾐﾝ化粧板 (ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ下地) 出隅 r=30 仕切板:ﾍﾞﾆﾔ(厚15) OP 引出し:木 OP､ﾚｰﾙ板:木 仕切板:ﾍﾞﾆﾔ(厚4)ﾌﾗｯｼｭ 台輪:木 OP W3420+1330×D600×H930 L型 ｺｰﾅｰR付	1.	か所			
1F図書室 ｶﾊﾞﾝ棚+書棚撤去	見え掛りは全て: ｼﾅﾍﾞﾆﾔ OP W5020×D250×H1145	1.	か所			
2F家庭科-1 ｱｲﾛﾝ台撤去	W2500×D600×H800	1.	か所			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　撤　去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
2F家庭科-1、2 教師戸棚撤去	W1500×D500×H1500	2.	か所			
2F家庭科-1、2 教材棚撤去	W3185×D550×H900	2.	か所			
2F家庭科-1、2 窓下戸棚撤去	棚板:1段 W1900×D500×H700	4.	か所			
2F準備室(家庭科) 窓下戸棚撤去	棚板:1段 W1900×D500×H700	2.	か所			
2F家庭科-2 食器棚撤去	下部扉:ｼﾅﾍﾞﾆﾔﾌﾗｯｼｭ戸 OP 上部扉:ｶﾞﾗｽ戸 5G 一部鍵付 W6300(900×7)×D450×H1400	1.	か所			
2F視聴覚室 教師戸棚撤去	W1300×D500×H1500	1.	か所			
2、3F普通教室 教師戸棚撤去	W1500×D500×H1500	20.	か所			
2、3F普通教室 棚撤去	W1650×D250×H900	16.	か所			
2、3F普通教室 棚撤去	W1650×D345×H900	4.	か所			
2、3F普通教室 飾り棚撤去	W3600(900×4)×D450×H900	17.	か所			
2、3F普通教室 木製間仕切+飾り 棚撤去	柱:100×100、土台(巾木):9×75 梁:100×90、窓台:100×100 木材:ﾎﾜｲﾄｳｯﾄﾞ集成材 腰壁:ｼﾅﾍﾞﾆﾔ厚12 胴縁:36×40 @300以下 天端・内部床:ｼﾅﾍﾞﾆﾔ厚12 根太:36×30 @300以下 上部:樹脂ｻｯｼ 4本引 W2690×D505(517)×H2200	6.	か所			
	柱:H=3000 (4本)					

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　撤　去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
1F職員室 黒板撤去	W1800×H1200	3.	か所			
1F休養室 黒板撤去	W750×H1200	1.	か所			
1F保健室 黒板撤去	W1800×H1200	1.	か所			
1Fﾌﾟﾗﾈﾀﾘｳﾑ 黒板撤去	W1800×H1200	1.	か所			
1F理科室-1 黒板撤去	W1200×H1200	4.	か所			
1F理科室-2 黒板撤去	W1200×H1200	4.	か所			
1F音楽室-2 黒板撤去	W1200×H1200	1.	か所			
1F音楽準備室 黒板撤去	W1200×H1200	2.	か所			
1F教材準備室 黒板撤去	W900×H900	1.	か所			
1F工作室､図画室 黒板撤去	W3600×H1200	2.	か所			
2F家庭科-1､2 黒板撤去	W3600×H1200	2.	か所			
2F視聴覚室 黒板撤去	W3600×H1200	1.	か所			
2､3F普通教室 黒板撤去	W1200×H1200	20.	か所			
1F児童会 ｽﾗｲﾀﾞｰ黒板撤去	W3600×H1200	1.	か所			
2､3F普通教室 黒板撤去	W3600×H1200	20.	か所			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　撤　去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
1F音楽室-1 黒板 五線黒板撤去	W3600×H1200	1.	か所			
1F音楽室-2 五線黒板+可動五 線黒板撤去	W3600+1800×H1200	1.	か所			
1F校長室 月歴黒板撤去	W1800×H1200	1.	か所			
1F事務室 月歴黒板撤去	W1800×H1200	1.	か所			
1F職員室 月歴黒板撤去	W1800×H1200	1.	か所			
	※特記以外、掲示板は 掲示用ｸﾛｽ (布ｸﾛｽ)+ 合板 厚5.5+ 木下地18×45 @303 枠無 (ｸﾛｽ巻込)					
1F職員玄関 掲示板撤去	W900×H1260	1.	か所			
1F昇降口 掲示板撤去	W1400×H1200	2.	か所			
A棟 1F廊下-1 掲示板撤去	W1200×H1200	1.	か所			
B棟 1F廊下-1 掲示板撤去	W4200×H1200	1.	か所			
C棟 1F廊下-1 掲示板撤去	W3000×H1200	1.	か所			
2､3F廊下 掲示板撤去	W1500×H1200	8.	か所			
1F職員室 掲示板撤去	W1800×H1200	5.	か所			
1F校長室 掲示板撤去	W1800×H1200	1.	か所			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　撤　去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
1F事務室 掲示板撤去	W1500×H1300	1.	か所			
1F児童会 掲示板撤去	W1775×H1200	2.	か所			
1F更衣室 掲示板撤去	W900×H1200	2.	か所			
1F保健室 掲示板撤去	W1800×H1200	1.	か所			
1F音楽室-1 掲示板撤去	W1800×H1200	1.	か所			
1F音楽室-2 掲示板撤去	W1200×H1200	1.	か所			
1F音楽準備室 掲示板撤去	W1800×H1200	2.	か所			
1F調整室 掲示板撤去	W900×H900	1.	か所			
1F調整室 掲示板撤去	W1150×H900	1.	か所			
1Fﾌﾟﾗﾈﾀﾘｳﾑ 掲示板撤去	全面掲示板 W7110×H2100(一部欠有) 黒板欠:W1800×H1200	1.	か所			
1F音楽室-1 掲示板撤去	全面掲示板 W7800×H2100	1.	か所			
1F音楽室-2 掲示板撤去	全面掲示板 W7300×H2100	1.	か所			
1F図書室 掲示板撤去	全面掲示板 W7110×H1855	1.	か所			
1F工作室､図画室 掲示板撤去	全面掲示板 W6985×H2100(一部欠有) 黒板欠:W3600×H1200	2.	か所			
2F家庭科-2 掲示板撤去	全面掲示板 W7080×H2100	1.	か所			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　撤　去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
2F家庭科-1、2 掲示板撤去	全面掲示板 W7080×H2100(一部欠有) W-9欠:W810×H1150 黒板欠:W3600×H1200	2.	か所			
2F視聴覚室 掲示板撤去	全面掲示板 W7410×H2100	1.	か所			
2F視聴覚室 掲示板撤去	全面掲示板 W7410×H2100(一部欠有) 黒板欠:W3600×H1200	1.	か所			
2、3F普通教室 掲示板撤去	全面掲示板 W7110×H2100(一部欠有) 黒板欠:W3600×H1200	20.	か所			
2、3F普通教室 掲示板撤去	全面掲示板 W8350×H2100(一部欠有) 黒板欠:W1200×H1200	20.	か所			
計						

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(床)						
床 構造用合板	木床組面 t=24+普通合板t=12	4.	㎡			
すべり台 床 木下地組	90×60 @450	4.9	㎡			
すべり台最下部 木下地組	90×270 L=1200 2本	1.	か所			
すべり台 床 床材	ﾀﾓ集成材 t=12×3 L=359+471(R)+2598+ 471(R)+209	1.	か所			
階段 踏板	ﾅﾗ集成材 t=30 W=320 段鼻:滑り止め溝掘り加工 3本 木根太組共	40.9	m			
階段 蹴込板	ﾅﾗ集成材 t=15 H=120	9.6	m			
階段 蹴込板	ﾅﾗ集成材 t=15 H=140	37.5	m			
踏面 合板	t=12+12 W=320 木根太 60×45 @303共	294.	m			
階段蹴込板 合板	t=12 H=140	320.	m			
踊場 合板	t=12+12 木根太 60×45 @303共	51.8	㎡			
床 ﾃﾞｯｷ下地	2730×2270×H1750 異形 梁:杉 105×180 柱:杉 105×105 土台:檜 105×105 M12ｱﾝｶｰ@900共	1.	か所			
2Fﾒﾃﾞｨｱｾﾝﾀｰ 上框	ﾀﾓ集成材 t=35 H=150	10.1	m			
2Fﾒﾃﾞｨｱｾﾝﾀｰ 上框	ﾀﾓ集成材 t=35 H=150 曲面	7.4	m			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
2Fﾌﾟﾚｲﾙｰﾑ 小口塞ぎ	ﾅﾗ集成材 t=35 H=150	7.4	m			
2Fﾌﾟﾚｲﾙｰﾑ 天板	ﾅﾗ集成材 380×35	2.4	m			
2Fﾌﾟﾚｲﾙｰﾑ 天板	ﾅﾗ集成材 450×35	2.4	m			
2Fﾌﾟﾚｲﾙｰﾑ 天板	ﾅﾗ集成材 510×35	7.4	m			
床見切縁	ｽﾃﾝﾚｽ目地棒 25×6	129.	m			
床見切縁	ｽﾃﾝﾚｽ目地棒 25×6 曲面	2.	m			
階段滑り止め金物	ｽﾃﾝﾚｽ製 ﾋﾞﾆﾙﾀｲﾔ入 W=40	294.	m			
階段 上框	ｽﾃﾝﾚｽ製 t=2.0 HL W40×H100	6.5	m			
1F玄関 上框	ｽﾃﾝﾚｽ製 t=2.0 HL W40×H120	4.2	m			
床 ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭ	φ6 @100 ﾓﾙﾀﾙ内	88.7	㎡			
床 ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝	置床下	68.1	㎡			
床 ﾓﾙﾀﾙ金鏝	表面強化材下 t=140	39.8	㎡			
床 ﾓﾙﾀﾙ金鏝	表面強化材下 t=140～260	33.7	㎡			
床 ﾓﾙﾀﾙ金鏝	表面強化材下 t=200～260	5.	㎡			
床 ﾓﾙﾀﾙ金鏝	表面強化材下 t=200	10.2	㎡			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
床 塗床	既存ﾓﾙﾀﾙ面 下地調整C-2共 厚膜型硬質ｳﾚﾀﾝ樹脂 耐衝撃･耐摩耗 ABC商会 ﾋﾞｭｰｺｰﾄ同等品	34.9	㎡			
床 ｺﾝｸﾘｰﾄ表面強化材	ﾓﾙﾀﾙ面 ｹｲ酸ﾅﾄﾘｳﾑ系 ABC商会 ｾﾗﾐｷｭｱ同等品	88.7	㎡			
床 ｺﾝｸﾘｰﾄ表面強化材	既存ﾓﾙﾀﾙ面 下地調整C-2共 ABC商会 ｾﾗﾐｷｭｱ同等品	2.1	㎡			
巾木 ｺﾝｸﾘｰﾄ表面強化材	H=120 既存ﾓﾙﾀﾙ面 下地調整共 ｹｲ酸ﾅﾄﾘｳﾑ系 ABC商会 ｾﾗﾐｷｭｱ同等品	7.1	m			
床 複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	二重床面 溶接工法 t=2.0 東リ ﾏﾁｭｱNW同等品	767.	㎡			
踊場 複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	合板面 溶接工法 t=2.0 東リ ﾏﾁｭｱNW同等品	46.1	㎡			
踏面 複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	合板面 W=320 溶接工法 t=2.0 東リ ﾏﾁｭｱNW同等品	294.	m			
蹴込 複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	合板面 H=140 溶接工法 t=2.0 東リ ﾏﾁｭｱNW同等品	320.	m			
床 ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	既存ﾓﾙﾀﾙ面 下地調整C-2共 ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝ t=2.0 東リ ﾏﾁｺV同等品	45.8	㎡			
床 ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	二重床面 ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝ t=2.0 東リ ﾏﾁｺV同等品	87.4	㎡			
床 ｸｯｼｮﾝﾌﾛｱ	二重床面 t=2.3 東リ CFｼｰﾄP NW同等品	2.5	㎡			
床 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ	二重床面 t=6.5 ﾙｰﾄﾊﾟｲﾙ 東リ GA-100同等品	143.	㎡			
床 複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	厚15 ｶﾊﾞ 塗装品 北海道ﾊﾟｰｹｯﾄ工業 M6ﾗｲﾝ 合板面	4.	㎡			
床 複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	厚15 ｶﾊﾞ 塗装品 北海道ﾊﾟｰｹｯﾄ工業 M6ﾗｲﾝ 二重床面	4,023.	㎡			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
踊場 複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	厚15 ｶﾊﾞ 塗装品 北海道ﾊﾟｰｹｯﾄ工業 M6ﾗｲﾝ 合板面	5.7	㎡			
床 乾式二重床	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ下 H=100 ﾗﾜﾝ合板 t=15 特殊高比重合板 t=15 文教施設用低床型置床 三洋工業 MPﾌﾛｱEﾀｲﾌﾟ同等品	117.	㎡			
床 乾式二重床	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ下 H=250 ﾗﾜﾝ合板 t=15 特殊高比重合板 t=15 文教施設用低床型置床 三洋工業 MPﾌﾛｱEﾀｲﾌﾟ同等品	25.6	㎡			
床 乾式二重床	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ下 H=100 特殊高比重合板 t=15 文教施設用低床型置床 三洋工業 MPﾌﾛｱEﾀｲﾌﾟ同等品	4,001.	㎡			
床 乾式二重床	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ下 H=250 特殊高比重合板 t=15 文教施設用低床型置床 三洋工業 MPﾌﾛｱEﾀｲﾌﾟ同等品	22.4	㎡			
床 乾式二重床	貼物下 H=100 ﾗﾜﾝ合板 t=15 特殊高比重合板 t=15 文教施設用低床型置床 三洋工業 MPﾌﾛｱEﾀｲﾌﾟ同等品	857.	㎡			
床 際根太	H=100	3,054.	m			
踊場 際根太	H=100	63.9	m			
床 際根太	H=250	21.8	m			
床 EXPｺﾞﾑ	15×15	480.	m			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
小計						
(幅木・壁)						
巾木 木製巾木	県産材杉 H=60 天端:県産材杉 t=15 W=35 下地:L-25×25×3共	3.2	m			
すべり台下部 巾 木製巾木	ﾀﾓ集成材 t=12 H=250	1.2	m			
すべり台手摺 ｻｻﾗ巾木	ﾀﾓ集成材 t=35 H=450	8.6	m			
壁 ﾗﾜﾝ合板	t=5.5 木胴縁 15×35 @300共	610.	㎡			
壁 針葉樹合板	t=12 PB面	41.6	㎡			
壁 木下地組	36×60 @300	14.1	㎡			
壁 木下地組	45×50 @303	33.5	㎡			
壁 腰壁見切縁	ﾅﾗ加工 W38×H40 L型	68.2	m			
壁 掲示用ｸﾛｽ見切	ﾅﾗ 30×20加工	247.	m			
すべり台ﾃﾞｯｷ上 羽目板張	県産材杉 t=12 木胴縁 t=18 @455 押縁:杉8×25 @1350 PB面	11.6	㎡			
すべり台下部 壁 羽目板張	県産材杉 t=12×W120 木胴縁 36×18 @300 木下地組面	6.8	㎡			
巾木 ｽﾃﾝﾚｽ巾木	H=60 HL 創建 創建ｽﾃﾝUF-60同等品	16.7	m			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｽﾃﾝﾚｽ巾木ｺｰﾅｰ役物	H=60 入隅 L=200+200	4.	か所			
ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板見切縁	ｱﾙﾐｼﾞｮｲﾅｰｺの字型 ｱｲｶ見切りM同等品	10.8	m			
壁見切縁	ｱﾙﾐ製 ｺ型	23.	m			
間仕切軽量鉄骨壁下地	W=65 @300	4.4	㎡			
間仕切軽量鉄骨壁下地	W=65 @450	362.	㎡			
壁軽量鉄骨胴縁下地	W=65 @300	2.8	㎡			
壁軽量鉄骨胴縁下地	W=65 @450	1,271.	㎡			
下り壁軽量鉄骨壁下地	W=65 @300	328.	㎡			
ﾗｲﾆﾝｸﾞ壁軽量鉄骨下地組	H=900 D=250	15.6	m			
ﾗｲﾆﾝｸﾞ壁軽量鉄骨下地組	H=1100 D=150	1.2	m			
軽量鉄骨壁下地開口補強		1	式			別紙 00-0007
壁ﾓﾙﾀﾙ金鏝	t=20 塗装下	7.	㎡			
巾木ﾋﾞﾆﾙ巾木	H=60 東リ ｿﾌﾄ巾木同等品	2,455.	m			
ｻｻﾗ巾木ﾋﾞﾆﾙ巾木	H60～210	140.	m			
壁ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板	t=3 PB面 ｱｲｶ工業 ｾﾗｰﾙ同等品	57.	㎡			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
壁 掲示用ｸﾛｽ	ﾋﾟﾝ用掲示用ｸﾛｽ 合板面 東リ:掲示板ｸﾛｽ ﾋﾟﾝﾀｲﾌﾟ同等品	603.	㎡			
壁 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	GB-R t=9.5 塗装下 合板面	41.6	㎡			
壁 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	GB-R t=12.5+9.5 木胴縁下 LGS面	37.5	㎡			
壁 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	GB-R t=12.5+9.5 塗装下 LGS面	1,481.	㎡			
壁 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	GB-R t=12.5+9.5 ﾒﾗﾐﾝ化粧板下 LGS面	15.	㎡			
壁 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	GB-R t=12.5+9.5 ｸﾞﾗｽｳｰﾙﾎﾞｰﾄﾞ下 LGS面	2.8	㎡			
壁 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	GB-R t=12.5+9.5 ﾌﾄｺﾛ内 LGS面	9.3	㎡			
下り壁 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	GB-R t=9.5 塗装下 LGS面	328.	㎡			
壁 耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	GB-S t=9.5 塗装下 ﾎﾞｰﾄﾞ面	13.7	㎡			
壁 耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	GB-S t=9.5 ﾒﾗﾐﾝ化粧板下 ﾎﾞｰﾄﾞ面	0.4	㎡			
壁 耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	GB-S t=12.5 ｹｲｶﾙ下 LGS面	1.3	㎡			
壁 耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	GB-S t=12.5 ﾌﾄｺﾛ内 LGS面	5.4	㎡			
壁 耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	GB-S t=12.5+9.5 塗装下 LGS面	68.9	㎡			
壁 耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	GB-S t=12.5+9.5 ﾒﾗﾐﾝ化粧板下 LGS面	48.1	㎡			
壁 耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	GB-S t=12.5+9.5 ﾌﾄｺﾛ内 LGS面	2.2	㎡			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
壁 珪酸ｶﾙｼｳﾑ板	ﾎﾞｰﾄﾞ面 t=6 塗装下	1.3	㎡			
壁 ｸﾞﾗｽｳｰﾙﾎﾞｰﾄﾞ	PB面 t=50 32kg/m3 ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包みﾋﾟﾝ押え	33.3	㎡			
壁 ｸﾞﾗｽｳｰﾙﾎﾞｰﾄﾞ	既存ﾓﾙﾀﾙ面 t=50 32kg/m3 ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包みﾋﾟﾝ押え 下地調整RB種共	2.6	㎡			
壁 ｸﾞﾗｽｳｰﾙﾎﾞｰﾄﾞ	t=50 32kg/m3 寒冷紗(黒)	33.5	㎡			
P1 壁 耐火間仕切壁	1時間耐火 GB-Ft12.5+12.5(両面張) LGS65下地　H<4000 吉野石膏同等品	776.	㎡			
耐火間仕切壁 開口補強		1	式			別紙 00-0008
壁 耐火間仕切ｼｰﾘﾝｸﾞ	15×15	2,901.	m			
壁 耐火間仕切ｼｰﾘﾝｸﾞ	15×15 出隅・入隅	107.	m			
P2 壁 耐火遮音間仕切壁	1時間耐火 TLd-50 GB-Ft12.5+12.5(両面張) LGS65下地 GW24K t50 吉野石膏同等品	251.	㎡			
P2 壁 耐火遮音間仕切壁	1時間耐火 TLd-50 GB-Ft12.5+12.5(両面張) LGS90下地 GW24K t50 吉野石膏同等品	25.3	㎡			
耐火遮音間仕切壁 開口補強		1	式			別紙 00-0009
壁 耐火遮音間仕切 ｼｰﾘﾝｸﾞ	MS-2 15×15	347.	m			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
壁 耐火遮音間仕切 ｼｰﾘﾝｸﾞ	MS-2 15×15 出隅・入隅	68.8	m			
壁 耐火間仕切面 継目処理		930.	㎡			
軽量鉄骨壁下地内 ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填	t=50 24kg/m3	30.1	㎡			
柱 耐火塗装	1時間耐火 C1:250×250×9	7.6	㎡			
柱 耐火塗装	1時間耐火 C2:250×250×12	7.6	㎡			
壁 硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付	t=35 A種1H	69.9	㎡			
小計						
(天井)						
天井 羽目板張	県産材杉 t=12×W90 PB面	40.	㎡			
天井 羽目板張	県産材杉 t=12×W90 曲面 ｸﾞﾗｽｳｰﾙﾎﾞｰﾄﾞ面	199.	㎡			
天井 羽目板張	県産材杉 t=12×W90 PB面 曲面	8.5	㎡			
すべり台 天井 羽目板張	県産材杉 t=12×W120 木下地組面	3.8	㎡			
天井 廻り縁	杉 30×40	68.7	m			
天井 見切縁	杉 25×120	17.1	m			
天井 見切縁	杉 36×36 加工	7.4	m			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
天井 軽量鉄骨天井下地	19形 @225 化粧PB用 ふところ高1.5m未満	166.	㎡			
天井 軽量鉄骨天井下地	19形 @300 直張り用 ふところ高1.5m未満	19.	㎡			
天井 軽量鉄骨天井下地	19形 @300 直張り用 曲面 ふところ高1.5m未満	199.	㎡			
天井 軽量鉄骨天井下地	19形 @360 下地張り用 ふところ高1.5m未満	105.	㎡			
天井 軽量鉄骨天井下地	19形 @360 下地張り用 曲面 ふところ高1.5m未満	8.5	㎡			
天井 軽量鉄骨天井下地	19形 直貼岩吸板用 ふところ高1.5m未満	4,419.	㎡			
斜め天井 軽量鉄骨天井下地	19形 直貼岩吸板用 ふところ高1.5m未満	32.4	㎡			
下り天井 軽量鉄骨天井下地	19形 直貼岩吸板用 H=200	4.2	m			
下り天井 軽量鉄骨天井下地	19形 直張り用 H=500	17.1	m			
下り天井 軽量鉄骨天井下地	19形 下地張り用 H=1070	20.8	m			
下り天井 軽量鉄骨天井下地	19形 直張り用 H=150 曲面	82.9	m			
天井開口補強		1	式			別紙 00-0010
天井 ﾓﾙﾀﾙ金鏝	t=20 塗装下	3.	㎡			
天井 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	GB-D t=9.5 準不燃 吉野石膏 ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝﾗｲﾄ同等品	166.	㎡			
天井 岩綿吸音板	ﾌﾗｯﾄ t=9 不燃 直張り	4,419.	㎡			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
斜め天井 岩綿吸音板	厚9.0 不燃 ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ 直張り工法	32.4	㎡			
下り天井 岩綿吸音板	ﾌﾗｯﾄ t=9 不燃 H=200 直張り工法	4.2	m			
天井 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	GB-R t=9.5 塗装下 LGS面	8.3	㎡			
天井 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	GB-R t=9.5 羽目板下 LGS面	40.	㎡			
天井 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	GB-R t=9.5 羽目板下 LGS面 曲面	8.5	㎡			
天井 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	GB-R t=9.5+9.5 塗装下 LGS面	2.1	㎡			
天井 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	GB-R t=12.5+9.5 塗装下 LGS面	17.5	㎡			
天井 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	GB-R t=12.5+9.5 内装薄塗材下 LGS面	51.8	㎡			
天井 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	GB-R t=9.5 ｸﾞﾗｽｳｰﾙﾎﾞｰﾄﾞ下 LGS面	10.8	㎡			
天井 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	GB-R t=9.5 ｸﾞﾗｽｳｰﾙﾎﾞｰﾄﾞ下 LGS面 曲面	199.	㎡			
下り天井 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	GB-R t=9.5 塗装下 LGS面 H=150 曲面	82.7	m			
下り天井 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	GB-R t=12.5 塗装下 LGS面 H=500	17.1	m			
下り天井 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	GB-R t=9.5+9.5 塗装下 LGS面 H=1070	20.8	m			
天井 ｸﾞﾗｽｳｰﾙﾎﾞｰﾄﾞ	t=50 32kg/m3 ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包みﾋﾟﾝ押え PB面	22.3	㎡			
天井 ｸﾞﾗｽｳｰﾙﾎﾞｰﾄﾞ	t=50 32kg/m3 ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包みﾋﾟﾝ押え PB面 曲面	199.	㎡			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
天井廻り縁	ﾋﾞﾆｰﾙ製	2,990.	m			
下り天井 見切縁	塩ﾋﾞ製 目透し見切 曲面	166.	m			
天井 硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付	t=35 A種1H	27.	㎡			
小計						
(その他)						
手摺 笠木	ﾅﾗ集成材 70×30	52.4	m			
手摺壁 笠木	ﾅﾗ集成材 160×30 下地:ﾅﾗ集成材 120×30共	64.4	m			
2Fﾒﾃﾞｨｱｾﾝﾀｰ 腰壁笠木	ﾅﾗ 129×35	3.2	m			
既存ﾌﾞﾚｰｽ廻り 腰壁天端	ﾀﾓ集成材 t=25 W=460	10.4	m			
掲示用ｸﾛｽ 見切	ﾅﾗ 30×20 加工	143.	m			
落下防止手摺	ﾅﾗφ36	228.	m			
補助手摺	ﾅﾗ集成材 φ35 笠木受材:FB-4.5×22 ﾌﾞﾗｹｯﾄ:ｽﾁｰﾙ 角ﾊﾟｲﾌﾟ 12×12+ FB-4.5×22	52.4	m			
WW-B201 額縁	ﾀﾓ集成材 719×25	9.8	m			
取付下地補強	耐水合板 t=12 H=150 2段 吊戸棚 L=1050	1.	か所			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　　改　修

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
取付下地補強	耐水合板 t=12 H=150 2段 吊戸棚 L=1650	1.	か所			
取付下地補強	耐水合板 t=12 H=150 2段 吊戸棚 L=2100	1.	か所			
取付下地補強	耐水合板 t=12 手洗い W500×H350	2.	か所			
取付下地補強	合板 t=12 壁付ﾓﾆﾀｰｱｰﾑ W1200×H900	21.	か所			
取付下地補強	合板 t=12 H=150 2段 吊戸棚 L=7020	1.	か所			
床-床 EXP.J	ｸﾘｱﾗﾝｽ:150mm ABC商会 S15-JFX同等品	2.4	m			
壁-壁 EXP.J	ｸﾘｱﾗﾝｽ:150mm ABC商会 EU-BC150同等品	5.4	m			
天井-天井 EXP.J	ｸﾘｱﾗﾝｽ:150mm ABC商会 EU-BC150同等品	2.4	m			
手摺	ｽﾁｰﾙ製 H=300 平部 手摺子:FB-6×44 @100 ※笠木は別計上	8.4	m			
1Fﾌﾟﾚｲﾙｰﾑﾃﾞｯｷ部 自立手摺	ｽﾁｰﾙ製 H=1100 平部 ﾄｯﾌﾟﾊﾞｰ:ｽﾁｰﾙ製 φ19 手摺子:ｽﾁｰﾙ製 φ19 @100	1.	m			
手摺	ｽﾁｰﾙ製 H=1100 平部 手摺子:FB-6×44 @100 足元:FB-6×44 ﾍﾞｰｽﾌﾟﾚｰﾄ:FB-9×90 M12ﾝｶｰ @600 ※笠木は別計上	3.2	m			
手摺	ｽﾁｰﾙ製 H=300 斜部 手摺子:FB-6×44 @100 ※笠木は別計上	40.8	m			
一方枠	ｽﾁｰﾙ製 FB-9×121	20.4	m			
床下点検口	ｱﾙﾐ製 鍵付 600角	50.	か所			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
天井点検口	外枠額縁､内枠目地ﾀｲﾌﾟ 450角	82.	か所			
階段5 踊場 小口塞ぎﾊﾟﾈﾙ	ｽﾁｰﾙ製 t=1.2 曲げ加工 A-BE W90×H30･425 糸=454 下地:L-25×25×3共	3.2	m			
SLW吊り下地	H=192 C-100×50×20×4 [-100×50×5 M16ｱﾝｶｰ @600 吊り材:L-50×50×4 @900	24.	m			
収納部 SLW吊り下地	H=1037 C-100×50×20×4 [-100×50×5 M16ｱﾝｶｰ @600 吊り材:L-50×50×4 @900	15.2	m			
開口上部 伸縮目地	塩ﾋﾞ目地材 接着張	81.5	m			
化粧鏡	t=5 450×600	2.	か所			
ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙA	ﾜｲﾔ式 荒川技研 ﾜｲﾔｰｼｽﾃﾑ同等品	218.	m			
ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙB	先付けﾀｲﾌﾟ 30kg/m 荒川技研 MC11同等品	91.3	m			
ｸﾗｯｸ補修	幅0.2～1.0mm以下 自動式低圧ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	300.	m			
ｸﾗｯｸ補修	幅1.0mm超 Uｶｯﾄｼｰﾙ材充填工法	150.	m			
充電保管庫移設･ 固定		16.	か所			
1Fﾌﾟﾗﾈﾀﾘｳﾑ 吊り下げ式ﾄﾞｰﾑ 再取付	φ3000	1.	か所			
梁 ﾛｯｸｳｰﾙ吹付	t=25 1時間耐火 半湿式 見隠れ	39.9	㎡			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
層間塞ぎ	ﾛｯｸｳｰﾙ充填 W150×H75	16.8	m			
小間詰め	ﾛｯｸｳｰﾙ充填 QLﾃﾞｯｷ直交方向	18.3	m			
小間詰め	ﾛｯｸｳｰﾙ充填 QLﾃﾞｯｷ流れ方向	20.1	m			
小間詰め	ﾛｯｸｳｰﾙ充填 折版直交方向	23.2	m			
小間詰め	ﾛｯｸｳｰﾙ充填 折版流れ方向	20.1	m			
小計						
(家具)						
F-1a 下足入れ	W2850×D730×H1330	5.	か所			
F-1b 下足入れ	W2850×D365×H1330	2.	か所			
F-1c 下足入れ	W4250×D365×H1330	1.	か所			
F-3 下足入れ	W2880×D360×H970	2.	か所			
F-4 収納戸棚	W4040×D600･470×H2200	1.	か所			
F-5a 収納ﾍﾞｯﾄﾞ･収納戸棚	W1200×D470×H1900	1.	か所			
F-5b 収納ﾍﾞｯﾄﾞ･収納戸棚	W2020×D470･820×H1900	1.	か所			
F-6a HS収納	W7200×D400×H780	1.	か所			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
F-6b HS収納	W2700×D450×H780	1.	か所			
F-6c HS収納	W2400×D450×H780	1.	か所			
F-6d HS収納	W4500×D450×H780	1.	か所			
F-7 収納戸棚	W900×D470×H1900	1.	か所			
F-8 流し台･作業台	W2400×D600×H880	1.	か所			
F-9 HS収納	W6293×D450×H2160	1.	か所			
F-10 下足入れ	W4800×D350×H1600	1.	か所			
F-11 収納戸棚	W700×D470×H1900	1.	か所			
F-12 教師用調理台	W2400×D900×H800(850)	1.	か所			
F-13 生徒用調理台	W1800×D900×H760(800･850)	8.	か所			
F-14 収納戸棚	W6608×D600×H1900	1.	か所			
F-15 収納戸棚	W6608×D600×H1900	1.	か所			
F-19 収納戸棚	W4790×D620×H1900	1.	か所			
F-20 収納戸棚	W7020×D600･450×H800･650	1.	か所			
F-22 教師用実験台	W3000×D900×H800	1.	か所			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　　改　修

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
F-23 生徒用実験台	W3600×D900×H700(760･800)	6.	か所			
F-24 収納戸棚	W4510×D470×H1900	2.	か所			
F-25 収納戸棚	W6310×D590×H1900	1.	か所			
F-26a 流し台･作業台	W5500×D600×H780	1.	か所			
F-26b 流し台･作業台	W7200×D600×H780	1.	か所			
F-27 収納戸棚	W5400×D470×H1900	1.	か所			
F-28 作業台･流し台	W3440×D600×H780	1.	か所			
F-29 収納戸棚	W5400×D600×H1900	1.	か所			
F-30 楽器収納ﾗｯｸ	W2750×D800×H2406	1.	か所			
F-31 楽器収納戸棚	W3600×D800×H2100	1.	か所			
F-32a 窓下戸棚	W7200×D450×H900	1.	か所			
F-32b 窓下戸棚	W1800×D450×H900	1.	か所			
F-33a 流し台･作業台･ﾛｯｶｰ	W5500×D560･600× H650･730･1500	1.	か所			
F-33b 流し台･作業台･ﾛｯｶｰ	W4600×D560･600× H650･730･1500	1.	か所			
F-34 靴入れ	W4950×D360×H900	1.	か所			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
F-36 掃除用具入れ･ﾛｯｶｰ･流し台	W6000×D560･570･600× H700･780･1900	1.	か所			
F-38 ｶｳﾝﾀｰ	W3800(曲)×D700×H700	1.	か所			
F-39 ｶｳﾝﾀｰﾃﾞｽｸ	W1800×D600×H1100	1.	か所			
F-40 掃除用具入･ｶｳﾝﾀｰﾊﾞｯｸ棚	W5675×D450･480×H1900	1.	か所			
F-41 低書架(扇型)	W1050･923×D700×H890	1.	か所			
F-42 低書架(扇型)	W3300･2700×D740×H740･890	2.	か所			
F-44 低書架(1段)	W7196×D400×H450	1.	か所			
F-45a 低書架(3段)	W3689×D452×H1040	7.	か所			
F-45b 低書架(3段)	W2789×D270×H1040	1.	か所			
F-45c 低書架(3段)	W5389×D270×H1040	1.	か所			
F-46 書架(4段)	W7054×D270×H1340	1.	か所			
F-47 低書架(2段)	W7280×D270×H600	2.	か所			
F-48 教師用戸棚	W1200×D600×H1800	23.	か所			
F-49 教師用戸棚	W1200×D600×H900	17.	か所			
F-50 児童用ﾛｯｶｰ	W7080×D460×H1000	12.	か所			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
F-51a 流し台	W1600×D600×H680	5.	か所			
F-51b 流し台	W1600×D600×H730	11.	か所			
F-51c 流し台	W1600×D600×H780	6.	か所			
F-52 児童用ﾛｯｶｰ	W7072×D460×H1000	1.	か所			
F-53 ｵｰﾌﾟﾝ棚	W1200×D600×H900	3.	か所			
F-54 窓下収納	W3900×D450×H900	3.	か所			
F-55a ﾛｯｶｰ	W2115×D480×H1600	1.	か所			
F-55b ﾛｯｶｰ	W2530×D480×H1600	2.	か所			
F-58 AED･担架収納･掃除用具入	W1150×D270･470×H2500	1.	か所			
F-60 収納戸棚	W3600×D470･570×H780･2500	1.	か所			
F-61 ｵｰﾌﾟﾝ棚(窓下収納)	W2630×D360×H780	1.	か所			
F-62 HS収納	W2697×D450×H780	1.	か所			
F-63 ﾊﾟｰｿﾅﾙﾛｯｶｰ	W3596×D450×H978	1.	か所			
F-64 ｵｰﾌﾟﾝ棚	W3330×D500×H1000	8.	か所			
F-65 流し台	W1100×D600×H880	1.	か所			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
F-66 HS収納	W5394×D450×H782･1879	1.	か所			
小計						
(サイン)						
O-4(外部) 木製校名ｻｲﾝ	W300×D45×H1800	1.	か所			
O-3(外部) 校章ｻｲﾝ	φ700	1.	か所			
S-3 突出_室名ｻｲﾝ	W325×D25×H100	47.	か所			
S-6 ﾄﾞｱ切文字ｻｲﾝ	H=30	30.	か所			
S-8 衝突防止ｻｲﾝ	W5×H50 @80 窓ｶﾞﾗｽ1枚につき校章一つ	23.8	m			
小計						
(キッチン)						
1F給湯室 ｷｯﾁﾝA	L=2100 流し台･2口ｺﾝﾛ(電池式) ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ･吊戸棚 LIXIL Tio同等品	1.	か所			
1F業務員室 ｷｯﾁﾝB	L=1800 流し台･ｶﾞｽｺﾝﾛ ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ･吊戸棚 LIXIL Tio同等品	1.	か所			
1F保険室 ｷｯﾁﾝC	L=1650 流し台･吊戸棚付 加熱器具無し					

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	LIXIL Tio同等品	1.	か所			
小計						
(ユニットシャワー)						
1F脱衣室 ﾕﾆｯﾄｼｬﾜｰ	LIXIL SPB-0812LBEL同等品	1.	か所			
小計						
(体育器具)						
1Fﾌﾟﾚｲﾙｰﾑ ﾎﾞﾙﾀﾞﾘﾝｸﾞ	900×1706×H1650 ｸﾗｲﾐﾝｸﾞｸﾞﾘｯﾌﾟ ﾘﾎﾟｽ材:90×30 □60×30×2.3	1.	か所			
小計						
(カウンター・棚)						
1F玄関 受付ｶｳﾝﾀｰ	ﾀﾓ集成材 t=35 W2980×D375 ﾌﾞﾗｹｯﾄ@900 (ｽｶﾞﾂﾈ工業 BK-TR200同等品)	1.	か所			
1F事務室 受付ｶｳﾝﾀｰ	ﾀﾓ集成材 t=35 W2635×D350 ﾌﾞﾗｹｯﾄ@900 (ｽｶﾞﾂﾈ工業 BK-TR200同等品)	1.	か所			
1F廊下(105) 飾り棚	ﾅﾗ集成材 t=30 W5300×D600 ※見切材別計上	1.	か所			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　　改　修

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
ﾗｲﾆﾝｸﾞ甲板	ﾒﾗﾐﾝ化粧板ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ t=20 W=150 ｱｲｶ:KPA同等品	1.2	m			
ﾗｲﾆﾝｸﾞ甲板	ﾒﾗﾐﾝ化粧板ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ t=20 W=250	15.6	m			
小計						
(カーテン・ブラインド)						
ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ	ｼﾝｸﾞﾙ 静音仕様 TOSO ﾆｭｰﾃﾞﾗｯｸ同等品	335.	m			
ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ	電動 ｼﾝｸﾞﾙ TOSO ﾊﾟﾜﾌﾙ4P同等品	7.5	m			
1F保険室 天井付ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ	ｼﾝｸﾞﾙ 静音 TOSO ﾒﾃﾞｨｶﾗｲﾄ同等品	14.1	m			
1F保険室 天井付ｶｰﾃﾝﾚｰﾙｺｰﾅｰ	ｼﾝｸﾞﾙ 静音 TOSO ﾒﾃﾞｨｶﾗｲﾄ同等品	3.	か所			
AW-A106 ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	W900×H1630 横型 ﾀﾁｶﾜﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ ｼﾙｷｰ同等品	1.	か所			
小計						
(白板)						
WB-1a 平面白板	W3600×H1200 木枠映るんﾎﾞｰﾄﾞ暗線入 UDｴｺﾒｶ:電子黒板取付対応 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰｱｰﾑ:AOI-SPCM-UD	25.	か所			
WB-1b 平面白板	W4500×H1200 木枠映るんﾎﾞｰﾄﾞ暗線入 UDｴｺﾒｶ:電子黒板取付対応 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰｱｰﾑ:AOI-SPCM-UD	1.	か所			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
WB-2a 平面白板	W1200×H1200 罫引入 木枠 ﾅﾉﾎﾜｲﾄ(ｶｷﾞ枠ﾀｲﾌﾟ)	17.	か所			
WB-2b 平面白板	W3600×H1200 木枠 映るんﾎﾞｰﾄﾞ(ｶｷﾞ枠ﾀｲﾌﾟ)	3.	か所			
WB-3 平面白板	W5400×H1200 木枠映るんﾎﾞｰﾄﾞ引分白板	2.	か所			
平面白板 補強ｽﾀｯﾄﾞ	C-100×50×20×2.3 左右LGSに溶接	195.	m			
小計						
(パーティション)						
1F階段(3) ﾍﾞﾙﾄﾘｰﾙﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ	L=2400 ｽｶﾞﾈﾂ AP-BR06型同等品	1.	か所			
1F廊下(107) ﾍﾞﾙﾄﾘｰﾙﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ	L=2300 ｽｶﾞﾈﾂ AP-BR057型同等品	1.	か所			
小計						
計						

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　塗装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(外部塗装)						
軒天 EP-G塗	(ｹｲｶﾙ板面)B種 素地ごしらえ共	305.	㎡			
下り天井 EP-G塗	(ｹｲｶﾙ板面)B種 素地ごしらえ共	7.3	㎡			
壁 DP塗	既存ｱﾙﾐ板面 下地処理:ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗装	56.2	㎡			
DP塗 (細幅物)	既存配管用炭素鋼鋼管φ75 錆止め塗料 下地調整RB種共	2.8	m			
DP塗 (細幅物)	既存配管用炭素鋼鋼管φ100 錆止め塗料 下地調整RB種共	121.	m			
(内部塗装)						
壁 EP塗	PB面 素地ごしらえ共	2,371.	㎡			
壁 EP塗	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 素地ごしらえ共	20.1	㎡			
壁 EP塗	ﾓﾙﾀﾙ面 素地ごしらえ共	7.	㎡			
下り壁 EP塗	PB面 素地ごしらえ共	328.	㎡			
天井 EP塗	PB面 素地ごしらえ共	16.3	㎡			
天井 EP塗	ﾓﾙﾀﾙ面 素地ごしらえ共	3.	㎡			
下り天井 EP塗	PB面 素地ごしらえ共	30.8	㎡			
下り天井 EP塗	PB面 曲面 素地ごしらえ共	12.4	㎡			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　塗装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
壁 EP塗	既存ﾓﾙﾀﾙ面 下地調整RB種共	3,187.	㎡			
手摺壁 EP塗	既存ﾓﾙﾀﾙ面 下地調整RB種共	145.	㎡			
天井 EP塗	既存ﾓﾙﾀﾙ面 下地調整RB種共	62.1	㎡			
段裏 EP塗	既存ﾓﾙﾀﾙ面 下地調整RB種共	164.	㎡			
壁 EP-G塗	PB面 素地ごしらえ共	12.6	㎡			
壁 EP-G塗	ｹｲｶﾙ面 素地ごしらえ共	1.2	㎡			
天井 内装薄塗材E	じゅらく調ﾘｼﾝ PB面 素地ごしらえ共 ｴｽｹｰ化研 ｼﾎﾟｶｹﾝ#300同等品	51.8	㎡			
すべり台 床 UC塗	木部 床材面 素地ごしらえ共	4.9	㎡			
すべり台 天井 UC塗	木部 羽目板面 素地ごしらえ共	3.8	㎡			
UC塗	木部 踏板面 素地ごしらえ共	19.5	㎡			
UC塗 (細幅物)	木部 上り框面 素地ごしらえ共	17.4	m			
巾木 UC塗 (細幅物)	木部 巾木面 素地ごしらえ共	1.2	m			
ｻｻﾗ巾木 UC塗 (細幅物)	木部 ｻｻﾗ巾木面 素地ごしらえ共	6.5	㎡			
UC塗 (細幅物)	木部 落下防止手摺面 素地ごしらえ共	228.	m			
UC塗 (細幅物)	木部 腰壁笠木面 素地ごしらえ共	3.2	m			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　塗装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
UC塗 (細幅物)	木部 手摺笠木面 素地ごしらえ共	105.	m			
手摺壁 UC塗 (細幅物)	木部 笠木面 素地ごしらえ共	64.4	m			
UC塗	木部 飾棚面 素地ごしらえ共	11.9	㎡			
UC塗	木部 既存ｶｳﾝﾀｰ面 素地ごしらえ共	2.6	㎡			
壁 木材保護塗料(WP)	木部 羽目板面 素地ごしらえ共	6.8	㎡			
天井 木材保護塗料(WP)	木部 羽目板面 素地ごしらえ共	40.	㎡			
天井 木材保護塗料(WP)	木部 羽目板面 曲面 素地ごしらえ共	208.	㎡			
巾木 木材保護塗料(WP) (細幅物)	木部 巾木面 素地ごしらえ共	3.2	m			
壁 木材保護塗料(WP) (細幅物)	木部 見切縁面 素地ごしらえ共	247.	m			
壁 木材保護塗料(WP) (細幅物)	木部 腰壁見切縁 素地ごしらえ共	68.2	m			
木材保護塗料(WP)	木部 腰壁天端面 素地ごしらえ共	4.8	㎡			
天井 木材保護塗料(WP) (細幅物)	木部 見切縁面 素地ごしらえ共	7.4	m			
天井 木材保護塗料(WP) (細幅物)	木部 天井廻縁面 素地ごしらえ共	68.7	m			
天井 木材保護塗料(WP) (細幅物)	木部 天井見切縁面 素地ごしらえ共	17.1	m			
木材保護塗料(WP) (細幅物)	木部 見切縁面 素地ごしらえ共	143.	m			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　塗装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
木材保護塗料(WP) (細幅物)	木部 小口塞ぎ面 素地ごしらえ共	7.4	m			
木材保護塗料(WP)	木部 天板面 素地ごしらえ共	5.8	㎡			
木材保護塗料(WP)	木部 ｶｳﾝﾀｰ面 素地ごしらえ共	3.9	㎡			
木材保護塗料(WP)	木部 額縁面 素地ごしらえ共	7.4	㎡			
SOP塗 (細幅物)	鉄部 一方枠面 錆止め塗料 素地ごしらえ共	20.4	m			
SOP塗 (細幅物)	鉄部 ﾌﾞﾗｹｯﾄ面 錆止め塗料 素地ごしらえ共	49.2	m			
SOP塗	鉄部 手摺面 H=300(0.30m2/m) 錆止め塗料 素地ごしらえ共	49.2	m			
SOP塗	鉄部 手摺面 H=1100(0.72m2/m) 錆止め塗料 素地ごしらえ共	1.	m			
SOP塗	鉄部 手摺面 H=1100(1.26m2/m) 錆止め塗料 素地ごしらえ共	3.2	m			
SOP塗 (細幅物)	木部 踏板溝掘り部 素地ごしらえ共	123.	m			
SOP塗	鉄部 既存ﾌﾞﾚｰｽ面 下地調整RB種共	45.7	㎡			
SOP塗	木部 既存棚板面 下地調整RB種共	0.1	㎡			
SOP塗 (細幅物)	既存配管用炭素鋼鋼管φ100 錆止め塗料 下地調整RB種共	22.	m			
小計						
計						

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　躯体改修工事　　撤　去

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
鉄筋コンクリート 撤去	地上部 集積共	17.5	m3			
土間撤去	集積共	8.1	m3			
砕石地業撤去		7.6	m3			
カッター入れ	ｺﾝｸﾘｰﾄ面	430.	m			
計						

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　躯体改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(土工)						
根切り	つぼ・布掘	20.	m3			
埋戻し	発生土	3.1	m3			
建設発生土運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ10t積級 積込:ﾊﾞｯｸﾎｳ0.8m3 DID区間有り　運搬距離:19.5km以下	16.9	m3			
土工機械運搬費	根切り・埋戻し用	2.	往復			
砂利地業	再生材 基礎下 材工共	7.6	m3			
捨コンクリート地業	FC-18N/mm2 S15 材工共	1.5	m3			
小計						
(躯体)						
異形鉄筋	SD295　D10	1.1	t			
異形鉄筋	SD295　D13	0.3	t			
鉄筋ｽｸﾗｯﾌﾟ控除		▲0.04	t			
鉄筋加工組立	副資材,場内小運搬含む	1.3	t			
鉄筋運搬費	4t車	1.3	t			
割裂補強筋	6φ　@50　径100 材工共	21.2	m			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　躯体改修工事　　改　修

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
あと施工ｱﾝｶｰ		1	式			別紙 00-0011
土間コンクリート	FC-21N/mm2 S15	13.8	m3			
普通コンクリート	地上部 FC-21N/mm2 S18	3.3	m3			
普通コンクリート	地上部 FC-24N/mm2 S18	3.3	m3			
コンクリート打設手間	土間	13.8	m3			
コンクリート打設手間	地上部	6.6	m3			
無収縮モルタル	FC-30N/mm2 材工共	0.2	m3			
コンクリート面目荒し	床面	6.8	m3			
コンクリート面目荒し	壁面	53.9	m3			
コンクリート面目荒し	天井面	1.1	m3			
普通型枠	基礎部	1.2	㎡			
普通型枠	地上部	9.2	㎡			
打放型枠	地上部 B種	32.2	㎡			
型枠運搬費	4t車	42.6	㎡			
無収縮モルタル用型枠	H=200	7.5	㎡			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　躯体改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
打放し面補修	B種 部分目違いばらい ｺｰﾝ処理共	32.2	㎡			
小計						
計						

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　環境配慮改修工事　撤　去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(外部)						
	※特記以外､環境配慮は ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材 ﾚﾍﾞﾙ3					
屋上 床 ｱｽﾌｧﾙﾄ防水撤去	ﾓﾙﾀﾙ下地共	17.1	㎡			
屋上 立上り ｱｽﾌｧﾙﾄ防水撤去	ﾓﾙﾀﾙ下地共	7.	㎡			
軒天 ｱｽﾍﾞｽﾄﾗｯｸｽ撤去	t=6	307.	㎡			
(内部)						
	※特記以外､環境配慮は ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材 ﾚﾍﾞﾙ3					
壁 ﾀｲﾙ撤去	下地ﾓﾙﾀﾙ共	7.	㎡			
床 ﾓﾙﾀﾙ撤去	厚25	257.	㎡			
壁 ﾓﾙﾀﾙ撤去	厚20	306.	㎡			
階段 段床先端 ﾓﾙﾀﾙ撤去	W20×H158 ▽型(逆二等辺三角形)	160.	m			
床 複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ撤去	厚2.0	103.	㎡			
床 複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ撤去	厚2.0	24.	㎡			
床 ｶｰﾍﾟｯﾄ撤去	厚6.5 接着剤	141.	㎡			
床 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ撤去	厚6.5 接着剤	118.	㎡			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　環境配慮改修工事　　撤　去

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
壁 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ撤去		57.6	㎡			
ｸﾛｽ撤去	掲示用ｸﾛｽ	173.	㎡			
壁 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ撤去	厚12.5+9.5	83.7	㎡			
壁 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ撤去	厚12.5+12.5	230.	㎡			
天井 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ撤去	厚9	19.2	㎡			
天井 岩綿吸音板撤去	厚9 捨貼GB-R厚9共	4,102.	㎡			
天井 岩綿吸音板撤去	厚9 捨貼GB-R厚12共	598.	㎡			
斜め天井 岩綿吸音板撤去	厚9 捨貼GB-R厚9共	33.2	㎡			
下り天井 岩綿吸音板撤去	厚9 捨貼GB-R厚9共	1.2	㎡			
下り天井 岩綿吸音板撤去	厚9 捨貼GB-R厚12共	8.6	㎡			
天井 ｱｽﾍﾞｽﾄﾗｯｸｽ撤去	厚6	122.	㎡			
小計						
計						

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　発生材処理　運　搬

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(躯体改修)						
発生材積込	砕石塊	7.6	m3			
発生材積込	有筋ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	32.2	m3			
発生材運搬	砕石塊	7.6	m3			
発生材運搬	有筋ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	32.2	m3			
(内外装改修)						
発生材積込	有筋ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	6.8	m3			
発生材積込	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品	16.2	m3			
発生材積込	木屑類	34.7	m3			
発生材積込	ｶﾞﾗｽ・陶器類	17.6	m3			
発生材積込	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	2.2	m3			
発生材積込	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ類	31.2	m3			
発生材積込	繊維くず	0.5	m3			
発生材積込	管理型混合廃棄物	161.	m3			
発生材積込	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有(Lv3) がれき類	13.5	m3			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　発生材処理　運　搬

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材積込	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有(Lv3) ﾎﾞｰﾄﾞ類	97.8	m3			
発生材積込	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有(Lv3) 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	2.1	m3			
発生材運搬	有筋ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	6.8	m3			
発生材運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品	16.2	m3			
発生材運搬	木屑類	34.7	m3			
発生材運搬	ｶﾞﾗｽ・陶器類	17.6	m3			
発生材運搬	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	2.2	m3			
発生材運搬	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ類	31.2	m3			
発生材運搬	繊維くず	0.5	m3			
発生材運搬	管理型混合廃棄物	161.	m3			
発生材運搬	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有(Lv3) がれき類	13.5	m3			
発生材運搬	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有(Lv3) ﾎﾞｰﾄﾞ類	97.8	m3			
発生材運搬	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有(Lv3) 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	2.1	m3			
計						

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　発生材処理　処分費

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(躯体改修)						
発生材処分	砕石塊	7.6	m3			
発生材処分	有筋ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	32.2	m3			
発生材処分(スクラップ処分)	鉄類(H2)	▲1.6	t			
(内外装改修)						
発生材処分	有筋ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	6.8	m3			
発生材処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品	16.2	m3			
発生材処分	木屑類	34.7	m3			
発生材処分	ｶﾞﾗｽ・陶器類	17.6	m3			
発生材処分	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	2.2	m3			
発生材処分	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ類	31.2	m3			
発生材処分	繊維くず	0.5	m3			
発生材処分	管理型混合廃棄物	161.	m3			
発生材処分	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有(Lv3)がれき類	13.5	m3			
発生材処分	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有(Lv3)ﾎﾞｰﾄﾞ類	97.8	m3			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　発生材処理　処分費

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材処分	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有(Lv3) 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	2.1	m3			
有価物売却費	鉄類(H4)	▲17.2	t			
有価物売却費	ｱﾙﾐ類	▲9.2	t			
計						

長寿命化大規模改修工事(体育館部分)【補助対象】

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
直接仮設工事	1	式		
防水改修工事	1	式		
外壁改修工事	1	式		
建具改修工事	1	式		
内装改修工事	1	式		
塗装改修工事	1	式		
環境配慮改修工事	1	式		
発生材処理	1	式		
計				

長寿命化大規模改修工事(体育館部分)【補助対象】

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設工事		1	式		
計					
防水改修工事	撤　去	1	式		
防水改修工事	改　修	1	式		
計					
外壁改修工事	撤　去	1	式		
外壁改修工事	改　修	1	式		
計					
建具改修工事	撤　去	1	式		
建具改修工事	改　修 ＜軽量鋼製建具＞	1	式		
建具改修工事	改　修 ＜カーテンウォール＞	1	式		
建具改修工事	改　修 ＜ガラス＞	1	式		
建具改修工事	改　修 ＜その他＞	1	式		
計					
内装改修工事	撤　去	1	式		

長寿命化大規模改修工事(体育館部分)【補助対象】

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
内装改修工事	改　修	1	式		
計					
塗装改修工事	改　修	1	式		
計					
環境配慮改修工事	撤　去	1	式		
計					
発生材処理	運　搬	1	式		
発生材処理	処分費	1	式		
計					

長寿命化大規模改修工事(体育館部分)【補助対象】　直接仮設工事

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
墨出し		1	式			別紙 00-0012
養生		1	式			別紙 00-0013
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0014
外部足場		1	式			別紙 00-0015
内部仕上足場		1	式			別紙 00-0016
災害防止		1	式			別紙 00-0017
計						

長寿命化大規模改修工事(体育館部分)【補助対象】　防水改修工事　撤　去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
屋上 立上り ｼｰﾄ防水撤去		65.4	㎡			
屋上 立上り 防水押え金物撤去		114.	m			
屋上 水切撤去	ｱﾙﾐ製	23.5	m			
ﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ撤去	鋳鉄製　φ100　竪型	3.	か所			
計						

長寿命化大規模改修工事(体育館部分)【補助対象】　防水改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(外部)						
屋上 床 ｼｰﾄ防水	高耐候性 塩化ﾋﾞﾆﾙ樹脂系 t=1.5 硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ t=35 断熱機械固定方法 元旦ﾋﾞｭｰﾃｨｰ:ｻｰﾅﾙｰﾌ同等品 既存面下地処理共	759.	㎡			
屋上排水溝 床 ｼｰﾄ防水	高耐候性 塩化ﾋﾞﾆﾙ樹脂系 t=1.5 硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ t=35 断熱機械固定方法 元旦ﾋﾞｭｰﾃｨｰ:ｻｰﾅﾙｰﾌ同等品 既存面下地処理共	21.2	㎡			
屋上 立上り ｼｰﾄ防水	高耐候性 塩化ﾋﾞﾆﾙ樹脂系 t=1.5 既存面下地処理共	58.1	㎡			
屋上 立上り ｼｰﾄ防水	高耐候性 塩化ﾋﾞﾆﾙ樹脂系 t=1.5 硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ t=35 既存面下地処理共	33.7	㎡			
屋上排水溝 立上 ｼｰﾄ防水	高耐候性 塩化ﾋﾞﾆﾙ樹脂系 t=1.5 既存面下地処理共	31.7	㎡			
屋上 立上り 防水押え金物	ｱﾙﾐ製 5×30 ｼｰﾘﾝｸﾞ共	114.	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2):30×25	23.5	m			
屋上 水切	ｶﾗｰGL鋼板 t=0.4 W=70	23.5	m			
ﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ1	改修ﾄﾞﾚｲﾝ+鋳鉄製φ100 竪型 ｼｰﾄ防水用	3.	か所			
計						

長寿命化大規模改修工事(体育館部分)【補助対象】　外壁改修工事　撤　去

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
打継目地ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	20×20	30.6	m			
計						

長寿命化大規模改修工事(体育館部分)【補助対象】　外壁改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
壁 既存塗料高圧洗浄		300.	㎡			
壁 外断熱工法	ﾌｨﾆｯｼｭｺｰﾄ+ﾍﾞｰｽｺｰﾄ+ ｸﾞﾗｽﾌｧｲﾊﾞｰ製ﾒｯｼｭ+ 防蟻断熱材 t=50 接着工法 ｻﾝｸﾋﾞｯﾄ:ﾄﾞﾗｲﾋﾞｯﾄｱｳｻﾚｰｼｮﾝ同等品 既存面下地処理共	7.6	㎡			
壁 外断熱工法	ﾌｨﾆｯｼｭｺｰﾄ+ﾍﾞｰｽｺｰﾄ+ ｸﾞﾗｽﾌｧｲﾊﾞｰ製ﾒｯｼｭ+ EPS断熱材 t=50 ｱﾝｶｰ併用接着工法 ｻﾝｸﾋﾞｯﾄ:ﾄﾞﾗｲﾋﾞｯﾄｱｳｻﾚｰｼｮﾝ同等品 既存面下地処理共	21.4	㎡			
壁 外装薄塗材E	既存面下地処理共	271.	㎡			
打継目地 ｼｰﾘﾝｸﾞ	ﾎﾟﾘｻﾙﾌｧｲﾄﾞ系 20×20+20×20 ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ材共	30.6	m			
計						

長寿命化大規模改修工事(体育館部分)【補助対象】　建具改修工事　撤　去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
S-6 鋼製建具撤去	W1650×H2125 枠共	2.	か所			
SS-4 鋼製ｼｬｯﾀｰ撤去	W5240×H4500 枠､ｼｬｯﾀｰﾎﾞｯｸｽ共	2.	か所			
A-47 ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ部分撤去	W30340×H9620~10520 突出し窓固定 ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ撤去 引違部は撤去とする	1.	か所			
A-50 ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ部分撤去	W30340×H2420 突出し窓固定 ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ撤去	1.	か所			
ｶﾞﾗｽ撤去		322.	m^2			
建具廻りｼｰﾘﾝｸﾞ 撤去	15×10	83.5	m			
ｶｯﾀｰ切		40.3	m			
計						

長寿命化大規模改修工事(体育館部分)【補助対象】　建具改修工事　　改　修＜軽量鋼製建具＞

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
＜軽量ｽﾁｰﾙ特記＞	特記無き限り下記とする 亜鉛ﾒｯｷ鋼板 扉:A-BE 枠見込:360 扉見込:38					
LSD-B101 両開戸	W1650×H2100	2.	か所			
計						

長寿命化大規模改修工事(体育館部分)【補助対象】　建具改修工事　　改　修＜カーテンウォール＞

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
ACW-B101 ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ改造	W30340×H9620~10420 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ面は再塗装(別計上) 引違部ｶﾊﾞｰ工法にて取替え ｽﾁｰﾙ額縁共 既存建具撤去共 ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ撤去 既存部品撤去、窓固定・調整工事	1.	か所			
ACW-B301 ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ改造	W30340×H2420 ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ撤去 既存部品撤去、窓固定・調整工事	1.	か所			
ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙｸﾘｰﾆﾝｸﾞ		371.	㎡			
計						

長寿命化大規模改修工事(体育館部分)【補助対象】　建具改修工事　　改　修＜ガラス＞

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
＜ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ＞						
Low-E断熱複層 ｶﾞﾗｽ	Low-E4+A12+ST4 2.00m2以下	312.	㎡			
ｶﾞﾗｽ押えｼｰﾘﾝｸﾞ	(片面施工)	2,234.	m			
ｶﾞﾗｽ清掃	(両面)	312.	㎡			
計						

長寿命化大規模改修工事(体育館部分)【補助対象】　建具改修工事　　改　修＜その他＞

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
(防水)						
既存ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ 建具廻り 二重ｼｰﾘﾝｸﾞ	変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2):15×10+15×10	149.	m			
(左官)						
建具廻り ﾓﾙﾀﾙ詰		3.3	m			
(塗装)						
ACW-B101 DP塗	既存ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ面	26.1	㎡			
ACW-B101 SOP塗	既存ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ面	26.1	㎡			
SOP塗 (細幅物)	鋼製建具面(枠部) 錆止め塗料 素地ごしらえ共 糸-401~500	11.7	m			
計						

長寿命化大規模改修工事(体育館部分)【補助対象】　内装改修工事　撤　去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
天井 軽量鉄骨天井下地 撤去	19形	20.2	㎡			
体育館 X10通り ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ(膳板) 撤去	ｽﾁｰﾙPL-1.6加工 PL-2.3 W=100 @450共 W50+370+(30)×H90･30 ⌐_型 糸=570	30.4	m			
体育館 X10通り ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ(膳板) 撤去	ｽﾁｰﾙPL-1.6加工 W565+(30)×H30 ⌐型 糸=625	30.4	m			
体育館 X10通り ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ撤去	ｽﾁｰﾙPL-1.6加工 W430+(30)×H30 ⌐型 糸=490	30.4	m			
体育館 X7通り ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ撤去	ｽﾁｰﾙPL-1.6加工 W530+(30)×H30 ⌐型 糸=590	30.4	m			
体育館 X10通り 下り壁見切撤去	ｽﾁｰﾙPL-2.3加工 90×30	30.4	m			
体育館 (ｲ) 防球ﾈｯﾄ金具撤去	FB-50×9 φ13穴明 L=150	10.	か所			
体育館 (ﾊ) 防球ﾈｯﾄ金具撤去	FB-50×9 φ13穴明 L=350	3.	か所			
1Fｽﾃｰｼﾞ SS-4 下り壁見切枠撤去	PL 厚1.6 260×30	10.9	m			
1F庫､ｽﾃｰｼﾞ 床下点検口撤去	600角	9.	か所			
床 塗床撤去	厚1.0	34.5	㎡			
壁 布貼撤去		196.	㎡			
柱 布貼撤去		11.2	㎡			
天井 廻縁撤去	ﾋﾞﾆﾙ製	62.4	m			

長寿命化大規模改修工事(体育館部分)【補助対象】　内装改修工事　撤　去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
体育館A-47、49、50 電動暗幕撤去		439.	㎡			
体育館 A-47 電動遮光ｶｰﾃﾝ撤去	ｼｬﾜｰｶｰﾃﾝ	326.	㎡			
体育館 基礎天板蓋撤去	ﾊﾞﾄﾐﾝﾄﾝ用 ﾌﾀ、ﾌﾛｱｰﾌﾟﾚｰﾄ:ｱﾙﾐ合金 133×110 KD054M30 AS型天板 木ﾋﾞｽ付 同等品	6.	か所			
体育館 基礎天板蓋撤去	ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ用 ﾌﾀ、ﾌﾛｱｰﾌﾟﾚｰﾄ:ｱﾙﾐ合金 170×146 KA164M30 AS型天板 木ﾋﾞｽ付 同等品	6.	か所			
体育館 ﾒｲﾝ 吊下ﾊﾞｽｹｯﾄｺﾞｰﾙ 撤去	ﾊﾞｯｸﾎﾞｰﾄﾞ:ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ板 W1800×H1050 前方吊上げ投光電動式 ｼｮｯｸｱﾌﾞｿｰﾊﾞｰ搭載 急速降下緩衝装置付 日本ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ協会検定品 DA213571同等品 (ISO9001 国際品質保証規格 認証取得企業製製造品)	1.	か所			
体育館 ﾒｲﾝ 折畳ﾊﾞｽｹｯﾄｺﾞｰﾙ 撤去	ﾊﾞｯｸﾎﾞｰﾄﾞ:ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ板 W1800×H1050 壁面固定折畳床ﾊﾝﾄﾞﾙ操作式 日本ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ協会検定品 DC112500同等品 (ISO9001 国際品質保証規格 認証取得企業製製造品)	1.	か所			
体育館 ﾐﾆﾊﾞｽｹｯﾄｺﾞｰﾙ撤去	POP板 日本ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ協会検定品 W1200×H900 ﾌﾚｰﾑ共	4.	か所			
体育館 中央部 ｾﾊﾟﾚｰﾀｰ 防球ﾈｯﾄ 撤去	ﾈｯﾄﾊﾞﾚｰ目 DK30 防球ﾈｯﾄ車 ﾀﾞﾌﾞﾙ ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙφ13 ﾜｲﾔｰﾛｰﾌﾟ φ5 移動環 操作ﾛｰﾌﾟ:ｻｲｻﾞﾙ芯入φ8					

長寿命化大規模改修工事(体育館部分)【補助対象】　内装改修工事　撤　去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	W21700×H10800	1.	か所			
体育館 ｽﾃｰｼﾞ前 防球ﾈｯﾄ 撤去	ﾈｯﾄﾊﾞﾚｰ目 DK30 防球ﾈｯﾄ車 ﾜｲﾔｰﾛｰﾌﾟ φ5 移動環 操作ﾛｰﾌﾟ:ｻｲｻﾞﾙ芯入 φ8 W14000×H8020	1.	か所			
体育館 X7通り 側面窓部 防球ﾈｯﾄ 撤去	ﾈｯﾄﾊﾞﾚｰ目 DK30 ﾜｲﾔｰﾛｰﾌﾟ φ5 移動環 操作ﾛｰﾌﾟ:ｻｲｻﾞﾙ芯入 φ8 W31000×H6500	1.	か所			
体育館 X10通り 側面窓部 防球ﾈｯﾄ 撤去	ﾈｯﾄﾊﾞﾚｰ目 DK30 ﾜｲﾔｰﾛｰﾌﾟ φ5 移動環 操作ﾛｰﾌﾟ:ｻｲｻﾞﾙ芯入 φ8 W31000×H2500	1.	か所			
1Fｽﾃｰｼﾞ 電動映写ｽｸﾘｰﾝ 撤去	W8000×H3000	1.	か所			
消火器ﾎﾞｯｸｽ撤去	集成材 厚35 300×300 (RC部掘込みに下端のみ)	4.	か所			
1Fｽﾃｰｼﾞ 棚撤去	扉:厚4 ｼﾅﾍﾞﾆﾔﾌﾗｯｼｭ OP ﾏｸﾞｷｬｯﾁ、鍵付 内部:厚3 ｼﾅﾍﾞﾆﾔﾌﾗｯｼｭ OP 棚板:厚25 ﾍﾞﾆﾔﾌﾗｯｼｭ 4段 取外し可 W1790×540×H1200	1.	か所			
S-6 鋼製建具撤去	W1650×H2125 枠共	2.	か所			
SS-4 鋼製ｼｬｯﾀｰ撤去	W5240×H4500 枠、ｼｬｯﾀｰﾎﾞｯｸｽ共	2.	か所			
ｶｯﾀｰ切		40.3	m			
計						

長寿命化大規模改修工事(体育館部分)【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(床)						
体育館～廊下 階段 踏板(1段目)	ﾅﾗ集成材 t=30 W=325 木下地共	30.4	m			
体育館～廊下 階段 踏板(最上段)	ﾅﾗ集成材 t=30 W=80 木下地共	30.4	m			
体育館～廊下 階段 滑り止め溝加工	3本	60.7	m			
体育館～廊下 階段 蹴込板	ﾅﾗ集成材 厚15 H=180 木下地共	60.7	m			
床 ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭ	φ6 @100 ﾓﾙﾀﾙ内	34.4	㎡			
床 ﾓﾙﾀﾙ金鏝	塗床下 t=130	34.4	㎡			
床 塗床	ﾓﾙﾀﾙ面 厚膜型硬質ｳﾚﾀﾝ樹脂 耐衝撃･耐摩耗 ABC商会 ﾋﾞｭｰｺｰﾄ同等品	34.4	㎡			
床 複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	厚15 ｶﾊﾞ 塗装品 北海道ﾊﾟｰｹｯﾄ工業 M6ﾗｲﾝ 置床面	26.	㎡			
体育館 床 ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ張替	ﾅﾗﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ t=18 1820×455	10.	か所			
床ｳﾚﾀﾝ塗装	3回塗 既存ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ面 研磨共	802.	㎡			
床 乾式二重床	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ下 H=100 特殊高比重合板 t=15 文教施設用低床型置床 三洋工業 MPﾌﾛｱEﾀｲﾌﾟ同等品	26.	㎡			
床 際根太	H=100	63.4	m			

長寿命化大規模改修工事(体育館部分)【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
床 EXPｺﾞﾑ	15×15	63.4	m			
小計						
(幅木・壁)						
巾木 ﾋﾞﾆﾙ巾木	H=60 東リ ソフト巾木同等品	41.7	m			
ｻｻﾗ巾木 ﾋﾞﾆﾙ巾木	H60～210	1.2	m			
壁 軽量鉄骨胴縁下地	W=100 @450	125.	㎡			
軽量鉄骨壁下地 開口補強		1	式			別紙 00-0018
ｼﾞｬｼﾞｰｸﾛｽ	H=90 既存FS板目地面 下地調整RB種共	1,031.	m			
壁 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	GB-R t=12.5+12.5 内装薄塗材下 LGS面	166.	㎡			
壁 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	GB-R t=12.5+12.5 ﾌﾄｺﾛ内 LGS面	8.5	㎡			
壁 珪酸ｶﾙｼｳﾑ板	既存ｹｲｶﾙ板面 t=6 塗装下 下地調整RB種共	10.3	㎡			
小計						
(天井)						
天井 軽量鉄骨天井下地	19形 直貼岩吸板用 ふところ高1.5m未満	16.9	㎡			
天井 岩綿吸音板	ﾌﾗｯﾄ t=9 不燃 直張り	16.9	㎡			

長寿命化大規模改修工事(体育館部分)【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
天井 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	GB-R t=9.5 ｸﾞﾗｽｳｰﾙﾎﾞｰﾄﾞ下 LGS面	723.	㎡			
天井廻り縁	ﾋﾞﾆｰﾙ製	49.8	m			
小計						
(その他)						
体育館 7通り (2～3F) 額縁	杉 230×30	29.6	m			
体育館 10通り (2F) 膳板	杉 t=30 W370+50×H200	30.4	m			
体育館 10通り (3F) 膳板	杉 590×30	30.4	m			
体育館 7通り (3F) 膳板	杉 230×30	30.4	m			
体育館 既存壁ﾎﾞｰﾄﾞ目地 壁面押縁	杉 24×30	2,063.	m			
ｽﾃｰｼﾞ 下り壁見切	杉 250×25	10.9	m			
体育館～廊下 下り壁見切	杉 150×30	24.2	m			
体育館 7通り (1F) ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ	杉 t=25 W230×H150 Π型	30.4	m			
体育館 Y7通り (2～3F) ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ	杉 t=25 W230×H150 Π型	14.9	m			
ｽﾃｰｼﾞ ｽｸﾘｰﾝ用天板	ｽﾌﾟﾙｽ集成材 t=25	22.8	㎡			
床下点検口	ｱﾙﾐ製 鍵付 600角	9.	か所			

長寿命化大規模改修工事(体育館部分)【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
天井点検口	外枠額縁､内枠目地ﾀｲﾌﾟ 450角	1.	か所			
ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙA	ﾜｲﾔ式 荒川技研 ﾜｲﾔｰｼｽﾃﾑ同等品	24.2	m			
体育館 床 ﾊﾟﾃ処理	2～15mm L=600mm 50か所	1	式			
体育館 床 EXPｺﾞﾑ交換		30.	m			
小計						
(カーテン)						
ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ	電動 ｼﾝｸﾞﾙ TOSO ﾊﾟﾜﾌﾙ4P同等品	104.	m			
体育館 ACW-B105 (1F) ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ(手動)	ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ(ｼﾝｸﾞﾙ)紐引き 紐引きｶｰﾃﾝﾚｰﾙ TOSO 中型紐引き組立ｾｯﾄ同等品	30.4	m			
小計						
(体育器具)						
体育館 1 ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙｺｰﾄﾗｲﾝ	実線 ﾗｲﾝ幅50mm 26000×15000	1.	面			
体育館 2 ﾐﾆﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙｺｰﾄﾗｲﾝ	実線 ﾗｲﾝ幅50mm 22000×12000	2.	面			
体育館 3 ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙｺｰﾄﾗｲﾝ (6人制)	実線 ﾗｲﾝ幅50mm 18000×9000	1.	面			
体育館 4 ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙｺｰﾄﾗｲﾝ (6人制)	実線 ﾗｲﾝ幅50mm 18000×9000	2.	面			

長寿命化大規模改修工事(体育館部分)【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
体育館 5 ﾊﾞﾄﾐﾝﾄﾝｺｰﾄﾗｲﾝ	実線 ﾗｲﾝ幅40mm 13400×6100	3.	面			
体育館 基礎天板蓋	ﾊﾞﾄﾐﾝﾄﾝ用 ﾌﾀ､ﾌﾛｱｰﾌﾟﾚｰﾄ:ｱﾙﾐ合金 133×110 KD054M30 AS型天板 木ﾋﾞｽ付同等品	6.	か所			
体育館 基礎天板蓋	ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ用 ﾌﾀ､ﾌﾛｱｰﾌﾟﾚｰﾄ:ｱﾙﾐ合金 170×146 KA164M30 AS型天板 木ﾋﾞｽ付同等品	6.	か所			
体育館 吊下ﾊﾞｽｹｯﾄｺﾞｰﾙ	ﾊﾞｯｸﾎﾞｰﾄﾞ:ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ板 W1800×H1050 前方吊上げ投光電動式 ｼｮｯｸｱﾌﾞｿｰﾊﾞｰ搭載 急速降下緩衝装置付 日本ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ協会検定品 DA213571同等品 (ISO9001 国際品質保証規格 認証取得企業製製造品) 取付材共	1.	か所			
体育館 折畳ﾊﾞｽｹｯﾄｺﾞｰﾙ	ﾊﾞｯｸﾎﾞｰﾄﾞ:ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ板 W1800×H1050 壁面固定折畳床ﾊﾝﾄﾞﾙ操作式 日本ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ協会検定品 DC112500同等品 (ISO9001 国際品質保証規格 認証取得企業製製造品) 基材､ﾌﾚｰﾑ 等共	1.	か所			
体育館 折畳ﾊﾞｽｹｯﾄｺﾞｰﾙ (ｻﾌﾞ)	ﾊﾞｯｸﾎﾞｰﾄﾞ:(ﾐﾆ)ﾀﾞｸﾞﾗｽﾌﾗｯｼｭ板 W1200×H800 壁面固定折畳床ﾊﾝﾄﾞﾙ操作式 日本ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ協会検定品 DC112200同等品 (ISO9001 国際品質保証規格 認証取得企業製製造品) 取付用受材:既存利用 基材､ﾌﾚｰﾑ 等共	4.	か所			
体育館 ｾﾊﾟﾚｰﾄﾈｯﾄ	片開き手引式 ﾈｯﾄ:ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ110mm目 色:ｸﾞﾘｰﾝ 渡しﾊﾟｲﾌﾟ:φ60.5					

長寿命化大規模改修工事(体育館部分)【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	ﾜｲﾔｰﾛｰﾌﾟ：φ6 移動環共 挟込み金具:@1975、重り袋1kg:2ヶ共 W21700×H10860 HA310000同等品 (ISO9001 国際品質保証規格 認証取得企業製製造品)	1.	か所			
体育館 X7通り 上部窓前固定ﾈｯﾄ	ﾈｯﾄ:ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ110mm目 色:ｸﾞﾘｰﾝ ﾜｲﾔｰﾛｰﾌﾟ：φ6 上下:移動環共 挟込み金具:H鋼に固定 両端固定金具:ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ固定 W30170×H7570 HA490000同等品 (ISO9001 国際品質保証規格 認証取得企業製製造品)	1.	か所			
体育館 X7通り 下部窓前固定ﾈｯﾄ	ﾈｯﾄ:ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ110mm目 色:ｸﾞﾘｰﾝ ﾜｲﾔｰﾛｰﾌﾟ：φ6 上:移動環共 挟込み金具:H鋼に固定 両端固定金具:ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ固定 重り袋1kg:5ヶ共 W30170×H2200 HA490100同等品 (ISO9001 国際品質保証規格 認証取得企業製製造品)	1.	か所			
体育館 X10通り 窓前防球ﾈｯﾄ	<3F:ACW-B301部分> ﾈｯﾄ:ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ110mm目 色:ｸﾞﾘｰﾝ ﾜｲﾔｰﾛｰﾌﾟ：φ6 上:移動環共 ﾜｲﾔｰ張用 受材 FB-50×9 φ13 既存再利用 上部窓前 固定ﾈｯﾄ W30170×H2500 HA490200同等品(ISO9001 国際品質 保証規格認証取得企業製製品)	1	式			
小計						
(舞台吊物機構)						
ｽﾃｰｼﾞ 引割緞帳	W15000×H6500(両開き) 舞台用難燃性起毛幕地 2倍ﾋﾀﾞ 150ﾌﾚﾝｼﾞ 緞帳用電動開閉式 単相100V120W 電動開閉機×2 40型ﾚｰﾙ共 天板直付	1.	か所			

長寿命化大規模改修工事(体育館部分)【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｽﾃｰｼﾞ 美術ﾊﾞﾄﾝ	L=6000 38ﾐﾘSUSﾊﾟｲﾌﾟ　電動昇降方式 (ｼｬﾌﾄﾄﾞﾗｲﾌﾞ直巻上げ方式) 3φﾜｲﾔｰ 4点吊 単相100V200W電動昇降機 制御装置内蔵 安全吊下げ荷重: 50kg(均等荷重) 天板直付	1.	か所			
ｽﾃｰｼﾞ 電動ｽｸﾘｰﾝ	電動昇降式ｽｸﾘｰﾝ ﾊｲﾋﾞｼﾞｮﾝｻｲｽﾞ 16:9 300ｲﾝﾁ相当 (ﾎﾜｲﾄ:全面ﾎﾜｲﾄ) ｹｰｽ入 ｽｸﾘｰﾝ用電動ﾄﾞﾗﾑ巻上げ式 単相100V200W電動昇降機 制御装置内蔵 上黒:H2000 特別仕様 天板直付	1.	か所			
小計						
(ｻｲﾝ)						
S-3 突出_室名ｻｲﾝ	W325×D25×H100	2.	か所			
小計						
計						

長寿命化大規模改修工事(体育館部分)【補助対象】　塗装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(外部)						
DP塗 (細幅物)	既存配管用炭素鋼鋼管φ100 錆止め塗料 下地調整RB種共	1.8	m			
(内部)						
壁 EP塗	ｹｲｶﾙ板面 素地ごしらえ共	10.3	㎡			
壁 EP塗	既存ｺﾝｸﾘｰﾄ面 下地調整RB種共	131.	㎡			
壁 EP塗	既存ﾓﾙﾀﾙ面 下地調整RB種共	201.	㎡			
天井 EP塗	既存ｺﾝｸﾘｰﾄ面 下地調整RB種共	41.4	㎡			
天井 EP塗	既存ﾊﾟﾗﾎﾞｰﾄﾞ面 下地調整RB種共	723.	㎡			
壁 内装薄塗材E	じゅらく調ﾘｼﾝ PB面 素地ごしらえ共 ｴｽｹｰ化研 ｼﾎﾟｶｹﾝ#300同等品	166.	㎡			
壁 内装薄塗材E	じゅらく調ﾘｼﾝ 既存PB面 下地調整RB種 ｴｽｹｰ化研 ｼﾎﾟｶｹﾝ#300同等品	199.	㎡			
壁 内装薄塗材E	じゅらく調ﾘｼﾝ 既存FS板面 下地調整RB種 ｴｽｹｰ化研 ｼﾎﾟｶｹﾝ#300同等品	564.	㎡			
天井 内装薄塗材E	じゅらく調ﾘｼﾝ 既存FS板面 下地調整RB種 ｴｽｹｰ化研 ｼﾎﾟｶｹﾝ#300同等品	90.3	㎡			
体育館 床 UC塗	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ張替面 素地ごしらえ共	8.3	㎡			
段床 UC塗	木部 既存木製階段面 研磨共 素地ごしらえ共	8.4	㎡			
巾木 UC塗 (細幅物)	木部 既存巾木面 研磨共 素地ごしらえ共	73.2	m			

長寿命化大規模改修工事(体育館部分)【補助対象】　塗装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｻｻﾗ巾木 UC塗	木部 既存巾木面 研磨共 素地ごしらえ共	15.8	m			
UC塗	木部 既存ｽﾃｰｼﾞ木幕面 研磨共 素地ごしらえ共	25.	㎡			
UC塗	木部 既存框面 研磨共 素地ごしらえ共	2.4	㎡			
UC塗 (細幅物)	木部 既存框面 研磨共 素地ごしらえ共	25.2	m			
UC塗	木部 既存柱型ｶﾊﾞｰ面 研磨共 素地ごしらえ共	8.9	㎡			
体育館～廊下 階段 木材保護塗料(WP)	木部 踏板､蹴込板面 素地ごしらえ共	23.4	㎡			
体育館～廊下 木材保護塗料(WP) (細幅物)	木部 下り壁見切面 素地ごしらえ共	24.2	m			
木材保護塗料(WP) (細幅物)	木部 壁面押縁面 素地ごしらえ共	2,063.	m			
木材保護塗料(WP)	木部 額縁面 素地ごしらえ共	9.2	㎡			
木材保護塗料(WP)	木部 膳板面 素地ごしらえ共	41.	㎡			
木材保護塗料(WP)	木部 ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ面 素地ごしらえ共	43.3	㎡			
木材保護塗料(WP) (細幅物)	木部 既存膳板面 研磨共 下地調整RB種共	26.7	m			
SOP塗	木部 ｽｸﾘｰﾝ用天板面 素地ごしらえ共	22.8	㎡			
SOP塗	木部 下り壁見切面 素地ごしらえ共	3.5	㎡			
体育館～廊下 階段 段鼻 SOP塗(細幅物)	木部 滑り止め溝加工3本部 細幅物 素地ごしらえ共	60.7	m			

長寿命化大規模改修工事(体育館部分)【補助対象】　塗装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
SOP塗	既存鉄骨ﾋｰﾀｰ取付補強面 下地調整RB種共	24.4	㎡			
SOP塗	鉄部 既存鋼製手摺面 下地調整RB種共	10.3	㎡			
ｽﾃｰｼﾞ SOP塗	鉄部 既存各種ﾎﾞｯｸｽ面 下地調整RB種共	74.1	㎡			
SOP塗	鉄部 既存ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ面 下地調整RB種共	115.	㎡			
SOP塗	既存鉄骨ﾄﾗｽ面 下地調整RB種共 錆部再塗装程度	148.	㎡			
SOP塗	既存鉄骨柱面 下地調整RB種共	123.	㎡			
SOP塗	既存鉄骨胴縁面 下地調整RB種共	66.7	㎡			
計						

長寿命化大規模改修工事(体育館部分)【補助対象】　環境配慮改修工事　撤　去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(外部)						
	※特記以外､環境配慮は ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材 ﾚﾍﾞﾙ3					
屋上 立上り ｱｽﾌｧﾙﾄ防水撤去	ﾓﾙﾀﾙ下地共	65.4	㎡			
(内部)						
	※特記以外､環境配慮は ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材 ﾚﾍﾞﾙ3					
天井 岩綿吸音板撤去	厚9 捨貼GB-R厚9共	20.2	㎡			
計						

長寿命化大規模改修工事(体育館部分)【補助対象】　発生材処理　運　搬

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材積込	木屑類	0.1	m3			
発生材積込	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	0.1	m3			
発生材積込	ｶﾞﾗｽ・陶器類	1.6	m3			
発生材積込	管理型混合廃棄物	2.4	m3			
発生材積込	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有(Lv3) ﾎﾞｰﾄﾞ類	0.4	m3			
発生材運搬	木屑類	0.1	m3			
発生材運搬	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	0.1	m3			
発生材運搬	ｶﾞﾗｽ・陶器類	1.6	m3			
発生材運搬	管理型混合廃棄物	2.4	m3			
発生材運搬	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有(Lv3) ﾎﾞｰﾄﾞ類	0.4	m3			
計						

長寿命化大規模改修工事(体育館部分)【補助対象】　発生材処理　処分費

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材処分	木屑類	0.1	m3			
発生材処分	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	0.1	m3			
発生材処分	ｶﾞﾗｽ・陶器類	1.6	m3			
発生材処分	管理型混合廃棄物	2.4	m3			
発生材処分	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有(Lv3) ﾎﾞｰﾄﾞ類	0.4	m3			
有価物売却費	鉄類(H2)	▲0.6	t			
有価物売却費	鉄類(H4)	▲1.9	t			
有価物売却費	ｱﾙﾐ類	▲0.4	t			
計						

トイレ整備工事【補助対象】

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
直接仮設工事	1	式		
防水改修工事	1	式		
建具改修工事	1	式		
内装改修工事	1	式		
塗装改修工事	1	式		
環境配慮改修工事	1	式		
発生材処理	1	式		
計				

トイレ整備工事【補助対象】

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設工事		1	式		
計					
防水改修工事	改　修	1	式		
計					
建具改修工事	撤　去	1	式		
建具改修工事	改　修 ＜木製建具枠＞	1	式		
建具改修工事	改　修 ＜木製建具＞	1	式		
建具改修工事	改　修 ＜軽量鋼製建具＞	1	式		
建具改修工事	改　修 ＜ガラス＞	1	式		
建具改修工事	改　修 ＜その他＞	1	式		
計					
内装改修工事	撤　去	1	式		
内装改修工事	改　修	1	式		
計					
塗装改修工事	改　修	1	式		

トイレ整備工事【補助対象】

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
計					
環境配慮改修工事	撤　去	1	式		
計					
発生材処理	運　搬	1	式		
発生材処理	処分費	1	式		
計					

トイレ整備工事【補助対象】　直接仮設工事

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
墨出し		1	式			別紙 00-0019
養生		1	式			別紙 00-0020
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0021
脚立足場		1	式			別紙 00-0022
計						

トイレ整備工事【補助対象】	防水改修工事	改　修

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
(内部)						
ｼｰﾘﾝｸﾞ	ｼﾘｺｰﾝ系(SR-1):10×10 防ｶﾋﾞ	69.7	m			
計						

トイレ整備工事【補助対象】　建具改修工事　撤　去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
W-9 木製建具撤去	W810×H2050 枠共	2.	か所			
W-10 木製建具撤去	W550×H1800 枠共	53.	か所			
W-11 木製建具撤去	W550×H1800 枠共	1.	か所			
W-12 木製建具撤去	W705×H1800 枠共	8.	か所			
W-13 木製建具撤去	W1100×H1800 枠共	4.	か所			
ｶｯﾀｰ切		47.2	m			
計						

トイレ整備工事【補助対象】　建具改修工事　改　修＜木製建具枠＞

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
＜木製建具枠＞	特記無き限り下記とする ﾀﾓ集成材 枠見込:105					
WD-B110 木製建具枠	片開 W800×H2100	2.	か所			
WD-B111 木製建具枠	片開 W550×H2100	1.	か所			
計						

トイレ整備工事【補助対象】　建具改修工事　改　修＜木製建具＞

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
＜木建特記＞	特記無き限り下記とする ﾒﾗﾐﾝ化粧板 扉見込:38 枠は別計上 ｽﾃﾝﾚｽ沓摺は建具金物に含む					
WD-B110 額入ｶﾞﾗﾘ付片開戸	W800×H2100	2.	か所			
WD-B111 片開戸	W550×H2100	1.	か所			
計						

トイレ整備工事【補助対象】	建具改修工事			改　修＜軽量鋼製建具＞		
名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
＜軽量ｽﾁｰﾙ特記＞	特記無き限り下記とする 亜鉛ﾒｯｷ鋼板 扉:A-BE 枠見込:135 扉見込:38					
LSD-C102 額入ｶﾞﾗﾘ付片開戸	W750×H2100 枠:A-BE	2.	か所			
LSD-C103 片開戸	W650×H2100	1.	か所			
計						

トイレ整備工事【補助対象】　建具改修工事　改　修＜ガラス＞

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
LSD-C102 型板ｶﾞﾗｽ	t=4 120×1050	2.	枚			
ｶﾞﾗｽ押えｼｰﾘﾝｸﾞ	(片面施工)	9.4	m			
ｶﾞﾗｽ清掃	(両面)	0.3	㎡			
＜木製建具＞						
木建(WD-B110) 型板ｶﾞﾗｽ	t=4 120×1050	2.	枚			
ｶﾞﾗｽ押えｼｰﾘﾝｸﾞ	(片面施工)	9.4	m			
ｶﾞﾗｽ清掃	(両面)	0.3	㎡			
計						

トイレ整備工事【補助対象】　建具改修工事　改　修＜その他＞

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(左官)						
建具廻り ﾓﾙﾀﾙ詰		4.3	m			
(塗装)						
(内部)						
SOP塗 (細幅物)	鋼製建具面(枠部) 錆止め塗料 素地ごしらえ共 糸-201~300	4.9	m			
木材保護塗料(WP)	木製建具面 B種 素地ごしらえ(B種)共	0.5	㎡			
木材保護塗料(WP) (細幅物)	木製建具枠 B種 素地ごしらえ(B種)共 糸-201~300	14.8	m			
計						

トイレ整備工事【補助対象】　内装改修工事　撤　去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
壁 ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ撤去		9.4	m3			
壁 ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ ｶｯﾀｰ入		171.	m			
ﾗｲﾆﾝｸﾞ甲板 ﾃﾗｿﾞｰﾌﾞﾛｯｸ撤去	厚25 W=150	2.6	m			
ﾗｲﾆﾝｸﾞ甲板 ﾃﾗｿﾞｰﾌﾞﾛｯｸ撤去	厚25 W=160	14.6	m			
ﾗｲﾆﾝｸﾞ甲板 ﾃﾗｿﾞｰﾌﾞﾛｯｸ撤去	厚25 W=280	3.2	m			
一方枠撤去	木製 190×25	5.4	m			
三方枠撤去	木製 220×25	10.	m			
照明ﾎﾞｯｸｽ撤去	木製 厚20 W120×120 Π型	14.1	m			
額縁撤去	木製 70×50	43.3	m			
ｻｯｼ取合方立撤去	木製 厚25 220×25+25×150 T型	3.2	m			
天井 軽量鉄骨天井下地 撤去	19形	170.	㎡			
巾木 ﾋﾞﾆｰﾙ巾木撤去	厚2 H=60	9.9	m			
天井 廻縁撤去	ﾋﾞﾆﾙ製	260.	m			
C111-a 1F MWC 手洗ｶｳﾝﾀｰ撤去	ｱｲｶﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ 穴孔:2か所 受金物:L-50×50×5 W1500×D450	1.	か所			

トイレ整備工事【補助対象】　内装改修工事　撤　去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
C112-a 1F WMC 手洗ｶｳﾝﾀｰ撤去	ｱｲｶﾎﾟ ｽﾄﾌｫｰﾑ 穴孔:2か所 受金物:L-50×50×5 W1530×D450	1.	か所			
A-114 1F職員MWC ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ撤去	耐水ﾍﾞﾆﾔﾌﾗｯｼｭ OP 扉共(W-10):W550×H1800 W910×D645×H1800	1.	か所			
A-115 1F職員WWC ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ撤去	耐水ﾍﾞﾆﾔﾌﾗｯｼｭ OP 扉共(W-10):W550×H1800×3 W2950×D875×2×H1800	1.	か所			
B-113 1F MWC ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ撤去	耐水ﾍﾞﾆﾔﾌﾗｯｼｭ OP 扉共(W-10):W550×H1800 W1145×D895×H1800	1.	か所			
B-114 1F WWC ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ撤去	耐水ﾍﾞﾆﾔﾌﾗｯｼｭ OP 扉共(W-10):W550×H1800×3 W2890×D880×2×H1800	1.	か所			
A､C棟 2､3F MWC ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ撤去	耐水ﾍﾞﾆﾔﾌﾗｯｼｭ OP 扉共(W-10):W550×H1800×3 W2571×D900×2×H1800	4.	か所			
A､C棟 2､3F WWC ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ撤去	耐水ﾍﾞﾆﾔﾌﾗｯｼｭ OP 扉共(W-10):W550×H1800×3 W2571×D900×2×H1800	4.	か所			
A､C棟 2､3F WWC ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ撤去	耐水ﾍﾞﾆﾔﾌﾗｯｼｭ OP 扉共(W-10):W550×H1800×4 W3480×D885×3×H1800	4.	か所			
C111-a 1F MWC ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ撤去	耐水ﾍﾞﾆﾔﾌﾗｯｼｭ OP 扉共(W-10):W550×H1800×2 W1800×D900×H1800	1.	か所			
C112-a 1F WWC ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ撤去	耐水ﾍﾞﾆﾔﾌﾗｯｼｭ OP 扉共(W-10):W550×H1800 W965×H1800	1.	か所			
C112-a 1F WWC ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ撤去	耐水ﾍﾞﾆﾔﾌﾗｯｼｭ OP 扉共(W-10):W550×H1800×2 W1700×D900×2×H1800	1.	か所			
A､C棟 2､3F掃除庫 SKﾌﾞｰｽ撤去	耐水ﾍﾞﾆﾔﾌﾗｯｼｭ OP 扉共(W-12):W705×H1800 W1530×H1800	4.	か所			
A､C棟 2､3F掃除庫 SKﾌﾞｰｽ撤去	耐水ﾍﾞﾆﾔﾌﾗｯｼｭ OP 扉共(W-12):W705×H1800 W1650×H1800	4.	か所			
C111-b 1F掃除庫 SKﾌﾞｰｽ撤去	耐水ﾍﾞﾆﾔﾌﾗｯｼｭ OP 扉共(W-13):W1115×H1800 W1115×H1800	1.	か所			

トイレ整備工事【補助対象】　内装改修工事　撤　去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
C112-b 1F掃除庫 SKﾌﾞｰｽ撤去	耐水ﾍﾞﾆﾔﾌﾗｯｼｭ OP 扉共(W-13):W1085×H1800 W1085×D900×H1800	1.	か所			
C-112-c 1F多目wc ｱｺｰﾃﾞｨｵﾝﾄﾞｱ撤去	W1420×H2700 ﾚｰﾙ共	1.	か所			
C-112-c 1F多目wc L型手摺撤去		1.	か所			
C-112-c 1F多目wc 跳上手摺撤去		1.	か所			
各所 化粧鏡撤去	W350×H500	27.	か所			
ﾍﾟｰﾊﾟｰﾎﾙﾀﾞｰ撤去		54.	か所			
A､C棟 2､3F掃除庫 掃除用流し撤去	W500×D400×H600	8.	か所			
A､C棟 2､3F掃除庫 ﾌｯｸ撤去	SUS304	40.	か所			
ｶｯﾀｰ切		47.2	m			
計						

トイレ整備工事【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(床)						
床 ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭ	φ6 @100 ﾓﾙﾀﾙ内	15.3	㎡			
床 ﾓﾙﾀﾙ金鏝	表面硬化剤下 t=140	15.3	㎡			
床 ｺﾝｸﾘｰﾄ表面強化材	ﾓﾙﾀﾙ面 ｹｲ酸ﾅﾄﾘｳﾑ系 ABC商会 ｾﾗﾐｷｭｱ同等品	15.3	㎡			
床 複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	二重床面 溶接工法 接着材:ｴﾎﾟｷｼ系 t=2.0 防臭・防滑 東リ 消臭NSﾄﾜﾚ同等品	160.	㎡			
汚垂部 床 複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	二重床面 溶接工法 接着材:ｴﾎﾟｷｼ系 t=2.0 防臭・防滑 東リ 消臭NSﾄﾜﾚ同等品	12.1	㎡			
床 乾式二重床	貼物下 H=100 ﾗﾜﾝ合板 t=15 特殊高比重合板 t=15 文教施設用低床型置床 三洋工業 MPﾌﾛｱEﾀｲﾌﾟ同等品	143.	㎡			
床 乾式二重床	貼物下 H=130 ﾗﾜﾝ合板 t=15 特殊高比重合板 t=15 文教施設用低床型置床 三洋工業 MPﾌﾛｱEﾀｲﾌﾟ同等品	24.3	㎡			
床 乾式二重床	貼物下 H=130～350 ﾗﾜﾝ合板 t=15 特殊高比重合板 t=15 文教施設用低床型置床 三洋工業 MPﾌﾛｱEﾀｲﾌﾟ同等品	3.8	㎡			
床 乾式二重床	貼物下 H=350 ﾗﾜﾝ合板 t=15 特殊高比重合板 t=15					

トイレ整備工事【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	文教施設用低床型置床 三洋工業 MPﾌﾛｱEﾀｲﾌﾟ同等品	0.4	㎡			
床 際根太	H=100	221.	m			
床 際根太	H=130	31.9	m			
床 際根太	H=130～350	5.1	m			
床 際根太	H=350	2.	m			
小計						
(幅木・壁)						
巾木 ｽﾃﾝﾚｽ巾木	H=60 HL 創建 創建ｽﾃﾝUF-60同等品	163.	m			
ｽﾃﾝﾚｽ巾木ｺｰﾅｰ役物	H=60 入隅 L=200+200	145.	か所			
ｽﾃﾝﾚｽ巾木ｺｰﾅｰ役物	H=60 出隅 L=200+200	51.	か所			
間仕切 軽量鉄骨壁下地	W=65 @300	41.7	㎡			
壁 軽量鉄骨胴縁下地	W=65 @450	176.	㎡			
ﾗｲﾆﾝｸﾞ 壁 軽量鉄骨下地組	H=900 D=150	3.5	m			
ﾗｲﾆﾝｸﾞ 壁 軽量鉄骨下地組	H=1100 D=150	4.3	m			
ﾗｲﾆﾝｸﾞ 壁 軽量鉄骨下地組	H=1200 D=150	24.1	m			

トイレ整備工事【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
軽量鉄骨壁下地 開口補強		1	式			別紙 00-0023
巾木 ﾋﾞﾆﾙ巾木	H=60 東リ ソフト巾木同等品	9.3	m			
壁 耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	GB-S t=9.5 ｹｲｶﾙ下 ﾎﾞｰﾄﾞ面	41.6	㎡			
壁 耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	GB-S t=12.5 ｹｲｶﾙ下 LGS面	272.	㎡			
壁 耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	GB-S t=12.5 ﾌﾄｺﾛ内 LGS面	34.3	㎡			
壁 耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	GB-S t=12.5+9.5 ｹｲｶﾙ下 LGS面	8.8	㎡			
壁 耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	GB-S t=12.5+9.5 ﾌﾄｺﾛ内 LGS面	0.5	㎡			
壁 珪酸ｶﾙｼｳﾑ板	ﾎﾞｰﾄﾞ面 t=6 塗装下	308.	㎡			
軽量鉄骨壁下地内 ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填	t=50 24kg/m3	37.9	㎡			
小計						
(天井)						
天井 軽量鉄骨天井下地	19形 @225 化粧PB用 ふところ高1.5m未満	11.9	㎡			
斜め天井 軽量鉄骨天井下地	19形 直貼岩吸板用 ふところ高1.5m未満	175.	㎡			
天井開口補強		1	式			別紙 00-0024
天井 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	GB-D t=9.5 準不燃 吉野石膏 ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝﾗｲﾄ同等品	11.9	㎡			

トイレ整備工事【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
天井 岩綿吸音板	ﾌﾗｯﾄ t=9 不燃 直張り	175.	㎡			
天井廻り縁	ﾋﾞﾆｰﾙ製	294.	m			
小計						
(その他)						
取付下地補強	耐水合板 t=12 H=200 棚	5.3	m			
取付下地補強	耐水合板 t=12 SK W500×H350	2.	か所			
取付下地補強	耐水合板 t=12 紙巻器 300×200	38.	か所			
取付下地補強	耐水合板 t=12 手洗い W500×H350	5.	か所			
取付下地補強	耐水合板 t=12 小便器 W500×H350	25.	か所			
一方枠	ｽﾁｰﾙ製 FB-9×121	2.6	m			
開口上部 伸縮目地	塩ﾋﾞ目地材 接着張	14.9	m			
1FSK(WC1) ﾓｯﾌﾟ掛けﾌｯｸ	ﾌｯｸ:ｽﾃﾝﾚｽ既製品 3か所 下地:[-38×15×1.2 L=850 ﾋﾞｽ止 ｽｶﾞﾂﾈ:EL-30程度	1.	か所			
1FSK(職員WC) ﾓｯﾌﾟ掛けﾌｯｸ	ﾌｯｸ:ｽﾃﾝﾚｽ既製品 3か所 下地:[-38×15×1.2 L=550 ﾋﾞｽ止					

トイレ整備工事【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	ｽｶﾞﾂﾈ:EL-30同等品	2.	か所			
1FSK(男女外部WC) ﾓｯﾌﾟ掛けﾌｯｸ	ﾌｯｸ:ｽﾃﾝﾚｽ既製品 3か所 下地:[-38×15×1.2 L=700 ﾋﾞｽ止 ｽｶﾞﾂﾈ:EL-30同等品	1.	か所			
SK(1F男女WC(2)) ﾓｯﾌﾟ掛けﾌｯｸ	ﾌｯｸ:ｽﾃﾝﾚｽ既製品 3か所 下地:[-38×15×1.2 L=600 ﾋﾞｽ止 ｽｶﾞﾂﾈ:EL-30同等品	2.	か所			
SK(男女WC) ﾓｯﾌﾟ掛けﾌｯｸ	ﾌｯｸ:ｽﾃﾝﾚｽ既製品 3か所 下地:[-38×15×1.2 L=450 ﾋﾞｽ止 ｽｶﾞﾂﾈ:EL-30程度	8.	か所			
化粧鏡	t=5 450×600	8.	か所			
1F男女WC(2) 化粧鏡	t=5 1200×800	2.	か所			
男女WC 化粧鏡	t=5 1350×800	8.	か所			
小計						
(トイレブース)						
1F女子WC(2) 袖ｽｸﾘｰﾝ	ﾒﾗﾐﾝ樹脂系化粧板 t=40 小口:ｽﾃﾝﾚｽ FB-40×5 HL 巾木:ｽﾃﾝﾚｽ t=1.0 HL W660×H2000	1.	か所			
1F男子WC(2) 袖ｽｸﾘｰﾝ	ﾒﾗﾐﾝ樹脂系化粧板 t=40 小口:ｽﾃﾝﾚｽ FB-40×5 HL 巾木:ｽﾃﾝﾚｽ t=1.0 HL					

トイレ整備工事【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	W600×H2000	1.	か所			
1F男性職員WC 袖ｽｸﾘｰﾝ	ﾒﾗﾐﾝ樹脂系化粧板 t=40 小口:ｽﾃﾝﾚｽ FB-40×5 HL 巾木:ｽﾃﾝﾚｽ t=1.0 HL W750×H2000 一部欠有	1.	か所			
1F女子WC(1) ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	ﾒﾗﾐﾝ樹脂系化粧板 t=40 小口:ｽﾃﾝﾚｽ FB-40×5 HL 巾木:ｽﾃﾝﾚｽ t=1.0 HL 扉2か所 W2198+1480×H2000	1.	か所			
1F女子WC(2) ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	ﾒﾗﾐﾝ樹脂系化粧板 t=40 小口:ｽﾃﾝﾚｽ FB-40×5 HL 巾木:ｽﾃﾝﾚｽ t=1.0 HL 扉3か所 W3078+1435×3×H2000	1.	か所			
1F女子外部WC ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	ﾒﾗﾐﾝ樹脂系化粧板 t=40 小口:ｽﾃﾝﾚｽ FB-40×5 HL 巾木:ｽﾃﾝﾚｽ t=1.0 HL 扉1か所 W1539×H2000	1.	か所			
1F女性職員WC ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	ﾒﾗﾐﾝ樹脂系化粧板 t=40 小口:ｽﾃﾝﾚｽ FB-40×5 HL 巾木:ｽﾃﾝﾚｽ t=1.0 HL 扉2か所 W2000+1300×H2000	1.	か所			
1F男子WC(1) ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	ﾒﾗﾐﾝ樹脂系化粧板 t=40 小口:ｽﾃﾝﾚｽ FB-40×5 HL 巾木:ｽﾃﾝﾚｽ t=1.0 HL 扉1か所 W1530+780×H2000	1.	か所			
1F男子WC(2) ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	ﾒﾗﾐﾝ樹脂系化粧板 t=40 小口:ｽﾃﾝﾚｽ FB-40×5 HL 巾木:ｽﾃﾝﾚｽ t=1.0 HL 扉2か所 W1720+1465×2×H2000	1.	か所			

トイレ整備工事【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
1F男子外部WC ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	ﾒﾗﾐﾝ樹脂系化粧板 t=40 小口:ｽﾃﾝﾚｽ FB-40×5 HL 巾木:ｽﾃﾝﾚｽ t=1.0 HL 扉1か所 W1690×H2000	1.	か所			
1F男性職員WC ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	ﾒﾗﾐﾝ樹脂系化粧板 t=40 小口:ｽﾃﾝﾚｽ FB-40×5 HL 巾木:ｽﾃﾝﾚｽ t=1.0 HL 扉1か所 W1690×H2000	1.	か所			
女子WC ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	ﾒﾗﾐﾝ樹脂系化粧板 t=40 小口:ｽﾃﾝﾚｽ FB-40×5 HL 巾木:ｽﾃﾝﾚｽ t=1.0 HL 扉2か所 W2466+793×H2000	4.	か所			
女子WC ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	ﾒﾗﾐﾝ樹脂系化粧板 t=40 小口:ｽﾃﾝﾚｽ FB-40×5 HL 巾木:ｽﾃﾝﾚｽ t=1.0 HL 扉2か所 W2658+850×2×H2000	4.	か所			
男子WC ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	ﾒﾗﾐﾝ樹脂系化粧板 t=40 小口:ｽﾃﾝﾚｽ FB-40×5 HL 巾木:ｽﾃﾝﾚｽ t=1.0 HL 扉2か所 W2466+793×H2000	4.	か所			
1F女子WC(2) SKﾌﾞｰｽ	ﾒﾗﾐﾝ樹脂系化粧板 t=40 小口:ｽﾃﾝﾚｽ FB-40×5 HL 巾木:ｽﾃﾝﾚｽ t=1.0 HL 扉1か所 W954+620×H2000	1.	か所			
1F男子WC(2) SKﾌﾞｰｽ	ﾒﾗﾐﾝ樹脂系化粧板 t=40 小口:ｽﾃﾝﾚｽ FB-40×5 HL 巾木:ｽﾃﾝﾚｽ t=1.0 HL 両開扉1か所 W946+680×H2000	1.	か所			
男女WC SKﾌﾞｰｽ	ﾒﾗﾐﾝ樹脂系化粧板 t=40 小口:ｽﾃﾝﾚｽ FB-40×5 HL 巾木:ｽﾃﾝﾚｽ t=1.0 HL					

トイレ整備工事【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	両開扉1か所 W1549×H2000	8.	か所			
小計						
(棚・カウンター)						
ﾗｲﾆﾝｸﾞ甲板	ﾒﾗﾐﾝ化粧板ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ t=20 W=150 ｱｲｶ:KPA同等品	31.9	m			
1FSK(WC1) 棚	ﾒﾗﾐﾝﾌﾗｯｼｭ t=25 W600×D250 ﾌﾞﾗｹｯﾄ L-30×30 2ヶ所共	1.	か所			
1FSK(職員WC) 棚	ﾒﾗﾐﾝﾌﾗｯｼｭ t=25 W950×D250 ﾌﾞﾗｹｯﾄ L-30×30 2ヶ所共	1.	か所			
1FSK(男女外部WC) 棚	ﾒﾗﾐﾝﾌﾗｯｼｭ t=25 W800×D250 ﾌﾞﾗｹｯﾄ L-30×30 2ヶ所共	1.	か所			
1F女子職員WC 棚	ﾒﾗﾐﾝﾌﾗｯｼｭ t=25 W980×D150	2.	か所			
1F男子職員WC 棚	ﾒﾗﾐﾝﾌﾗｯｼｭ t=25 W770×D150	1.	か所			
1F保健WC 棚	ﾒﾗﾐﾝﾌﾗｯｼｭ t=25 W1650×D250	1.	か所			
SK(1F女子WC(2)) 棚	ﾒﾗﾐﾝﾌﾗｯｼｭ t=25 W900×D250 ﾌﾞﾗｹｯﾄ L-30×30 2ヶ所共	1.	か所			
SK(1F男子WC(2)) 棚	ﾒﾗﾐﾝﾌﾗｯｼｭ t=25 W900×D250 ﾌﾞﾗｹｯﾄ L-30×30 2ヶ所共	1.	か所			
SK(男女WC) 棚	ﾒﾗﾐﾝﾌﾗｯｼｭ t=25 W1259×D450 ﾌﾞﾗｹｯﾄ L-30×30 3ヶ所共	8.	か所			
男女WC(SK) 可動棚	ﾒﾗﾐﾝﾌﾗｯｼｭ t=25 W500×D450 3段 棚ﾚｰﾙl=900 2本共 ｽｶﾞﾂﾈ:ｽﾃﾝﾚｽ棚柱SP型同等品	8.	か所			

トイレ整備工事【補助対象】	内装改修工事			改　修		
名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
小計						
(ｻｲﾝ)						
S-4 突出_ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ	W275×D25×H200	13.	か所			
S-5 壁付_ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ	W325×D25×H200	6.	か所			
S-6 ﾄﾞｱ切文字ｻｲﾝ	H=30	17.	か所			
計						

トイレ整備工事【補助対象】　塗装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
壁 EP塗	既存ﾓﾙﾀﾙ面 下地調整RB種共	18.9	㎡			
壁 EP-G塗	ｹｲｶﾙ面 素地ごしらえ共	308.	㎡			
壁 EP-G塗	既存ﾓﾙﾀﾙ面 下地調整RB種共	336.	㎡			
SOP塗 (細幅物)	鉄部 一方枠面 錆止め塗料 素地ごしらえ共	2.6	m			
SOP塗 (細幅物)	鉄部 ﾌﾞﾗｹｯﾄ面 錆止め塗料 素地ごしらえ共	13.3	m			
SOP塗 (細幅物)	鉄部 ﾓｯﾌﾟ掛ﾌｯｸ下地 素地ごしらえ共	7.5	m			
計						

トイレ整備工事【補助対象】　環境配慮改修工事　撤　去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(内部)						
	※特記以外､環境配慮は ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材 ﾚﾍﾞﾙ3					
壁 ﾀｲﾙ撤去	下地ﾓﾙﾀﾙ共	60.6	㎡			
壁 ﾓﾙﾀﾙ撤去	厚20	16.3	㎡			
巾木 ﾋﾞﾆｰﾙ巾木撤去	H=60	25.6	m			
天井 岩綿吸音板撤去	厚9 捨貼GB-R厚9共	3.9	㎡			
天井 有孔FS板撤去	厚4	166.	㎡			
計						

トイレ整備工事【補助対象】　発生材処理　運　搬

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材積込	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品	9.4	m3			
発生材積込	木屑類	3.4	m3			
発生材積込	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	0.1	m3			
発生材積込	ｶﾞﾗｽ・陶器類	0.1	m3			
発生材積込	管理型混合廃棄物	7.5	m3			
発生材積込	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有(Lv3) がれき類	2.1	m3			
発生材積込	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有(Lv3) ﾎﾞｰﾄﾞ類	0.7	m3			
発生材積込	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有(Lv3) 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	0.1	m3			
発生材運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品	9.4	m3			
発生材運搬	木屑類	3.4	m3			
発生材運搬	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	0.1	m3			
発生材運搬	ｶﾞﾗｽ・陶器類	0.1	m3			
発生材運搬	管理型混合廃棄物	7.5	m3			
発生材運搬	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有(Lv3) がれき類	2.1	m3			
発生材運搬	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有(Lv3) ﾎﾞｰﾄﾞ類	0.7	m3			

トイレ整備工事【補助対象】　発生材処理　運　搬

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材運搬	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有(Lv3) 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	0.1	m3			
計						

トイレ整備工事【補助対象】　発生材処理　処分費

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品	9.4	m3			
発生材処分	木屑類	3.4	m3			
発生材処分	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	0.1	m3			
発生材処分	ｶﾞﾗｽ・陶器類	0.1	m3			
発生材処分	管理型混合廃棄物	7.5	m3			
発生材処分	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有(Lv3) がれき類	2.1	m3			
発生材処分	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有(Lv3) ﾎﾞｰﾄﾞ類	0.7	m3			
発生材処分	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有(Lv3) 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	0.1	m3			
有価物売却費	鉄類(H4)	▲0.4	t			
計						

増床工事【補助対象外】

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
躯体改修工事	1	式		
発生材処理	1	式		
計				

増床工事【補助対象外】

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
躯体改修工事	撤　去	1	式		
躯体改修工事	改　修	1	式		
計					
発生材処理	運　搬	1	式		
発生材処理	処分費	1	式		
計					

増床工事【補助対象外】　躯体改修工事　撤　去

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
鉄筋コンクリート 撤去	地上部 集積共	0.7	m3			
カッター入れ	ｺﾝｸﾘｰﾄ面	17.	m			
計						

増床工事【補助対象外】　躯体改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(土工)						
根切り	つぼ・布掘	33.	m3			
床付け	つぼ・布掘	25.6	m3			
埋戻し	発生土	6.3	m3			
建設発生土運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ10t積級 積込:ﾊﾞｯｸﾎｳ0.8m3 DID区間有り 運搬距離:19.5km以下	26.7	m3			
土工機械運搬費	長寿命化大規模改修工事(校舎部分) に含む					
砂利地業	再生材 基礎下 材工共	0.9	m3			
砂利地業	再生材 土間下 材工共	10.6	m3			
断熱材	硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材 厚35 材工共	6.9	㎡			
地中梁側面 断熱材	硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材 厚35 材工共	4.2	㎡			
捨コンクリート地 業	FC-18N/mm2 S15 材工共	1.	m3			
小計						
(躯体)						
異形鉄筋	SD295　D10	0.2	t			
異形鉄筋	SD295　D13	0.6	t			

増床工事【補助対象外】　躯体改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
異形鉄筋	SD295　D16	0.6	t			
異形鉄筋	SD345　D19	0.3	t			
異形鉄筋	SD345　D22	0.2	t			
鉄筋ｽｸﾗｯﾌﾟ控除		▲0.1	t			
鉄筋加工組立	副資材,場内小運搬含む	1.9	t			
鉄筋運搬費	4t車	1.9	t			
溶接金網敷き	D10-200×200 材工共	67.2	㎡			
あと施工ｱﾝｶｰ		1	式			別紙 00-0025
土間コンクリート	FC-21N/mm2 S15	0.9	m3			
普通コンクリート	基礎部 FC-21N/mm2 S15	11.	m3			
普通コンクリート	地上部 FC-21N/mm2 S18	7.3	m3			
コンクリート打設手間	土間	0.9	m3			
コンクリート打設手間	基礎部	11.	m3			
コンクリート打設手間	地上部	7.3	m3			
コンクリート面目荒し	壁面	0.9	m3			

増床工事【補助対象外】　躯体改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
地中梁側面 瀝青質目地板	エラスタイト 厚55 材工共	7.3	㎡			
普通型枠	基礎部	36.8	㎡			
普通型枠	地上部	2.5	㎡			
型枠運搬費	4t車	39.3	㎡			
小計						
(鉄骨)						
分離増築棟 北側 接続部鉄骨		1	式			別紙 00-0026
増築廊下(北側接 続部)		1	式			別紙 00-0027
前期校舎2階床補 強		1	式			別紙 00-0028
こども園接続部屋 根		1	式			別紙 00-0029
デッキプレート (材工共)	QL99-50-1.2　Z12 ｱｰｸｽﾎﾟｯﾄ溶接	67.2	㎡			
外周ｺﾝｸﾘｰﾄ止 (材工共)	PL-1.6　H130	16.7	m			
計						

増床工事【補助対象外】　発生材処理　運　搬

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(躯体改修)						
発生材積込	有筋ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	0.7	m3			
発生材運搬	有筋ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	0.7	m3			
計						

増床工事【補助対象外】　発生材処理　処分費

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(躯体改修)						
発生材処分	有筋ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	0.7	m3			
発生材処分(スクラップ処分)	鉄類(H2)	▲0.1	t			
計						

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
A棟給食室解体	1	式		
B棟業務員室部分解体	1	式		
C棟視聴覚室床解体	1	式		
計				

A棟給食室解体

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
直接仮設工事	1	式		
建物解体	1	式		
環境配慮改修工事	1	式		
発生材処理	1	式		
計				

A棟給食室解体

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
直接仮設工事		1	式		
計					
建物解体		1	式		
計					
環境配慮改修工事	撤　去	1	式		
計					
発生材処理	運　搬	1	式		
発生材処理	処分費	1	式		
計					

A棟給食室解体　直接仮設工事

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
外部足場		1	式			別紙 00-0030
内部足場		1	式			別紙 00-0031
災害防止		1	式			別紙 00-0032
計						

A棟給食室解体　建物解体

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
ＲＣ造地上部躯体解体	集積共	335.	㎡			
基礎・土間コンクリート撤去	集積共	335.	㎡			
カッター入れ	ｺﾝｸﾘｰﾄ面	125.	m			
内部造作解体		335.	㎡			
計						

A棟給食室解体　環境配慮改修工事　撤　去

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
	※特記以外､環境配慮は ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材 ﾚﾍﾞﾙ3					
屋上 床 ｱｽﾌｧﾙﾄ防水撤去	ﾓﾙﾀﾙ下地共	340.	㎡			
屋上 立上り ｱｽﾌｧﾙﾄ防水撤去	ﾓﾙﾀﾙ下地共	56.8	㎡			
壁 ﾓﾙﾀﾙ撤去	厚10	147.	㎡			
軒天 ｱｽﾍﾞｽﾄﾗｯｸｽ撤去	t=6	17.2	㎡			
計						

A棟給食室解体　発生材処理　運　搬

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(躯体解体)						
発生材積込	砕石塊	48.4	m3			
発生材積込	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	4.4	m3			
発生材積込	有筋ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	262.	m3			
発生材運搬	砕石塊	48.4	m3			
発生材運搬	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	4.4	m3			
発生材運搬	有筋ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	262.	m3			
(内外装解体)						
発生材積込	有筋ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	34.	m3			
発生材積込	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品	7.3	m3			
発生材積込	木屑類	4.	m3			
発生材積込	ｶﾞﾗｽ・陶器類	12.7	m3			
発生材積込	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	9.6	m3			
発生材積込	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ類	1.4	m3			
発生材積込	繊維くず	0.4	m3			

A棟給食室解体　発生材処理　運　搬

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材積込	管理型混合廃棄物	19.1	m3			
発生材積込	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有(Lv3) がれき類	14.4	m3			
発生材積込	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有(Lv3) ﾎﾞｰﾄﾞ類	7.3	m3			
発生材積込	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有(Lv3) 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	0.1	m3			
発生材運搬	有筋ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	34.	m3			
発生材運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品	7.3	m3			
発生材運搬	木屑類	4.	m3			
発生材運搬	ｶﾞﾗｽ・陶器類	12.7	m3			
発生材運搬	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	9.6	m3			
発生材運搬	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ類	1.4	m3			
発生材運搬	繊維くず	0.4	m3			
発生材運搬	管理型混合廃棄物	19.1	m3			
発生材運搬	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有(Lv3) がれき類	14.4	m3			
発生材運搬	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有(Lv3) ﾎﾞｰﾄﾞ類	7.3	m3			
発生材運搬	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有(Lv3) 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	0.1	m3			

A棟給食室解体		発生材処理			運　搬	
名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
計						

A棟給食室解体	発生材処理			処分費		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(躯体解体)						
発生材処分	砕石塊	48.4	m3			
発生材処分	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	4.4	m3			
発生材処分	有筋ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	262.	m3			
発生材処分(スクラップ処分)	鉄類(H2)	▲28.8	t			
(内外装解体)						
発生材処分	有筋ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	34.	m3			
発生材処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品	4.	m3			
発生材処分	木屑類	4.9	m3			
発生材処分	ｶﾞﾗｽ・陶器類	12.7	m3			
発生材処分	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	9.6	m3			
発生材処分	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ類	1.4	m3			
発生材処分	繊維くず	0.4	m3			
発生材処分	管理型混合廃棄物	19.1	m3			
発生材処分	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有(Lv3)がれき類	14.4	m3			

A棟給食室解体		発生材処理			処分費	
名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
発生材処分	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有(Lv3) ﾎﾞｰﾄﾞ類	7.3	m3			
発生材処分	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有(Lv3) 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	0.1	m3			
有価物売却費	鉄類(H4)	▲1.3	t			
有価物売却費	ｱﾙﾐ類	▲0.7	t			
計						

B棟業務員室部分解体

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
直接仮設工事	1	式		
建物解体	1	式		
環境配慮改修工事	1	式		
発生材処理	1	式		
計				

B棟業務員室部分解体

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設工事		1	式		
計					
建物解体		1	式		
計					
環境配慮改修工事	撤去	1	式		
計					
発生材処理	運搬	1	式		
発生材処理	処分費	1	式		
計					

B棟業務員室部分解体　直接仮設工事

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
外部足場		1	式			別紙 00-0033
内部足場		1	式			別紙 00-0034
災害防止		1	式			別紙 00-0035
計						

B棟業務員室部分解体　　建物解体

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
ＲＣ造地上部躯体解体	集積共	134.	㎡			
基礎・土間コンクリート撤去	集積共	134.	㎡			
カッター入れ	ｺﾝｸﾘｰﾄ面	108.	m			
内部造作解体		134.	㎡			
計						

B棟業務員室部分解体　環境配慮改修工事　撤　去

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
	※特記以外､環境配慮は ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材 ﾚﾍﾞﾙ3					
屋上 床 ｱｽﾌｧﾙﾄ防水撤去	ﾓﾙﾀﾙ下地共	147.	㎡			
屋上 立上り ｱｽﾌｧﾙﾄ防水撤去	ﾓﾙﾀﾙ下地共	22.9	㎡			
壁 ﾓﾙﾀﾙ撤去	厚10	212.	㎡			
軒天 ｱｽﾍﾞｽﾄﾗｯｸｽ撤去	t=6	5.4	㎡			
計						

B棟業務員室部分解体　発生材処理　運　搬

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(躯体解体)						
発生材積込	砕石塊	23.2	m3			
発生材積込	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	3.1	m3			
発生材積込	有筋ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	128.	m3			
発生材運搬	砕石塊	23.2	m3			
発生材運搬	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	3.1	m3			
発生材運搬	有筋ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	128.	m3			
(内外装解体)						
発生材積込	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品	3.2	m3			
発生材積込	木屑類	2.9	m3			
発生材積込	ｶﾞﾗｽ・陶器類	9.7	m3			
発生材積込	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	7.3	m3			
発生材積込	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ類	1.2	m3			
発生材積込	繊維くず	1.	m3			
発生材積込	管理型混合廃棄物	2.7	m3			

B棟業務員室部分解体　発生材処理　運　搬

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材積込	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有(Lv3) がれき類	5.8	m3			
発生材積込	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有(Lv3) ﾎﾞｰﾄﾞ類	2.8	m3			
発生材積込	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有(Lv3) 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	0.2	m3			
発生材運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品	3.2	m3			
発生材運搬	木屑類	2.9	m3			
発生材運搬	ｶﾞﾗｽ・陶器類	9.7	m3			
発生材運搬	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	7.3	m3			
発生材運搬	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ類	1.2	m3			
発生材運搬	繊維くず	1.	m3			
発生材運搬	管理型混合廃棄物	2.7	m3			
発生材運搬	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有(Lv3) がれき類	5.8	m3			
発生材運搬	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有(Lv3) ﾎﾞｰﾄﾞ類	2.8	m3			
発生材運搬	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有(Lv3) 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	0.2	m3			
計						

B棟業務員室部分解体　発生材処理　処分費

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(躯体解体)						
発生材処分	砕石塊	23.2	m3			
発生材処分	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	3.1	m3			
発生材処分	有筋ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	128.	m3			
発生材処分(スクラップ処分)	鉄類(H2)	▲15.3	t			
(内外装解体)						
発生材処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品	3.2	m3			
発生材処分	木屑類	2.9	m3			
発生材処分	ｶﾞﾗｽ・陶器類	9.7	m3			
発生材処分	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	7.3	m3			
発生材処分	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ類	1.2	m3			
発生材処分	繊維くず	1.	m3			
発生材処分	管理型混合廃棄物	2.7	m3			
発生材処分	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有(Lv3) がれき類	5.8	m3			
発生材処分	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有(Lv3) ﾎﾞｰﾄﾞ類	2.8	m3			

B棟業務員室部分解体　発生材処理　処分費

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材処分	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有(Lv3) 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	0.2	m3			
有価物売却費	鉄類(H4)	▲0.4	t			
有価物売却費	ｱﾙﾐ類	▲0.4	t			
計						

C棟視聴覚室床解体

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
建物解体	1	式		
発生材処理	1	式		
計				

C棟視聴覚室床解体

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
建物解体		1	式		
計					
発生材処理	運　搬	1	式		
発生材処理	処分費	1	式		
計					

C棟視聴覚室床解体　　建物解体

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
ＲＣ造地上部 コンクリート撤去	集積共	2.8	m3			
カッター入れ	ｺﾝｸﾘｰﾄ面	42.4	m			
計						

C棟視聴覚室床解体　発生材処理　運　搬

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(躯体解体)						
発生材積込	有筋ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	2.8	m3			
発生材運搬	有筋ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	2.8	m3			
計						

C棟視聴覚室床解体　発生材処理　処分費

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(躯体解体)						
発生材処分	有筋ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	2.8	m3			
発生材処分(スクラップ処分)	鉄類(H2)	▲0.3	t			
計						

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
外構工事 【補助対象外】	1	式		
計				

外構工事【補助対象外】

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
撤去工事	1	式		
舗装工事	1	式		
外構その他工事	1	式		
発生材処理	1	式		
計				

外構工事【補助対象外】

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
撤去工事		1	式		
計					
舗装工事		1	式		
計					
外構その他工事		1	式		
計					
発生材処理	運　搬	1	式		
発生材処理	処分費	1	式		
計					

外構工事【補助対象外】　撤去工事

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装撤去	密粒ｱｽﾌｧﾙﾄ t=40 埋設部埋戻し共	1,132.	㎡			
B01 歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ 撤去	B型 180～230×250 据付ﾓﾙﾀﾙ t=10 基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ t=100 砕石 t=100 埋設部埋戻し共	70.	m			
B02 地先境界ﾌﾞﾛｯｸ 撤去	A型 120×120 据付ﾓﾙﾀﾙ t=10 基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ t=50 砕石 t=100 埋設部埋戻し共	100.	m			
B03 ｺﾝｸﾘｰﾄ壁撤去	W200×H300 石積φ200～350 1段共 据付ﾓﾙﾀﾙ t=50 埋設部埋戻し共	17.	m			
B04 花壇見切り撤去	H=120 逆T字型 地業共 埋設部埋戻し共	18.	m			
B05 ｺﾝｸﾘｰﾄ擁壁撤去	H=30 L型 地業共 埋設部埋戻し共	8.	m			
T2 ｲﾁｮｳ伐採・伐根	H=14m 目通り径=0.72m 埋設部埋戻し共	1.	本			
T3 ｽｷﾞ伐採・伐根	H=14m 目通り径=0.32m 埋設部埋戻し共	1.	本			
T88 ｴﾉｷ伐採・伐根	H=16m 目通り径=0.83m 埋設部埋戻し共	1.	本			
T89 ｳﾒ伐採・伐根	H=4m 目通り径=0.29m 埋設部埋戻し共	1.	本			
T90 ｲﾛﾊﾓﾐｼﾞ伐採・伐根	H=4m 目通り径=0.25m 埋設部埋戻し共	1.	本			
T91 ﾋﾞｬｸｼﾝ伐採・伐根	H=14m 目通り径=0.78m 埋設部埋戻し共	1.	本			
T92 ｲﾁｲ伐採・伐根	H=7m 目通り径=0.2m 埋設部埋戻し共	1.	本			

外構工事【補助対象外】　撤去工事

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
T93 ｲﾁｲ伐採・伐根	H=3m 目通り径=0.14m 埋設部埋戻し共	1.	本			
T94 ｿﾒｲﾖｼﾉ伐採・伐根	H=8m 目通り径=0.64 埋設部埋戻し共	1.	本			
T95 ｵｵﾓﾐｼﾞ伐採・伐根	H=11m 目通り径=0.7m 埋設部埋戻し共	1.	本			
T96 ｼﾅﾉｷ伐採・伐根	H=8m 目通り径=0.46m 埋設部埋戻し共	1.	本			
T97 ｲﾁｲ伐採・伐根	H=7m 目通り径=0.39m 埋設部埋戻し共	1.	本			
T98 ﾋｲﾗｷﾞ伐採・伐根	H=5m 目通り径=0.17m 埋設部埋戻し共	1.	本			
T99 ｲﾁｲ伐採・伐根	H=8m 目通り径=0.32m 埋設部埋戻し共	1.	本			
T100 ﾋﾞｬｸｼﾝ伐採・伐根	H=16m 目通り径=0.62m 埋設部埋戻し共	1.	本			
T101 ｲﾁｲ伐採・伐根	H=10m 目通り径=0.33m 埋設部埋戻し共	1.	本			
T102 ｲﾁｲ伐採・伐根	H=9m 目通り径=0.29m 埋設部埋戻し共	1.	本			
T103 ﾋﾞｬｸｼﾝ伐採・伐根	H=12m 目通り径=0.51m 埋設部埋戻し共	1.	本			
T118 ｻｸﾗ伐採・伐根	H=9m 目通り径=0.27m 埋設部埋戻し共	1.	本			
T119 ｿﾒｲﾖｼﾉ伐採・伐根	H=7m 目通り径=0.38m 埋設部埋戻し共	1.	本			
T120 ｿﾒｲﾖｼﾉ伐採・伐根	H=7m 目通り径=0.47m 埋設部埋戻し共	1.	本			
T121 ｻｸﾗ伐採・伐根	H=9m 目通り径=0.30m 埋設部埋戻し共	1.	本			

外構工事【補助対象外】　撤去工事

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
T122 ｻｸﾗ伐採・伐根	H=9m 目通り径=0.24m 埋設部埋戻し共	1.	本			
T123 ｻｸﾗ伐採・伐根	H=9m 目通り径=0.26m 埋設部埋戻し共	1.	本			
T124 ｻｸﾗ伐採・伐根	H=9m 目通り径=0.33m 埋設部埋戻し共	1.	本			
T125 ｸﾛﾏﾂ伐採・伐根	H=9m 目通り径=0.23m 埋設部埋戻し共	1.	本			
T128 ｸﾇｷﾞ伐採・伐根	H=3m 目通り径=0.08m 埋設部埋戻し共	1.	本			
T129 ｶﾘﾝ伐採・伐根	H=4m 目通り径=0.18m 埋設部埋戻し共	1.	本			
T130 ｲﾛﾊﾓﾐｼﾞ伐採・伐根	H=4m 目通り径=0.2m 埋設部埋戻し共	1.	本			
F01 水飲み撤去	6900×3100×H730～350 異形 SUSｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 埋設部埋戻し共	1.	か所			
F02 水飲み撤去	4100×1300×H980 SUSｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 埋設部埋戻し共	1.	か所			
F03 日時計撤去	PC製 φ600 L=1000 日時計:鋳鉄製φ600 取外し・施主保管 埋設部埋戻し共	1.	か所			
K01 ｵｲﾙﾀﾝｸ基礎撤去	RC W2600×D1600×H600 埋設部埋戻し共	1.	か所			
K02 ｵｲﾙﾀﾝｸ基礎撤去	RC W2600×D1600×H600 埋設部埋戻し共	1.	か所			
Z01 池撤去	18400×7700 異形 周囲:自然石積み 1～2段 基礎、埋設部埋戻し共	1.	か所			
Z02 たい肥置場撤去	4000×2000×H700 埋設部埋戻し共	1.	か所			
Z03 藤棚撤去	10000×3900 独立基礎: 500×500×H600×6か所					

外構工事【補助対象外】　撤去工事

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	埋設部埋戻し共	1.	か所			
Z04 庭石撤去	φ300～1500 埋設部埋戻し共	80.	個			
Z05 水槽撤去	7700×2200 落下防止ﾈｯﾄ:鋼製金網 L型基礎 H=350 埋設部埋戻し共	1.	か所			
Z06 ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾟﾗﾝﾀｰ撤去	t=90 φ900 H=600 埋設部埋戻し共	4.	か所			
H02 ﾌﾟﾚﾊﾌﾞ物置基礎撤去	CB基礎:390×190×150×8か所 布基礎共 埋設部埋戻し共	1.	か所			
H05 ﾌﾟﾚﾊﾌﾞ物置基礎撤去	CB基礎:390×190×150×6か所、 190×190×H150×6か所 RC基礎:300×300×H250×4か所 埋設部埋戻し共	1.	か所			
H09 ﾌﾟﾚﾊﾌﾞﾄｲﾚ撤去	FRP製簡易ﾄｲﾚﾕﾆｯﾄ: 900×1500×H2100×2か所 RC基礎:2250×1800×H250 埋設部埋戻し共	1.	か所			
H10 鉄骨物置撤去	7778×2700×H2680 基礎共 埋設部埋戻し共	1.	か所			
H11 ﾌﾟﾚﾊﾌﾞ物置撤去	2250×1400×H2100 CB基礎:390×190×150×6か所 埋設部埋戻し共	1.	か所			
H12 木造置物撤去	3640×1820×H1900 RC基礎:4550×2720×H200 埋設部埋戻し共	1.	か所			
H13 ﾌﾟﾚﾊﾌﾞ物置撤去	1900×1970×H2085 CB基礎:390×190×150×5か所、 190×190×H150×4か所 RC基礎:200×200×H200×4か所 埋設部埋戻し共	1.	か所			
S02～05 石碑 据付ﾓﾙﾀﾙ撤去	t=50 埋設部埋戻し共	7.1	㎡			

外構工事【補助対象外】　撤去工事

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
計						

外構工事【補助対象外】　舗装工事

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
P-05 ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	金鏝仕上 土間ｺﾝｸﾘｰﾄ t=150 誘発目地 @3000 ｱｽﾌｧﾙﾄ目地板10×40又は ｶｯﾀｰ目地7×40･ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ注入 ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭφ6-150×150 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ(RC-40) t=120	5.9	㎡			
P-05 ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装端部	W=280 金鏝仕上 土間ｺﾝｸﾘｰﾄ W150～280×H450 D10 @200(ﾀﾃﾖｺ共)、端部:D13 捨てｺﾝｸﾘｰﾄ t=50 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ(RC-40) t=100	6.6	m			
鋤取り		2.1	m3			
建設発生土運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ10t積級(土自由処分) 積込:ﾊﾞｯｸﾎｳ0.8m3 DID区間有り　運搬距離:19.5km以下	2.1	m3			
土工機械運搬費		1	式			別紙 00-0036
計						

外構工事【補助対象外】　外構その他工事

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
F01 水飲み・足洗い場	W2750×D830×H900 天端:ｺﾞﾑﾁｯﾌﾟ(角丸め込み仕上) 壁:化粧打放補修の上、 ﾌｯ素樹脂ｸﾘｱ塗装 一部、ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼り 排水溝内:防水ﾓﾙﾀﾙ金鏝 SUSｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋:細目 地業、土工事共 ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ/平田ﾀｲﾙ:	1.	か所			
	Hi-Ceramics ORT-60同等品 ｺﾞﾑﾁｯﾌﾟ/ABC商会:ﾊﾟｰｸｺｰﾄ ｺﾞﾑﾁｯﾌﾟｶﾗｰHS工法 2色混合同等品 ｸﾘｱ塗装/ｴｽｹｰ化研: ｾﾗﾐｸﾘｰﾄSi工法同等品 ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋/ｶﾈｿｳ:SYR-H20同等品					
F03 地流し	W800×D700 排水溝内:防水ﾓﾙﾀﾙ金鏝 SUSｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋:細目 SUS受ｱﾝｸﾞﾙ 地業、土工事共 立上水栓は設備工事 ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋/ｶﾈｿｳ:SYR-H20 同等品	2.	か所			
K01、04 機械基礎	800×4500×H450 天端:ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝 立上:ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修 地業、土工事共	2.	か所			
K02、03、05 機械基礎	800×1500×H450 天端:ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝 立上:ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修 地業、土工事共	3.	か所			
K06 機械基礎	800×2500×H450 天端:ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝 立上:ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修 地業、土工事共	1.	か所			
K07 機械基礎	800×6700×H450 天端:ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝 立上:ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修					

外構工事【補助対象外】　外構その他工事

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	地業、土工事共	1.	か所			
K08 機械基礎	800×6500×H450 天端:ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝 立上:ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修 地業、土工事共	1.	か所			
S02 川岸村碑移設	石碑:1700×500×H2200 土台石:1800×1700×H800 新設据付ﾓﾙﾀﾙ共	1.	か所			
S02 筆塚移設	石碑:1200×200×H1300 土台石:1400×700×H250 新設据付ﾓﾙﾀﾙ共	1.	か所			
S02 歌碑移設	石碑:1210×100×H1180 土台石:1500×500×H150 RC基礎共	1.	か所			
計						

外構工事【補助対象外】　発生材処理　運　搬

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材積込	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	43.5	m3			
発生材積込	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	12.5	m3			
発生材積込	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品	5.6	m3			
発生材積込	がれき類	123.	m3			
発生材積込	木屑類	11.7	m3			
発生材積込	ｶﾞﾗｽ・陶器類	0.3	m3			
発生材積込	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	8.7	m3			
発生材積込	ｱｽﾌｧﾙﾄ類	45.3	m3			
発生材運搬	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	43.5	m3			
発生材運搬	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	12.5	m3			
発生材運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品	5.6	m3			
発生材運搬	がれき類	123.	m3			
発生材運搬	木屑類	11.7	m3			
発生材運搬	ｶﾞﾗｽ・陶器類	0.3	m3			
発生材運搬	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	8.7	m3			

外構工事【補助対象外】　発生材処理　運　搬

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材運搬	ｱｽﾌｧﾙﾄ類	45.3	m3			
計						

外構工事【補助対象外】　発生材処理　処分費

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材処分	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	43.5	m3			
発生材処分	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	12.5	m3			
発生材処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品	5.6	m3			
発生材処分	がれき類	123.	m3			
発生材処分	木屑類	11.7	m3			
発生材処分	ｶﾞﾗｽ・陶器類	0.3	m3			
発生材処分	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	8.7	m3			
発生材処分	ｱｽﾌｧﾙﾄ類	45.3	m3			
有価物売却費	鉄類(H4)	▲5.1	t			
有価物売却費	ｱﾙﾐ類	▲0.2	t			
有価物売却費	その他	▲0.1	t			
計						

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　直接仮設工事

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
墨出し		1	式			別紙 00-0001
墨出し	(内部改修) 複合改修	5,465.	㎡			
計						
養生		1	式			別紙 00-0002
養生	(屋上防水改修) ｼｰﾄ防水	2,978.	㎡			
養生	(外壁改修)	730.	㎡			
養生	(内部改修) 複合改修	5,465.	㎡			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0003
整理清掃後片付け	(屋上防水改修) ｼｰﾄ防水	2,978.	㎡			
整理清掃後片付け	(外壁改修)	730.	㎡			
整理清掃後片付け	(内部改修) 複合改修	5,465.	㎡			
計						

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　直接仮設工事

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
外部足場		1	式			別紙 00-0004
枠組本足場	900枠(500+240布枠) 高さ:12m未満 存置期間:7ヶ月 運搬費共	2,005.	㎡			
枠組本足場	900枠(500+240布枠) 高さ:22m未満 存置期間:7ヶ月 運搬費共	2,202.	㎡			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 存置期間:7ヶ月 運搬費共	524.	m			
外部足場	(脚立足場) 階高4.0m未満 運搬費共 存置期間:2ヶ月	267.	㎡			
計						
内部仕上足場		1	式			別紙 00-0005
内部仕上足場	(脚立足場) 階高4.0m未満 運搬費共 存置期間:7ヶ月	5,102.	㎡			
内部階段仕上足場	階段仕上足場 運搬費共	363.	㎡			
計						

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　直接仮設工事

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
災害防止		1	式			別紙 00-0006
災害防止	(ﾒｯｼｭｼｰﾄ張り) 防炎性能Ⅰ類 存置期間:7ヶ月	4,207.	㎡			
災害防止	(小幅ﾈｯﾄ張り) 防炎ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ 存置期間:7ヶ月	379.	m			
計						

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
軽量鉄骨壁下地 開口補強		1	式			別紙 00-0007
AD-C101 壁 軽量鉄骨胴縁 開口補強	W=65 3方 W7000×H2795	2.	か所			
AD-C102 壁 軽量鉄骨胴縁 開口補強	W=65 3方 W2200×H2795	1.	か所			
AD-C103 壁 軽量鉄骨胴縁 開口補強	W=65 3方 W6990×H2895	1.	か所			
AW-A101 壁 軽量鉄骨胴縁 開口補強	W=65 3方 W7280×H2950 異形	1.	か所			
AW-A102 壁 軽量鉄骨胴縁 開口補強	W=65 3方 W7280×H2400 異形	2.	か所			
AW-A103 壁 軽量鉄骨胴縁 開口補強	W=65 4方 W7280×H1500	1.	か所			
AW-A204､304 壁 軽量鉄骨胴縁 開口補強	W=65 4方 W7280×H1630	4.	か所			
AW-B101 壁 軽量鉄骨胴縁 開口補強	W=65 4方 W7280×H1500	3.	か所			
AW-B102 壁 軽量鉄骨胴縁 開口補強	W=65 4方 W21700×H1500	1.	か所			
AW-B103 壁 軽量鉄骨胴縁 開口補強	W=65 3方 W7280×H2400 異形	1.	か所			
AW-B104 壁 軽量鉄骨胴縁 開口補強	W=65 4方 W7280×H1500	1.	か所			
AW-B105 壁 軽量鉄骨胴縁 開口補強	W=65 3方 W7280×H2400 異形	1.	か所			
AW-B201 壁 軽量鉄骨胴縁 開口補強	W=65 4方 W7280×H1500	3.	か所			
AW-C101 壁 軽量鉄骨胴縁 開口補強	W=65 3方 W7280×H2400 異形	1.	か所			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
軽量鉄骨壁下地 開口補強		1	式			別紙 00-0007
AW-C102 壁 軽量鉄骨胴縁 開口補強	W=65 4方 W7280×H1500	1.	か所			
AW-C103 壁 軽量鉄骨胴縁 開口補強	W=65 3方 W7280×H2400 異形	1.	か所			
AW-C104 壁 軽量鉄骨胴縁 開口補強	W=65 3方 W7295×H2400 異形	1.	か所			
AW-C105 壁 軽量鉄骨胴縁 開口補強	W=65 3方 W7280×H2400 異形	1.	か所			
AW-C106 壁 軽量鉄骨胴縁 開口補強	W=65 3方 W1845×H2530	1.	か所			
AW-C107 壁 軽量鉄骨胴縁 開口補強	W=65 3方 W7280×H2530 異形	1.	か所			
AW-C202 壁 軽量鉄骨胴縁 開口補強	W=65 4方 W13630×H1500	1.	か所			
AW-C205 壁 軽量鉄骨胴縁 開口補強	W=65 4方 W7280×H630	1.	か所			
AW-C304 壁 軽量鉄骨胴縁 開口補強	W=65 4方 W7280×H1630	1.	か所			
WD-A111 壁 軽量鉄骨胴縁 開口補強	W=65 3方 W730×H2100	1.	か所			
LSD-A101 壁 軽量鉄骨壁下地 開口補強	W=65　3方 W850×H2100	1.	か所			
LSD-C104 壁 軽量鉄骨壁下地 開口補強	W=65　3方 W900×H2100	1.	か所			
SD-A201 壁 軽量鉄骨壁下地 開口補強	W=65　3方 W1600×H2100	1.	か所			
SD-A301 壁 軽量鉄骨壁下地 開口補強	W=65　3方 W1600×H2100	1.	か所			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
軽量鉄骨壁下地 開口補強		1	式			別紙 00-0007
SD-C201 壁 軽量鉄骨壁下地 開口補強	W=65　3方 W1600×H2100	1.	か所			
SD-C301 壁 軽量鉄骨壁下地 開口補強	W=65　3方 W1600×H2100	1.	か所			
SF-A101 壁 軽量鉄骨壁下地 開口補強	W=65　3方 W900×H2100	2.	か所			
SF-A102 壁 軽量鉄骨壁下地 開口補強	W=65　3方 W750×H2100	1.	か所			
SLW-C101 壁 軽量鉄骨壁下地 開口補強	W=65　3方 W24000×H2700	1.	か所			
WD-A203(ﾛｯｶｰ) 壁 軽量鉄骨壁下地 開口補強	W=65　3方 W3180×H1955	1.	か所			
WD-A303(ﾛｯｶｰ) 壁 軽量鉄骨壁下地 開口補強	W=65　3方 W3300×H1955	1.	か所			
WD-C203(ﾛｯｶｰ) 壁 軽量鉄骨壁下地 開口補強	W=65　3方 W3180×H1955	1.	か所			
WD-C303(ﾛｯｶｰ) 壁 軽量鉄骨壁下地 開口補強	W=65　3方 W3300×H1955	1.	か所			
WW-A201 壁 軽量鉄骨壁下地 開口補強	W=65　3方 W1015×H2590	2.	か所			
WW-A301 壁 軽量鉄骨壁下地 開口補強	W=65　3方 W1015×H2590	2.	か所			
WW-C201 壁 軽量鉄骨壁下地 開口補強	W=65　3方 W1015×H2590	2.	か所			
WW-C202 壁 軽量鉄骨壁下地 開口補強	W=65　4方 W3645×H1145	6.	か所			
WW-C203 壁 軽量鉄骨壁下地 開口補強	W=65　4方 W3315×H1145	2.	か所			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
軽量鉄骨壁下地 開口補強		1	式			別紙 00-0007
WW-C301 壁 軽量鉄骨壁下地 開口補強	W=65　3方 W1015×H2590	2.	か所			
計						

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
耐火間仕切壁 開口補強		1	式			別紙 00-0008
AW-A1(玄関) 壁 耐火間仕切壁 開口補強	W=65 4方 W1800×H1500	1.	か所			
LSD-C201 壁 耐火間仕切壁 開口補強	W=65 3方 W1350×H2100	1.	か所			
SD-A106 壁 耐火間仕切壁 開口補強	W=65 3方 W900×H2100	1.	か所			
SD-C105 壁 耐火間仕切壁 開口補強	W=65 3方 W2885×H2675	1.	か所			
SD-C205 壁 耐火間仕切壁 開口補強	W=65 3方 W2885×H2675	2.	か所			
WD-A102 壁 耐火間仕切壁 開口補強	W=65 3方 W2000×H2675	2.	か所			
WD-A103 壁 耐火間仕切壁 開口補強	W=65 3方 W3765×H2675	1.	か所			
WD-A104 壁 耐火間仕切壁 開口補強	W=65 3方 W7295×H2675	1.	か所			
WD-A105 壁 耐火間仕切壁 開口補強	W=65 3方 W3765×H2675	1.	か所			
WD-A112 壁 耐火間仕切壁 開口補強	W=65 3方 W800×H2100	2.	か所			
WD-A201 壁 耐火間仕切壁 開口補強	W=65 3方 W6625×H2675	4.	か所			
WD-A202 壁 耐火間仕切壁 開口補強	W=65 3方 W6625×H2675	1.	か所			
WD-A301 壁 耐火間仕切壁 開口補強	W=65 3方 W6625×H2675	4.	か所			
WD-A302 壁 耐火間仕切壁 開口補強	W=65 3方 W6625×H2675	1.	か所			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
耐火間仕切壁 開口補強		1	式			別紙 00-0008
WD-B1(理科室) 壁 耐火間仕切壁 開口補強	W=65 3方 W1100×H2100	1.	か所			
WD-B101 壁 耐火間仕切壁 開口補強	W=65 3方(一部4方) W7200×H495~2675	3.	か所			
WD-B102 壁 耐火間仕切壁 開口補強	W=65 3方 W900×H2100	2.	か所			
WD-B105 壁 耐火間仕切壁 開口補強	W=65 3方(一部4方) W7085×H495~2675	2.	か所			
WD-B106 壁 耐火間仕切壁 開口補強	W=65 3方 W2000×H2675	1.	か所			
WD-B107 壁 耐火間仕切壁 開口補強	W=65 3方(一部4方) W3545×H495~2675	1.	か所			
WD-B201 壁 耐火間仕切壁 開口補強	W=65 3方 W9480×H2675	1.	か所			
WD-B202 壁 耐火間仕切壁 開口補強	W=65 3方 W7315×H2675	1.	か所			
WD-C103 壁 耐火間仕切壁 開口補強	W=65 3方 W6625×H2675	1.	か所			
WD-C104 壁 耐火間仕切壁 開口補強	W=65 3方 W6990×H2675	1.	か所			
WD-C105 壁 耐火間仕切壁 開口補強	W=65 3方 W7900×H2100	1.	か所			
WD-C106 壁 耐火間仕切壁 開口補強	W=65 3方 W2000×H2675	1.	か所			
WD-C107 壁 耐火間仕切壁 開口補強	W=65 3方 W4875×H2675	1.	か所			
WD-C109 壁 耐火間仕切壁 開口補強	W=65 3方 W800×H2100	2.	か所			

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
耐火間仕切壁 開口補強		1	式			別紙 00-0008
WD-C110 壁 耐火間仕切壁 開口補強	W=65 3方 W850×H2100	1.	か所			
WD-C111 壁 耐火間仕切壁 開口補強	W=65 3方 W850×H2100	1.	か所			
WD-C112 壁 耐火間仕切壁 開口補強	W=65 3方 W2535×H2100	1.	か所			
WD-C114 壁 耐火間仕切壁 開口補強	W=65 3方 W1350×H2700	1.	か所			
WD-C201 壁 耐火間仕切壁 開口補強	W=65 3方 W6625×H2675	4.	か所			
WD-C202 壁 耐火間仕切壁 開口補強	W=65 3方 W6625×H2675	1.	か所			
WD-C204 壁 耐火間仕切壁 開口補強	W=65 3方 W2920×H2100	1.	か所			
WD-C301 壁 耐火間仕切壁 開口補強	W=65 3方 W6625×H2675	4.	か所			
WD-C302 壁 耐火間仕切壁 開口補強	W=65 3方 W6625×H2675	1.	か所			
計						

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
耐火遮音間仕切壁 開口補強		1	式			別紙 00-0009
LSD-C104 壁 耐火遮音間仕切壁 開口補強	W=65 3方 W900×H2100	1.	か所			
SD-A103 壁 耐火遮音間仕切壁 開口補強	W=90 3方 W850×H2100	1.	か所			
WD-B104 壁 耐火遮音間仕切壁 開口補強	W=65 3方 W1600×H2100	1.	か所			
計						
天井開口補強		1	式			別紙 00-0010
天井開口補強	250角	3.	か所			
天井開口補強	300角	29.	か所			
天井開口補強	450角	114.	か所			
天井開口補強	700角	38.	か所			
計						

長寿命化大規模改修工事(校舎部分)【補助対象】　躯体改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
あと施工ｱﾝｶｰ		1	式			別紙 00-0011
あと施工ｱﾝｶｰ	接着系 D10 下向き 材工共	219.	本			
あと施工ｱﾝｶｰ	接着系 D10 横向き 材工共	1,078.	本			
あと施工ｱﾝｶｰ	接着系 D13 横向き 材工共	10.	本			
あと施工ｱﾝｶｰ	接着系 D16 下向き 材工共	39.	本			
あと施工ｱﾝｶｰ	接着系 D16 横向き 材工共	34.	本			
あと施工ｱﾝｶｰ	接着系 D16 上向き 材工共	39.	本			
あと施工ｱﾝｶｰ	ｼｱｺﾈｸﾀｰ D10 横向き 材工共	84.	本			
計						

長寿命化大規模改修工事(体育館部分)【補助対象】　直接仮設工事

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
墨出し		1	式			別紙 00-0012
墨出し	(内部改修) 複合改修	880.	㎡			
計						
養生		1	式			別紙 00-0013
養生	(屋上防水改修) ｼｰﾄ防水	780.	㎡			
養生	(外壁改修)	61.1	㎡			
養生	(内部改修) 複合改修	880.	㎡			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0014
整理清掃後片付け	(屋上防水改修) ｼｰﾄ防水	780.	㎡			
整理清掃後片付け	(外壁改修)	61.1	㎡			
整理清掃後片付け	(内部改修) 複合改修	880.	㎡			
計						

長寿命化大規模改修工事(体育館部分)【補助対象】　直接仮設工事

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
外部足場		1	式			別紙 00-0015
枠組本足場	900枠(500+240布枠) 高さ:12m未満 存置期間:7ヶ月 運搬費共	398.	㎡			
枠組本足場	900枠(500+240布枠) 高さ:22m未満 存置期間:7ヶ月 運搬費共	442.	㎡			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 存置期間:7ヶ月 運搬費共	91.8	m			
計						
内部仕上足場		1	式			別紙 00-0016
ｽﾃｰｼﾞ、庫 内部仕上足場	枠組棚足場 階高7.4m以上 9.1m未満 存置期間:2ヶ月 運搬費共	145.	㎡			
体育館 内部仕上足場	枠組棚足場 階高10.8m以上 12.5m未満 存置期間:2ヶ月 運搬費共	735.	㎡			
計						
災害防止		1	式			別紙 00-0017
災害防止	(ﾒｯｼｭｼｰﾄ張り) 防炎性能Ⅰ類 存置期間:7ヶ月	841.	㎡			
災害防止	(小幅ﾈｯﾄ張り) 防炎ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ 存置期間:7ヶ月	61.1	m			
計						

長寿命化大規模改修工事(体育館部分)【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
軽量鉄骨壁下地 開口補強		1	式			別紙 00-0018
壁 軽量鉄骨胴縁下地 開口補強	100形 W3630×H1840 四方	2.	か所			
壁 軽量鉄骨胴縁下地 開口補強	100形 W3830×H1840 四方	2.	か所			
計						

トイレ整備工事【補助対象】　直接仮設工事

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
墨出し		1	式			別紙 00-0019
墨出し	(内部改修) 複合改修	187.	㎡			
計						
養生		1	式			別紙 00-0020
養生	(内部改修) 複合改修	187.	㎡			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0021
整理清掃後片付け	(内部改修) 複合改修	187.	㎡			
計						
脚立足場		1	式			別紙 00-0022
内部仕上足場	(脚立足場) 階高4.0m未満 運搬費共 存置期間:4ヶ月	187.	㎡			
計						

トイレ整備工事【補助対象】　内装改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
軽量鉄骨壁下地 開口補強		1	式			別紙 00-0023
LSD-C102 壁 軽量鉄骨壁下地 開口補強	W=65 3方 W750×H2100	2.	か所			
LSD-C103 壁 軽量鉄骨壁下地 開口補強	W=65 3方 W650×H2100	1.	か所			
計						
天井開口補強		1	式			別紙 00-0024
天井開口補強	250角	10.	か所			
天井開口補強	300角	12.	か所			
計						

増床工事【補助対象外】　躯体改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
あと施工ｱﾝｶｰ		1	式			別紙 00-0025
あと施工ｱﾝｶｰ	接着系 D10 横向き 材工共	21.	本			
あと施工ｱﾝｶｰ	接着系 D13 下向き 材工共	13.	本			
あと施工ｱﾝｶｰ	接着系 D13 横向き 材工共	16.	本			
計						

増床工事【補助対象外】	躯体改修工事			改　修		
名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
分離増築棟 北側 接続部鉄骨		1	式			別紙 00-0026
鋼板	SS400 PL-4.5 (0.024t)	1	式			
鋼板	SS400 PL-6 (0.026t)	1	式			
鋼板	SS400 PL-9 (0.034t)	1	式			
鋼板	SN400B PL-6	0.1	t			
鋼板	SN400B PL-9	0.2	t			
鋼板	SN400B PL-12	0.1	t			
鋼板	SN490C PL-16 (0.046t)	1	式			
鋼板	SN490C PL-19	0.1	t			
鋼板	SN490C PL-25	0.1	t			
H形鋼	SS400 H-125×125×6.5×9	0.1	t			
H形鋼	SS400 H-148×100×6×9	0.1	t			
H形鋼	SS400 H-150×75×5×7 (0.035t)	1	式			
H形鋼	SS400 H-200×100×5.5×8	0.2	t			
H形鋼	SN400B H-244×175×7×11	0.1	t			

増床工事【補助対象外】　躯体改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
分離増築棟 北側 接続部鉄骨		1	式			別紙 00-0026
H形鋼	SN400B H-250×125×6×9	0.4	t			
H形鋼	SN400B H-294×200×8×12	0.1	t			
H形鋼	SN400B H-300×150×6.5×9	0.5	t			
等辺山形鋼	SS400 L-90×90×6 (0.002t)	1	式			
リップ溝形鋼	SSC400 C-100×50×20×3.2	0.3	t			
角形鋼管	STKR400 □-100×100×2.3 (0.036t)	1	式			
角形鋼管	BCR295 □-250×250×9	1.1	t			
角形鋼管	BCR295 □-250×250×12	0.7	t			
角形鋼管	BCR295 □-250×250×16	1.	t			
鉄骨ｽｸﾗｯﾌﾟ控除		▲0.2	t			
（加工組立建方）						
工場加工組立	溶接材料及び溶接手間共 (268m)	4.9	t			
工場錆止め塗装	JIS K 5674 2回塗	96.7	㎡			
溶融亜鉛めっき	A種	1.6	t			

増床工事【補助対象外】　躯体改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
分離増築棟 北側 接続部鉄骨		1	式			別紙 00-0026
鉄骨運搬		4.9	t			
現場建方	楊重機別途	4.9	t			
水平ブレース (材工共)	SS400 M16 L=2400 丸鋼、羽子板、TB共	2.	か所			
水平ブレース (材工共)	SS400 M16 L=4300 丸鋼、羽子板、TB共	2.	か所			
ﾄﾙｼｱ形高力ﾎﾞﾙﾄ	S10T M16 L=35	21.	本			
ﾄﾙｼｱ形高力ﾎﾞﾙﾄ	S10T M16 L=40	12.	本			
ﾄﾙｼｱ形高力ﾎﾞﾙﾄ	S10T M16 L=45	316.	本			
ﾄﾙｼｱ形高力ﾎﾞﾙﾄ	S10T M16 L=50	133.	本			
ﾄﾙｼｱ形高力ﾎﾞﾙﾄ	S10T M20 L=55	21.	本			
ﾄﾙｼｱ形高力ﾎﾞﾙﾄ	S10T M20 L=60	83.	本			
高力ﾎﾞﾙﾄ締付け		564.	本			
中ボルト	M12 L=35 座金、ﾅｯﾄ含	83.	本			
中ﾎﾞﾙﾄ締付け		80.	本			
柱型露出柱脚工法	ｽｰﾊﾟｰﾊｲﾍﾞｰｽ BS250-S1-30	4.	か所			

増床工事【補助対象外】　躯体改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
分離増築棟 北側 接続部鉄骨		1	式			別紙 00-0026
超音波探傷検査	第三者検査 工場内検査	59.	か所			
鉄骨足場	吊棚足場	25.8	㎡			
鉄骨足場	水平養生	25.8	㎡			
計						

増床工事【補助対象外】　躯体改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
増築廊下(北側接続部)		1	式			別紙 00-0027
鋼板	SS400 PL-4.5 (0.025t)	1	式			
鋼板	SS400 PL-6 (0.041t)	1	式			
鋼板	SS400 PL-9	0.1	t			
鋼板	SS400 PL-12 (0.022t)	1	式			
鋼板	SS400 PL-16 (0.021t)	1	式			
H形鋼	SS400 H-125×125×6.5×9	0.1	t			
H形鋼	SS400 H-194×150×6×9	0.7	t			
リップ溝形鋼	SSC400 C-100×50×20×3.2	0.2	t			
角形鋼管	STKR400 □-100×100×2.3 (0.037t)	1	式			
角形鋼管	STKR400 □-150×150×6	0.2	t			
鉄骨ｽｸﾗｯﾌﾟ控除		▲0.05	t			
(加工組立建方)						
工場加工組立	溶接材料及び溶接手間共 (34.3m)	1.4	t			
工場錆止め塗装	JIS K 5674 2回塗	54.1	㎡			

増床工事【補助対象外】　躯体改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
増築廊下(北側接続部)		1	式			別紙 00-0027
鉄骨運搬		1.4	t			
現場建方	楊重機別途	1.4	t			
水平ブレース(材工共)	SS400 M16 L=3400 丸鋼、羽子板、TB共	2.	か所			
水平ブレース(材工共)	SS400 M16 L=3600 丸鋼、羽子板、TB共	2.	か所			
水平ブレース(材工共)	SS400 M16 L=3900 丸鋼、羽子板、TB共	2.	か所			
ﾄﾙｼｱ形高力ﾎﾞﾙﾄ	S10T M16 L=35	33.	本			
ﾄﾙｼｱ形高力ﾎﾞﾙﾄ	S10T M16 L=40	21.	本			
高力ﾎﾞﾙﾄ締付け		52.	本			
中ボルト	M12 L=35 座金、ﾅｯﾄ含	67.	本			
中ﾎﾞﾙﾄ締付け		64.	本			
ﾍﾞｰｽ下均しﾓﾙﾀﾙ(材工共)	230×350　厚30	2.	か所			
貫通ﾎﾞﾙﾄ	M16 L=130	4.	本			
貫通ﾎﾞﾙﾄ	M16 L=350	2.	本			
貫通ﾎﾞﾙﾄ	M16 L=400	10.	本			

増床工事【補助対象外】　躯体改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
増築廊下(北側接続部)		1	式			別紙 00-0027
調整ﾓﾙﾀﾙ(材工共)	80×230　厚10	2.	か所			
調整ﾓﾙﾀﾙ(材工共)	150×250　厚10	12.	か所			
貫通後無収縮ﾓﾙﾀﾙ(材工共)	16×130　厚16	4.	か所			
貫通後無収縮ﾓﾙﾀﾙ(材工共)	16×350　厚16	2.	か所			
貫通後無収縮ﾓﾙﾀﾙ(材工共)	16×400　厚16	10.	か所			
超音波探傷検査	第三者検査 工場内検査	5.	か所			
計						

増床工事【補助対象外】　躯体改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
前期校舎2階床補強		1	式			別紙 00-0028
鋼板	SS400 PL-6 (0.018t)	1	式			
鋼板	SS400 PL-9 (0.008t)	1	式			
鋼板	SS400 PL-16	0.1	t			
H形鋼	SS400 H-396×199×7×11	0.9	t			
溝形鋼	SS400 [-125×65×6×8	0.4	t			
鉄骨ｽｸﾗｯﾌﾟ控除		▲0.04	t			
（加工組立建方）						
工場加工組立	溶接材料及び溶接手間共 (3.5m)	1.3	t			
工場錆止め塗装	JIS K 5674 2回塗	38.8	㎡			
鉄骨運搬		1.3	t			
現場建方	楊重機別途	1.3	t			
ﾄﾙｼｱ形高力ﾎﾞﾙﾄ	S10T M20 L=45	21.	本			
高力ﾎﾞﾙﾄ締付け		20.	本			
貫通ﾎﾞﾙﾄ	M16 L=400	16.	本			

増床工事【補助対象外】　躯体改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
前期校舎2階床補強		1	式			別紙 00-0028
貫通ﾎﾞﾙﾄ	M20 L=350	16.	本			
貫通ﾎﾞﾙﾄ	M20 L=400	12.	本			
貫通後無収縮ﾓﾙﾀﾙ(材工共)	20×350　厚20	16.	か所			
貫通後無収縮ﾓﾙﾀﾙ(材工共)	16×400　厚16	16.	か所			
貫通後無収縮ﾓﾙﾀﾙ(材工共)	20×400　厚20	12.	か所			
計						

増床工事【補助対象外】　躯体改修工事　改　修

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
こども園接続部屋根		1	式			別紙 00-0029
鋼板	SS400 PL-6 (0.023t)	1	式			
鋼板	SS400 PL-9 (0.034t)	1	式			
鋼板	SS400 PL-12 (0.014t)	1	式			
H形鋼	SS400 H-148×100×6×9	0.4	t			
鉄骨ｽｸﾗｯﾌﾟ控除		▲0.01	t			
(加工組立建方)						
工場加工組立	溶接材料及び溶接手間共 (11.4m)	0.4	t			
工場錆止め塗装	JIS K 5674 2回塗	13.7	㎡			
鉄骨運搬		0.4	t			
現場建方	楊重機別途	0.4	t			
水平ブレース (材工共)	SS400 M16 L=2700 丸鋼、羽子板、TB共	2.	か所			
水平ブレース (材工共)	SS400 M16 L=3400 丸鋼、羽子板、TB共	2.	か所			
ﾄﾙｼｱ形高力ﾎﾞﾙﾄ	S10T M16 L=35	21.	本			
ﾄﾙｼｱ形高力ﾎﾞﾙﾄ	S10T M16 L=40	8.	本			

増床工事【補助対象外】	躯体改修工事			改　修		
名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
こども園接続部屋根		1	式			別紙 00-0029
高力ﾎﾞﾙﾄ締付け		28.	本			
貫通ﾎﾞﾙﾄ	M16 L=400	8.	本			
調整ﾓﾙﾀﾙ(材工共)	150×250　厚10	8.	か所			
貫通後無収縮ﾓﾙﾀﾙ(材工共)	16×400　厚16	8.	か所			
計						

A棟給食室解体　　直接仮設工事

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
外部足場		1	式			別紙 00-0030
枠組本足場	手すり先行方式 建地幅900mm 12m未満 存置3ヶ月	199.	㎡			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 存置期間:3ヶ月 運搬費共	40.1	m			
計						
内部足場		1	式			別紙 00-0031
内部仕上足場	(脚立足場) 階高4.0m未満 運搬費共 存置期間:2ヶ月	335.	㎡			
計						
災害防止		1	式			別紙 00-0032
災害防止	(ﾒｯｼｭｼｰﾄ張り) 防炎性能Ⅰ類 存置期間:7ヶ月	199.	㎡			
災害防止	(小幅ﾈｯﾄ張り) 防炎ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ 存置期間:7ヶ月	40.1	m			
計						

B棟業務員室部分解体　　直接仮設工事

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
外部足場		1	式			別紙 00-0033
枠組本足場	手すり先行方式 建地幅900mm 12m未満 存置3ヶ月	274.	㎡			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 存置期間:3ヶ月 運搬費共	55.5	m			
計						
内部足場		1	式			別紙 00-0034
内部仕上足場	(脚立足場) 階高4.0m未満 運搬費共 存置期間:2ヶ月	136.	㎡			
計						
災害防止		1	式			別紙 00-0035
災害防止	(ﾒｯｼｭｼｰﾄ張り) 防炎性能Ⅰ類 存置期間:7ヶ月	274.	㎡			
災害防止	(小幅ﾈｯﾄ張り) 防炎ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ 存置期間:7ヶ月	55.5	m			
計						

外構工事【補助対象外】　舗装工事

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
土工機械運搬費		1	式			別紙 00-0036
土工機械運搬費	根切り・埋戻し用	2.	往復			
計						

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
仮囲いA	(ｶﾗｰ万能鋼板)運搬費共 H=3000 設置期間:7ヶ月	20.	m			
仮囲いA	(ｶﾗｰ万能鋼板)運搬費共 H=3000 設置期間:14ヶ月	15.	m			
仮囲いA	(ｶﾗｰ万能鋼板)運搬費共 H=3000 設置期間:18ヶ月	60.	m			
仮囲いA盛替え	(ｶﾗｰ万能鋼板) H=3000	60.	m			
仮門A	(ﾊﾟﾈﾙｷｬｽﾀｰｹﾞｰﾄ)運搬費共 W8000×H2000 設置期間:18ヶ月	1.	か所			
仮門A盛替え	(ﾊﾟﾈﾙｷｬｽﾀｰｹﾞｰﾄ) W8000×H2000	1.	か所			
仮囲いB	(A型ﾊﾞﾘｹｰﾄﾞ)運搬費共 単管2m共 設置期間:18ヶ月	63.	m			
仮門C	(ﾊﾟﾈﾙｷｬｽﾀｰｹﾞｰﾄ)運搬費共 W2500×H2000 設置期間:14ヶ月	1.	か所			
仮設鉄板敷	(敷鉄板)運搬費共 3048×1542×厚22 設置期間:14ヶ月	149.	㎡			
仮設鉄板敷	(敷鉄板)運搬費共 3048×1542×厚22 設置期間:18ヶ月	605.	㎡			
揚重機		1	式			別紙 00-0037
交通誘導警備員B		370.	人			
計						

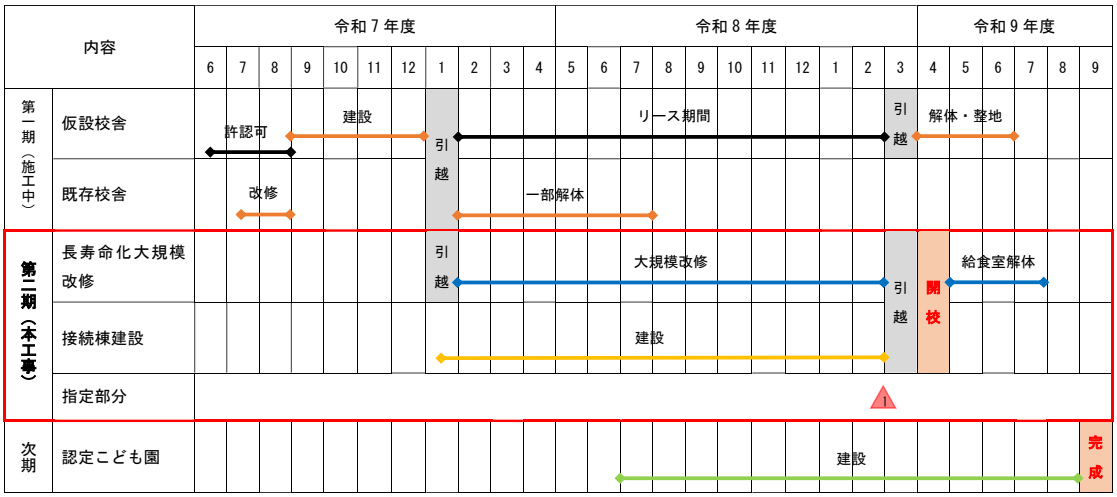
名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
揚重機		1	式			別紙 00-0037
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ	16t吊り　ｵﾍﾟﾚｰﾀ付き	30.	日			
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ	25t吊り　ｵﾍﾟﾚｰﾀ付き	60.	日			
計						

岡谷市川岸学園整備第２期工事
現場説明書

■工事概要

本工事は、岡谷市川岸学園整備に係る前期校舎（川岸小学校）の長寿命化大規模改修及び既存校舎を繋ぐ接続棟の建設を主目的とした工事となります。

想定整備スケジュールは次のとおりです。



■留意事項

・ 学校運営をしながらの工事となるため、各工程に合わせ交通誘導員を適切に配置するなど、学校利用者の安全対策の徹底と事故防止に努めてください。

・ 前期校舎の第一体育館は、周辺諸室施工中の既存備品の仮置場を想定しているため、施工順序に配慮してください。

・ 今後学校敷地内において下記工事が別途予定されていることから、工事間の調整等については綿密に打ち合わせを行い、各者協力して施工してください。

① 次期認定こども園建設工事（令和８～９年度予定）

② 災害用トイレ設置工事（水道課発注、令和８年度予定）

③ 急傾斜地崩壊対策工事（長野県発注、令和８～９年度予定）

■支払いについて

・ 本工事は３ヵ年度に渡る債務負担行為の契約となり、各年度の想定出来高は下表のとおりです。前払い金の比率も想定出来高からの算出となります。

・ 部分引渡しを受けるべき指定部分は次のとおりです。

① 既存校舎改修及び接続棟建設　令和９年２月

・ 上記部分引渡しのほか、各年度末に出来高部分払いを行う予定ですので、想定出来高及び留意事項を考慮して工事を施工してください。

第２期工事想定出来高

	令和７年度	令和８年度	令和９年度
累計出来高	５％	９５％	１００％

岡谷市川岸学園整備　第2期（ 長寿命化大規模改修 ）
建築主体工事

2025年9月30日

入札用
25.09.30

意匠【改修】						意匠【撤去・解体】				構造			
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-001	設計概要書・法規チェックリスト	A-054	2階平面詳細図（5）	A-107	家具詳細図（1）	A-201	撤去マテリアルリスト	A-301	A棟1階平面図【既存図・参考】		共通図面		現況図
A-002	改修特記仕様書（1）	A-055	3階平面詳細図（1）	A-108	家具詳細図（2）	A-202	1階平面図（改修前）	A-302	A棟2階平面図【既存図・参考】	S-001	構造特記仕様書（構造関係-1）	S-401	基礎伏図（現況）
A-003	改修特記仕様書（2）	A-056	3階平面詳細図（2）	A-109	家具詳細図（3）	A-203	2階平面図（改修前）	A-303	A棟3階平面図・屋根伏図【既存図・参考】	S-002	構造特記仕様書（構造関係-2）	S-402	2階梁伏図（現況）
A-004	改修特記仕様書（3）	A-057	3階平面詳細図（3）	A-110	家具詳細図（4）	A-204	3階平面図（改修前）	A-304	B棟1階平面図【既存図・参考】	S-003	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）	S-403	3階梁伏図（現況）
A-005	改修特記仕様書（4）	A-058	3階平面詳細図（4）	A-111	家具詳細図（5）	A-205	屋根伏図（改修前）	A-305	B棟2階平面図【既存図・参考】	S-004	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（2）	S-404	R階梁伏図（現況）
A-006	改修特記仕様書（5）	A-059	水廻り詳細図（1）	A-112	家具詳細図（6）	A-206	立面図（1）（改修前）	A-306	B棟屋根伏図【既存図・参考】	S-005	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（3）	S-405	鉄骨梁伏図（現況）
A-007	改修特記仕様書（6）	A-060	水廻り詳細図（2）	A-113	家具詳細図（7）	A-207	立面図（2）（改修前）	A-307	C棟1階平面図【既存図・参考】	S-006	鉄骨構造標準図（1）	S-406	軸組図1　管理教室棟（現況）
A-008	改修特記仕様書（7）	A-061	部分詳細図（1）	A-114	家具詳細図（8）	A-208	1階建具キープラン（改修前）	A-308	C棟2階平面図【既存図・参考】	S-007	鉄骨構造標準図（2）	S-407	軸組図2　管理教室棟（現況）
A-009	改修特記仕様書（8）	A-062	部分詳細図（2）	A-115	家具詳細図（9）	A-209	2階建具キープラン（改修前）	A-309	C棟3階平面図【既存図・参考】	S-008	構造関係共通事項	S-408	軸組図3　管理教室棟（現況）
A-010	改修特記仕様書（9）	A-063	部分詳細図（3）	A-116	家具詳細図（10）	A-210	3階建具キープラン（改修前）	A-310	C棟屋根伏図【既存図・参考】	S-009	デッキ合成スラブ設計・施工標準仕様書（参考図）	S-409	軸組図4　体育館棟（現況）
A-011	解体特記仕様書	A-064	共通詳細図（1）	A-117	家具詳細図（11）	A-211	建具表（改修前１）	A-311	矩計図（C棟）【既存図・参考】	S-010	改修概要伏図（1）	S-410	軸組図5　体育館棟（現況）
A-012	工事区分表	A-065	共通詳細図（2）	A-118	家具詳細図（12）	A-212	建具表（改修前２）	A-312	矩計図（A、B棟）【既存図・参考】	S-011	改修概要伏図（2）	S-411	軸組図6　特別教室棟（現況）
A-013	案内図・配置図	A-066	展開図（1）	A-119	家具詳細図（13）	A-213	建具表（改修前３）	A-313	矩計図（A棟）【既存図・参考】	S-012	改修概要伏図（3）	S-412	軸組図7　特別教室棟（現況）
A-014	1階全体平面図	A-067	展開図（2）	A-120	家具詳細図（14）	A-214	建具表（改修前４）	A-314	矩計図（B棟、体育館）【既存図・参考】	S-013	改修概要伏図（4）	S-413	軸組図8　教室棟1（現況）
A-015	2階全体平面図	A-068	展開図（3）	A-121	家具詳細図（15）	A-215	1階天井伏図（改修前）	A-315	矩計図（B棟、体育館）【既存図・参考】			S-414	軸組図9　教室棟1（現況）
A-016	3階全体平面図	A-069	展開図（4）	A-122	家具詳細図（16）	A-216	2階天井伏図（改修前）	A-316	矩計図（プレイルーム）【既存図・参考】		分離増築棟（北側接続部）	S-415	基礎リスト
A-017	仕上特記事項	A-070	展開図（5）	A-123	白板キープラン	A-217	3階天井伏図（改修前）	A-317	階段詳細図【既存図・参考】	S-101	スーパーハイベース工法設計施工標準（参考図）（改修後）	S-416	地中梁リスト
A-018	仕上表（1）	A-071	展開図（6）	A-124	白板詳細図	A-218	外構撤去図（1）	A-318	便所平面詳細図【既存図・参考】	S-102	スーパーハイベース工法各種寸法（参考図）（改修後）	S-417	柱リスト1
A-019	仕上表（2）	A-072	展開図（7）	A-125	舞台機構詳細図	A-219	外構撤去図（2）	A-319	厨房平面詳細図【既存図・参考】	S-103	柱状図・調査位置図（改修後）	S-418	柱リスト2
A-020	仕上表（3）	A-073	展開図（8）	A-126	体育器具詳細図（1）	A-220	外構撤去詳細図（1）	A-320	音楽室、公仕室詳細図【既存図・参考】	S-104	伏図・軸組図（改修後）	S-419	大梁リスト1
A-021	仕上表（4）	A-074	展開図（9）	A-127	体育器具詳細図（2）	A-221	外構撤去詳細図（2）	A-321	展開図（1）【既存図・参考】	S-105	RCリスト・鉄骨部材リスト（改修後）	S-420	大梁リスト2
A-022	仕上表（5）	A-075	展開図（10）	A-128	体育器具詳細図（3）	A-222	外構撤去詳細図（3）	A-322	展開図（2）【既存図・参考】	S-106	鉄骨架構詳細図（改修後）	S-421	小梁リスト
A-023	仕上表（6）	A-076	展開図（11）	A-129	プレイルーム屋内遊具詳細図（1）	A-223	外構撤去詳細図（4）	A-323	展開図（3）【既存図・参考】			S-422	床・壁リスト
A-024	仕上表（7）	A-077	展開図（12）	A-130	プレイルーム屋内遊具詳細図（2）			A-324	展開図（4）【既存図・参考】		増築廊下（北側接続部）		
A-025	仕上リスト（1）	A-078	展開図（13）	A-131	プレイルーム屋内遊具詳細図（3）			A-325	展開図（5）【既存図・参考】	S-107	増築廊下（北側接続部）伏図・詳細図他		
A-026	仕上リスト（2）	A-079	1階天井伏図（1）（改修後）	A-132	外断熱工法参考図			A-326	展開図（6）【既存図・参考】				
A-027	1階平面図（改修後）	A-080	1階天井伏図（2）（改修後）	A-133	屋根かぶせ工法参考図			A-327	展開図（7）【既存図・参考】				
A-028	2階平面図（改修後）	A-081	1階天井伏図（3）（改修後）	A-134	外構平面図（1）			A-328	展開図（8）【既存図・参考】		耐震補強・吹き抜け閉塞		
A-029	3階平面図（改修後）	A-082	2階天井伏図（1）（改修後）	A-135	外構平面図（2）			A-329	展開図（9）【既存図・参考】	S-201	補強・改修伏図、軸組図		
A-030	屋根伏図（改修後）	A-083	2階天井伏図（2）（改修後）	A-136	外構平面図（3）			A-330	展開図（10）【既存図・参考】	S-202	耐震補強詳細図		
A-031	立面図（1）（改修後）	A-084	2階天井伏図（3）（改修後）	A-137	雨水排水平面図（1）			A-331	展開図（11）【既存図・参考】				
A-032	立面図（2）（改修後）	A-085	3階天井伏図（1）（改修後）	A-138	雨水排水平面図（2）			A-332	展開図（12）【既存図・参考】		増築廊下（南側接続部）		
A-033	断面図（改修後）	A-086	3階天井伏図（2）（改修後）	A-139	外構詳細図（1）			A-333	展開図（13）【既存図・参考】	S-301	こども園接続部伏図・詳細図他		
A-034	矩計図（1）	A-087	建具特記仕様書	A-140	外構詳細図（2）			A-334	展開図（14）【既存図・参考】				
A-035	矩計図（2）	A-088	1階建具キープラン（改修後）	A-141	外構詳細図（3）			A-335	体育館コート計画図【既存図・参考】				
A-036	矩計図（3）	A-089	2階建具キープラン（改修後）	A-142	外構詳細図（4）			A-336	体育器具取付図【既存図・参考】				
A-037	矩計図（4）	A-090	3階建具キープラン（改修後）	A-143	外構詳細図（5）【参考図】			A-337	体育器具取付配線図【既存図・参考】				
A-038	階段詳細図	A-091	建具表（1）（改修後）	A-144	外構詳細図（6）【参考図】			A-338	昇降口詳細図【既存図・参考】				
A-039	1階平面詳細図（1）	A-092	建具表（2）（改修後）	A-145	仮設計画図（1）			A-339	A棟普通教室補強ブレース部平面図【既存図・参考】				
A-040	1階平面詳細図（2）	A-093	建具表（3）（改修後）	A-146	仮設計画図（2）			A-340	A棟普通教室補強ブレース部展開図【既存図・参考】				
A-041	1階平面詳細図（3）	A-094	建具表（4）（改修後）	A-147	敷地現況図			A-341	A棟職員室補強ブレース部平面図【既存図・参考】				
A-042	1階平面詳細図（4）	A-095	建具表（5）（改修後）	A-148	日影図（1）			A-342	A棟職員室補強ブレース部展開図【既存図・参考】				
A-043	1階平面詳細図（5）	A-096	建具詳細図（1）【AW参考図】	A-149	日影図（2）			A-343	A棟職員室補強ブレース部矩計図【既存図・参考】				
A-044	1階平面詳細図（6）	A-097	建具詳細図（2）【学校間仕切参考図】	A-150	日影図（3）			A-344	A棟高置水槽棟矩計図【既存図・参考】				
A-045	1階平面詳細図（7）	A-098	配置サインキープラン・サイン意匠図	A-151	日影図（4）			A-345	A棟高置水槽棟雑詳細図【既存図・参考】				
A-046	1階平面詳細図（8）	A-099	1階サインキープラン	A-152	敷地面積求積図			A-346	A棟普通教室ブレース囲い詳細図【既存図・参考】				
A-047	1階平面詳細図（9）	A-100	2階サインキープラン	A-153	建物面積求積図			A-347	A棟補強ブレース構造図【既存図・参考】				
A-048	1階平面詳細図（10）	A-101	3階サインキープラン	A-154	1階法規チェック図			A-348	A棟職員室補強ブレース廻り詳細図【既存図・参考】				
A-049	1階平面詳細図（11）	A-102	サイン意匠図（1）	A-155	2階法規チェック図			A-349	A棟高置水槽棟構造図【既存図・参考】				
A-050	2階平面詳細図（1）	A-103	サイン意匠図（2）	A-156	3階法規チェック図			A-350	A棟高置水槽鉄骨図【既存図・参考】				
A-051	2階平面詳細図（2）	A-104	1階家具キープラン	A-157	法規チェック表								
A-052	2階平面詳細図（3）	A-105	2階家具キープラン										
A-053	2階平面詳細図（4）	A-106	3階家具キープラン										

AEA + SITE
エーシーエ・サイト
建築設計事務所

代表：株式会社エーシーエ設計
一級建築士事務所登録
（長野）　M第 77312　号

管理建築士　一級建築士登録
第222107号　湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号　海瀬務

検査者　湯本桂司

担当　平林

担当

Job No.　24078

工事名

岡谷市川岸学園整備 第2期
（長寿命化大規模改修）
建築主体工事

発行日　2025.09.30

図面名称

図面リスト

縮尺

A- 000

入札用
25.09.30

Copyright (C)株式会社エーシーエ設計　著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁止する。

■ 建 築 設 計 概 要

工 事 名 称

岡谷市川岸学園整備 第2期（長寿命化大規模改修）建築主体工事

■ 概 要

建　　築　　主	〒394-0029 長野県岡谷市幸町８番１号			
住 所 氏 名	岡谷市長　早出　一真			
地 名 地 番	長野県岡谷市川岸中一丁目1番1号・2号			
（住居表示）				
都 市 計 画	都市計画区域 (㊥・外)・市街化区域・市街化調整区域 ⊙指定なし			
用 途 地 域	第1種住居地域、準住居地域			
建ぺい率	建ぺい率：　60　％（60%+角地緩和10%）　※角地緩和要協議			
容　積　率	容積率　：200　％			
防 火 地 域	・防火⊙準防火・指定なし・法22条区域（内・外）			
そ　の　他	景観地区（一般地域）、都市機能誘導区域、住居誘導区域			
前 面 道 路	北側　市道【川岸116号線】：幅員5～10ｍ　接道長さ120．49ｍ			
	東側　県道【14号線】：幅員16ｍ　接道長さ231．94ｍ　※都市計画道路【3・4・6岡谷川岸線】			
	市道【川岸382号線】：幅員5ｍ　接道長さ127．43ｍ			
	市道【川岸117号線】：幅員4ｍ　接道長さ70．60ｍ			
	南側　市道【川岸115号線】：幅員4ｍ　接道長さ68．59ｍ			
緯度・経度・標高	北緯　36°04'55"・東経　138°02'60"・標高　764ｍ			
敷 地 面 積	測量年月日	2024年　10月	測量者氏名	株式会社土木管理総合試験所
	敷　地　面　積	41010．96㎡		
	平均地盤面の高さ			
	KBMの高さ	KBM1=（TP．768．88）、KBM2=（TP．769．30）		
開発行為（都計法）	なし　※協議中			
高 さ 制 限	絶対高さ制限　⊙無　・有（　ｍ）			
	道路斜線　・無　⊙有（適用距離　20ｍ、勾配　×1．25）			
	隣地斜線　・無　⊙有（立上り　20ｍ、勾配　×1．25）			
	北側斜線　⊙無　・有（立上り　ｍ、勾配　×　）			
日 影 規 制	・無　⊙有			
	第1種住居地域：高さ10ｍを超える建築物　規制時間4．0h/2．5h　測定面高＋4．0m			
その他設計条件	垂直積雪量　0．74　m			
	多雪地域指定の有無　・有　⊙無			
	勾配面における積雪荷重並びに他の外力との組合せによる応力計算の扱い方は建築基準法施行令第3章第8節による。			
	設計用地下水位　接続線：SBL-1．25ｍ、　認定こども園線：SBL-4．34ｍ			
	凍結深度　BL-　0．60ｍ　（凍結深度以下まで基礎または砂利を設置する）			
	最大降雨量　96．71mm/ｈｒ（長野県最大降雨強度式（諏訪）10年確率・継続時間10分）			
	雨水処理方法　⊙地下浸透による　⊙側溝（河川）放流			
	ハザードマップ　⊙指定なし			
	土砂災害　一部土砂災害特別警戒区域　一部土砂災害警戒区域			

■ 計 画 概 要

主 要 用 途	建築基準法（特殊建築物）	08082 義務教育学校，　一部08132 幼保連携型認定こども園		
		法別表1（い）欄（三）項，　一部（い）欄（二）項　特殊建築物に該当		
	消防法	防火対象物の用途区分（令別表第一）（16）項イ　複合用途		
		義務教育学校：(7) 項，幼保連携型認定こども園：(6)項ハ(3)		
排水処理方法	⊙下水道放流　・浄化槽（地下浸透）　・地下浸透による　・側溝（河川）放流			
	対　象　比		≦	許　容　限　度
容積率（法第52条）			≦	200．00　％
建ぺい率（法第53条）			≦	70．00　％
駐 車 施 設（駐車場法）	附置義務　有　・　(無)　設置台数　台　≧　附置義務台数　台			
	屋　外　自走式　台　機械式　（　）　台			
	屋　内　自走式　台　機械式　（　）　台			

面 積 表

	申　請　部　分	申請以外の部分	合　　計
敷 地 面 積	41010．96㎡	0．00㎡	41010．96㎡
建築面積　合計			
延べ面積　合計			
容積率対象外面積			

容積率対象面積の算定根拠は求積図による

■ 法規チェックリスト

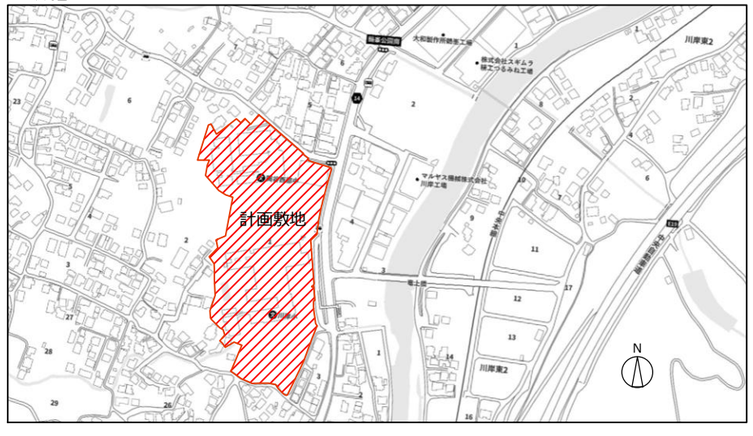
●建築基準法

項目		条項 等	適用 全体	適用 学	適用 子	内容
特殊建築物		別表第1・令19条115条の3		○	○	別表第1（3）項　義務教育学校、（2）項　幼保連携型認定こども園
耐火準耐火建築物		法27条・令115条の3 法61条・法62条		○	○	特殊建築物　耐火建築物（3階以上に用途に供する部分がある） 接続施設：耐火別棟（準耐火建築物ロ-2）
法22条区域内の防火制限		法22～24条	○			区域内建築物：屋根→不燃材料で造るか、又はふく等のほか、大臣認定のもの
防火区画		令112条				
	面積区画	令112条-1～3	○			耐火建築物で1500㎡以内ごと、準耐火建築物ロ-2で1000㎡以内ごとに区画
	高層区画	令112条-5～7				2階建て
	竪穴区画	令112条-9	○			3階以上の階に居室
	異種用途区画	令112条-12～13	○			義務教育学校ー幼保連携型認定こども園
内装制限		法35条の2、令128条の3の2			○	居室、通路、階段など：高さ＞1．2ｍの壁・天井→準不燃（学校部分は免除）
		令129条		○	○	火気使用室：主要構造部が耐火構造の部分は免除
		令128条の3の2	○			排煙上の無窓居室（50㎡を越える、天井高6ｍ以下の居室）
階段		令23条～27条		○	○	認定こども園・前期課程　幅：1400mm以上　蹴上：160mm以下　踏面：260mm以上
				○		後期課程　幅：1400mm以上　蹴上：180mm以下　踏面：260mm以上
	直通階段の設置	令120条		○	○	1-（二），（三）：歩行距離→50ｍ（一部無窓居室30ｍ）
	2以上の直通階段	令121条 （耐火構造による倍読み）		○	○	避難階の直上階で居室の床面積が400㎡、その他の階で200㎡ 児童福祉施設で避難階以外の階における主たる用途に供する居室100㎡を超える
	重複区間	令121条-3		○	○	歩行距離→25ｍ
廊下の幅		令117条119条		○	○	両側居室：有効幅≧2．3ｍ　その他：有効幅≧1．8ｍ
屋外への出入口		令125条		○	○	階段から屋外への出口までの歩行距離：50ｍ 避難階の居室の各部分から屋外への出口までの歩行距離：100ｍ
敷地内通路		令128条	○			避難階の出口から道路に通じる部分≧1．5ｍ
非常用進入口		令126条の6		○		3階以上の階
居室の採光						
	採光	令19条		○	○	教室、保育室：1/5以上の採光（床面照度200lx以上で1/7以上）
	換気	法28条		○	○	居室面積の1/20以上の自然換気または機械換気
シックハウス		法28条の2		○	○	内装、24時間換気　天井裏等の制限
換気設備		法28条の3		○	○	特殊建築物の居室、火気使用室
排煙設備		令126条の2			○	特殊建築物で延べ床面積＞500㎡（学校部分は免除）
窓その他の開口部を有しない居室		令116条の2		○	○	採光面積：床面積×1/20
				○	○	排煙面積：床面積×1/50（天井から下方80ｃｍ以内有効）
		令111条		○	○	開口面積：床面積×1/20または直径1ｍ以上の円が内接 または75cm×1．2ｍ以上の開口部
非常用の照明		令126条の4			○	居室及び居室から地上に通ずる廊下等（学校部分は免除）
避雷設備		令129条の14・15				高さ＜20ｍ

●長野県建築基準条例

項目	条項 等	適用 全体	適用 学	適用 子	内容
教室の出入口	第11条		○	○	学校の教室その他児童が使用する居室には、避難上有効な2以上の出入口を設けなければならない。 ただし、主要構造部が耐火構造で居室床面積が50㎡以下である場合はこの限りでない。
避難階の出口	第13条、26条		○	○	建物の避難階において、避難上有効な2以上の出口を設けなければならない。 出口は避難上支障がない通路、道、広場、空地等に面すること。 出口の幅は廊下幅より10cm以上狭くしないこと。
敷地等と道路との関係（学校）	第29条	○			学校の敷地の接道　幅員6ｍ以上の道路に8ｍ以上接すること。

■ 案内図　1/4000



●消防法

用途区分	令別表第1	適用	①前期校舎+②認定こども園 全体（16）項イ　複合用途　［（7）項+（6）項ハ（3）］	適用	接続線 （7）項
収容人員・算定	規1の2				
消火器	令10-1	○	①②：一般階　床面積≧150㎡	○	一般階　床面積≧150㎡
屋内消火栓設備	令11	○	①：床面積2100㎡（耐火建築物）超のため適用	○	床面積＞700㎡ パッケージ型消火設備で代用
		－	②：床面積2100㎡（耐火建築物）未満のため不要		
スプリンクラー設備	令12	－	①：学校用途のため不要	－	学校用途のため不要
		－	②：延面積6000㎡未満のため不要		
屋外消火栓設備	令19	－	①②：1階及び2階の部分の床面積の合計が 9000㎡（耐火建築物）未満のため不要	－	1階及び2階の部分の床面積の合計が 6000㎡（準耐火建築物）未満のため不要
動力消防ポンプ設備	令20	－	屋内消火栓設置対象物 ①：1階もしくは2階に屋内消火栓設置により免除	－	
自動火災報知設備	令21	○	延床面積≧300㎡	○	延床面積≧300㎡
漏電火災警報器	令22	○	①②：延面積500㎡以上かつ、②の部分で300㎡以上のため適用	－	
消防機関へ通報する火災報知設備	令23	○	①：延面積1000㎡以上のため適用	－	①：延面積1000㎡未満のため不要
		○	②：延面積500㎡以上のため適用		
非常警報器具・設備	令24	○	①：収容人数≧50人⇒自動火災報知設備設置により代替	○	収容人数≧50⇒自動火災報知設備設置により代替
		○	②：収容人数≧50人⇒自動火災報知設備設置により代替		
避難器具	令25　規26-1	○	①：3階以上の階で収容人員10名以上	－	
誘導灯・誘導標識	令26　規28の3	○	誘導灯	○	誘導灯
消防用水	令27	協議	敷地面積20000㎡以上		
排煙設備	令28	－		－	

●その他法律・条例関係

項目	条項 等	適用 全体	適用 学	適用 子	内容
都市計画法 開発行為	法29条 規60条				協議（長野建設事務所）
エネルギーの使用の合理化に関する法律			○	○	協議：増築部分のみを対象に適合義務
バリアフリー法			○	○	建築物移動円滑化基準　適合義務　：特別特定建築物（公立小中学校）、特定建築物（保育所）
長野県福祉のまちづくり条例	第25条		－	－	特別特定建築物（公立小中学校）、特定建築物（保育所）：建築主が地方公共団体のため届出不要
岡谷市長野県福祉のまちづくり条例					協議（岡谷市社会福祉課）
景観法及び長野県景観条例		○			届出：建築面積1000㎡を超える
長野県地球温暖化対策条例		○			届出：床面積300㎡以上
埋蔵文化財保護法		○			届出（岡谷市教育委員会経由）：遺跡名　能登舟（古墳）
土壌汚染対策法					協議：3000㎡以上の土地の形質の変更を行う場合

ACA + SITE
エーシーエ・サイト

代表：株式会社エーシーエ設計
一級建築士事務所登録
（長野）　M第 77312　号

管理建築士　一級建築士登録
第222107号　湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号　海瀬務

検査者　湯本桂司

担当　平林

担当

Job No.　24078

工事名

岡谷市川岸学園整備 第2期
（長寿命化大規模改修）
建築主体工事

発行日　2025.09.30

図面名称

設計概要書・法規チェックリスト

縮尺

A-001

入札用 25.09.30

Copyright (C)株式会社エーシーエ設計　著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁止する。

岡谷市川岸学園整備 第2期（長寿命化大規模改修）

建築主体工事　特記仕様書

Ⅰ　工事概要

■ 概　要

建　築　主	〒394−0029 長野県岡谷市幸町８番１号
住 所 氏 名	岡谷市長　早出　一真
工 事 場 所	長野県岡谷市川岸中一丁目1番1号・2号
（住居表示）	
都 市 計 画	都市計画区域（㊒　・　外）・市街化区域・市街化調整区域(・)指定なし
用 途 地 域	・第1種低層・第2種低層・第1種中高層・第2種中高層(・)第1種住居・第2種住居 (・)準住居・田園・近隣商業・商業・準工業・工業・工業専用
敷 地 面 積	41,010.96㎡

■ 計 画 概 要

主 要 用 途	建築基準法	08082 義務教育学校，　一部08132 幼保連携型認定こども園
	消防法	防火対象物の用途区分（令別表第一）（16）項イ　複合用途
		義務教育学校：(7)項，幼保連携型認定こども園：(6)項ハ(3)
工 事 種 別	・新築 (・)増築（既存　・　躯別）・改築(・)改修（大規模の修繕・模様替）・用途変更	
構　造	RC造	
耐火建築物の指定	・無 (・)耐火 ・準耐火（　　）・防火（　　）	
階　数	地上　3　階建	

1．工事種目

1.前期校舎（現川岸小学校）　RC造	長寿命化大規模改修
	部分解体
	部分増築

2．工事内容

外壁　改修工事
防水　改修工事
内装　改修工事
建具　改修工事
躯体　部分解体工事
アスベスト　除去工事

3．工事範囲　図示の範囲

Ⅱ　建築改修工事仕様

（１）図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版）」（以下「改修標準仕様書」という。）による。
　図面、本特記仕様書及び改修標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版）（以下「標準仕様書」という。）による。
　本特記仕様書、標準仕様書、改修標準仕様書内の"監督職員"は"工事監理者"と読み替えて適用しても良いこととする。

（２）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の工事特記仕様書は（　E　）図、機械設備工事の工事特記仕様書は（　M　）図による。

（３）本特記仕様書の表記
１）項目は、(・)印の付いたものを適用する。
２）特記事項は、(・)印の付いたものを適用する。
　(・)印の付かない場合は、✻印の付いたものを適用する。
　(・)印と✻印の付いた場合は、共に適用する。
３）特記事項に記載の［　．　．　］内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
４）特記事項に記載の（　．　．　）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
５）Ⓠ印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（平成12年法律第100号）に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和7年1月28日変更閣議決定）」における判断の基準（特定調定調達品目「公共工事」においては表１中の品目ごとの判断基準）を満たすものを示す。

章	項　目	特　記　事　項
1章 共通事項	(・)適用基準	１）図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 (・)建築物解体工事共通仕様書（令和４年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部 (・)営繕工事電子納品要領（令和３年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部 (・)営繕工事写真撮影要領（令和５年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部 (・)営繕工事写真撮影要領・同解ノ工事写真の撮り方（令和５年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部 ２）本設計図書における「標準詳細図」とは、次の基準を指す。 建築工事標準詳細図（令和4年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課
	(・)適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 (・)風圧力 風速（V ＝ 30 m/s） 地表面粗度区分（ Ⅲ ） ・積雪荷重 平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域 別表（　　）
	(・)工事現場管理	
	工事着手届	実際に着手した年月日を記入する。 請負契約後工事着工まで長時間に及ぶときは、その理由書を添付すること
	監理技術者届	１級国家資格者であり経験年数（10 ）年以上であること。
	現場代理人届	１級国家資格者として本工事に専任するものとする。
	現場員名簿届	担当氏名、生年月日、最終学歴、経験年数、資格等を一連に記入したもの（履歴書添付）
	下請負人承諾願	請負者は下請負人につき監督職員の承諾を得る。
	縮小図面提出	請負者は、着工時に設計図面の１／２縮小製本図を（ ５ ）組 １／１製本図を（ ２ ）組 （製本図は表紙，背表紙ともﾀｲﾙ入りとする）提出するものとする。 （縮小図面はポリエステルフィルムとし原図提出。）
	(・)書類の書式等	(・)施工体制台帳の作成　（1.1.5）
	(・)発生材の処理等	✻構外搬出適切処理　・現場説明書による　（1.3.12） また、収集、運搬、中間処理、最終処分等の処理について予め、監督職員と協議すること
		・引渡しを要するもの (・)再生資源の利用を図るもの：1.コンクリート　2.コンクリート及び鉄から成る建設資材　3.木材　4.アスファルトコンクリート
	(・)品質計画	（1.3.6） (・)施工計画書による品質計画に基づき適切な時期に必要な管理を行う (・)必要に応じて監督職員の検査を受ける (・)品質管理の結果、疑義が生じた場合は監督職員と協議する
	(・)電気保安技術者	(・)適用する　・適用しない　（1.3.3）
	(・)条件明示項目	（1.3.5） 部分引渡し　・無　(・)有　範囲（　給食室（解体）以外　） 引渡し時期：令和　9年　3月 部分使用　・無　(・)有　範囲（　給食室　） 使用開始時期：令和　7年11月 イメージアップ　・行う（　　）
	(・)見本施工の実施	・実施する（内容：　　） (・)実施しない
	(・)環境への配慮	（1.4.1） １）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④までを満たすものとする。 ①　合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ②　接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③　接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ−ｎ−ブチル及びフタル酸ジ−２−エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④　①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 ２）設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料指す。 ①　建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②　建築基準法施行令第２０条の７第４項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③　建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④　建築基準法施行令第２０条の７第３項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
	(・)材料の品質等	（1.4.2） １）本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 ２）備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。 ３）標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 ４）本工事に使用する材料のうち、５）に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し等）を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 ①　品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ②　生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③　安定的な供給が可能であること。 ④　法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤　製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥　販売、保守等の営業体制を整えていること。 ５）製造業者等に関する資料の提出を求める材料 ・床型枠用鋼製ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ　・鉄骨柱下無収縮ﾓﾙﾀﾙ ・無収縮ｸﾞﾗｳﾄ材　・乾式保護材 ・既製調合ﾓﾙﾀﾙ（タイル工事用）　・既製調合目地材 ・ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ　・吸水調整材　・錠前類　・クローザ類 ・自動扉機構　・自閉式上吊り引戸機構（手動開き式） ・重量ｼｬｯﾀｰ　・軽量ｼｬｯﾀｰ　・オーバーヘッドドア ・防水剤　・現場発泡断熱材（特定のフロンによるものを除く） ・フリーアクセスフロア　・可動間仕切　・移動間仕切　・トイレブース ・煙突用成形ﾗｲﾆﾝｸﾞ材　・天井点検口　・床点検口 ・ｸﾚｰﾁﾝｸﾞ　・屋上緑化用ｼｽﾃﾑ　・トップライト ・ｴﾎﾟｷｼ樹脂　・ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ　・鋳鉄製ふた
	(・)技能士	（1.7.2） 適用工事種別 ／ 技能検定作業 仮設工事 ／ (・)とび作業 鉄筋工事 ／ (・)鉄筋組立作業 コンクリート工事 ／ (・)型枠施工　(・)ｺﾝｸﾘｰﾄ圧送工事作業 鉄骨工事 ／ (・)構造物鉄工作業　(・)とび作業 ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾟﾚｷｬｽﾄ・ALCﾊﾟﾈﾙ ／ (・)ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾟﾚｷｬｽﾄ工事作業　(・)ｺｰｷｴﾙｼｰﾊﾟﾈﾙ工事作業 押出成形ｾﾒﾝﾄ板工事 ／ (・)押出成形セメント板工事作業 防水工事 ／ (・)ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業　(・)ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業 ・ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業　・合成ｺﾞﾑ系シート防水工事作業 ・塩化ﾋﾞﾆﾙ系シート防水工事作業　・ｾﾒﾝﾄ系防水工事作業 (・)ｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業　・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄｰﾁ工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業　・ケイ酸質系塗布防水 石工事 ／ ・石張り作業 タイル工事 ／ (・)タイル張り作業 木工事 ／ (・)木工工事作業 屋根及びとい工事 ／ (・)内外装板金作業　・スレート工事作業 金属工事 ／ (・)鋼製下地工事作業　(・)内外装板金作業 左官工事 ／ (・)左官作業 建具工事 ／ (・)ビル用サッシ施工作業　(・)ガラス工事作業　・自動ドア施工作業 カーテンウォール工事 ／ ・金属製カーテンウォール工事作業　(・)ビル用サッシ施工作業 (・)ガラス工事作業 塗装工事 ／ (・)建築塗装作業 内装工事 ／ (・)ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系床仕上げ工事作業　・カーペット系床仕上作業 (・)ボード仕上げ工事作業　(・)壁装作業 排水工事 ／ (・)建築配管作業 舗装工事 ／ (・)溶融ﾍﾞｲﾝﾄﾊﾝﾄﾞﾏｰｶｰ工事作業　・加熱ﾍﾞｲﾝﾄﾏｼﾝﾏｰｶｰ工事作業 植栽工事 ／ (・)造園工事作業
	(・)化学物質の濃度測定	（1.7.9） ✻　施工完了時の測定対象室の測定　(・)実施する　・　実施しない ・　着工前の測定対象室の測定　・実施する　(・)　実施しない １）室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。 ２）測定対象室及び測定箇所数は仕上げ表による。 ３）測定は、パッシブ型採集機器により行う。 ４）測定方法は、特記仕様書補足事項による。
	(・)技術検査	５）測定結果の報告は、原則として全ての測定対象化学物質について、測定値が厚生労働省の指針値以内であることを確認し、測定結果を監督職員に報告すること。 （1.8.2） 中間技術検査　・　行わない ✻　行う（✻建築基準法第7条の3に規定する特定工程終了時 ・　竣体完了時）
	(・)完成図等	（1.9.2） 完成図 ✻　作成する

様式等	作成方法	部数	備考
原図	CADデータ	1	
総合版製本	見開きA3製本	3	

✻原図修正または新規作成
✻完成図　A-3版に縮小した２つ折製本（表紙，背表紙共，工事名称，印字，白焼き図）で提出する事。
✻保全に関する資料（部数　１部）　・
✻完成図の構成は原則、設計図と同様とするほか、監督職員との協議による。
✻図面枠は工事受注者名とする。

(・)保存用電子データの保存	ア　竣工図：作成した竣工図のCADデータ データ形式はＡｕｔｏＣａｄ　ＬＴ互換データとする。 ✻提出する　・提出しない イ　完成写真：外観、内観、ロビー等の完成写真 データ形式はJPEG、解像度は300ｄｐｉ程度とする ✻提出する　・提出しない ウ　提出媒体と組数 12cm　CD-R　✻2組　・
(・)施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。
(・)完成写真	下記のものを監督職員に提出する。ただし、原板は撮影業者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数	提出部数	備考・原板の大きさ（㎜）
・モノクローム ✻キャビネ版	外部（　）内部（　）	✻2　・	✻100×125以上 ・
(・)カラー ✻キャビネ版 （他に外観正面１カットのみ5枚（カラーキャビネ版）提出）	外部（　）内部（各室　）	✻2　・6	✻100×125以上 ・
(・)カラー　ブック ✻ボード ・ハードカバー ・	外部（ 5 ）内部（ 35 ） サイズ（✻25S　250×250ｍｍ　） ページ数 （✻16　・20　・22　・28　・30　・40）	✻2　・4 ・ ・	デザインブック （銀塩印画紙タイプ） サイズ：２５Ｓ 専用ブックケース付（半透明）
・カラー四切木製パネル	外部（　）内部（　）	✻2　・	✻100×125以上
・カラー全紙木製パネル	外部（　）内部（　）	✻2　・	・
(・)電子データ①（ﾃﾞｼﾞﾀﾙｶﾒﾗ）	撮影箇所全て	✻2　・	✻500万画素以上
・電子データ②（ﾃﾞｼﾞﾀﾙｶﾒﾗ）	撮影箇所全て	✻2　・	✻300万画素以上

撮影業者　✻監督職員の承諾する撮影業者
（ただし，建築完成写真撮影の実績のある業者とする。）
・SS名古屋（052-991-1161）・ミヤガワ（026-228-6633）
(・)（株）ロココプロデュース（0263-31-8315）

(・)設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
(・)設計GL	✻　図示　　・　設計GL＝現状GL
(・)工事写真	(・)「営繕工事電子納品要領（令和３年版）」による (・)着工前状況及び完成後の工事写真について電子データで１部提出すること。

章		
2章 仮設工事	(・)騒音・粉じん等の対策	（2.1.3） (・)防音パネル (・)防音シート 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲 ・

代表：株式会社エーシー工設計
一級建築士事務所登録
（長野）　M第 77312 号

管理建築士　一級建築士登録
第222107号　湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号　海瀬務

検査者　湯本桂司
担当　平林
担当

Job No.　24078
工事名
岡谷市川岸学園整備 第2期
（長寿命化大規模改修）
建築主体工事

発行日　2025.09.30
図面名称
改修特記仕様書(1)

縮尺　−

A-002

入札用 25.09.30

Copyright (C)株式会社エーシー工設計　著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁止する。

3章 防水改修工事

⊙ 足場等

（2.2.1）（表2.2.1）
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
外部足場 ⊙設置する （設置範囲 ⊙工事に必要な範囲 ・ ）
・設置しない
防護シート⊙設置する （設置範囲 ⊙工事に必要な範囲 ・ ）
・設置しない
内部足場 ⊙設置する （⊙体育館 ※脚立、足場板等）
・設置しない

⊙材料、搬去材等の運搬方法
種別（・A種 ⊙B種 ・C種 ⊙D種 ・E種）
C種：利用可能なエレベーター（ ）
D種：利用可能な階段 （全て ）

⊙ 既存部分の養生

（2.3.1）
1）養生方法等
・既存部分 養生方法（・ ※ビニルシート、合板）
⊙既存家具、既存設備等
養生方法（・ ※ビニルシート等 ）
・既存ブラインド、カーテン等
養生方法（・ビニルシート等 ・ ）
保管場所 （・図示 ・ ）
・固定された備品、机、ロッカー等の移動（・図示 ・ ）

2）既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

⊙ 仮設間仕切り

（2.3.2）（表2.3.1）
1）仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ⊙図示 ・
2）仮設間仕切りの種別と材質等

種別	仕上材 （厚さ mm）	塗装	充填
・A種	⊙せっこうボード 種類（⊙GB-R ） 厚さ（・ mm ※9.5mm ）	⊙なし ・片面	グラスウール 厚さ （mm）
⊙B種	・合板 材種（・ ） 厚さ（・ mm ※9mm ）		
※C種	防炎シート		

3）仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等

材質	仕上げ	塗装	設置箇所
・	・	・なし	・ か所
※木製	※合板張り程度	・片面	・図示

⊙ 交通誘導員

※配置する （ ） ・配置しない

・ 施工数量調査

（1.6.1.2）
調査範囲 ・図示 ・
調査方法 ・図示 ・
既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・図示 ・
調査報告書 提出部数：・2部 ・

⊙ 降雨等に対する養生方法

（3.1.3）
・
※改修標準仕様書3.1.3(5)(ｱ)～(ｳ) による。

⊙ 既存防水の処理

（3.2.3、4、6）
既存保護層の撤去 ・行う（範囲 ・図示 ・ ）
・行わない
既存防水層の撤去 ⊙行う（範囲 ・図示 ⊙立上り部 ）
・行わない
既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去
・行う （・M4AS ・M4ASI ・M4C
・M4DI ・L4X ）
・行わない

⊙ 既存下地の処理

（3.2.6）
既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ⊙図示 ・
POS工法及びPOSI工法（機械的固定工法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理
・
※改修標準仕様書3.2.6(4)(ｳ)(g)①～③による
設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理
・図示
※監督職員と協議する

・ アスファルト防水

（3.3.2～5）
屋根保護防水
防水層の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材 G	絶縁用シート	立上り部の保護
・P2A	・A-1 ・A-2 ・A-3		・ ※ ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上	・ ※ フラットヤーンクロス	・乾式保護材 ・コンクリート押え ・れんが押え ・ ※JIS R 1250 70g/㎡ 程度
・P1B	・B-1 ・B-2 ・B-3				
・P2AI	・AI-1 ・AI-2 ・AI-3		（種類） JIS A 9521に基づく押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA（スキン層付き） （厚さ）・ ・25mm・50mm		
・P1BI ・T1BI	・BI-1 ・BI-2 ・BI-3				

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
・用途による区分 ・
・材料構成による区分 ・
・厚さ ・ mm以上
※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
・用途による区分 ・
・材料構成による区分 ・
・厚さ ・ mm以上
※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による

平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ ・ ※水下 80mm以上
床タイル張り ・ ※水下 60mm以上

・乾式保護材
窯業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレーブ養生したもの

金属複合板 ：金属板と樹脂を積層一体化させたもの
（品質・性能）

分類・規格		・窯業系パネルⅠ類（寒冷地仕様）	・窯業系パネルⅡ類（一般地仕様）	・金属複合板
寸法（mm）	厚さ（mm）			
	幅（mm）			
寸法の許容差		厚さ： ＋10%、－5%、幅： ±1%		
出荷時の含水率		出荷時において10%以下		
曲げ強さ・曲げモーメント（N・cm）（ｽﾊﾟﾝ50cmにおける単位幅1cmあたりの曲げﾓｰﾒﾝﾄ）	標準時	550 以上	450 以上	300 以上
	凍結融解完了時（試験ｻｲｸﾙ数）	400 以上（300）	320 以上（200）	250 以上（300）
吸水率 （%）		20 以下	20 以下	1 以下
吸水による長さ変化率（%）		0.07 以下	0.07 以下	0.01 以下
難燃性		不燃	不燃	表面材は不燃
耐凍結融解性能		曲げ強さ、曲げモーメントの凍結融解完了時の試験サイクル後、著しい割れや剥離がなく、外観上異常がないこと		
耐衝撃性能		質量500g（窯業系パネルⅠ類は1.000g）のおもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落としたとき、裏面に達する穴があかないこと		質量500g（窯業系パネルⅠ類は1.000g）のおもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落としたとき、裏面に達する穴があかないこと。残留変形量1/100以下かつ加圧時の最大変形量4/100以下
剛性（ExI）（スパン40cm幅30cmの中央曲げ時に荷重720Nの時、たわみ4mm以下となる剛性）		－	－	80.000N・cm^2 以上

屋根露出防水
防水層の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材 G	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水の適用 G	備考
・M4C	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4		・ ・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	・ ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による		・	
・M3D ・P0D	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4					・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・P0DI ・M3DI ・M4DI	・DI-1 ・DI-2		改修標準仕様書3.3.2(9)（種類）・（厚さ）・25mm ・			・	

屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ・
※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
脱気装置・ 個
※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※ 図示 ・

屋内防水

工 法	種 別	施工箇所	保護層
・P1E ・P2E	・E-1 ・E-2		・設ける ・設けない

・E-1の行程3を行う部位
（・ ※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位 ）
押え金物の材質、形状及び寸法
・ ※アルミニウム製 L-30×15×2.0（mm）程度
屋上排水溝 ・適用する（施工範囲 図示 ・ ）
・適用しない

・ 改質アスファルトシート防水

（3.4.2、3）
防水層の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材 G	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水の適用 G	備考
・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2		・ ・改質アスファルトシート製造所の仕様による	・ ※改質アスファルトシート製造所の仕様による		・	
・M3AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1					・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・P0AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3					・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・M3ASI ・M4ASI ・P0ASI	・ASI-T1 ・ASI-J1		改修標準仕様書3.4.2(3)(ｳ)（種類）・（厚さ）・25mm ・50mm			・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない 防湿層 ・設ける ・設けない

⊙ 合成高分子系ルーフィングシート防水

（3.5.2～4）（表3.5.1～3）
改質アスファルトシートの種類及び厚さ
・用途による区分 ・
・材料構成による区分 ・
・厚さ ・ mm以上
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
・用途による区分 ・
・材料構成による区分 ・
・厚さ ・ mm以上
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
・用途による区分 ・
・材料構成による区分 ・
・厚さ ・ mm以上
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・
屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ・
※改質アスファルトルーフィング類の製造所の指定
脱気装置 ・ 個
※改質アスファルトルーフィング類の製造所の指定
屋根露出防水絶縁断熱工法の防湿用シート
（・設置する ・設置しない ）
押え金物の材質、形状及び寸法
・ ※アルミニウム製 L-30×15×2.0（mm）程度

防水層の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材 G	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水の適用 G	備考
・P0S ・S4S	・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2 ・S-M3			・ ・ルーフィングシートの製造所の仕様による	・ ※ルーフィングシートの製造所の仕様による	・ ・ ・ ・ ・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・S3S	・S-F1 ・S-F2	・プレキャストコンクリート下地 ・プレキャストコンクリート下地				・ ・	脱気装置 ・設ける ・設けない
・M4S	・S-M1 ・S-M2 ・S-M3					・ ・ ・	
・P0SI ・S3SI ⊙S4SI ・M4SI	・SI-F1 ・SI-F2		改修標準仕様書3.5.2(3)(ｴ)(b)による（種類）・（厚さ）・25mm・50mm			・ ・	脱気装置 ・設ける ⊙設けない 改修用ドレン ⊙設ける
	・SI-M1 ⊙SI-M2		改修標準仕様書3.5.2(3)(ｴ)(a)による（種類）・（厚さ）・25mm⊙50mm			・ ・	・設けない

・S-M2の場合で立上りが、接着工法の場合
立上り面のシート厚さ（・ ※1.5mm）
・SI-M1及びSI-M2の場合の防湿用フィルム
（ ・設置する ・設置しない ）

屋内防水
防水層の種別

種別	施工箇所	保護層 平場のモルタル塗り 塗り厚さ	保護層 平場のモルタル塗り 工法	保護層 立上り部の保護モルタル塗り厚さ
・S-C1	・	・ mm	・床塗り工法 ・下地モルタル塗り ・	・ ※7mm以下

床塗りの場合の床の目地
目地割り（・ ※2㎡程度 最大目地間隔3m程度）
目地の種類（・ ※押し目地）

ACA + SITE
エーシーエ・サイト 建築設計事務所

代表：株式会社エーシー工設計
一級建築士事務所登録
（長野） M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号 海瀬務

検査者 湯本桂司

担当 平林

担当

Job No. 24078
工事名
岡谷市川岸学園整備 第2期
（長寿命化大規模改修）
建築主体工事

発行日 2025.09.30
図面名称
改修特記仕様書(2)

縮尺 －

A-003

入札用 25.09.30

Copyright (C)株式会社エーシー工設計 著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁止する。

ルーフィングシートの種類及び厚さ
種類 ・ 厚さ ・ mm
※改修標準仕様書表3．5．1から表3．5．3による
絶縁用シートの材質
・ ※発泡ポリエチレンシート
固定金具の材質及び寸法形状
・
※厚さ0．4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの片面若しくは両面に樹脂を積層加工した鋼板
脱気装置の種類及び設置数量
種類 ・
※ルーフィングシート製造所の仕様による
設置数量 ・ 個
※ルーフィングシート製造所の仕様による
接着工法の目地処理
・プレキャストコンクリート下地（・ ）
プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り
（種別Ｓ－Ｆ１、Ｓ－Ｆ１の場合）
・行う（・図示 ・ ） ・行わない
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
建築基準法に基づき定まる風圧力の
（・１ ・１．15 ・１．３）倍の風圧力に対応した工法

・ 塗膜防水

（３．６．１～４）

工法	種別	施工箇所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水の適用 G	備考
・P0X	・ ※X－1		・ ・製造所の仕様による	・ ※製造所の仕様による		脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・L4X	・ ※X－2					脱気装置 ・設ける ・設けない

⊙かぶせ方
エバーコートZero－１Ｈ ZHOR－300工法 同等品
ウレタンゴム系塗膜防水X－1（絶縁工法）の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ・
※主材料の製造所の仕様による
設置数量 ・ 個
※主材料の製造所の仕様による

工法	種別	施工箇所	各工程数及び各工程の使用量	保護層
・P1Y	※Y－2 ・		・ ※主材料の製造所の仕様による	・設ける ・設けない
・P2Y	※Y－2 ・			・設ける ・設けない

⊙ シーリング

（３．７．２、３、７、８）

シーリング改修工法の種類
⊙シーリング充填工法
・シーリング再充填工法
・拡幅シーリング再充填工法
・ブリッジ工法
ボンドブレーカー張り ・適用する ・適用しない
エッジング材張り ・適用する ・適用しない
シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準仕様書表３．７．１ による。

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
ALC	MS－2
アルミニウム製建具等の工場シール	PS－2

シーリング材の目地寸法・ ・図示
※改修標準仕様書３．７．３(１a)(ｱ)～(ｳ)
シーリング材の接着性試験
※簡易接着性試験 ・引張接着性試験

⊙ アルミニウム製笠木

（３．９．２、３）

種類 ・オーブン形式（・押出250形 ・押出300形
・押出350形 ）
・板材折曲げ形（・オーブン形式 ・シール形式）
本体幅（ ）mm 板厚（・ mm ※２．０mm）
表面処理 種別 ・
着色 ・標準色（ ）・特注色（ ）
既存笠木等の撤去 ⊙行う（範囲 ・図示 ⊙全て ）
・行わない
下地補修の工法 ※図示 ・
板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※図示 ・
笠木の固定金具の工法等
建築基準法に基づき定まる風圧力の
（・１ ⊙１．15 ・１．３）倍の風圧力に対応した工法

⊙ とい

（３．８．２、３）

といその他の材種
⊙配管用鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル ⊙ルーフドレン ⊙アルミ製
・
ルーフドレンの材種その他

種別	材種	張掛け幅
⊙ろく屋根用（⊙縦型・横型）	⊙鋳鉄	⊙100mm以上 ・50mm以上
・バルコニー用	・	・100mm以上 ・50mm以上
・バルコニー中継用	・	・100mm以上 ・50mm以上

という受金物
材種 ・ ※溶融亜鉛めっきを行ったもの
形状 ・ ※市販品（とい径100以下）
※25×４．５以上（とい径100を超えるもの）
取付け間隔 ・
足金物
材種 ・ ※溶融亜鉛めっきを行ったもの
形状 ・ ※市販品
取付け間隔 ・
多雪地域の軒どい取付間隔 ・適用する ⊙適用しない

ロックウール保温筒及びビーズ法ポリエチレンフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ・
既存といその他の撤去及び降雨等に対する養生方法
※図示 ・
調管製といの防露巻き
・ ※改修標準仕様書表３．８．４による
たてどい受金物の取付け ※図示 ・
ルーフドレンの取付け
・
※水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する

・ 長尺金属板葺

（13．２．２、３）

施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ（mm）	屋根葺形式	備考
	・ ※JIS G 3322 の屋根用コイル			・心木なし瓦棒葺 ・立平葺 ・嵐掛葺 ・横葺 ・	

下葺材料・アスファルトルーフィング 940
・改質アスファルトルーフィング下葺材（・一般タイプ ・複層基材タイプ ・粘着層付タイプ）
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・１ ・１．15 ・１．３）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法
雪止め ・設置する（施工箇所 ・図示 ・ ）

・ 折板葺

（13．３．２、３）

施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分 山高	山ピッチ	耐力による区分	材料による区分	厚さ（mm）	軒先面戸板	耐火性能
	・重ね形 ・はぜ締め形 ・かん合形			（ ）種	※鋼板製 ・アルミニウム合金板製		・有り ・無し	・30分 ・無し
	・			・	・			

材料 板及びコイルの種類（ ）
塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号
（ ）
タイトフレーム にJIS G 3302以外の鋼材を直接外気の影響を受けない屋内で使用する場合の表面処理
（標準仕様書表14．２．２による ・Ｅ種 ・Ｆ種）

断熱材 ・有り
（種別： 厚さ（mm）： 防火性能： 時間）
・無し
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・１．０ ・１．15 ・１．３）倍の風圧力に対応した工法
折板のけらば納め
・ ※けらば包みによる方法

⊙ 保証書

※受注者及び施工業者と連名で、保証書を提出すること。
・ガルバリウム等 保証期間 10年
・折 板 保証期間 10年
・長尺カラー鉄板 保証期間 5年

4章 外壁改修工事（共通事項）

⊙ 施工数量調査

（１．６．１、２）

調査範囲 ⊙外壁改修範囲 ・図示の範囲
調査内容 （ ）
ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。
コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。
塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。

既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・図示 ・
調査報告書の部数 ⊙２部 ・

4章 外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁改修）

・ ひび割れ部改修工法

（４．１．４）（４．３．５、６、７、８）

・樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）	注入量（mL／m）
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	０．２以上 ～ １．０未満	・ ※200～300	・130 ・
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	０．２以上 ～ ０．３未満	・50～100 ・	・ 40 ・
	０．３以上 ～ ０．５未満	・100～200 ・	・ 70 ・
	０．５以上 ～ １．０未満	・150～250 ・	・130 ・

エポキシ樹脂 ・低粘度形 ・中粘度形
注入状況の確認方法 ・
※コアの抜取りを行う
抜取り個数 ・
・
※長さ500ｍごと及びその端数につき1個
抜取り部の補修方法 ・ ※図示

・Ｕカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料の種類 ・
※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・行う ・行わない
・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法
・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂

・ 欠損部改修工法

［4．1．4］［4．2．2］［4．3．7］

・
・充填工法
・エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル
・

4章 外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁改修）

⊙ ひび割れ部改修工法

（４．１．４）（４．３．５、６、７、８）

⊙樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）	注入量（mL／m）
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	０．２以上 ～ １．０未満	・ ※200～300	⊙130 ・
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	０．２以上 ～ ０．３未満	・50～100 ・	・ 40 ・
	０．３以上 ～ ０．５未満	・100～200 ・	・ 70 ・
	０．５以上 ～ １．０未満	・150～250 ・	・130 ・

エポキシ樹脂 ・低粘度形 ・中粘度形
注入状況の確認方法 ・
※コアの抜取りを行う
抜取り個数 ・
※長さ500ｍごと及びその端数につき1個
抜取り部の補修方法 ・ ※図示

⊙Ｕカットシール材充填工法
⊙シーリング材
充填材料の種類 ・
※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
シーリング材のうえにポリマーセメントモルタル
⊙行う ・行わない
・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法
・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂

⊙ 欠損部改修工法

・充填工法
・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル

⊙モルタル塗替え工法
⊙現場調合材料
（セメントは改修特記仕様書8－2コンクリート工事による）
・既調合材料（ ）
既製目地材 ・使用する（形状 ・図示 ・ ）
仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置
・ ※図示

⊙ 浮き部改修工法

（４．１．４）（４．３．11～16）

工法の種類	アンカーピンの本数（本／㎡） 一般部	指定部	注入口の箇所数（箇所／㎡） 一般部	指定部	注入量（mL／箇所）
・アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	・ ※16	・ ※25	－	－	・ ※25
・アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	・ ※13	・ ※20	・ ※12	・ ※20	・ ※25
・アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・ ※13	・ ※20	・ ※12	・ ※20	・ ※50
・注入口付アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	・ ※9	・ ※16	－	－	・ ※25
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	・ ※9	・ ※16	・ ※9	・ ※16	・ ※25
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・ ※9	・ ※16	・ ※9	・ ※16	・ ※50
・充填工法	－	－	－	－	－ －
⊙モルタル塗替え工法	－	－	－	－	－ －

アンカーピンの材質
・
※ステンレス鋼（SUS304）呼び径 4mm の丸棒で全ネジ切り加工をしたもの。

注入口付アンカーピンの材質
・
※ステンレス鋼（SUS304）呼び径外径 6mm程度

充填工法
・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル

モルタル塗替え工法
⊙現場調合材料
（セメントは改修特記仕様書8－2コンクリート工事による）
・既調合材料（ ）
既製目地材 ・使用する（形状 ・図示 ）
仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置
・ ※図示

ACA＋SITE
エーシーエ・サイト
建築設計事務所

代表：株式会社エーシーエ設計
一級建築士事務所登録
（長野） Ｍ第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号 海瀬務

検査者 湯本桂司

担当 平林

担当

Job No. 24078
工事名
岡谷市川岸学園整備 第2期
（長寿命化大規模改修）
建築主体工事

発行日 2025.09.30
図面名称

改修特記仕様書(3)

縮尺 －

A-004

入札用 25.09.30

Copyright (C)株式会社エーシーエ設計 著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁止する。

4章 外壁改修工事（タイル張り仕上げ外壁改修）

・ ひび割れ部改修工法

（4.1.4）（4.4.5、6）

・樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）	注入量（mL／m）
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上 ～ 1.0未満	・ ※200～300	・130 ・
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上 ～ 0.3未満	・50～100 ・	・ 40 ・
	0.3以上 ～ 0.5未満	・100～200 ・	・ 70 ・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上 ～ 1.0未満	・150～250 ・	・130 ・

エポキシ樹脂・低粘度形（0.5mm未満）中粘度形（0.5mm以上）
注入状況の確認方法 ・
※コアの抜取りを行う
抜取り個数 ・
※長さ500ｍごと及びその端数につき1個
抜取り部の補修方法 ・ ※図示

・Uカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料の種類 ・
※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・行う ・行わない
・可とう性エポキシ樹脂

・ 欠損部改修工法

（4.1.4）（4.4.5、7、8）

・タイル部分張替え工法
接着剤の種類
・ポリマーセメントモルタル
・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成ｼﾘｺｰﾝ樹脂系

・タイル張替え工法
張替え用材料
・接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・
・張付けモルタル（・現場調合材料・既製調合モルタル）
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置
・図示 ※改修標準仕様書表4.5.1による
外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗りの接着力試験
・行う ・行わない
・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・目荒らし工法（改修標準仕様書4.4.9(3)による）
・
タイル張りの工法
・外装タイル
（・密着張り ・改良圧着張り ・改良積上げ張り）
・ユニットタイル
（・マスク張り ・モザイクタイル張り）
シーリング 改修特記仕様書第3章 防水改修工事による

・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・目荒らし工法（改修標準仕様書4.4.9(3)による）
・
シーリング材の種類
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地
・ ※ポリウレタン系
伸縮調整目地その他の目地
・ ※変成シリコーン系
シーリングのその他事項は、改修特記仕様書第3章 防水改修工事による

・ 浮き部改修工法

（4.1.4）（4.4.5、9～15）（4.5.9～15）

工法の種類	アンカーピンの本数（本／m²） 一般部	指定部	注入口の箇所数（箇所／m²） 一般部	指定部	注入量（mL／箇所）
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	・ ※16	・ ※25	－	－	・ ※25
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	・ ※13	・ ※20	・ ※12	・ ※20	・ ※25
・アンカーピンニング 全面ポリマーセメント スラリー注入工法	・ ※13	・ ※20	・ ※12	・ ※20	・ ※50
・注入口付アンカー ピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	・ ※9	・ ※16	－	－	・ ※25
・注入口付アンカー ピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	・ ※9	・ ※16	・ ※9	・ ※16	・ ※25
・注入口付アンカー ピンニング全面ポリマーセメント スラリー注入工法	・ ※9	・ ※16	・ ※9	・ ※16	・ ※50
・注入口付アンカー ピンニング全面エポキシ樹脂 注入タイル固定工法	・	・	－	－	・ ※25
・タイル部分張替え工法	－	－	－	－	－ －
・タイル張替え工法	－	－	－	－	－ －

アンカーピンの材質
・
※ステンレス鋼（SUS304）呼び径 4mm の丸棒で全ネジ切り加工したもの。
注入口付アンカーピンの材質
・
※ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径 6mm程度

・タイル部分張替え工法
接着剤の種類
・ポリマーセメントモルタル
・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系

・タイル張替え工法
張替え用材料
・接着剤 JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・張付けモルタル（・現場調合材料 ・既製調合モルタル）
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置
・図示 ※改修標準仕様書4.5.1による
タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗りの接着力試験
・行う ・行わない
・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・
タイル張りの工法
・外装タイル
（・密着張り ・改良圧着張り ・改良積上げ張り）
・ユニットタイル
（・マスク張り ・モザイクタイル張り）
シーリング 改修特記仕様書3章 防水工事による
・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・
シーリング材の種類
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地
・ ※変成シリコーン系
伸縮調整目地その他の目地
・ ※変成シリコーン系
シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章 防水工事による

・ 目地改修工法

（4.1.4）（4.4.5～16）

・目地ひび割れ部改修工法
・伸縮調整目地改修工法
伸縮調整目地の位置及び寸法 ・図示 ・
シーリングは、改修特記仕様書第3章 防水改修工事による

・ タイルの形状、寸法等

（4.4.5、8）

施工箇所	形状寸法（mm）	再生材料の適用 G	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り ・行う ・行わない
見本焼き ・行う ・行わない

4章 外壁改修工事（塗り仕上げ外壁等改修）

・ 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整

（4.5.4）

工法	処理範囲	下地面の補修
・サンダー工法	・図示 ※既存仕上面全体	・ひび割れ部改修工法 ・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法
・高圧水洗工法	・図示 ※既存仕上面全体	
・塗膜はく離剤工法	・図示 ※既存仕上面全体	
・水洗い工法	・図示 ※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上面全体	

・ 下地調整材

（4.5.4）

※下地調整塗材 ・ポリマーセメントモルタル

・ 仕上塗材仕上げ

（4.1.5）（4.5.2）（表4.5.1）

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ・
新規仕上塗材の種類

種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等
・厚付け仕上塗材	・ 外装薄塗材Si	・	・砂壁状
	・ 可とう形外装薄塗材Si	・	・ゆず肌状（・吹付け・ローラー塗り）
	・ 外装薄塗材E	・	・さざ波状
	・ 可とう形外装薄塗材E	・	・平たん状
	・ 防水形外装薄塗材E	・	・凹凸状（・吹付け・こて塗り）
	・ 外装薄塗材S	・	・着色骨材砂壁状（・吹付け・こて塗り）
			・砂壁状じゆらく
			・京壁状じゆらく
			吸放湿性・適用する ・適用しない
・厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材C	・	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状
	・ 外装厚塗材Si	・	・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし
	・ 外装厚塗材E	・	上塗材 ・適用する ・適用しない
			吸放湿性 ・適用する ・適用しない
・複層仕上塗材	・ 複層塗材CE	・	・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状
	・ 可とう形複層塗材CE	・	耐候性 ※ 耐候形3種 ・
	・ 複層塗材Si	・	上塗材
	・ 複層塗材E	・	溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系
	・ 複層塗材RE	・	樹脂 ・アクリル系 ・
	・ 防水形複層塗材CE	・	外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック
	・ 防水形複層塗材E	・	
	・ 防水形複層塗材RE	・	
	・ 防水形複層塗材RS	・	
・可とう形改修用仕上塗材	・ 可とう形改修塗材E	・	・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状
	・ 可とう形改修塗材RE	・	耐候性 ※ 耐候形3種 ・
	・ 可とう形改修塗材CE	・	上塗材
			溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系
			樹脂 ・アクリル系 ・
			外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック

・ マスチック塗材塗り

（4.1.5）（4.6.2）（表4.6.1）

種別 ・A種 ・B種

・ 外壁用塗膜防水材塗り

（4.1.5）（4.7.2、3）（4.7.1）

外壁用塗膜防水塗り
仕上げの形状 ・ 工法・
外壁用仕上塗材の耐候性 ・
※JIS A 6909の耐候性1種相当
下地挙動緩衝材の適用 ・適用する ・適用しない
吹付け工法の模様材の種類 ・
・所要量 （kg／㎡）
外壁用仕上塗材の種類 ・
・所要量 （kg／㎡）
コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（コンクリート打ち放し仕上げ外壁改修）による

モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁改修）による

既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（塗仕上げ外壁等改修）による

5章 建具改修工事

・ 改修工法

（5.1.3）

建具の種類	かぶせ工法	嵌去工法	適用箇所
・アルミニウム製建具	・	・	・建具表による ・
・樹脂製建具	－	・	・建具表による ・
・鋼製建具 外部	・	・	・建具表による ・
・鋼製建具 内部	・	・	・建具表による ・
・鋼製軽量建具	・	・	・建具表による ・
・ステンレス製建具	・	・	・建具表による ・

新規に建具を設ける場合
壁部分の開口の開け方 ・ ※図示
新規建具周囲の補修工法及び範囲 ・ ※図示
建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による

・ 防火戸

（5.1.4）

・指定する 適用箇所（・建具表による ・ ）
・指定しない
ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動
・連動させる （・建具表による ・ ）
・連動させない

・ 見本の製作等

（5.1.5）

建具見本の製作 ・行う（建具符号： ）
・行わない
建具見本の程度 ・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する
・納まり等が分かる程度のもの
特殊な建具の仮組 ・行う（建具符号： ）
・行わない

・ 防犯建物部品

（5.1.7）

・適用する 適用箇所（・建具表による ・ ）
・適用しない

・ アルミニウム製建具

（5.2.2～5）（表5.2.2）

性能値等
耐風圧性の等級 （ S-5 ）
気密性の等級 （ A-4 ）
水密性の等級 （ W-5 ）
外部に面する建具の種別
・A種（建具符号：・建具表による ・ ）
・B種（建具符号：・建具表による ・ B-1種 ）
・C種（建具符号：・建具表による ・ ）
枠見込みの寸法 ・建具表による ・
内部はC種とする
防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（・ ）
断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級（・ ）
耐震ドア 面内変形追随性の等級（・ ）

表面処理
外部に面する建具 ・BB－1 ・BB－2
着色 ・標準色（ ） ・特注色（ ）
屋内の建具 ・BC－1 ・BC－2
着色 ・標準色（ ） ・特注色（ ）
ステンレス鋼板 ・
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
結露水の処理方法 ・図示 ・
水切り板、ぜん板 ・図示 ・

・ 網戸等

（5.2.3、5.3.3）

種類	材種	線径	網目
・防虫網	・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス（SUS316）製 ※合成樹脂製（クリアネット）	・ ※0.25mm 以上	・24メッシュ ※16～18 メッシュ
・防鳥網	ステンレス（SUS304）線材	1.5mm	網目寸法 15mm

・ 樹脂製建具

（5.2.2）（5.3.2～5）

性能値等
耐風圧性の等級 （ ）
気密性の等級 （ ）
水密性の等級 （ ）
外部に面する建具の種別
・A種（建具符号：・建具表による ・ ）
・B種（建具符号：・建具表による ・ ）
・C種（建具符号：・建具表による ・ ）
枠見込みの寸法 ・建具表による ・

防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（・T-1 ・T-2 ）
断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級
（・H-4 ・H-5 ・H-6 ・ ）

表面色 ・標準色 ・特注色
水切り板、ぜん板 ・ ※図示
ガラス ・ ※複層ガラス

・ 鋼製建具

（5.2.2）（5.4.2～4）（表5.4.2）

性能等級
簡易気密型ドアセット・適用する
（建具符号：・建具表による ・ ）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
・S－4（建具符号：・建具表による ・ ）
・S－5（建具符号：・建具表による ・ ）
・S－6（建具符号：・建具表による ・ ）

防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（・T-2 SAT ）
断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級（・ ）
耐震ドア 面内変形追随性の等級（・ ）

鋼板の厚さ ・ mm ※改修標準仕様書表5.4.2による
ステンレス鋼板 ・
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI

ACA + SITE エーシーエ・サイト 設計事務所

代表：株式会社エーシーエ設計
一級建築士事務所登録
（長野） M第 77312 号
管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司
設計者
一級建築士登録
第 307544 号 海瀬務
検査者 湯本桂司
担当 平林
担当

Job No. 24078
工事名
岡谷市川岸学園整備 第2期（長寿命化大規模改修）建築主体工事
発行日 2025.09.30
図面名称
改修特記仕様書(4)
縮尺 －
A-005
入札用 25.09.30

Copyright (C)株式会社エーシーエ設計 著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁止する。

⊙ 鋼製軽量建具

（5.2.2）（5.5.2～4）

性能等級
簡易気密型ドアセット ⊙適用する ・適用しない
防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（・建具表による ）
断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級（・ ）
耐震ドア 面内変形追随性の等級（・ ）

鋼板の種類 ⊙亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板
・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板
鋼板の厚さ ・ mm ※改修標準仕様書表5.5.1による
ステンレス鋼板 ・
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
召合せ、縦小口包み板の材質
・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金の押出形材
※鋼板

・ ステンレス製建具

（5.2.2）（5.4.2）（5.6.2～5）

性能等級
簡易気密型ドアセット ・適用する ・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
・S－4 ・S－5 ・S－6 ・
防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（・ ）
断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級（・ ）
耐震ドア 面内変形追随性の等級（・ ）

ステンレス鋼板 ・
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
表面仕上げ ・鏡面仕上げ ・ ※HL
ステンレス鋼板の曲げ加工 ・角出し曲げ ※普通曲げ

⊙ 建具用金物

（5.8.1～3）

金物の種類及び見え掛り部の材質等
※改修標準仕様書表5.7.1により適用は建具表による。
金属製建具用丁番の枚数及び大きさ
・建具表による ※改修標準仕様書表5.7.2による
樹脂製建具用丁番の枚数及び大きさ
・建具表による ※改修標準仕様書表5.7.3による
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置
⊙建具表による ・

⊙ 鍵

（5.8.4）

マスターキー ⊙製作する ・製作しない
・既存のマスターキーに合わせる
その他の鍵の製作本数 ・ ※各室3本1組
鍵箱 ⊙有 ・無

・ 自動ドア開閉装置

（5.9.2、3）

・引き戸用駆動装置
性能値
・種類・開閉方式 （ ）
・耐電圧 （ ）
・温度上昇 （ ）
・耐久性（サイクル） （ ）
・防錆 （ ）
・電源 （ ）
※改修標準仕様書表5.8.1による

・多機能トイレ出入口引き戸用駆動装置
性能値
・耐電圧 （ ）
・温度上昇 （ ）
・耐久性（サイクル） （ ）
・防錆 （ ）
・電源 （ ）
※改修標準仕様書表5.8.2による

・引き戸用検出装置
性能値
・放射無線周波数電磁界耐性（ ）
・耐電圧 （ ）
・防錆 （ ）
・防滴 （ ）
・電源 （ ）
※改修標準仕様書表5.8.3による

戸の開閉方式 ⊙建具表による
引き戸検出装置の種類 改修標準仕様書表5.9.4による
・建具表による
凍結防止措置
・適用する ・適用しない

⊙ 自閉式上吊り引戸装置

（5.10.3）

性能値等 ※改修標準仕様書表5.10.1による
・手動開き力 （ ）
・手動閉じ力 （ ）
・閉じ速度の調整 （ ）
・制動区間 （ ）
・開閉繰返し （ ）
・耐衝撃性 （ ）
※標準仕様書表5.9.1による

・ 重量シャッター

（5.11.2、3）

シャッターの種類
・管理用シャッター 耐風圧強度 （ ）N/㎡
・外壁用防火シャッター 耐風圧強度 （ ）N/㎡
・屋内用防火シャッター
・防煙シャッター
開閉方式の種類
・上部手動式 ※上部電動式（手動併用）
二重チェーン、急降下制動装置、急降下停止装置を設けた
電動シャッターの設置箇所
・図示 ・
障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所
・図示 ・
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構
・設ける （設置箇所 ・図示 ・ ）
「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」（昭和48年12月28日 建設省告示2563号）に定める基準に適合するもの
・可動座板式
※障害物感知装置（自動閉鎖型）
・設けない
管理用シャッターのシャッターケース
・設ける ・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類 ・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板）
めっきの付着量 ・ ※Z12又はF12
ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質
ステンレス鋼板 ・
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI

⊙ 軽量シャッター

（5.12.2～4）

開閉方式の種類 ⊙上部電動式（手動併用） ※手動式
耐風圧強度 （ ）N/㎡
障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所
・図示 ⊙全て
スラットの材質
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板）
めっきの付着量（・ ※Z06又はF06）
・JIS G 3322（塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑｰ亜鉛合金めっき鋼板）
めっきの付着量（・ ※AZ90）
スラットの形状 ・インターロッキング形
・オーバーラッピング形
⊙グリル

・ オーバーヘッドドア

（5.13.2、3）

セクション材料による区分	耐風圧性能の区分(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質
・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ ※スチールタイプ	・125(1250) ・100(1000) ・75(750) ・50(500)	・チェーン式 ・電動式 ※バランス式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	・ステンレス鋼板（・ ※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI） ※溶融亜鉛めっき鋼板

障害物感知装置を設けた電動タイプの設置箇所
・図示 ・

⊙ ガラス

（3.7）（5.14.2～4）

⊙フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類
⊙建具表による
⊙型板ガラスの厚さによる種類
⊙建具表による
・網入り板ガラス及び線入り板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
・建具表による

・合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びにガラスの合計厚さによる種類
・建具表による
形状による種類
・平面合わせガラス ・曲面合わせガラス
落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類 ・Ⅱ類－1 ・Ⅱ類－2 ・Ⅲ類

⊙強化ガラス
形状による種類及び材料板ガラスの種類による名称
⊙建具表による
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類
⊙Ⅰ類 ・Ⅱ類

・熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類及び厚さによる種類
・建具表による
性能による種類
・1種 ・2種

⊙複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
⊙建具表による
断熱性による区分
・T1 ・T2 ・T3 ・T4 T5 ・T6
日射取得性、日射遮蔽性による区分
⊙G ・S
乾燥気体の種類
⊙空気 ・アルゴン

・熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による
日射遮へい性による区分
・1種 ・2種 ・3種
耐久性による区分（日射熱遮蔽性による区分が2種の場合）
・A種 ・B種
映像調整 ・行わない ・行う

・倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ（㎜）
アルミニウム製	⊙シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形 ・	・図示 ※建具製造所の仕様による
鋼製及び鋼製軽量	⊙シーリング材 ・	・図示 ※建具製造所の仕様による
ステンレス製	・シーリング材 ・	・図示 ※建具製造所の仕様による

・ ガラスブロック

（5.14.5）

表面形状	呼び寸法（㎜）	厚さ（㎜）	目地幅（㎜） 平積み	目地幅（㎜） 曲面積み	伸縮調整目地（㎜）
正方形	・125×125	80	・15～25 ・ ※8～15	外側 ・ ※15以下 内側 ・ ※ 6以上	・図示 ・ ※6m以下ごとに幅10～25
	・160×160	・95・125			
	・200×200	・95・125			
	・320×320	95			
長方形	・250×125	80			
	・320×160	95			

壁用金属枠及び補強材・形状 ・図示

力骨 材質 ・ ※ステンレス鋼（SUS304）
寸法 ・ ※径5.5㎜
形状 ・ ※はしご形状複筋及び単筋
化粧目地モルタルの色 （ ）
金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製
寸法 ・図示 ・
形状 ・図示 ・

工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の
（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法
目地部の横力骨の納まり
※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示 ・

⊙ ガラス用フィルム

種類	記号 内貼り用	記号 外貼り用	その他の性能等
・日射調整フィルム G	・SC-1	・SC-2	
・低放射フィルム	・LE		
⊙衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	⊙GI-1	・GI-2	
・層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GD-1		
・ガラス貫通防止フィルム	・SF		

品質 JIS A 5759による。

6章 内装改修工事

⊙ 改修範囲

（6.1.3）

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
⊙図示
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲
⊙図示
※壁面より両側 600㎜ 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
既存天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修
⊙図示 ※既存のまま

⊙ 既存床の撤去及び下地補修

（6.2.2）

ビニル床シート等の撤去
・下地モルタルとも （⊙図示の範囲 ・撤去範囲全て）
※仕上材のみ（接着剤とも）
合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法
既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。
改修後の床の清掃範囲 ⊙全て ※図示

⊙ 既存壁の撤去及び下地補修

（6.3.2）

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
・
※改修標準仕様書4.4.9によるモルタル塗り
（塗り厚 25㎜ を超える場合の処置 ※図示）

⊙ 木下地等の表面仕上げ

表面仕上げの種別		適用箇所
機械加工	⊙A種	框、階段
	・B種	
	・C種	
手加工	・H－A種	
	・H－B種	
	・H－C種	

⊙ 製材 G

（6.5.2）

⊙「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法（㎜）	等級	形状	含水率	保存処理	置伏材等の適用
一般部	杉	図示	・※2級		・B種・※A種		・
			・※2級		・B種・※A種		・
			・※2級		・B種・※A種		・

⊙「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法（㎜）	等級	形状	含水率	保存処理	置伏材等の適用
見え掛り面	杉	図示	・ ※上小節		・B種 ・ ※A種		・
見え掛り面以外	杉	図示	・ ※上小節		・B種 ・ ※A種		・
					・B種・※A種		・

⊙「製材の日本農林規格」による広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法（㎜）	等級	形状	含水率	保存処理	置伏材等の適用
一般部	ナラ	図示	・ ※1等		・A種・B種・ ※10%以下		・
			・ ※1等		・A種・B種・ ※10%以下		・
			・ ※1等		・A種・B種・ ※10%以下		・

・「製材の日本農林規格」以外の製材

施工箇所	樹種	寸法（㎜）	材面の品質	防虫処理	含水率	置伏材等の適用
			（ ） 造作材の場合 （※A種 ・B種）	・適用する ・適用しない	・B種 ・ ※A種	・
			（ ） 造作材の場合 （※A種 ・B種）	・適用する ・適用しない	・B種 ・ ※A種	・
			（ ） 造作材の場合 （※A種 ・B種）	・適用する ・適用しない	・B種 ・ ※A種	・

ACA + SITE
エーシーエ・サイト 設計共同体

代表：株式会社エーシー工設計
一級建築士事務所登録
（長野） M第77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第307544 号 海瀬務

検査者 湯本桂司
担当 平林
担当

Job No. 24078
工事名
岡谷市川岸学園整備 第2期
（長寿命化大規模改修）
建築主体工事

発行日 2025.09.30
図面名称

改修特記仕様書(5)

縮尺 －

A-006

入札用 25.09.30

Copyright (C)株式会社エーシー工設計 著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁止する。

⊙造作用集成材 G

（6.5.2）

ホルムアルデヒド放散量
・　※規制対象外

⊙「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法（㎜）	見付け材面数	見付け材面の品質	置仮材等の適用
框、階段	ナラ	図示	図示	・2等※1等	・
				・2等※1等	・
				・2等※1等	・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法（㎜）	化粧薄板の厚さ（㎜）	見付け材面数	見付け材面の品質	置仮材等の適用
	化粧薄板： 芯材：				・2等※1等	・
	化粧薄板： 芯材：				・2等※1等	・
	化粧薄板： 芯材：				・2等※1等	・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	樹種	寸法（㎜）	化粧薄板の厚さ（㎜）	見付け材面の品質	置仮材等の適用
	化粧薄板： 芯材：				・
	化粧薄板： 芯材：				・
	化粧薄板： 芯材：				・

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法（㎜）	見付け材面の品質	含水率	置仮材等の適用
				・※15%以下	・
				・※15%以下	・
				・※15%以下	・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法（㎜）	化粧薄板の厚さ（㎜）	見付け材面の品質	含水率	置仮材等の適用
	化粧薄板： 芯材：				・※15%以下	・
	化粧薄板： 芯材：				・※15%以下	・
	化粧薄板： 芯材：				・※15%以下	・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	樹種	寸法（㎜）	化粧薄板の厚さ（㎜）	見付け材面の品質	含水率	置仮材等の適用
	化粧薄板： 芯材：				・※15%以下	・
	化粧薄板： 芯材：				・※15%以下	・
	化粧薄板： 芯材：				・※15%以下	・

・造作用単板積層材 G

（6.5.2）

ホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・

・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

施工箇所	厚さ（㎜）	表面の化粧加工	防虫処理	置仮材等の適用
		・有（加工：・天然木化粧加工・塗装加工）	・適用する ・適用しない	・
		・無（等級：　）		
		・有（加工：・天然木化粧加工・塗装加工）	・適用する ・適用しない	・
		・無（等級：　）		

・床張り用合板等

・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

施工箇所	厚さ（㎜）	表面の化粧加工	含水率	防虫処理	置仮材等の適用
		・有（加工：・天然木化粧加工・塗装加工） ・無（　）	・ ※14%以下	・適用する ・適用しない	・
		・有（加工：・天然木化粧加工・塗装加工） ・無（　）	・ ※14%以下	・適用する ・適用しない	・

・CLT（直交集成材）G

施工箇所	品名	曲げ性能（強度等級）	種別	接着性能（使用環境）	樹種	寸法（㎜）	置仮材等の適用

（6.5.2）

ホルムアルデヒド放散量
・　※規制対象外

・普通合板 G

施工箇所	厚さ（㎜）	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	置仮材等の適用
図示	・ ※5.5		・2類 ※1類	・広葉樹 ・1等 ※2等以上 ・針葉樹 ・ ※C-D以上	・適用する ・適用しない	・

・構造用合板 G

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ（㎜）	防虫処理	強度等級	置仮材等の適用
2重床小上り	・1級 ※2級以上		・特類 ※1類	・ ※C-D以上	・ ※12	・適用する ・適用しない	・適用する （　） ・適用しない	・
			・特類 ※1類	・	・	・適用する ・適用しない	・適用する （　） ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 G

施工箇所	厚さ（㎜）	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	置仮材等の適用
			・1類　・特類		・

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 G

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ（㎜）	接着の程度	防虫処理の適用
			・1類　・2類	・適用する （　）

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 G

施工箇所	厚さ（㎜）	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理の適用
		・1類・2類			・適用する （　）

・パーティクルボード G

施工箇所	表裏面の状態よる区分	曲げ強さよる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ（㎜）
		・ ※13タイプ	・ ※PまたはM		・ ※15
		・			・

・構造用パネル

施工箇所	等級	厚さ（㎜）
	・1級・2級・3級・4級	
	・1級・2級・3級・4級	

・MDF G

施工箇所	厚さ（㎜）	表裏上の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	置仮材等の適用
						・

⊙接着剤

（6.5.3、4）

接着剤は可塑剤（難揮発性の可塑剤を除く）が添付されていないものとする。
ホルムアルデヒド放散量
・　※規制対象外
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別
・図示　・

・防腐・防蟻処理

（6.5.5）

防腐・防蟻処理を省略できる樹種による製材
適用部位：（　）
・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部材	保存処理性能区分
	・K2　・K3　・K4
	・K2　・K3　・K4
	・K2　・K3　・K4

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	・ ※改修標準仕様書6.5.5（1）(b)②アへエによる	※JIS K 1571に適合又は同等品

・薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理
適用部位：（　）

⊙軽量鉄骨天井下地

（6.6.2～4）

野縁等の種類　屋外　・19形　※25形
屋内　・25形　※19形
⊙屋外の軒天井、ピロティ天井等
工法　建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　⊙1.15　・1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法
野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔
⊙図示　・
周辺部の端からの間隔　⊙図示　・
野縁の間隔　⊙図示　・
既存の埋込みインサート　・使用する　・使用しない
あと施工アンカーの確認試験
⊙行う（試験箇所数　・　箇所
※屋内の場合、当該階において3箇所）
（確認強度　・　N
※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/㎡以内の天井の場合は400N程度）
・行わない
・吊りボルトの間隔が900㎜を超える場合の補強方法
・　※図示
・天井のふところが1.5m以上3.0mの場合の補強方法
・
※改修標準仕様書6.6.4(8)(ア)(イ)による
・天井のふところが3.0mを超える場合
補強方法　※図示
・天井下地材における耐震性を考慮した補強
補強箇所　※図示　補強方法　※図示

⊙軽量鉄骨壁下地

（6.7.3、4）（表6.7.1）

スタッド、ランナーの種類
※改修標準仕様書表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類
スタッドの高さが5.0mを超える場合　・　※図示
出入口及びこれに準じる開口部の補強
・　※標準仕様書6.7.4(5)による

⊙ビニル床シートG

（6.8.2、3）

種類の記号	色　柄	厚さ（mm）	備　考
・ ※FS	・無地　⊙ﾏｰﾌﾞﾙ柄 ・柄物	・　※2.0	

目地処理する場合の工法　・　※溶接工法

⊙ビニル床タイルG

（6.8.2）

種類の記号	色　柄	寸法（mm）	厚さ（mm）	備　考
・TT ・FT ※KT ・FOA ・FOB	⊙無地 ・柄物	・300×300 ⊙450×450 ・500×500 ・	⊙2.0 ・2.5 ・3.0	

・特殊機能床材

・帯電防止床シート
種類　（　）
性能　（　）
厚さ　（　mm）
・帯電防止床タイル
種類　（　）
性能　（　）
寸法　厚さ　（　×　mm）
・視覚障害者用の床タイル
種類　（　）
形状　（　）
突起の形状、寸法及びその配列はJIS T 9521による
・耐動荷重性床シート
種類　（　）
厚さ　（　mm）
・防滑性床シート
種類　（　図示　）
厚さ　（　図示　mm）
・防滑性床タイル
種類　（　）
寸法　厚さ　（　×　mm）

⊙ビニル幅木

（6.8.2）

材質の種類　⊙軟質　・硬質
高さ（mm）　・75　・100　※60
厚さ（mm）　・　※1.5以上

・ゴム床タイル

（6.8.2）

種類　・単層品　・積層品
色柄　（　）
厚さ（mm）　・3.0　・4.5　・6.0　・9.0
寸法（mm）　（　）

⊙カーペット敷き G

（6.9.2、3）（表6.9.1）

・織じゅうたん

織り方	パイル形状
・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット	・カットパイル ・ループパイル ・カットノループ併用

色柄（・　※模様の無い無地）
パイル糸の種類等
・
※無地の織じゅうたんの種別
（　・A種　・B種　・C種　）
帯電性　・適用する　・適用しない
織じゅうたんの接合方法
・　※ヒートボンド工法
下敷き材
・
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ　8mm

・タフテッドカーペット

パイルの形状	パイル長さ（mm）	工　法	帯電性	備　考
・カットパイル	・5～7　・	・全面接着工法 ・グリッパー工法	・適用する ・適用しない	
・ループパイル	・4～6　・			
・カット、ループ併用	・			

下敷き材（グリッパー工法の場合）
・
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ　8mm

・ニードルパンチカーペット
厚さ（mm）（　）
帯電性　・適用する
・適用しない
備　考　（　）

⊙タイルカーペット

パイルの形状	種　別	施工箇所	寸法（mm）	総厚さ（mm）	備　考
※ループパイル	・第二種 ※第一種	図示	・ ※500×500	・ ※　6.5	
・カットパイル	・第一種 ・第二種		・ ※500×500	・ ※　6.5	
・カット、ループ併用	・第一種 ・第二種		・ ※500×500	・ ※　6.5	

タイルカーペットの敷き方
平　場　・縞様流し　・　※市松敷き
階段部分　・市松敷き　・　※模様流し
見切り、押え金物
材質　（　）
種類　（　）
形状等　・　※図示

ACA + SITE
エーダーエ・サイト

代表：株式会社エーシーエ設計
一級建築士事務所登録
（長野）　M第 77312 号
管理建築士　一級建築士登録
第222107号　湯本桂司
設計者
一級建築士登録
第 307544 号　海瀬務
検査者　湯本桂司
担当　平林
担当

Job No.　24078
工事名
岡谷市川岸学園整備 第2期
（長寿命化大規模改修）
建築主体工事
発行日　2025.09.30
図面名称
改修特記仕様書(6)
縮尺　－
A-007
入札用 25.09.30

Copyright (C)株式会社エーシーエ設計　著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁止する。

⊙ 合成樹脂塗床

(6.10.2、3)

種　別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ウレタン 樹脂系塗床材			・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ ※平滑仕上げ
⊙厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系 塗床材		・薄膜流しのべ工法 ⊙厚膜流しのべ工法 ・樹脂モルタル工法	⊙平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ

塗料のホルムアルデヒド放散量　・　※規制対象外

⊙ フローリング張り G

(6.11.2～6)

・単層フローリング（フローリングボード１等）
工法　・釘留め工法　（・根太張り　・直張り）
・接着工法
樹種　・　※なら
間伐材の適用　・適用する　・適用しない

・単層フローリング（フローリングブロック１等）
樹種　・
厚さ　・
大きさ　・
間伐材の適用　・適用する　・適用しない

⊙複合フローリング
工法　⊙釘留め工法　（・根太張り　⊙直張り）
・接着工法
樹種　・　※なら
種別　⊙A種　・B種　・C種
間伐材の適用　⊙適用する　・適用しない

フローリング及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
・　※規制対象外
接着工法の場合の裏面緩衝材
・　※合成樹脂発泡シート
現場塗装仕上げ
・オイルステインの上、ワックス塗り
・生地のままワックス塗り
※ウレタン樹脂ワニス塗り

・ 畳敷き

種別　・A種　・B種　・C種　・D種　(6.12.2)
（畳床：・KT-Ⅰ　・KT-Ⅱ　・KT-Ⅲ　・KT-K　・KT-N）
下地の種類
・標準仕様書　表12.6.1による床組
・ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン　）
・
畳表及び畳床はホルムアルデヒト、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 G

⊙ せっこうボードその他ボード及び合板張り

(6.13.2、3)

種　類	JISの記号	厚さ（㎜）、規格等
・硬質木毛セメント板 G	HW	・15　・20　・25　・
・中質木毛セメント板 G	MW	・15　・20　・25　・
・普通木毛セメント板 G	NW	
・硬質木片セメント板 G	HF	・15　・20　・25　・
・普通木片セメント板 G	NF	・12　・15　・18　・21
⊙けい酸カルシウム板 G	0.8 FK 1.0 FK	・30　・ タイプ2（無石綿）　⊙6　⊙8
⊙ロックウール化粧吸音板	DR	⊙フラットタイプ ⊙9（不燃）・12（不燃）・　） ・凹凸タイプ （・12（不燃）・15（不燃）・　）
・ロックウール吸音ボード1号	RW-B	・25　・
⊙グラスウール吸音ボード 32K	GW-B	⊙25（ガラスクロス包）　⊙50
⊙せっこうボード	GB-R	⊙12.5（不燃）・15（不燃）・
⊙不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5（不燃） ⊙化粧無（下地張り用） ・化粧有（トラバーチン模様）
⊙シージングせっこうボード	GB-S	12.5（・不燃　⊙準不燃）
⊙強化せっこうボード	GB-F	⊙12.5（不燃）　・15（不燃）
・せっこうラスボード	GB-L	9.5
・化粧せっこうボード（木目）	GB-D	12.5（不燃）　幅 440㎜ 程度 模様（・延目　・板目） 専用下地材有り
⊙化粧せっこうボード（トラバーチン模様）	GB-D	9.5（準不燃）

⊙普通合板 G		表面の樹種 生地、透明塗料塗り （・　※ラワン程度） 不透明塗料塗り （・　※しな程度） 板面の品質（　） 厚さ（㎜）（　12　） 接着の程度（⊙1類　・2類　） ・防虫処理
・天然木化粧合板 G		化粧板の樹種名（　） 接着の程度（・1類　・2類　） 厚さ（㎜）（　） ・防虫処理
・特殊加工化粧合板 G		特殊加工の方法 （・オーバーレイ ・プリント　・塗装） 表面性能（　）タイプ 接着の程度（・1類　・2類　） 厚さ（㎜）（　） ・防虫処理
⊙メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903 による 厚さ（・　※1.2）
・ポリエステル樹脂化粧板		
・ミディアムデンシティファイバーボード G	MDF	・3　・7　・9　・12　・
・単板張りパーティクルボード G		・無研磨板　・研磨板 ・10　・12　・15　・18　・
・化粧パーティクルボード G		・単板オーバーレイ　・塗装 ・プラスチックオーバーレイ ・10（難燃）・12（難燃）・
・ハードボード（素地） G	HB	・無研磨板 （・スタンダード・　テンパード） ・研磨板 （・スタンダード・　テンパード）
・ハードボード（化粧） G		・内装用　・外装用 ・2.5　・3.5　・5　・7
・インシュレーションボード G	IB	A級（・天井仕上げ ・内装仕上げ　・　） ・9　・12　・15　・18

せっこうボード等の下地　※図示
遮音シール材
⊙適用する（⊙シーリング材　・ジョイントコンパウンド）
・適用しない
合板類、ＭＤＦ及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
・　※規制対象外
接着剤のホルムアルデヒド放散量
・　※規制対象外
合板類の張付け　・Ａ種　※Ｂ種
せっこうボードの目地工法　・仕上げ表による　・

・ 壁紙張り

(6.14.2、3)

ホルムアルデヒド放散量　・　※規制対象外

施工箇所	壁紙の種類					防火性能	備　考
	紙	繊維	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	無機質	その他		
図示	・	・	・	・	・	・準不燃　・難燃　※不燃	
	・	・	・	・	・	・準不燃　・難燃　※不燃	
	・	・	・	・	・	・準不燃　・難燃　※不燃	
	・	・	・	・	・	・準不燃　・難燃　※不燃	

モルタル・プラスター面の下地調整の種別　・　※ＲＢ種
コンクリート面の下地調整の種別　・　※ＲＢ種
せっこうボード面の下地調整の種別　・　※ＲＢ種

⊙ モルタル塗り

(6.15.3、5、6)

モルタル　⊙現場調合材料
（セメントは改修特記仕様書８－２　コンクリート工事による）
・既調合材料（　）
既製目地材　⊙設ける　施工箇所（　）
形状（・　※図示）
・設けない
床目地　⊙設ける（工法：・　※押し目地）
（目地割り　・　※２㎡程度）
（最大目地間隔　・　※３ｍ程度）
・設けない

・防水剤
（品質・性能）
（試験方法）ＪＩＳ Ａ 1404「建築用セメント防水剤の試験方法」による

項目	品質・性能
防水剤の種別	建築用のモルタルに用いるセメント防水剤
混合割合	セメント重量の5%以下
凝結及び安定性	（凝結時間） 始発：１時間以上 終結：１０時間以内
	（安定性） 収縮性、膨張性のひび割れ及びそりの有無について確認する。
曲げ及び圧縮強度比	防水剤を混入したもの、しないものの曲げ強度比及び圧縮強度比　70%以上
吸水比	防水剤を混入したもの、しないものの吸水比 95%以下
透水比	防水剤を混入したもの、しないものの透水比 80%以下 ただし、透水試験における水圧は、3.0×10⁵Pa とし１時間行う

壁面の仕上げ厚又は塗り厚が25mmを超える場合の下地処理
・

⊙ タイル張り

(6.16.2～4)

伸縮調整目地の位置
床タイル（・図示　・　※縦、横とも4m以内ごと）
床タイル以外（・図示　・　）
伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書第３章による
・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状寸法（㎜）	再生材料の適用 G	吸水率による区分 Ⅰ類	吸水率による区分 Ⅱ類	吸水率による区分 Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	うわぐすり 無ゆう	役物 有	役物 無	色 標準	色 特注	耐凍害性 有	耐凍害性 無	耐滑り性	備考
図示	図示	・	・	⊙	・	・	⊙	・	⊙	・	⊙	・	⊙	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り　⊙行う　・行わない
見本焼き　・行う　⊙行わない

既調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
（品質、性能）

項目		品質・性能
保水率		70.0%以上
単位容積質量		1.8kg/L以上
接着強さ	標準時	0.6N/㎟ 以上
	温冷繰り返し後	0.4N/㎟ 以上
長さ変化率		0.2%以下
曲げ強さ		4.0N/㎟ 以上

・ セルフレベリング材塗り

(6.17.2、3)

種類及び品質　・せっこう系　・セメント系
標準塗厚（㎜）　・

7章 塗装改修工事

⊙ 材　料

(7.1.3)

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
・　※規制対象外
防火材料　・次の箇所を除き防火材料とする
（箇所：　）
※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。

⊙ 下地調整

(7.2.1～7)

塗替えＲＢ種の場合の既存塗膜の除去範囲
・図示　・　※塗替え面積の 30%
既存錆止め塗料の鉛含有調査　・行う（　箇所）
⊙行わない

下地調整

下地面の種類	下地調整の種別 塗替え	下地調整の種別 新規	ひび割れ部の補修
木部	・※ＲＢ種	・ＲＡ種・⊙ＲＢ種	－
鉄鋼面	・※ＲＢ種	ＲＡ種	－
亜鉛めっき鋼面	・※ＲＢ種	ＲＡ種	－
亜鉛めっき鋼面（鋼製建具等）	・※ＲＢ種	ＲＣ種	－
モルタル面、プラスター面	・※ＲＢ種	・ＲＡ種・⊙ＲＢ種	⊙行う ・行わない
コンクリート面（ＤＰ以外）、ＡＬＣパネル面	・※ＲＢ種	ＲＡ種	・行う ・行わない
押出成形セメント板面	・ＲＡ種・⊙ＲＢ種 ・ＲＣ種	・ＲＡ種・⊙ＲＢ種	・行う ⊙行わない
コンクリート面（ＤＰ）	⊙ＲＢ種・ＲＣ種	ＲＡ種	⊙行う ・行わない
せっこうボード面及びその他ボード面	・※ＲＢ種	・ＲＡ種・⊙ＲＢ種	－

⊙ 錆止め塗料塗り

(7.4.2、3)

錆止め塗料塗りの種別

塗装面			塗料の種別	工程の種別
鉄鋼面	ＥＰ－Ｇ以外	塗替え	Ａ種	・※Ｃ種
		新規見え掛り	Ａ種	・※Ａ種
		新規見え隠れ	Ａ種	・※Ｂ種
	ＥＰ－Ｇ	塗替え	・Ａ種　※Ｂ種	・※Ｃ種
		新規見え掛り	・Ａ種　※Ｂ種	・※Ａ種
		新規見え隠れ	・Ａ種　※Ｂ種	・※Ｂ種
亜鉛めっき鋼面	ＥＰ－Ｇ以外	塗替え	・Ｂ種　※Ａ種	・※Ｃ種
		新規鋼製建具等	・Ｂ種　※Ａ種	・※Ａ種
	ＥＰ－Ｇ	塗替え	Ｃ種	・※Ｃ種
		新規鋼製建具等	Ｃ種	・※Ａ種

⊙ 塗　装

(7.5.2～7.12.2)

塗装の種類	塗装面	工程 塗　替　え	工程 新　規
⊙合成樹脂調合ペイント塗り（ＳＯＰ） 塗料の種類 ※１種・２種	木部屋外	・※Ｂ種	・※Ａ種
	木部屋内	・※Ｂ種	・※Ｂ種
	鉄鋼面	・※Ｂ種	・Ａ種　※Ｂ種
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）	・※Ａ種	・※Ｂ種
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具以外）	・※Ｂ種	・※Ｂ種
・クリヤラッカー塗り（ＣＬ）		・Ａ種　※Ｂ種	・Ａ種　※Ｂ種
・フタル酸樹脂エナメル塗り（ＦＥ）		－	－
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（ＮＡＤ）		・Ａ種　※Ｂ種	・Ａ種　※Ｂ種
・耐候性塗料塗り（ＤＰ）	鉄鋼面 上塗り等級（　１　）級	・	Ａ種
	亜鉛めっき面 上塗り等級（　１　）級	・	Ａ種
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・	・Ａ－１種 ・Ｂ－１種 ・Ｃ－１種
⊙つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ－Ｇ）	コンクリート面等	・※Ｂ種	・Ａ種　⊙Ｂ種
	屋内の木部	・※Ｂ種	・※Ａ種
	屋内の鉄鋼面	・※Ｂ種	・Ａ種　⊙Ｂ種
	屋内の亜鉛めっき鋼面	・※Ｂ種	・Ａ種　⊙Ｂ種
⊙合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ）		・※Ｂ種	・Ａ種　⊙Ｂ種
・合成樹脂エマルション模様塗料塗り（ＥＰ－Ｔ）		・※Ｂ種	・Ａ種　・Ｂ種
⊙ウレタン樹脂ワニス塗り（ＵＣ）		・Ａ種　※Ｂ種	・Ａ種　※Ｂ種
・オイルステイン塗り（ＯＳ）塗料（・油性　・水性）		－	－
⊙木材保護塗料塗り（ＷＰ）		・Ａ種　※Ｂ種	・Ａ種　※Ｂ種

つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面、その他ボード面）の塗替えの場合のしみ止め
・
※改修標準仕様書表7.9.1の工程１の下塗りをしみ止めシーラーとする

合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のしみ止め
・
※改修標準仕様書表7.10.1の工程１の下塗りをしみ止めシーラーとする

ACA + SITE
エーシーエ・サイト
建築設計事務所

代表：株式会社エーシーエ設計
一級建築士事務所登録
（長野）　Ｍ第 77312　号
管理建築士　一級建築士登録
第222107号　湯本桂司
設計者
一級建築士登録
第 307544 号　海瀬務
検査者　湯本桂司
担当　平林
担当

Job No.　24078
工事名
岡谷市川岸学園整備 第2期
（長寿命化大規模改修）
建築主体工事
発行日　2025.09.30
図面名称
改修特記仕様書(7)
縮尺　－　－
A-008
入札用 25.09.30

Copyright (C)株式会社エーシーエ設計　著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁止する。

・高日射反射率塗料塗り G
下地調整（改修標準仕様書表7.2.2）
・RA種　・RC種　※RB種

工程	塗料その他 規格番号	規格名称	種類	等級	塗付け量（kg/㎡）
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料	2種	・1級 ・2級 ・3級	塗料製造所の仕様による

8章 耐震改修工事 共通事項

・適用範囲
・改修標準仕様書 第8章 耐震改修工事
・改修標準仕様書において 第8章 耐震改修工事以外の改修工事で 第8章 を引用している部分
・
工事内容
・現場打ち鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ壁の増設工事
・鉄骨ﾌﾞﾚｰｽの設置工事
・柱補強工事
（溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖ﾌｰﾌﾟ巻き工法）
・柱補強工事（鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法）
・連続繊維補強工事
・耐震ｽﾘｯﾄ新設工事
・免震改修工事
・制振改修工事
・土工事及び地業工事
・

・既存部分の処理等　（8.21.2、3）（8.22.2、3）（8.23.2、3）（8.24.4）（8.25.2）（8.28.2）
既存構造体の撤去
撤去範囲
・図示による（　　）　・
はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置
・図示による（　　）　・
既存構造体ｺﾝｸﾘｰﾄ面の目荒らしの程度及び範囲
・既存柱、梁面　・打継ぎ面の15～30%程度に、平均深さ2～5㎜（最大7㎜）程度の凹凸を全体にわたってつける　・
・既存壁　・打継ぎ面の10～15%程度に、平均深さ2～5㎜（最大7㎜）程度の凹凸を全体にわたってつける　・
・
既存杭の撤去等
・撤去範囲及び撤去方法
・図示による（　　）　・
・杭頭部の処理
・図示による（　　）　・
・既存杭の補強
・図示による（　　）　・
・既存杭の健全性を確認する試験
・行う　・図示による（　　）　・
・行わない

8章 1 鉄筋工事

※構造特記による
・鉄筋　（8.2.1）
鉄筋の種類等

種類の記号	呼び径（mm）	備考
・SD295A		
・SD345		

・溶接金網　（8.2.2）
鉄線の形状等

種類	種類の記号	鉄線の形状、網目、寸法、鉄線の径（mm）	使用部位
・溶接金網	WFP		
・鉄筋格子			

8章 2 コンクリート工事

※構造特記による
・コンクリートの種類　（8.1.3）
コンクリートの類別
・Ⅱ類（JIS A 5308に適合したコンクリート）
※Ⅰ類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート）
・コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度　（8.1.3）（8.1.4）（8.2.5）（8.9.2）
・普通コンクリート

設計基準強度（N/㎟）	気乾単位容積質量（t/㎥）	スランプ（cm）	適用箇所
・24	・2.3程度		
・21	・		

構造体強度補正値　・　※改修標準仕様書8.2.4による

8章 3 鉄骨工事

※構造特記による
・耐火被覆　（8.1.5）（8.18.2～8.18.8）
種類、材料、工法等

種類	材料・工法	性能（耐火時間）	適用箇所（部位・部分）
・耐火材吹付け	・乾式 吹付けﾛｯｸｳｰﾙ		
	・半乾式 吹付けﾛｯｸｳｰﾙ	2時間	鉄骨梁
	・湿式ﾛｯｸｳｰﾙ		
	・		
・耐火板張り	・繊維混入けい酸ｶﾙｼｳﾑ板		
	・		
・耐火材巻付け	・高断熱ﾛｯｸｳｰﾙ		
	・		
・ﾗｽ張り ﾓﾙﾀﾙ塗り	－		
・耐火塗料	・		

8章 4 あと施工アンカー工事

・あと施工アンカー　（8.2.4）
あと施工アンカーの種類
・金属系アンカー（耐震補強用）
・引張耐力　・　kN　・図示による（　　）
・せん断耐力　・　kN　・図示による（　　）
アンカー本体の径及び埋込み長さ
・図示による（耐震補強共通図）
セット方式　・　※本体打込み式改良型
接合金の種類、径、長さ　・図示による（　　）
・性能確認試験
試験及び試験数・図示による（　　）　・

・接着系アンカー
・引張耐力　・　kN　・図示による（　　）
・せん断耐力　・　kN　・図示による（　　）
アンカーの種類　・　※カプセル方式回転・打撃式
接着剤の品質　・有機系　・無機系
アンカー本体の径及び埋込み長さ・図示による（　　）
アンカー筋の種類　・
アンカー筋の新設壁内への定着の長さ
・図示による（　　）　・

・性能確認試験
試験及び試験数・図示による（　　）　・

・穿孔　（8.12.4）
埋込み配管等の探査方法
※鉄筋探知機（金属探知器）により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う
・はつり出しによる　・

・施工確認試験　（8.12.7）
試験方法
・　※引張試験機による試験
確認強度
※　図示による（耐震補強共通図）・

・あと施工アンカーの穿孔工法　（8.12.1）
耐震改修部位に使用するD13以上のあと施工アンカーは、ケーシング又はダイヤモンドビット等を用いた低騒音工法を採用する。

8章 8 土工事及び地業工事

・埋戻し及び盛土　（8.28.3）
埋戻し及び盛土
・A種　適用場所（　　）
・B種　適用場所（　　）
・C種　適用場所（　　）　土質（　　）
受渡場所（　　）
・D種　適用場所（　　）

・砂利地業　（8.2.15）（8.28.4）
材料
※再生クラッシャラン G
・切込み砂利又は切込み砕石
厚さ及び適用範囲

厚さ	適用箇所
※60	・基礎スラブ下　・基礎梁下　・土圧コンクリート下 ・土に接するスラブ下　・
・	・

・捨コンクリート地業　（8.2.15）（8.28.4）
厚さ及び適用範囲

厚さ	適用箇所
※60	・基礎スラブ下　・基礎梁下　・土に接するスラブ下 ・
・	・

・床下防湿層
材料
・
※ポリエチレンフィルム厚さ0.15㎜以上
施工範囲
・図示（　　）　・

9章 環境配慮改修工事

・石綿含有建材の除去工事　[9.1.1、3～6]
施工調査
※石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。
調査範囲（・　・図示　）
貸与資料（　調査、分析資料一式　）

・分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト
分析方法

材料名	定性分析方法 JIS A 1481-1またはJIS A 1481-2	定量分析方法 JIS A 1481-3またはJIS A 1481-4
・	・　箇所	・　箇所
・	・　箇所	・　箇所
・	・　箇所	・　箇所

サンプル数　1箇所あたり3サンプル
採取箇所　・図示　・

・石綿粉じん濃度測定
測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数（各施工箇所ごと）
・	測定1	処理作業前	処理作業室内	・計　点
・	測定2		調査対象室外部の付近	・計　点
・	測定3	処理作業中	処理作業室内	・計　1　点
・	測定4		セキュリティゾーン入口	・計　点
・	測定5		集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速1m/sec以下の位置 ・計　1　点
・	測定6		処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計　1　点
・	測定7	処理作業後（ｼｰﾄ養生中）	処理作業室内	・計　点
・	測定8	処理作業後ｼｰﾄ撤去後1週間以降	処理作業室内	・計　点
・	測定9		調査対象室外部の付近	・計　点

20章 ユニット及びその他工事

・フリーアクセスフロア　（20.2.2）

施工箇所	構法	寸法（mm）	高さ（mm）	耐震性能	所定荷重	表面仕上材	備考
図示	・置敷式 ・支柱調整式	・500×500 ・	・150 ・350	・1.0G ・0.6G	・3.000N ・ ・5.000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット ・	

・トイレブース　（20.2.5）

表面材の材料	脚部 形状	ドアエッジ 形状	ドアエッジ 材質
G メラミン樹脂系化粧板	※幅木タイプ	・標準	G アルミニウム製
・ポリエステル樹脂系化粧板	・	G R	・ステンレス製
・			G 表面材と同材
・			・

（品質・性能）
（1）パネル

項目	品質・性能
表面材	メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。
裏打材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。
心材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。
枠材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、垂鉛めっきを施した材料とする。
エッジ材	
小口	防水処理を施す。

病院の患者利用エリアのブース扉上部は紐が掛からない形状（斜め）とする
この他、金物、パネルの耐久性は標準仕様書による
パネル材料のホルムアルデヒド放散量　JIS A 6512により F☆☆☆☆以上

・手すり

材種	表面仕上げ	直径（mm）	取付箇所	備考
G 集成材	・クリアラッカー G ウレタンニス	G 35 ・45	階段	
・ビニル製ハンドレール		・		

G 図示

・鏡　（20.2.9）
取付箇所　（　　）
寸　法（㎜）　G図示　・
厚　さ（㎜）　・　※5

・表　示　（20.2.10）
G衝突防止表示
形状・寸法　（G30φ　・　）
材質　（G ステンレス製　・　）
案内用図記号は JIS Z 8210 による。
誘導標識、非常用進入口等の表示
・適用する（※消防法に適合する市販品　・　）
色、書体、印刷等の種別、取付け形式等は図示による。
その他の表示　※図字

・ロールスクリーン G　（20.2.13）
操作方式　G スプリング式　・コード式　・電動式
幅・高さ　・図示
材種　・ガラス繊維製　・合成・天然繊維製　・木製
品質等　・
その他の材料　・
※ロールスクリーンの製造所の仕様による

・カーテン　（20.2.14）

形式		開閉操作	ひだの種類	きれ地の種別、品質特殊加工等	取付箇所	備考
G シングル G ダブル	G 片引き G 引分け	G 手引き ・ひも引き G 電動	・フランスひだ G 箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ		G 図示 ・	（暗幕）

ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合はGとする。
暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり
※300㎜以上　・

・カーテンレール　（20.2.14）
G図示
材料による区分　・ステンレス製
※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出し成型材
強さによる区分　・　※10－90
仕上げ　・　※アルマイト
形状　・　※角形
溝幅×深さ（㎜）　・90×150　・120×80　・120×150　・150×80　G図示
材質　G集成材（仕上げ：WP　）
・アルミニウム製　押出し型材（市販品）
種別（標準仕様書表14.2.1）
・BC－1　・BC－2
色合い　・標準色（　）・特注色（　）
G鋼製（仕上げ：A-BE　）

・ブラインドボックス及びカーテンボックス

・天井点検口

材種	寸法	形式		外枠	内枠
・アルミニウム製 ・	G 450×450 ・600×600 ・	G 一般形	・屋内外用 ・屋内用 ・気密形	G 額縁タイプ G 目地タイプ	G 額縁タイプ G 目地タイプ

品質・性能は標準仕様書による

・床点検口

材種	寸法	形式		備考
・アルミニウム製 G ステンレス製 ・鋼製	・450×450 G 600×600 ・	・一般形 G 密閉形	・屋内外用 G 屋内用	G 鍵付き

密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする

・流し台ユニット

材種	寸法（㎜） W	D	H	備考
・流し台	・1200 G 1500 ・1800	・550 G 600 ・650	・800 G 850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製
・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製
・つり戸棚	・1200 ・900	・450	・500 ・700	市販品
・水切り	・1200 ・900 ・600	－	－	市販品 ステンレス製 ・1段式　・

（品質・性能）　JIS A 4420による
（1）外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1による。
（2）構成材は、JIS A 4420の8により試験を行ったとき、表1の規定による。
形状　・　※図示

ACA + SITE エーシーエー・サイト

代表：株式会社エーシー工設計
一級建築士事務所登録
（長野）M第 77312 号
管理建築士　一級建築士登録
第222107号　湯本桂司
設計者
一級建築士登録
第 307544 号　海瀬務
検査者　湯本桂司
担当　平林
担当

Job No. 24078
工事名
岡谷市川岸学園整備 第2期（長寿命化大規模改修）建築主体工事
発行日　2025.09.30
図面名称
改修特記仕様書(8)
縮尺　－
A-009
入札用 25.09.30

Copyright (C)株式会社エーシー工設計　著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁止する。

20章 ユニット及びその他工事

⊙ 化粧塩ビシート
素材：塩化ビニル樹脂、形状：幅1，200以上
法定不燃材下地に施工した場合の防火性能：不燃
㈱サンゲツ（リアテック）、シーアイ化成㈱（ベルビアン）
住友スリーエム㈱（ダイノックフィルム）
当該製品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合はあらかじめ監督職員の承諾を受けること。

・ 小物棚
ステンレス製折りたたみ式パイプ棚、w300×d200程度

・ ベビーシート
折りたたみ収納式、床・壁固定型、固定ベルト付き

・ ベビーチェア
折りたたみ式コンパクト型、コーナー部設置用

・ 多目的シート
折りたたみ収納式、横形、手摺り付き、樹脂製シート張り
シート面の寸法　６００×１，５００以上
シート面の高さ　約５００
収納時の出寸法　約３００

⊙ 消火器ボックス
鋼製　既製品　形状は共通詳細図による

⊙ ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ
アルミニウム整　既製品　形状は共通詳細図による

21章 排水工事

⊙ 屋外雨水排水　（21．2．1、2）（表21．2．1、2）

材料

材　種	種類・記号	形状	呼び径	備考
・遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管（１種）	・B形管	・図示 ・	
⊙硬質ポリ塩化ビニル管	・RF－VP Ⓖ			
	・RS－VU Ⓖ		・図示 ・	
	⊙VP		⊙図示 ・	
	・VU		・図示 ・	

基床の厚さ及び種類　⊙図示　・
硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料
・　※接着剤
側塊の形状及び寸法　⊙図示　・
排水桝の種類　⊙図示　・
砂地業に用いる材料
・シルト　⊙山砂　・川砂　⊙砕砂
種類の記号　・　※SD295A
⊙再生クラッシャラン Ⓖ ・切込砂利又は切込砕石
⊙現場打ちの場合のコンクリート材料
設計基準強度　・　※18N/㎜
凍上抑制層に用いる材料　・
砂の粒度試験　・行う
⊙行わない

・ 鋳鉄製ふた　（21．2．1）

名称	種類	適用荷重	鍵	備考
鋳鉄製マンホールふた	・水封形 ・簡易密閉形（パッキン式） ・密閉型（テーパ・パッキン式） ・中ふた付き密閉形（テーパ・パッキン式） ・	・Ｔ－２用 ・Ｔ－６用 ・Ｔ－２０用 ・	・有り ・無し	左記以外の品質等は（公社）空気調和衛生工学会 SHASE-S209による

⊙ グレーチング　（21．2．1）

種　類	形式	用途	適用荷重	ﾒｲﾝﾊﾞｰﾋﾟｯﾁ	亜鉛めっき（付着量）	上面形状
・鋼　製	・受枠付き、ボルト固定 ・	・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ・桝ふた用 ・Ｕ字溝用	・歩行用 ・Ｔ－２用 ・Ｔ－６用 ・Ｔ－１４用 ・Ｔ－２５用	・細目 ・普通目 ・細目	・（　）	・凹凸形 ・平形
⊙ステンレス製	⊙受枠付き、ボルト固定 ・	⊙溝ふた（横断用） ⊙溝ふた（側溝用） ⊙桝ふた用 ・Ｕ字溝用	・歩行用 ⊙Ｔ－２用 ⊙Ｔ－６用 ・Ｔ－１４用 ・Ｔ－２０用	－	－	⊙凹凸形 ・平形

品質・性能は標準仕様書による

⊙ 街きょ、縁石及び側溝　（21．3．1、2）（表21．3．1）

種類	形状、寸法
⊙縁石	⊙図示　・
・L形側溝	・図示　・
・U形側溝	・図示　・
・U形側溝ふた	・図示　・
・自由勾配側溝（ＶＳ側溝）	・図示　・

地業の材料　・シルト　・山砂　・川砂　⊙砕砂
砂利地業に用いる材料
⊙再生クラッシャラン　・切込砂利　・切込砕石
砂利地業の厚さ　・図示　※100（mm）
現場打ちの場合のコンクリート材料
設計基準強度　・　※18N/㎟
凍上抑制層に用いる材料　⊙再生クラッシャラン
砂の粒度試験　・行う
⊙行わない

22章 舗装工事

⊙ 路　床　（22．2．2、3、5）（表22．2．1）

路床の材料

種別	材料	厚さ（㎜）
・盛土	・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種 ・D種・建設汚泥から再生した処理土 Ⓖ	・図示 ・
⊙凍上抑制層	⊙再生クラッシャラン Ⓖ・クラッシャラン ・切込み砂利 ・砂	⊙基準面−450
・フィルター層	・砂 ・	⊙図示 ・

・路床安定処理
安定処理の方法　・置き換え工法　・安定処理工法
路床安定化処理用添加材料
種類　・普通ポルトランドセメント
・高炉セメントＢ種 Ⓖ
・フライアッシュセメントＢ種
・生石灰（　）
・消石灰（　）
添加量　・　kg/㎥（目標CBR　・3以上　・　）

・ジオテキスタイル
単位面積質量　・60g/㎡ 以上　・
厚さ（㎜）　・0．5～1．0　・
引張強さ　・98N/5㎝（10kgf/5㎝）以上
・
透水係数　・1．5×10^{-1} ㎝/sec 以上
・

試験
砂の粒度試験　・行う　⊙行わない
路床土の支持力比（ＣＢＲ）試験　・行う　⊙行わない
路床締固め度試験　⊙行う　・行わない
現場ＣＢＲ試験　⊙行う　・行わない

⊙ 路　盤　（22．3．2、3、5）（表22．3．1）

路盤の厚さ　⊙図示　・

路盤材料　⊙図示

種類	
砕石	・クラッシャラン
	・粒度調整砕石
再生材	・クラッシャラン Ⓖ
	・粒度調整砕石 Ⓖ
・クラッシャラン鉄鋼スラグ Ⓖ	
・粒度調整鉄鋼スラグ Ⓖ	
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ Ⓖ	

⊙ アスファルト舗装　（22．4．2～6）（表22．4．4）

アスファルト舗装の構成及び厚さ　・　※図示
材料及び種類
アスファルト　・再生アスファルト Ⓖ
（　・60～80　・80～100　）
・ストレートアスファルト
骨材　⊙道路用砕石
・アスファルトコンクリート再生骨材 Ⓖ

加熱アスファルト混合物等の種類
⊙密粒度アスファルト混合物（13）
・細粒度アスファルト混合物（13）
・密粒度アスファルト混合物（13F）

シールコートの乳剤の種類
・PK-1　⊙PK-2
試験
アスファルト混合物等の抽出試験　・行う
⊙行わない
舗装の平たん性
・
※通行の支障となる水たまりを生じない程度

・ コンクリート舗装　（22．5．2～4、6）（表22．5．1、3）

コンクリート舗装の構成及び厚さ

舗装の種類	部位	構成	厚さ（㎜）
コンクリート舗装	車路及び駐車場	・図示	・図示　・
	歩行者用通路	・図示	・　※70

寒冷地の縁部立下り寸法等　・図示
材料
コンクリート
・コンクリートの種類　・普通コンクリート
・設計基準強度　・18
・所定のスランプ　・　※8
・粗骨材の最大寸法　・20
※普通コンクリート、標準仕様書表22．5．1による
早強ポルトランドセメント　・使用する　・使用しない
注入目地材料　・高弾性タイプ　※低弾性タイプ
目地
種類　・アスファルト目地板　7×40
間隔　・　4．0m程度ごと
構造　・　・図示
※標準仕様書表22．5．3及び図22．5．1による
舗装の平たん性
・
※通行の支障となる水たまりを生じない程度

・ 透水性アスファルト舗装　（22．7．2、3、6）

構成　・図示　・
材料
骨材　・道路用砕石
・アスファルトコンクリート再生骨材 Ⓖ（表22．4．1）
（種類　・60～80　・80～100　）
試験
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験　・行う
・行わない
砂の粒度試験　・行う
・行わない
舗装の平たん性　・
※著しい不陸がないもの

⊙ ブロック系舗装　（22．8．2、3）

⊙コンクリート平板舗装 Ⓖ

種　類	寸法（㎜）	厚さ（㎜）	目地材	備　考
⊙普通平板（Ｎ） ・透水平板（Ｐ） ・保水性平板（Ｍ）	300x600	・ ※60	・モルタル ※砂	表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し

クッション材　・空練りモルタル　※砂
普通平板は Ⓖ再生材料を用いた舗装用ブロック）、透水平板は Ⓖ 透水性コンクリート）とする。
仕上がり面の平たん性
・
※歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3㎜以内とする。

・インターロッキングブロック舗装 Ⓖ

種　類	部位	形状寸法	厚さ（㎜）	曲げ強度（N/㎟）	備　考
・透水性ブロック（Ｐ） ・保水性ブロック（Ｍ） ※普通ブロック（Ｎ）	車路	・図示 ・	・ ※80	・ ※5．0	表面加工 ・
・透水性ブロック（Ｐ） ・保水性ブロック（Ｍ） ※普通ブロック（Ｎ）	歩行者用通路	・図示 ・	・ ※60	・ ※3．0	

クッション材　・空練りモルタル　※砂
歩行者用通路に使用する普通ブロックは Ⓖ（再生材料を用いた舗装用ブロック）、透水性ブロックは Ⓖ（透水性コンクリート）とする。
仕上がり面の平たん性
・
※歩行に支障となる段差がないものとし、インターロッキングブロック間の段差は3㎜以内とする。
・舗石舗装

種類	形状・寸法（㎜）	厚さ（㎜）	施工方法	基層	基層の厚さ（㎜）
・花崗岩 ・	・割石 ・図示 ・	・	・うろこ張り ・	・コンクリート版 ・アスファルト混合物	・ ※70 ・ ※50

クッション材　・空練りモルタル　※砂
仕上がり面の平たん性
※歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差3㎜以内とする
・
・ジオテキスタイル
単位面積質量　・60g/㎡以上　・
厚さ（mm）　・0．5～1．0　・
引張強さ　・98N/5cm（10kgf/5cm）以上
・
透水係数　・1．5×10^{-1} cm/sec以上
・

・ 砂利敷き　（22．9．2）

種別　・Ａ種（施工範囲：・図示　・通路　・　）
・Ｂ種（施工範囲：・図示　・建物周囲その他
・　）

23章 植栽及び屋上緑化工事

・ 植栽地の確認等　（23．1．3）

土壌の水素イオン濃度指数（pH）試験　・行う　・行わない
電気伝導度（EC）の試験　・行う　・行わない

⊙ 植栽基盤の整備　（23．2．2、4）

樹木の植栽基盤の整備
⊙適用する　・適用しない

⊙ 植込み用土　（23．2．3）

・現場発生土の良質土　⊙客土

⊙ 土壌改良材　（23．2．3）

土壌改良材の適用
⊙適用する　・適用しない
種別及び指定量等
⊙バーク堆肥 Ⓖ
施工箇所　・図示　※植栽範囲
使用量　植栽基盤面積1㎡あたり（⊙50L　・　）
・汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト） Ⓖ
施工箇所　・図示　※植栽範囲
使用量　植栽基盤面積1㎡あたり（・10L　・　）
材料
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第１の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする
・

・ 樹木　（23．3．2）

樹種、寸法、株立数等　・　※図示

・ 支柱　（23．3．2、3）

支柱材　・　・真竹　※丸太（樹伐材） Ⓖ
防腐処理方法　・　※加圧式防腐処理丸太材
形式　・二脚鳥居型（2．0m中木）

・ 幹巻き用材料　（23．3．2）

材料　・わら及びこも　※幹巻き用テープ

⊙ 芝　（23．4．2、3）

種類
・　・ノシバ　※コウライシバ
芝張りの工法
平地　・べた張り　※目地張り
法面　・目地張り　※べた張り

・ 吹付けは種　（23．4．2）

種子の種類	発芽率	種子の量（g/㎡）	備考
・	・		
※洋芝類（採取後2年以内）	※発芽率80%以上		

・ 地被類　（23．4．2）

樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数
・	・	・	・

⊙ 新植、芝等の枯保証移植樹木の枯損処置　（23．3．4、6）（23．4．7）

新植樹木（芝張り、吹付けは種及び地被類を含む）の枯補償の期間
・　※引渡しの日から1年
移植樹木の枯損処置を行う期間
・　※引渡しの日から1年

植　栽	工　法	有効土層の厚さ（cm）	整備範囲	土壌改良材
・樹木	・ ※Ａ種	樹高12m以上（・　※100） 樹高7m以上～12m未満（・　※80） 樹高　3m以上7m未満（・　※60） 樹高　3m未満（・　※50）	・葉張り部分 ・植栽部分 ・図示	・適用する ・適用しない
⊙芝、地被類	・ ※Ｂ種	・ ※　20	⊙ 植栽部分 ・図示 ・	⊙適用する ・適用しない

植栽基盤の排水設備・設ける（・　※図示）⊙設けない

（23．2．3）

（23．2．3）

（23．3．2）

（23．3．2、3）

（23．3．2）

（23．4．2、3）

（23．4．2）

（23．4．2）

（23．3．4、6）（23．4．7）

代表：株式会社エーシー工設計
一級建築士事務所登録
（長野）　M第 77312 号
管理建築士　一級建築士登録
第222107号　湯本桂司
設計者
一級建築士登録
第 307544 号　海瀬務
検査者　湯本桂司
担当　平林
担当

Job No.　24078
工事名
岡谷市川岸学園整備 第2期
（長寿命化大規模改修）
建築主体工事
発行日　2025.09.30
図面名称
改修特記仕様書(9)
縮尺　ニ
A-010
入札用 25.09.30

Copyright (C)株式会社エーシー工設計　著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁止する。

岡谷市川岸学園整備 第2期（長寿命化大規模改修）

建築主体工事　工事設計図

解体工事仕様書

Ⅰ 工事概要

1．工事場所　長野県岡谷市川岸中一丁目1番1号・2号

2．敷地面積　41,066.96㎡

3．工事種目　除却対象建物等

名　称	構　造	階　数	建築面積（㎡）	延 面 積（㎡）	備　考
A棟（給食室）	RC造	地上1階	－	－	
B棟（業務員室）	RC造	地上1階		－	

その他工事内容

Ⅱ 解体工事仕様

（1）
図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「建築物解体工事共通仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下「解体共通仕様書」という。）による。図面、本特記仕様書及び解体共通仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）以下「標準仕様書」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下「改修標準仕様書」という。）による。

（2） 本特記仕様書の表記
1）項目は、○印の付いたものを適用する。
2）特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、＊印の付いたものを適用する。
○印と◉印の付いた場合は、共に適用する。
3）特記事項に記載の（　．　．　）内表示番号は、解体共通仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
4）特記事項に記載の〈　．　．　〉内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
5）特記事項に記載の［　．　．　］内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	①適用基準等	＊以下の基準を適用する。 ・営繕工事写真撮影要領（最新版）・同解説／工事写真の撮り方（建築編） （国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） ・建設副産物適正処理推進要綱　（平成14年5月30日改正） （国官総第122号 国総事第21号 国総建第137号） ・建設工事公衆災害防止対策要綱　建築工事編　（平成5年1月12日　建設省経建第1号） ・既存建築物における石綿使用の事前診断監理指針　（日本石綿協会） ・改訂　既存建築物の吹付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術指針・同解説 （日本建築センター） ・建築物の解体等工事における石綿粉じんへの暴露防止マニュアル　（建設業労働災害防止協会） ・建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル　（環境省水・大気環境局大気環境課） ・建築物解体等に伴う石綿飛散防止対策について（環境省環境管理局大気環境課） ・建設・解体工事に伴うアスベスト廃棄物処理に関する技術指針（日本廃棄物対策協会）
	②工事の記録	工事写真の整備　<1.2.3> ＊「営繕工事電子納品要領（平成24年3月12日 国営施第25号）」による。
	③電気保安技術者	＊適用する　<1.3.3>
	④施工条件	下記以外は現場説明書による。　<1.3.5> ・建設発生土仮置場　・　・ ・　＊図示　・
	⑤交通誘導員	・　配置する（　人日）　・　配置しない　○図示
	⑥発生材の処理	＊現場説明書による　<1.3.10>
2 仮設工事	①足場その他	<2.2.2> 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 仮囲い ○設ける　・　設けない
	②騒音・粉塵等の対策	騒音・粉塵等の対策　<2.2.1> ＊防音パネル　○防音シート
	③監督員事務所	◉設けない　・既存建物内の一部を使用する　○構内に設置する　<2.3.1> 規模及び仕上げの程度は現場説明書による B棟部分解体時は改修工事共で設ける、A棟解体時は設けない
	4 山留め	・設ける（種類及び位置、延長等は図示：　による）　○設けない　<2.4.1> ・山留めの撤去
	⑤工事用水	構内既存の施設　◉利用できない　○利用できる（＊有償　・無償） A棟解体時は利用できないこととする。
	⑥工事用電力	構内既存の施設　◉利用できない　○利用できる（＊有償　・無償） A棟解体時は利用できないこととする。

3 解体工事	1 杭の解体	・行う　○行わない　<3.8.2> 杭の解体工法 ・引抜き工法　・破砕による解体
	②樹木等	樹木の伐採伐根及び移植 ○行う（外構撤去図による）　・行わない
	③地下埋設物・埋設配管	地下埋設物及び埋設配管の解体 ○行う（外構撤去図による）　・行わない　<3.11.1> 設備配管類は別途設備工事
	4 設備機器等	解体事前処理（油類タンク） ・解体に先立ち、燃料配管、燃料槽、燃料小出槽等に残油がないことを確認する。必要に応じて残油を抜き取り、燃料を土壌に流失させないように注意する。 ・燃料槽、燃料小出槽は、洗浄のうえ中和処理を行う。 解体事前処理（冷媒） ＊適宜冷媒を回収した後撤去を行う。 ・冷媒を回収した後撤去を行う機器は下記による。

図面番号	記　号

	5 屋外設備等	電柱の撤去　・行う（）　○行わない 街灯の撤去　・行う（）　○行わない
	⑥解体後の整地	解体後の埋戻し及び盛土　<3.12.1> ○行う 埋戻し及び盛土の材料 ・山砂の類　○現場発生土の中の良質土　・再生コンクリート砂 埋戻しは盛土に当たっては、各層30cm程度毎に締め固めること。 ・行わない
4 建設廃棄物の処理	①一般事項	本工事は「建設副産物情報交換システム」を活用する。 総合施工計画作成時、工事完了時及び登録情報に変更が生じた場合、速やかに当該システムにデータ入力を行う。また、同システムにより工事着手時に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を工事完了時に同計画書の実施報告書（書式は同一）を作成し、監督職員に提出するものとする。
	②再資源化等	<4.4.1>

建設廃棄物の種類	備　考
○コンクリート	
・コンクリート及び鉄からなる建設資材（PC板、コンクリート平板、コンクリート二次製品）	
○木材	
・木材（縮減）	
○アスファルトコンクリート	
○金属類	
・小形二次電池	
・蛍光ランプ、HIDランプ	
・硬質塩化ビニル管、継手	

＊中間処理施設又は再資源化施設等の名称、所在地は現場説明書による

	3 処理に注意を要する建設廃棄物	<4.5.1>

名　称	仕　様	数量	備　考

＊最終処分施設の名称、所在地は現場説明書による

5 特別管理産業廃棄物処理	1 施工調査	<5.1.2>

分析調査を行う特別管理産業廃棄物等の種類	採取する部位又は箇所等	採取する数量	備　考
	・図示 ・＊箇所		
	・図示 ・＊箇所		
	・図示 ・＊箇所		
	・図示 ・＊箇所		

PCB 含有シーリング分析調査　<5.4.4>
・第一次判定
現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否を判定する。
・第二次判定
専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う。

- 絶縁油のPCB含有量の分析は、「特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検討方法（平成4年7月3日厚生省告示第192号）」又は「絶縁油中のポリ塩化ビフェニルの分析方法規定（電気技術規定JEAC1201-1991）」により行う。

- 焼却炉のダイオキシン類汚染物質の調査は、「廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類暴露防止対策要綱（平成13年4月25日付基発第401号）」により行う。

	2 特別管理産業廃棄物の処理	<5.4.1>

特別管理産業廃棄物の種類	仕　様	数量	備　考

＊処理施設の名称、所在地は現場説明書による

	3 PCBを含む機器類	引渡しを要する機器類　<5.4.3> ＊図示：K-＊図による ・
	4 PCB含有シーリング材	撤去方法　<5.4.4> ・「標準施工要領書（日本シーリング工事業協同組合連合会／日本シーリング材工業会）」による。 ・ 撤去範囲 ＊図示：K-＊図による　・
	5 特殊な建設副産物の改修及び処分	<7.3.1>

回収及び処分を行う特殊な建設副産物の種類	対象機器名称	備　考

＊回収業者又は処分場の名称、保管場所・処分場の名称は現場説明書による

6 石綿含有建材の除去及び処理	①石綿含有建材の除去工事改修特記仕様書による	(6.1.3) 施工調査 ＊石綿含有建材の事前調査工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。 調査範囲（・　・図示　） 貸与資料（　）

・分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト
分析方法

材　料　名	定性分析方法	定量分析方法
	JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3または JIS A 1481-4
・	・　箇所	・　箇所
・	・　箇所	・　箇所
・	・　箇所	・　箇所

サンプル数　1箇所あたり3サンプル
採取箇所　・図示　・

・石綿粉じん濃度測定　(6.1.4)
測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数（各施工箇所ごと）
・	測定1	処理作業前	処理作業室内	・計　点
・	測定2		調査対象室外部の付近	・計　点
・	測定3	処理作業中	処理作業室内	・計　点
・	測定4		セキュリティゾーン入口	・計　点
・	測定5		集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速1m/sec以下の位置 ・計　点
・	測定6		処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計　点
・	測定7	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	・計　点
・	測定8	処理作業後シート撤去後1週間以降	処理作業室内	・計　点
・	測定9		調査対象室外部の付近	・計　点

測定方法
・自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・測定4 ・測定5	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計） パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・JIS K 3850-1に基づいた測定

測定名称	メンブレンフィルタ直径（㎜）	試料の吸引流量（L/min）	試料の吸引時間（min）
・測定4 ・測定5	25	5	30
・測定 ・	25	10	120
・測定 ・	47	10	240
・測定 ・			

		(6.3.2.3) 石綿含有建材の処理 ・石綿含有吹付け材の除去 除去対象範囲　・図示　・ 除去工法　・　＊6.3.2(1)(7)による 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ＊湿潤化　・固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・埋立処分（管理型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
		(6.4.1) ・石綿含有保温材等の除去 除去対象範囲　・図示　・ 除去工法　・破砕して除去　・手ばらし 除去した石綿含有保温材等の飛散防止 ＊湿潤化　・固形化 除去した石綿含有保温材等の処分 ・埋立処分（管理型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
		(6.5.4) ・石綿含有成形板の除去 除去対象範囲　・図示 除去した石綿含有成形板の処分 ・石綿含有せっこうボード ＊埋立処分（管理型最終処分場） ・石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板 ・埋立処分（安定型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） アスベスト含有の設備資機材の処理については、解体特記仕様書による。

7 その他	1 周辺建築物等調査	・　行う（調査方法については設計図書による。） ○行わない
	②産業廃棄物の取扱いについて	(1)請負者は、解体工事着手前に施工計画書を提出し、監督員の承諾を受けること。 (2)請負者は、解体工事に伴い発生する騒音・振動等の防止について関係法令を遵守の上、施工すること。下請とする場合は、この旨を指示し、指導すること。 (3)廃棄物の処理にあたっては、請負者が自ら処理するときは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号以下「廃棄物処理法」という）に基づき、自らが廃棄物の収集・運搬をして、自社の処理場へ処分するか、又は知事の許可を取得している処分業者の処分場へ処分を委託すること。 (4)廃棄物の処理を下請人に委託するときは、廃棄物処理法に基づく、産業廃棄物の収集・運搬及び処分を業として知事の許可を取得している者に委託すること。 (5)竣工したときは、最終処分地の案内図、処分写真を提出すること。下請人に委託したときは、産業廃棄物処理業の知事の許可証の写しを提出すること。 (6)建設廃棄物の処理の委託に当たっては、マニフェストを交付し最終処分が終了したことを確認する。ただし、廃棄物処理法の規定による情報処理センターが運営する電子情報処理組織への登録により確認を行う場合は、この限りではない。
	3 騒音、振動調査	調査の有無　＊無　・有 調査方法については設計図書による。
	4 土壌調査	調査項目　・土壌調査　・土壌調査（含有量試験） ・ノルマルヘキサン抽出調査　・廃棄物含有調査 土壌汚染に係る環境基準に準拠すること。 調査箇所については設計図書による。
	⑤官公庁その他への届出手続等	(1)工事の着手、施工、完成にあたり、関係機関への必要な手続等を遅延なく行う。 (2)前項に規定する届出手続等を行うにあたっては、届出内容についてあらかじめ監督職員に報告する。
	⑥文化財その他の埋蔵物	工事の施工にあたり、文化財その他の埋蔵物を発見した場合は、直ちにその状況を監督職員に報告する。その後の措置については、監督職員の指示に従う。また、当該埋蔵物の発見者としての権利は、法律の定めるところにより、発注者が保有する。
	⑦埋蔵文化財調査	「周知の埋蔵文化財包蔵地」の該当　○該当する　・該当しない 掘削作業時の教育委員会等の立会い　○有　・無 埋蔵文化財調査の時期　・解体工事終了後　○解体工事中
	⑧撤去保管品	監督員の指示する場所に移動し、養生の上保管すること。 ＊図示 ○下記表による

名　称	仕　様・寸　法	数量	備　考
絵画類	幅3m×高さ2m	5	監督員の指示の場所に再取付
絵画類	幅3m×高さ0.9m	5	監督員の指示の場所に再取付

ACA + SITE
エーシーエ・サイト

代表：株式会社エーシーエ設計
一級建築士事務所登録
（長野）　M第 77312 号
管理建築士　一級建築士登録
第222107号　湯本桂司
設計者
一級建築士登録
第 307544 号　海瀬務
検査者　湯本桂司
担当　平林
担当

Job No.　24078
工事名
岡谷市川岸学園整備 第2期
（長寿命化大規模改修）
建築主体工事
発行日　2025.09.30
図面名称
解体特記仕様書
縮尺
A-011

入札用 25.09.30

Copyright (C)株式会社エーシーエ設計　著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁止する。

付属・付帯工事　○を採用する

項目		建築	電気	機械	別途	備考
付属物品	什器				○	
	可動家具				○	
	固定家具	○				
	黒板・掲示板	○				
	カウンター	○				
	流し・吊戸棚	○				
	カーテンレール	○				
	ブラインド	○				
	暗幕				○	
	カーペット	○				
	マット類	○				
	郵便受	○				
	旗竿金物					
	社名板・館名板	○				
	各種表示板	○				
	室名板	○				
	書文字	○				
	定礎板（石）					
	看板類	○				
	可動間仕切	○				
	映写スクリーン	○				
特殊設備	金属扉・書庫扉					
	ユニットバス	○				
	搬送機					
	舞台装置	○				
	機械駐車設備					
	窓拭ゴンドラ設備					
	避難器具					
外構	各種基礎	○				
	照明設備		○			
	放送設備		○			
	舗装	○			○	
	路面駐車場				○	
	門・塀					
	擁壁					
	盛土					
	屋外排水			○		
	植樹造園	○			○	
	パーゴラ					
	池・噴水					
	旗竿				○	
	案内看板	○				
	ストリートファニチャ				○	
付属建築物	物置	○				
	設備機械室					
	各種水槽			○		
	駐車場上屋					
	立体駐車場					
	立体駐車場基礎					
	駐輪場					
敷地造成	敷地造成					
	擁壁					
	排水					
	道路					
	遊水池					
障害物撤去	既設建物	○	○	○	○	
	基礎	○				
	埋設物	○	○	○	○	
	工作物	○	○	○	○	
	樹木	○			○	
	舗装	○				
移設工事	既設建物	○			○	
	工作物	○			○	
	樹木	○			○	

項目		建築	電気	機械	別途	備考
空調換気設備	熱源			○		
	給油設備			○		
	冷房			○		
	暖房			○		
	換気			○		
	排煙					
	自動制御			○		
	ダクト設備			○		
給排水衛生・ガス設備	給水			○		
	排水通気			○		
	給湯			○		
	飲料用冷水					
	消火設備			○		
	衛生器具			○		
	ガス			○		
	厨房器具				○	
	給水処理装置			○		
	排水処理装置			○		
	浄化槽					
	ゴミ処理設備					
	受水槽			○		
	焼却装置					
電気設備	受変電		○			
	自家発電					
	蓄電池					
	特殊電源					
	動力		○			
	電灯コンセント		○			
	照明器具		○			
	非常照明		○			
	誘導灯		○			
	電話機器		○		○	
	電話配管		○			
	放送		○			
	電気時計		○			
	表示設備		○			
	インターホン		○			
	TV共聴		○			
	ITV設備		○			
	防災・火災報知機		○			
	避雷針					
	屋外電気		○			
	OA		○			
	LANシステム		○		○	
	CPU設備					
	自動車管制					
	気送管					
	映写				○	
	音響		○			
	警備保障				○	
昇降機設備	エレベーター					
	非常用エレベーター					
	エスカレーター					
	小荷物専用昇降機					
保障	日影					
	電波障害					
	風害					
その他	広告塔					
	通信施設塔					
	消火器				○	
	機械基礎	○				
	ガス漏れ警報		○			
	誘導標識					

工事区分表　○を採用する

項目		建築	電気	機械	昇降機	別途	備考
躯体関係							
1．RC造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部	貫通孔のスリーブ材及び取付け	○	○	○	○		
	補強を要する型枠材及び取付け	○					
	補強を要しない型枠材及び取付け	○	○	○	○		
	貫通孔・開口部の塞出し	○	○	○	○		
	貫通孔・開口部の補強	○	○	○			
	スリーブ・型枠の穴埋め	○	○	○	○		防火区画、防煙区画
2．S、SRC造のはり貫通孔	S・SRC造貫通鋼管スリーブ・補強						
	使用されたスリーブの穴埋め						
	予備スリーブの穴埋め						
3．設備機器の基礎	建築設計図に記入あるもの	○					
	屋内の基礎（建築設計図に記入のないもの）		○	○			
	屋外・屋上の基礎（建築設計図に記入のないもの）		○	○			
	機器取り付け用アンカー・架台	○	○	○			
4．昇降機関連	昇降路の躯体						
	昇降路内ピット防水・集水桝・点検用タラップ						
	各階出入口穴あけ・同補強						
	三方枠取付・枠廻り埋戻し・同補修						
	出入口扉・三方枠・幕板用補強鉄骨						
	出入口扉・三方枠・幕板						
	昇降路がRC造及びSRC造の時、中間ビーム・・ブラケット他昇降路内の鋼製部材一式						
	昇降路がS造の時の中間ビームブラケット受けピース						
	昇降路内フック取付け						
	ホール押釦・インジケータ・鋼索などの壁開口						
	制御盤（EV機械室内または昇降路内等）から外部インターホンまでの配管・配線工事						
	点検用コンセント						
	制御盤（EV機械室内または昇降路内等）までの動力・照明用電源、アース、照明用電源、アース、防災信号、の配管・配線工事						
5．その他	トラフ・ピット類（ふたを含む）	○					
	湧水・汚水ピット・RC造各種水槽（通孔・通気哄）	○					
	同上用防水・マンホール・タラップ等	○					
	避雷設備・同接地工事		○				
	ALC板の壁開口・補強	○					
	厨房排水溝	○					
	厨房グリース阻集器			○			
	オイルサービスタンクの防油堤	○		○			
仕上げ関係							
1．軽鉄天井・壁下地	ボードの切り込み	○	○	○			
	補強を要する下地の補強	○	○	○			
	開口部の塞出し		○	○			

項目		建築	電気	機械	昇降機	別途	備考
2．可動間仕切り	切り込み及び補強	○					
	位置ボックス	○					
3．つりボルト及びインサート	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用		○	○			
4．外壁まわり	外壁ガラリ及びダクト接続用フランジ	○					
	小屋裏換気用ベントキャップ	○					
	屋上配管、換気用ハト小屋	○					
5．湯沸室まわり	流し台・つり戸棚・水切り棚・コンロ台（二次製品）	○					
	フード（標準詳細図のもの）	○		○			その他はM
6．浴室まわり	ユニットバス、シャワーユニット	○		○			
	既製浴槽（ふたを含む）	○		○			
	浴室及び便所の床排水金物			○			
7．便所まわり	洗面カウンター	○					洗面器はM
	鏡（450×600ｍｍ）			○			規格外はA
	ユニット形衛生器具			○			
	手すり・握り棒・同補強	○					
	ライニング	○					
8．事務室まわり	ファンコイルカバー	○					
	家具組み込みの洗面器			○			切り込みはA
9．フリーアクセスフロア	コンセント		○				
	床パネルの切り込み加工	○					
10．その他	2重ピット及びトレンチのマンホールふた	○					
	機器搬入用フック　ビーム	○					
	チェンブロック		○	○			
	化粧マンホール上ふたの表面仕上げ	○					
	点検口（天井・床下・壁PS用等）	○					
	排煙口等の天井仕上材の取付け	○					
	自動閉鎖装置を取りつける防火戸の切り込み補強及びドアチェック、フロアヒンジ	○					
	消火器BOX設置工事	○					
	自動扉・電動シャッターへの電源供給		○				
	自動扉・電動シャッターから付属のスイッチ・センサーへの配管・配線工事	○					
	ドアガラリ及びアンダーカット	○					
	ルーフドレン金物及び立樋工事	○					
	造り付流し台工事	○					
	造り付流し台排水金物	○		○			
	地盤調査及び試験の結果により、地業・基礎の変更に伴う費用				○		
屋外排水設備・外構							
1．雨水	屋外雨水排水設備	○		○			
	桝及び桝ふた	○		○			

項目		建築	電気	機械	昇降機	別途	備考
2．雑排水・汚水	屋外雑排水及び屋外汚水排水設備			○			
	桝及び桝ふた			○			
	化粧マンホール上ふたの表面仕上げ	○					
3．植栽	植栽及び客土	○					
4．ユニット形浄化槽	ピット形の躯体及び砂充てん	○					
	上記以外のユニット形浄化槽本体・配管及び据付等			○			
5．屋外オイルタンク	タンク室の躯体及び砂充てん	○					タンク本体はE又はM
	上記以外のオイルタンク本体・配管及び据付等		○	○			自家発用はE
6．その他	駐車場ガソリントラップ（コンクリート造）	○					
	厨房用グリーストラップ	○		○			
電気配線配管							
	機器付属の制御盤以降の配管配線（接地線共）		○				2次側
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線		○				1次側
	自動制御と動力盤との電源供給の渡り配管配線		○				
	機器と付属操作スイッチの渡り配管配線			○			
	煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパに至る配管配線		○				
	小便器用節水装置の制御盤以降の配管配線			○			
	注油口内アース端子よりのアース用配管配線		○	○			自家発用はE
	各種水槽電極工事		○	○			
共通							
	工事用電力・上下水道・ガス引込工事	○	○	○			
	工事用電力・上下水道・ガス料金（引込負担金・基本料金を含む）	○	○	○			使用工事別
	本設電力引込工事		○				引込負担金は別途
	本設上水引込工事			○			引込負担金は別途
	本設下水引込工事	○		○			関連工事別 引込負担金は別途
	本設ガス引込工事			○			引込負担金は別途
	本設受電後引渡しまでの電力基本料金	○	○	○			試運転用も含む
	本設後引渡しまでの上水基本料金	○	○	○			試運転用も含む
	本設後引渡しまでの下水基本料金	○	○	○			試運転用も含む
	本設後引渡しまでのガス基本料金	○	○	○			試運転用も含む
	本設後引渡しまでの電力・上下水道・ガス使用料金	○	○	○			関連工事別 試運転用も含む
	電話本設引込工事		○				引込負担金は別途
	工事上の各種申請届出費用	○	○	○			関連工事別
	既存上下水道・ガス管の撤去・同手続	○					
	足場・さん橋類	○	○	○			電気・機械は使用可能

ACA + SITE
エーシーエ・サイト
建築計画事務所

代表：株式会社エーシーエ設計
一級建築士事務所登録
（長野）　M第 77312 号

管理建築士　一級建築士登録
第222107号　湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号　海瀬務

検査者　湯本桂司

担当　平林

担当

Job No.　24078

工事名
岡谷市川岸学園整備 第2期
（長寿命化大規模改修）
建築主体工事

発行日　2025.09.30

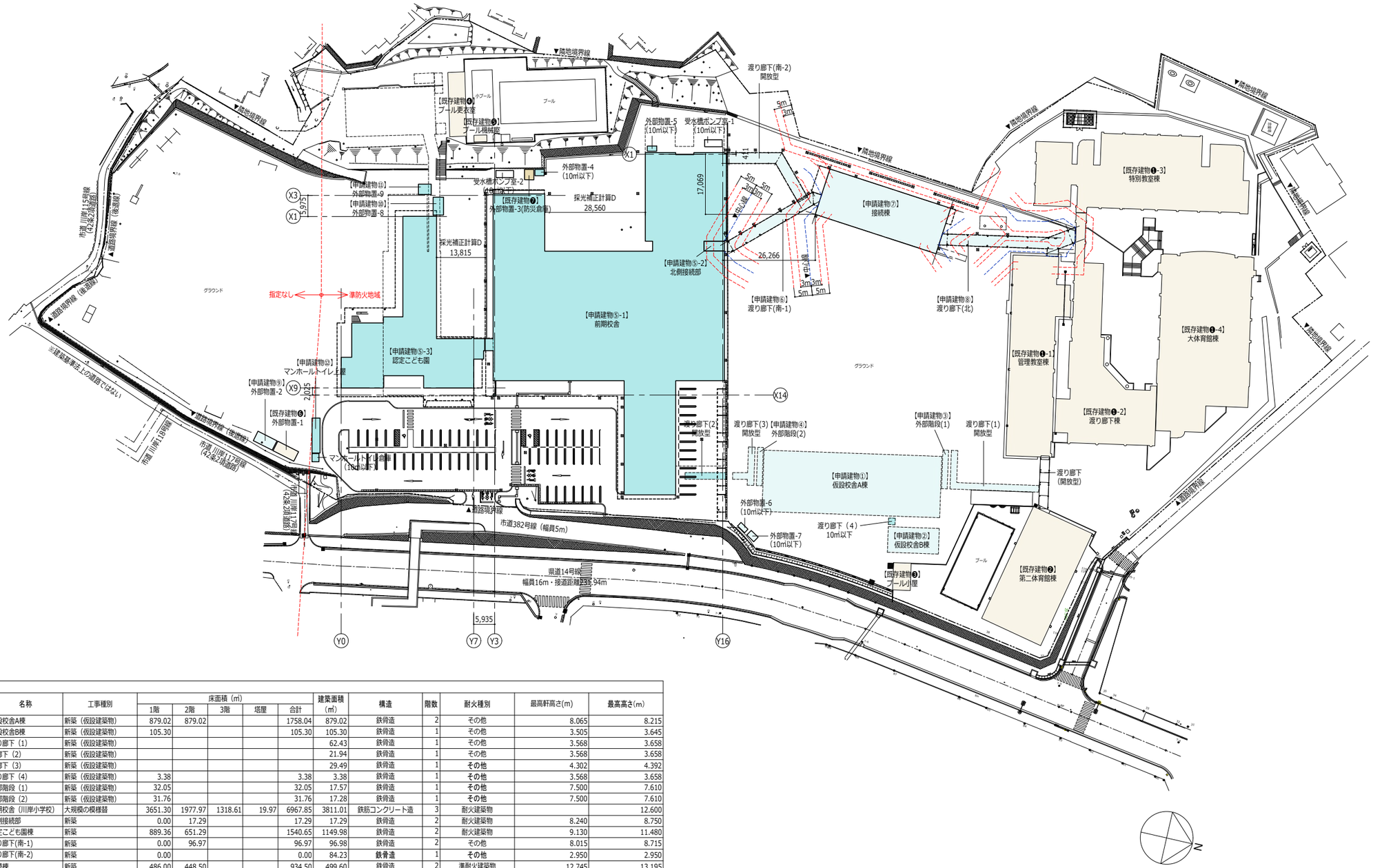
図面名称
工事区分表

縮尺

A-012

入札用 25.09.30

Copyright (C)株式会社エーシーエ設計　著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁止する。



棟別	構造棟別	名称	工事種別	床面積（㎡）					建築面積（㎡）	構造	階数	耐火種別	最高軒高さ(m)	最高高さ(m)
				1階	2階	3階	塔屋	合計						
申請建物①		仮設校舎A棟	新築（仮設建築物）	879.02	879.02			1758.04	879.02	鉄骨造	2	その他	8.065	8.215
申請建物②		仮設校舎B棟	新築（仮設建築物）	105.30				105.30	105.30	鉄骨造	1	その他	3.505	3.645
		渡り廊下（1）	新築（仮設建築物）						62.43	鉄骨造	1	その他	3.568	3.658
		渡廊下（2）	新築（仮設建築物）						21.94	鉄骨造	1	その他	3.568	3.658
		渡廊下（3）	新築（仮設建築物）						29.49	鉄骨造	1	その他	4.302	4.392
		渡り廊下（4）	新築（仮設建築物）	3.38				3.38	3.38	鉄骨造	1	その他	3.568	3.658
申請建物③		外部階段（1）	新築（仮設建築物）	32.05				32.05	17.57	鉄骨造	1	その他	7.500	7.610
申請建物④		外部階段（2）	新築（仮設建築物）	31.76				31.76	17.28	鉄骨造	1	その他	7.500	7.610
申請建物⑤	⑤-1	前期校舎（川岸小学校）	大規模の模様替	3651.30	1977.97	1318.61	19.97	6967.85	3811.01	鉄筋コンクリート造	3	耐火建築物		12.600
	⑤-2	北側接続部	新築	0.00	17.29			17.29	17.29	鉄骨造	2	耐火建築物	8.240	8.750
	⑤-3	認定こども園棟	新築	889.36	651.29			1540.65	1149.98	鉄骨造	2	耐火建築物	9.130	11.480
申請建物⑥		渡り廊下(南-1)	新築	0.00	96.97			96.97	96.98	鉄骨造	2	その他	8.015	8.715
		渡り廊下(南-2)	新築	0.00				0.00	84.23	鉄骨造	1	その他	2.950	2.950
申請建物⑦		接続棟	新築	486.00	448.50			934.50	499.60	鉄骨造	2	準耐火建築物	12.745	13.195
申請建物⑧		渡り廊下北	新築	0.00	134.78			134.78	134.78	鉄骨造	2	その他	8.050	8.750
既存建物❶	❶-1	管理普通教室棟	既存建築物	740.52	739.04	739.04		2218.60	783.53	鉄筋コンクリート造	3	耐火建築物		14.190
	❶-2	渡り廊下棟	既存建築物	626.63	637.54	559.98		1824.15	951.01	鉄筋コンクリート造	3	耐火建築物		13.910
	❶-3	特別教室棟	既存建築物	1123.57	914.76	578.83		2617.16	1188.97	鉄筋コンクリート造	3	耐火建築物		18.400
	❶-4	給食室・大体育館棟	一部用途変更	778.30	1215.48	65.44		2059.22	1258.56	鉄筋コンクリート造	3	耐火建築物		17.740
既存建物❷		第二体育館棟	既存建築物	640.42				640.42	644.10	鉄骨造	1	耐火建築物		9.120
既存建物❸		プール小屋	既存建築物	37.30				37.30	37.30	コンクリートブロック造	1	耐火建築物		3.660
既存建物❹		プール更衣室	既存建築物	43.67				43.67	43.67	木造	1	その他		3.400
既存建物❺		プール機械室	既存建築物	5.40				5.40	5.40	木造	1	その他		2.400
既存建物❻		外部物置-1	既存建物	16.74				16.74	16.74	軽量鉄骨造	1	その他		2.400
申請建物⑨		外部物置-2	既存移設	11.35				11.35	11.35	軽量鉄骨造	1	その他		2.400
既存建物❼		外部物置-3（防災倉庫）	既存建物	7.73				7.73	7.73	軽量鉄骨造	1	その他		2.400
		外部物置-4	既存移設	4.71				4.71	4.71	軽量鉄骨造	1	その他		2.400
		外部物置-5	既存移設	3.60				3.60	3.60	軽量鉄骨造	1	その他		2.400
		外部物置-6	既存移設	4.71				4.71	4.71	軽量鉄骨造	1	その他		2.400
		外部物置-7	既存移設	4.71				4.71	4.71	軽量鉄骨造	1	その他		2.400
申請建物⑩		外部物置-8	新築	14.95				14.95	14.95	軽量鉄骨造	1	その他	2.463	2.605
申請建物⑪		外部物置-9	新築	10.53				10.53	10.53	軽量鉄骨造	1	その他	2.100	2.214
申請建物⑫		マンホールトイレ上屋	新築	21.36				21.36	21.36	鉄骨造	1	その他	2.700	2.800
		マンホールトイレ倉庫	新築	3.96				3.96	3.96	軽量鉄骨造	1	その他		2.400
		受水槽ポンプ室-1	新築	4.00				4.00	4.00	軽量鉄骨造	1	その他		3.100
		受水槽ポンプ室-2	新築	4.40				4.40	4.40	軽量鉄骨造	1	その他		3.100

ACA + SITE
エーシーエ・サイト

代表：株式会社エーシーエ設計
一級建築士事務所登録
（長野） M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号 海瀬務

検査者 湯本桂司

担当 平林

担当

Job No. 24078

工事名

岡谷市川岸学園整備 第2期
（長寿命化大規模改修）
建築主体工事

発行日 2025.09.30

図面名称

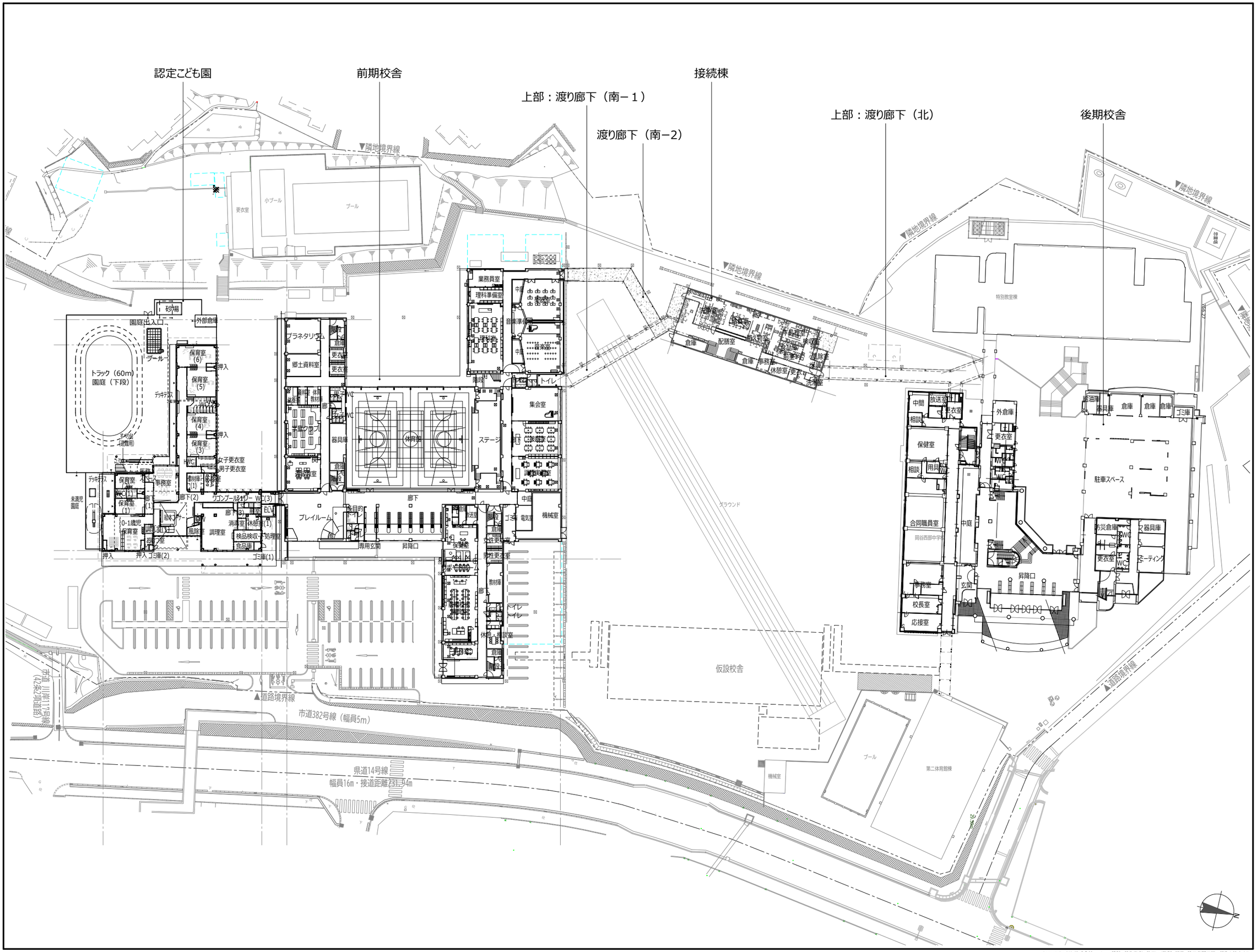
配置図

縮尺A1:1/600,A3:1/1200

A-013

入札用
25.09.30

Copyright (C)株式会社エーシーエ設計　著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁止する。



ACA + SITE
エーシーエ・サイト

代表：株式会社エーシー工設計
一級建築士事務所登録
（長野） M第77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第307544号 海瀬務

検査者 湯本桂司

担当 平林

担当

Job No. 24078

業務名
岡谷市川岸学園整備 第2期
（長寿命化大規模改修）
建築主体工事

発行日 2025.09.30

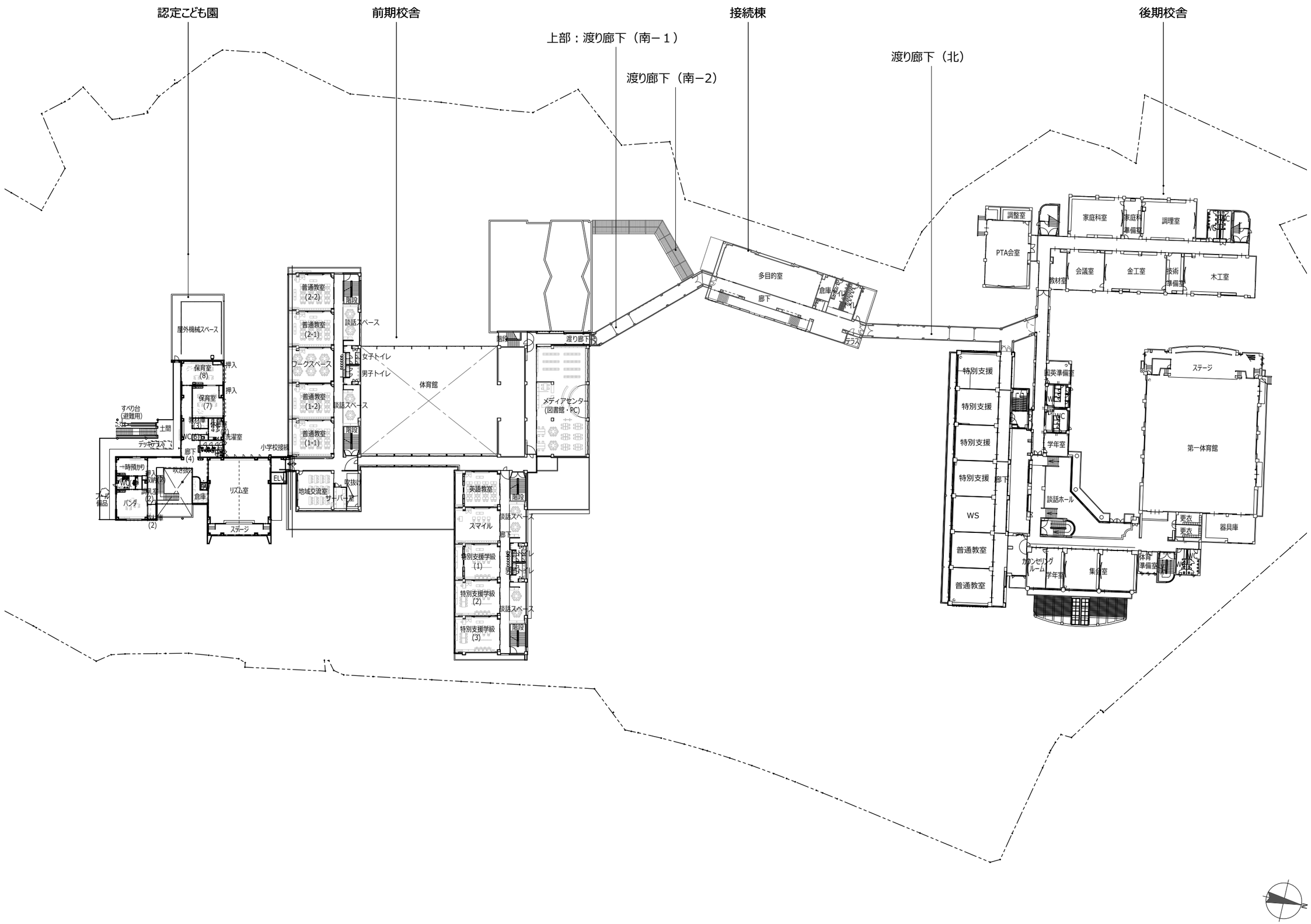
図面名称
1階全体平面図

縮尺A1:1/400,A3:1/800

A-014

入札用 25.09.30

Copyright (C) 株式会社エーシー工設計 著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁止する。



代表：株式会社エーシー工設計
一級建築士事務所登録
（長野） M第77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号 海瀬務

検査者 湯本桂司

担当 平林

担当

Job No. 24078

業務名
岡谷市川岸学園整備 第2期
（長寿命化大規模改修）
建築主体工事

発行日 2025.09.30

図面名称
2階全体平面図

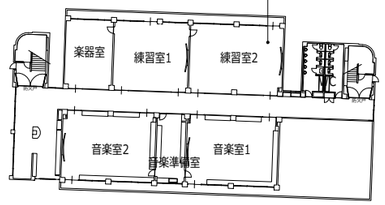
縮尺A1:1/400,A3:1/800

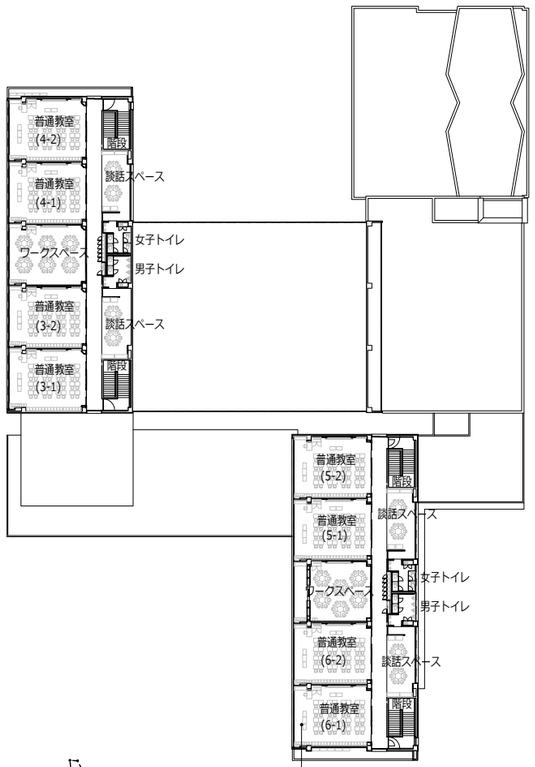
A-015

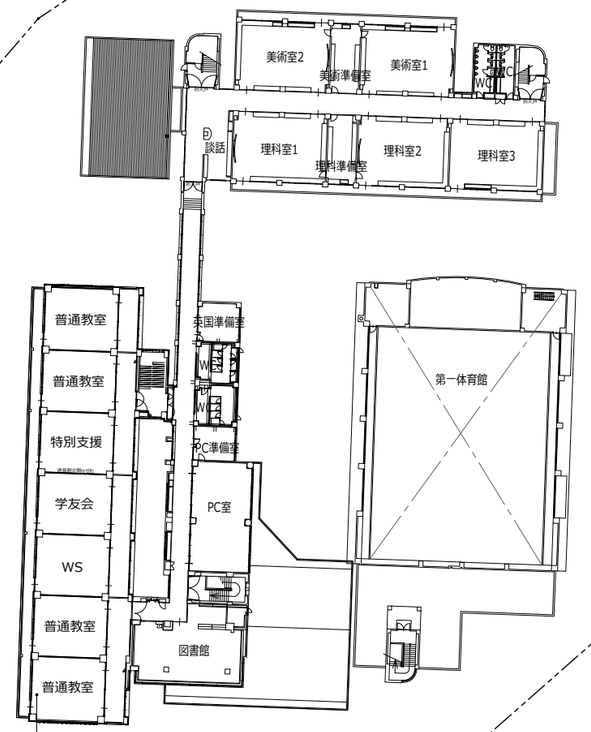
入札用
25.09.30

Copyright (C) 株式会社エーシー工設計 著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁止する。

後期校舎（４階）







前期校舎

後期校舎

代表：株式会社エーシーエ設計
一級建築士事務所登録
（長野）Ｍ第77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第307544号 海瀬務

検査者 湯本桂司

担当 平林

担当

Job No. 24078

業務名
岡谷市川岸学園整備 第2期
（長寿命化大規模改修）
建築主体工事

発行日 2025.09.30

図面名称
3階全体平面図

縮尺A1:1/400,A3:1/800

A-016

入札用
25.09.30

Copyright (C) 株式会社エーシーエ設計 著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁止する。

1. 設計図書記入 共通事項

注記）事項中の項目は※印または○印の付いた項目（両方に印のある場合は○を優先とする。）
及び仕様を適用し、「x」印又は「・」は適用しない。（項目：1、6、7、8、9、11、12、14）

※ 本表は本工事に用いる内外装仕上げを一括して表す。各一覧表・材料表に記載の符号等は、本表以外の設計図にも適用する。

・ 仕上材は特記なき限り下地・仕上共不燃材とする。
・ コンクリート打放し（A）の場打ちは、特記なき限り内外共 t=20 とする。
・ コンクリート打放し（A）面に極度な色ムラ、ジャンカ、コールドジョイント等が発生しないよう施工すること。
　これらが発生した場合は、施工者の責任で壁面化粧仕上塗材にて補修を行う（キクスイSA工法以上）
・ ビニル床シートは全て溶接工法とし、接着剤はエポキシ系とする。(水廻り等のみ)
・ 床材（フローリング、ビニル床シート）は、竣工引渡し時に樹脂ワックスを施す。(ノンワックス材の場合は除く)
・ コンクリートとコンクリートブロックまたはALCパネル及び軽鉄下地との壁取合部には化粧目地を設ける。
　目地材は※塩ビ製　　、目地幅は※10mm　　mmとする。
・ 天井下地は軽量鉄骨下地とする。
・ アスファルト外断熱防水、シート防水（外断熱）の断熱材の厚さは t＝35とする。
・ 特記なき限り発砲ウレタンは t 35とする。
・ 5mを超える軽量鉄骨壁は補強材□－100×100×3.2@2000及び横つなぎ材□－100×100×3.2@5000を設ける。
　スタッドは100型とし、監督員の承認を得ること。
・ かさ上げコンクリートは t 100以下は溶接金網6φ100×100とし、t 100以上はD10 100×100メッシュ筋とする。
・ 特記なき限り巾木高さは60とする。
・ 特記なき限り石膏ボード、岩綿吸音板、ケイカル板、化粧ケイカル板天井の下張りはGB－NC t9.5（不燃）とする。
・ ケイ酸カルシウム板はt6及びt8とする。
・ 床仕上の異なる場所は見切りSUS FB－6を見込むこと。
・ ビニル床シート仕上げ巾木の上部はZバー（アルミ既製品）押えとする。

4. 耐火・準耐火認定について

耐火性能の規制　・ 規制無し　・ 準耐火構造　◎ 階数 4　・ 階数 15 以上
　　・ 防火構造　◎ 耐火構造　◎ 階数 14 以下

耐火構造に該当する場合

耐火時間		材料名（単位 ㎜）		認定番号
1時間	間仕切壁（耐力）	鉄筋コンクリート造 B＝70以上、t ＝30以上		告示第1399号
1時間	間仕切壁（非耐力）	両面強化石膏ボード重張（t＝15+15）/軽量鉄骨下地間仕切壁（吉野石膏）		FP060NP-0174
1時間	外壁（耐力）	鉄筋コンクリート造 B＝70以上、t ＝30以上		告示第1399号
1時間	外壁（非耐力・延焼部分）	繊維混入セメント押出成形板（ノザワ アスロックN W-60 縦張）		FP060NE-9035
30分	外壁（非耐力・延焼外部分）	塗装溶融亜鉛メッキ鋼板・石膏ボード・木毛セメント板張/軽量鉄骨下地外壁		FP030NE-9222
1時間	柱	鉄骨耐火被覆仕様 柱：t＝25 岩綿吹付		FP060CN-9460
1時間	床	鉄筋コンクリート造 B＝70以上、t ＝20以上		告示第1399号
1時間	梁	鉄骨耐火被覆仕様 梁：t＝25 岩綿吹付		FP060BM-9408
1時間	壁と柱の合成被覆	プレキャストコンクリート板・吹付けロックウール合成被覆鉄骨柱（t＝25）		FP060CN-9459
1時間	壁と梁の合成被覆	プレキャストコンクリート板・吹付けロックウール合成被覆鉄骨梁（t＝25）		FP060BM-9407
30分	屋根	高圧木毛セメント板 t ＝15,20,25,30（竹村工業 TSボード）		FP030RF-9037
1時間	耐火被覆材	耐火被覆(セラミック系耐火被覆材)（エスケー化研（株））セラタイカ2号	屋内用柱(1時間)	FP060CN-9001 20mm
			屋内用梁(1時間)	FP060BM-0020 20mm
2時間			屋内用柱(2時間)	FP120CN-9013 30mm
			屋内用梁(2時間)	FP120BM-0037 30mm
1時間	耐火被覆材	耐火塗料(発泡性耐火被覆)（エスケー化研（株））SK耐火コート	屋内用柱(1時間)	FP060CN-9472
2時間		発泡性アクル系樹脂耐火塗料被覆	屋内用柱(2時間)	FP120CN-0224

5. 内装材料について

内装材については、下表の国土交通大臣認定材料を使用する。

区分	材料名	認定番号
不燃材料	GB-R t=9.5+せっこうプラスターt=3.0	NM-2049
	GB-R t=12.5	NM-8619
	GB-R t=15.0	NM-8619
	GB-F t=21.0	NM-8615
	GB-F(WR) t=21	NM-1498
	GB-F t=12.5	NM-8615
	GB-F(WR) t=12.5	NM-1498
	GB-F t=15	NM-8615
	GB-F(WR) t=15	NM-1498
	GB-F t=25	NM-8615
	GB-F(WR) t=25	NM-1498-1
	GB-R-H t=9.5	NM-9645
	GB-R-H(C) t=9.5	NM-1908
	GB-R-H t=12.5	NM-9645
	GB-R-H(T) t=12.5	NM-9692
	GB-S(不) t=12.5	NM-9639
	GB-L t=9.5	NM-8617
	GB-NC t=9.5	NM-0441
	GB-NC(T) t=9.5	NM-1864
	GB-F t=12.5	NM-8615
	GB-D(不) t=9.5	NM-0879
	化粧ケイカル板 t=6.0	NM-3522
	ケイカル板 t=6.0	NM-3522

区分	材料名	認定番号
不燃材料	フレキシブルボードt=5.0	NM-2694
	フレキシブルボードt=6.0	NM-2694
	有孔フレキシブルボードt=5.0	NM-5055（不燃紙貼り）
	有孔フレキシブルボードt=6.0	NM-5056（裏打ち不燃材料）
	木毛セメント板(不) t=15	NM-0234
準不燃材料	GB-R t=9.5	QM-9828
	GB-S t=9.5	QM-0898
	GB-S t=12.5	QM-0898
	GB-D t=9.5	QM-0524
	GB-D(木目) t=9.5	QM-9824
	木毛セメント板 t=15	QM-9701
	木片セメント板 t=12	QM-9705
難燃材料	EP・VE・SOP・NAD（下地難燃）	RM-9364

※ビニル壁紙使用で内装制限にて不燃要求ある場合は、不燃下地（金属を除く）の上、不燃認定のあるビニル壁紙を使用すること。

2. 塗装一覧表

SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	EP-T	合成樹脂エマルションペイント模様塗料塗り
CL	クリヤーラッカー塗り	UC	ウレタン樹脂ワニス塗り
FE	フタル酸樹脂エナメル塗り	OS	オイルステイン塗り
NAD	アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り	EP-G(水系)	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(屋内水系)塗料塗り
AE	アクリル樹脂エナメル塗り		
2-UE	2液型ポリウレタンエナメル塗り	EP-Si	特殊シリコン樹脂系水性ペイント
2-ASE	2液形アクリルシリコン樹脂エナメル塗り	ALP	アルミニウムペイント塗り
DP(1級)	耐候製塗料塗り	VE	塩化ビニル樹脂エナメル塗り
EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り	AC	アクリル樹脂ワニス塗り
EP	合成樹脂エマルションペイント塗り	WP	木材保護塗料
EP-M	多彩模様塗料塗り		

3. 仕上材符号一覧表

床・壁・天井	RC（）	床：共仕表6.2.4による 壁、天井：コンクリート打放し（種別） ［（）の記載がない場合はコンクリート打ちのままとする］
	LC	軽量コンクリート
	PC	プレキャストコンクリート
	CB	コンクリートブロック積み
	EPC	押出成形セメント板
	LGS	軽量鉄骨下地
	TS	単層ビニル床シート
	FS	複層ビニル床シート
	HS	発泡複層ビニル床シート
	KS	クッションフロアシート
	KT	コンポジションビニル床タイル
	TT	単層ビニル床タイル
	FT	複層ビニル床タイル
	FOA	置敷きビニル床タイル
	FOB	薄型置敷きビニル床タイル
	GB-R	せっこうボード
	GB-NC	不燃積層せっこうボード（化粧無し：下地張り用）
	GB-NC(T)	不燃積層せっこうボード(化粧有り：トラバーチン模様)
	GB-D	化粧せっこうボード
	GB-D(木目)	化粧せっこうボード（木目）
	GB-S	シージングせっこうボード
	GB-F	強化せっこうボード
	GB-L	せっこうラスボード
	GB-R-H	普通硬質せっこうボード
	ｹｲｶﾙ板	けい酸カルシウム板
	有孔ｹｲｶﾙ板	吸音用穴あき無石綿セメントけい酸カルシウム板
	化粧ｹｲｶﾙ板	化粧けい酸カルシウム板
	DR	ロックウール化粧吸音板
	DR(凹凸)	ロックウール化粧吸音板（凹凸タイプ）
	DR(軒天)	ロックウール化粧吸音板（軒天井用：フラットタイプ）
	DR(軒天凹凸)	ロックウール化粧吸音板（軒天井用：凹凸タイプ）
	PF板	押出法ポリスチレンフォーム保温板
	HW	硬質木毛セメント板
	HF	硬質木片セメント板
	MDF	ミディアムデンシティファイバーボード
	DR（直）	ロックウール化粧吸音板（直張タイプ）
金物	ST	スチール
	AL	アルミ
	SUS	ステンレス
幅木	VB	ビニール幅木
	WB	木製幅木
	SUS	ステンレス幅木
	特殊	特殊幅木
	巻上げ	床材巻上げ
	塗装	塗装幅木
	RC	コンクリート幅木
	タイル	タイル幅木
	石	石幅木
見切	AL	アルミ見切縁
	V	ビニル製見切縁
	W	木製廻り縁
	SUS	ステンレス見切縁
下地	C	コンクリート下地
	CB	コンクリートブロック下地
	ALC	ALC下地
	ECP	押出成型セメント板下地
	S	軽量鉄骨下地
	W	木造下地
	PF	ポリスチレンフォーム床下地（床下地のみ）
	SF	鋼製根太組下地
	M	モルタル金ゴテ
	OA	ＯＡフロア下地
	DF	乾式二重床
	F4	

6. 特記事項

【躯体工事】
・床下防湿層はt0.15mmポリエチレンフィルムとし、適用箇所は図示による。
・特記無きコンクリート打放は、外壁増打t20、内壁t10とし、表面のケレン及びモルタル補修を行う。
　また型枠緊結金物はコーン状とし、既製セメント系充填用コーンを充填する。
・防水押えコンクリートには、溶接金網φ6.0-100×100を打込む。
・梁にかかる床見切り・窓掛金物等を取り付ける場合には、図中指示が無くとも建具特記に示すフラットバーを用いた床見切り又は窓掛とする。
・梁にかかるフロアヒンジがある場合は、監理者と相談の上適切な代替え措置を採用する。
・RC片持ちスラブバルコニー、手摺壁等には、図中記載が無くとも伸縮調整目地を3m間隔以内で適切に設ける。

【防水工事】
・屋外に置いて異なる材料の取り合い部分及びジョイント部分には、すべてシーリング（仕様書9.6.2）を充填する。
・構造スリットの目地は、外壁面側及び内壁側の両面にシーリング施工する。
※法第28条の2　居室における化学物質の発散に対する衛生上の措置、仕上材、接着剤、塗材、家具、カウンター他全て規制対象外又はF☆☆☆☆のものを使用する。

仕上材料名表示凡例

	表示名	標準仕様・寸法等及び材料名
防水	屋根-1	高耐候性塩化ビニル系樹脂シート防水t=1.5
		断熱機械固定工法
		（元旦ビューティー）サーナルーフ
外壁	外壁-1	外断熱アンカー併用湿式工法EPSt=50
		（サンクビット）ドライビットアウサレーション
タイル	タイル	無釉せっき質タイル t=15　パターン貼り
		（国代耐火）PEANUTS BRICK
屋根	屋根-2	鋼板t=1.2折板屋根（デッキプレート）
		（元旦ビューティー）シャバラルーフ
笠木	笠木-1	アルミ笠木
	笠木-2	アルミ笠木（押出型材）
		（井上商事）アルミ笠木（押出型材）
軒天	軒天-3	水性反応硬化形軒天井用仕上塗材
		（エスケー化研）ノキフレッシュ
断熱	外壁-1	A種ビーズ法ポリスチレンフォーム保温板4号
	（EPS断熱材t=50）	熱伝導率：0.043W/(m・K)以下
	屋根-1	A種硬質ウレタンフォーム保温板2種2号
	（硬質ウレタンフォームt=35）	熱伝導率：0.024W/(m・K)以下
	その他一般部	吹付硬質ウレタンフォームA種1H
	（吹付ウレタンフォームt=35）	熱伝導率：0.026W/(m・K)以下
床	複合フローリング	カバ挽板複合フローリング
		t=12（表面材t=3） W302×L1820
		（北海道パーケット工業）M6ライン
	FS(A)	複層ビニル床シート t=2
		（東リ）マチュアNW
	FS(B)	複層ビニル床シート（消臭・防滑） t=2
		（東リ）消臭NSトワレNW
	FS(C)	クッションフロア t=2.3
		（東リ）CFシートP NW
	KT	コンポジションビニル床タイル t=2
		（東リ）マチコV
	TCP	ループパイルタイルカーペット t=6.5
		（東リ）GA-100
	コンクリート表面強化剤	ケイ酸ナトリウム系コンクリート表面強化材
		（ABC商会）セラミキュア
	ウレタン系厚膜型塗床	厚膜型硬質ウレタン樹脂系塗床（耐衝撃・耐摩耗）
		（ABC商会）ビューコート
	置床	文教施設用低床型置床
		（三洋工業）MPフロア　Eタイプ
巾木	VB	ビニル巾木 H=60
		（東リ）ソフト巾木
	ステンレス巾木	SUS HL H=60
		（積水樹脂プラメタル）メタカラー
内壁	内装薄塗材E	じゅらく調リシン
		（エスケー化研）シボカケン＃300
	化粧ケイカル板	アクリル樹脂系塗装ケイカル板（耐汚染）t=6
		（アイカ工業）ルナライトHD
	メラミン不燃化粧板	t=3
		（アイカ工業）セラール
	掲示用クロス	ピン用掲示板用クロス
		（東リ）掲示板クロス ピンタイプ
天井	DR	ロックウール化粧吸音板 t=9 下張用
		（吉野石膏）ソーラトン
	GB-D	化粧石膏ボード t=9.5
		（吉野石膏）ジプトーンライト
カーテンブラインド	カーテンレール（ダブル）	ダブルカーテンレール（静音）
		（TOSO）ニューデラック
	天井付カーテンレール	天井付シングルカーテンレール（静音）
		（TOSO）メディカライト
	カーテンレール（ダブル）紐引き	紐引きカーテンレール
		（TOSO）中型紐引き組立セット
	カーテンレール（ダブル）電動	電動カーテンレール
		（TOSO）パワフル4P
	ブラインド	横型ブラインド
		（タチカワブラインド）シルキー

	表示名	標準仕様・寸法等及び材料名
雑	天井点検口	外枠鋼鋸/内枠目地タイプ（ホワイト） 450角
	床点検口	アルミ製・錠付 600角
	消火器ボックス	半埋込型
	ピクチャレール（A）	ワイヤ式ピクチャレール
		（荒川技研）ワイヤーシステム
	ピクチャレール（B）	先付けピクチャレール 30kg/m
		（荒川技研）MC-11
	キッチン（A）	流し台・2口ガスコンロ（電池式）
		・レンジフード・吊戸棚
		（LIXIL）Tio
	キッチン（B）	流し台・ガスコンロ・レンジフード
		吊戸棚
		（LIXIL）Tio
	キッチン（C）	流し台（加熱器なし）
		吊戸棚
		（LIXIL）Tio
	ユニットシャワー	0812サイズ・換気扇・シャワー水栓
		（LIXIL）SPB-0812LBEL

ACA + SITE
エーシー工・サイト
建築設計事務所

代表：株式会社エーシー工設計
一級建築士事務所登録
（長野）　M第 77312　号

管理建築士　一級建築士登録
第222107号　湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号　海瀬務

検査者　湯本桂司

担当　平林

担当

Job No.　24078

工事名
岡谷市川岸学園整備 第2期
（長寿命化大規模改修）
建築主体工事

発行日　2025.09.30

図面名称
仕上特記事項

縮尺　Non Scale

A-017

入札用 25.09.30

Copyright (C)株式会社エーシー工設計　著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁止する。

■外部仕上表

部位	場所	名称	仕上・仕様 改修前	仕上・仕様 改修後	部位	場所	名称	仕上・仕様 改修前	仕上・仕様 改修後
屋根	RC一般部	屋根-1	シート防水 {アスファルト露出防水、モルタル下地}	塩化ビニル樹脂系シート防水t=1.5（機械固定） + 硬質ウレタンフォームt=35 下地処理：既存防水残置（立上り部シート防水撤去）	外壁	RC一般部	外壁-1	RC打放　AEP塗装　{下地調整材}	フィニッシュコート + ベースコート（透湿性接着樹脂モルタル） + グラスファイバー製メッシュ + EPS断熱材t=50（アンカー併用接着工法） 下地処理：既存塗材高圧洗浄・躯体欠損部モルタル補修
	接続部	屋根-2		塩化ビニル樹脂系シート防水t=1.5（機械固定） + 硬質ウレタンフォームt=35 折板屋根下地（タイトフレーム共）		RCバルコニー	外壁-2	RC打放 AEP塗装 {下地調整剤}	外装薄塗材E 下地処理：既存塗料高圧洗浄・全面下地調整
						体育館	外壁-3	{石綿セメント成形版}　AEP塗装{下地調整剤}	外装薄塗材E 下地処理：既存塗材高圧洗浄
笠木	一般部	笠木-1	アルミ笠木	アルミ笠木 既存笠木撤去		渡廊下	外壁-4	アルミ板加工　ジュラルロン塗装	DP塗装 下地処理：既存塗材の上プライマー塗装
		笠木-2		アルミ笠木		新設部	外壁-5	–	ALC t=100の上外壁-1同材（外断熱工法）
樋・ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ	一般部	RD-1	鋳鉄製	改修ドレン + 縦引き用鋳鉄製ルーフドレン 既存ルーフドレン撤去		接続部	外壁-6	–	ECP t=60の上外装薄塗材E 断熱：吹付硬質ウレタンフォームt=35
	新設縦引	RD-2		縦引き用鋳鉄製ルーフドレン					
	新設横引	RD-3		横引き用鋳鉄製ルーフドレン					
	内樋	TD-1	配管用炭素鋼鋼管	既存のまま					
	外部竪樋	TD-2	配管用炭素鋼鋼管	既存竪樋再塗装（DP）	基礎	RC一般部	基礎-1	RC打放　AEP塗装　{下地調整材}	フィニッシュコート + ベースコート（透湿性接着樹脂モルタル） + グラスファイバー製メッシュ + 防蟻断熱材t=50（接着工法） 下地処理：既存塗材高圧洗浄・躯体欠損部モルタル補修
	新設竪樋	TD-3		アルミバンドレス竪樋					
軒天	一般部	軒天-1	アスベストラックスt=6 AEP塗装	既存再塗装（EP-G）	開口部	一般部	窓	アルミサッシ	ビル用アルミサッシ（カバー工法）電解着色
	昇降口	軒天-2	アスベストラックスt=6 AEP塗装	ケイカル板t=8 EP-G 既存仕上・下地共撤去					
	解体部 バルコニー	軒天-3	RC躯体	水性反応硬化形軒天井用仕上塗材 RC面下地調整					
	接続部	軒天-4		ケイカル板 t=8 + EP-G					

■内部仕上表

改修前

階棟	室名	内装制限	床 下地	床 仕上げ	床 FL SL	床 改修内容	幅木 下地	幅木 仕上げ	幅木 改修内容	壁 下地	壁 仕上げ	壁 改修内容	天井 下地	天井 仕上げ	天井 廻縁	天井 改修内容	天井高	備考
1 A	101 職員玄関		M	床用レンガタイル	-160 -185	F	C	人工大理石	A	M	ビニルクロス	E D	S	GB-Rt=9の上 {DR} t=9	V V	C	3,000	
	102 玄関ホール		M	FS	±0 -25	F	C	WB	F	M	ビニルクロス	E D	S	GB-Rt=9の上 {DR} t=9	V	C	2,700	
	103 廊下-1		M	FS	±0 -25	F	C	WB	F	{M}	合成ゴム塗装 【南側壁】GB-R t=12の上 合成ゴム塗装	E D	S	GB-Rt=9の上 {DR} t=9	V	C	2,700	
	104 事務室		M	FS	±0 -25	F	C	WB	F	{M}	{ビニルクロス}	E D	S	GB-Rt=9の上 {DR} t=9	V	C	3,000	
	105 校長室		M	カーペット {接着剤}	±0 -25	A	C	WB	F	{M}	合成ゴム塗装 【北側壁】GB-R t=9 {合成ゴム塗装}	E D	S	GB-Rt=9の上 {DR} t=9	V	C	3,000	
	106 職員室		M	FS	±0 -25	F	C	WB	F	{M}	合成ゴム塗装 【北側壁】GB-R t=9 {合成ゴム塗装}	E D	S	GB-Rt=9の上 {DR} t=9	V	C	3,000	
	107 前室		M	カーペット {接着剤}	±0 -25	A	C	WB	F		有孔ベニヤ下地の上フェルト貼	A D	S	GB-Rt=9の上 パラボードガラス布抑えパネル	V	C	2,550	
	108 調整室		M	カーペット {接着剤}	±0 -25	A	C	WB	F		有孔ベニヤ下地の上フェルト貼	A D	S	GB-Rt=9の上 パラボードガラス布抑えパネル	V	C	2,550	
	109 スタジオ		M	カーペット {接着剤}	±0 -25	A	C	WB	F		有孔ベニヤ下地の上フェルト貼	A D	S	GB-Rt=9の上 パラボードガラス布抑えパネル	V	C	2,775	

改修後

室名	内装制限	床 下地	床 仕上げ	床 FL 現況FL	床 改修内容	幅木 下地	幅木 仕上げ	幅木 改修内容	壁 下地	壁 仕上げ	壁 改修内容	天井 下地	天井 仕上げ	天井 廻縁	天井 改修内容	天井高	備考
玄関		F2	コンクリート表面強化材	-20 -160	c	P1 W4	床同材 H120	a	P1 W4	EP塗装	e c	C1	DR（直） t=9	V	c	2,700	・SUS框・受付カウンター
		F1	複合フローリング t=15	+100 ±0			VB H60										
廊下(101)		F1	複合フローリング t=15	100 ±0	c	P1 W4	VB H60	a	P1 W4	EP塗装	e c	C1	DR（直） t=9	V	c	2,700	・掲示板
事務室		F1	複合フローリング t=15	100 ±0	c	P1 W2a W4	VB H60	a	P1 W2a W4	EP塗装	e c	C1 C2a	DR（直） t=9 EP塗装	V	c	2,700 2,400	・掲示板・カウンター・CR(A)
給湯室	準木	F1	複合フローリング t=15	100 ±0	c	P1 W2b	VB H60	a	P1 W2b	EP塗装 一部メラミン不燃化粧板 t=3	c	C1 C2a	DR（直） t=9 EP塗装	V	c	2,700 2,400	・キッチン（A）
前期校舎職員室		F1	複合フローリング t=15	100 ±0	c	P1 P2 W2a	VB H60	a	P1 P2 W2a	EP塗装	c e	C1 C2a	DR（直） t=9 EP塗装	V	c	2,700 2,400	・掲示板・CR(A)
サポートルーム		F1	複合フローリング t=15	100 ±0	c	P1 P2 W2a	VB H60	a	P1 P2 W2a	EP塗装	c e	C1 C2a	DR（直） t=9 EP塗装	V	c	2,700 2,400	・掲示板・CR(A)
保健室		F1	複合フローリング t=15	100 ±0	c	P1 P2 W2a	VB H60	a	P1 P2 W2a	EP塗装	c e	C1 C2a	DR（直） t=9 EP塗装	V	c	2,700 2,400	・掲示板・CR(A)
放送室		F1	TCP t=6.5	100 ±0	c	P2 W4	VB H60	a	P2 W4	グラスウールボード共	c	C2a	グラスウールボードt=50	V	c	2,700	
放送倉庫		F1	TCP t=6.5	100 ±0	c	P1 P2 W4	VB H60	a	P1 P2 W4	EP塗装	c	C1	GB-D t=9.5	V	c	2,700	
保健WC		F1	FS(B)	100 ±0	c	P2 W2b	SUS H60	a	P2 W2b	ケイカル板 t=6 EP-G	c	C1	GB-D t=9.5	V	c	2,550	・ライニング・鏡
脱衣室		F1	FS(C)	100 ±0	c	P2 W2b	VB H60	a	P2 W2b	EP-G	c	C1	GB-D t=9.5	V	c	2,550	

特記事項

改修内容凡例

既存		改修	
A：仕上撤去		a：仕上新設	
B：図示の仕上撤去		b：図示の仕上新設	
C：下地共撤去		c：下地共新設	
D：図示の下地共撤去		d：図示の下地共新設	
E：下地の調整		e：塗装の塗替	
F：既存のまま		f：既存のまま	

下地凡例（詳細は仕上リスト参照）

床		壁・巾木			
F1：既存床仕上の上置床		P1　：LGS+GB-F12.5+12.5（両面）	W4　：既存のまま（下地調整）		C1：LGS下地（直貼用）
F2：既存土間コン増打		P2　：LGS+GB-F12.5+12.5（遮音・両面）	We1：針葉樹合板12+GB-R9.5		C2a：LGS+GB-R12.5
F3：既存床仕上の上木根太		W1a：LGS+GB-R12.5+9.5			C2b：LGS+GB-NC9.5
F4：既存床下地調整（既存仕上撤去部）		W1b：LGS+GB-S12.5+9.5		天	C3：既存のまま（下地調整）
F5：既存床仕上下地（オーバーレイ）		W2a：LGS+GB-R12.5+12.5		井	
		W2b：LGS+GB-S12.5+12.5			
		W3a：LGS+GB-R12.5			
		W2b：LGS+GB-S12.5			

■共通事項

1. {　}はアスベスト含有建材を示す。
2. 間仕切りの撤去・新設等の位置は平面図による。
3. 改修内容 a、b でモルタル下地の場合は下地調整の上新設する。床下地F-4（A-025図）参照
4. 改修内容 e で鉄鋼面の場合は下地調整RB種程度とする。
5. 既存内容 E かつ改修内容 e でRC又はCB（モルタル下地）の場合クラック補修を見込むこと。

Copyright (C)株式会社エーシー工設計　著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁止する。

代表：株式会社エーシー工設計
一級建築士事務所登録
（長野）　M第 77312　号

管理建築士　一級建築士登録
第222107号　湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号　海瀬務

検査者　湯本桂司

担当　平林

担当

Job No. 24078

工事名
岡谷市川岸学園整備 第2期
（長寿命化大規模改修）
建築主体工事

発行日　2025.09.30

図面名称
仕上表（1）

縮尺　Non Scale

A-018

入札用 25.09.30

既存内部仕上

階/棟	室名	内装制限	床 下地	床 仕上げ	床 FL/SL	床 改修内容	幅木 下地	幅木 仕上げ	幅木 改修内容	壁 下地	壁 仕上げ	壁 改修内容	天井 下地	天井 仕上げ	廻縁	天井 改修内容	天井高	備考
1/A																		
	110 倉庫		M	{FT}	±0 / -25	F	C	WB	A	{M}	合成ゴム塗装	E	-	-	-	F	直天井	
	111 女子更衣室		M	FS	±0 / -25	F	C	WB	F	{M}	合成ゴム塗装	E	S	GB-Rt=9の上 {DR} t=9	V	C	2,700	
	112 男子更衣室		M	FS	±0 / -25	F	C	WB	F	{M}	合成ゴム塗装	E	S	GB-Rt=9の上 {DR} t=9	V	C	2,700	
	113 教材準備室		M	FS	±0 / -25	F	C	WB	F	{M}	合成ゴム塗装	E	S	GB-Rt=9の上 {DR} t=9	V	C	2,700	
	114-a 男子便所		M	FS	±0 / -25	F	C	VB	F	{M}	タイル	F	S	{有孔FS板}	V	C	2,700	
	114-b 掃除具庫		M	FS	±0 / -25	F	C	VB	F	{M}	合成ゴム塗装	E	S	{有孔FS板}	V	C	2,700	
	115 女子便所		M	FS	±0 / -25	F	C	VB	F	{M}	タイル	F	S	{有孔FS板}	V	C	2,700	
	116 湯沸室		M	FS	±0 / -25	F	C	WB	F	{M}	合成ゴム塗装 タイル	E C	S	GB-Rt=9の上 {DR} t=9	V	C	2,700	
	117 踏込		M	FS	±0 / -25	F	C	WB	F		ジュラク壁	A C	S	杉柾ベニヤ目透し張	W	C	2,550	
	118 休養室		M	畳、板畳	±0 / -25	C	C	畳寄せ	F		ジュラク壁	A C	S	杉柾ベニヤ目透し張	W	C	2,550	
	119 倉庫		M	{FT}	±0 / -25	F	C	WB	A	{M}	合成ゴム塗装	E	-	-	-	F	直天井	
	120 ﾊﾟﾝ・ﾐﾙｸ保管室		M	FS				VB		{M}	合成ゴム塗装	E	S	GB-Rt=9の上 {DR} t=9				
	121 受渡廊下		M	FS				WB		{M}	【南側】合成ゴム塗装 【北側】GB-R t=12の上 合成ゴム {塗装}		S	GB-Rt=9の上 {DR} t=9				
	122 給湯コーナー		M	FS				WB		{M}	【南側】合成ゴム塗装 【一部】GB-R t=12の上 合成ゴム {塗装}		S	GB-Rt=9の上 {DR} t=9				
	123 検収室		M	FS				VB		{M}	合成ゴム塗装 【一部】GB-R t=12の上 合成ゴム {塗装}		S	GB-Rt=9の上 {DR} t=9				
	124 食品庫		M	FS				WB		{M}	合成ゴム塗装		S	GB-Rt=9の上塗材				
	125 下膳コーナー		M	特殊塗床				特殊塗床		{M}	合成ゴム塗装		S	{FS板}				
	126 掃除具庫		M	特殊塗床				特殊塗床		{M}	合成ゴム塗装		S	{FS板}				
	127 調理・洗浄		M	特殊塗床				特殊塗床		{M}	合成ゴム塗装 【一部】GB-R t=12の上 合成ゴム {塗装}		S	{FS板}				
	128 厨房事務室		M	特殊塗床				特殊塗床		{M}	合成ゴム塗装		S	GB-Rt=9の上 {DR} t=9				
	129 休憩室		M	畳、板畳				畳寄せ			ジュラク壁		S	杉柾ベニヤ目透し張				
	129-2 洗濯機置き場		M	{クッションフロア}				VB		{M}	合成ゴム塗装		S	GB-Rt=9の上 {DR} t=9				
	130 シャワー室		{M}	{タイル}				{タイル}		{M}	{タイル}		S	パスリブ巾＝150 塩ビ製				
	131 踏込		M	FS				WB		{M}	合成ゴム塗装		S	GB-Rt=9の上 {DR} t=9				
	132 便所		M	FS				VB		{M}	タイル		S	{FS板}				
	133 膠下-2		M	FS	±0 / -25	F	C	WB	F	{M}	合成ゴム塗装	E	S	GB-Rt=9の上 {DR} t=9	V	C	2,700	
	134 電気室		{M}	{モルタル}	±0 / -25	F	C	{M}	F	{M}	{モルタル}	F	-	-	-	F	直天井	
	135 機械室		{M}	{モルタル}	-540 / -565	F	C	{M}	F	-	-	F	-	-	-	F	直天井	

改修後内部仕上

室名	内装制限	床 下地	床 仕上げ	床 FL/現況	床 改修内容	幅木 下地	幅木 仕上げ	幅木 改修内容	壁 下地	壁 仕上げ	壁 改修内容	天井 下地	天井 仕上げ	廻縁	天井 改修内容	天井高	備考
シャワー室		-	シャワーユニットによる	100 / ±0		P2 W2b			P2 W2b	シャワーユニットによる			シャワーユニットによる			-	
倉庫(2)		F4	KT t=2	±0 / ±0	c	W4 W4	VB H60	a	W4	EP塗装	e	C3	EP塗装		e	直天井	
男性更衣室		F1	FS(A) t=2	100 / ±0	c	W2a W4	VB H60	a	W2a	EP塗装	e c	C1	GB-D t=9.5	V	c	2,550	
女性更衣室		F1	FS(A) t=2	100 / ±0	c	W2a	VB H60	a	W2a	EP塗装	e c	C1	GB-D t=9.5	V	c	2,550	
教材庫		F1	KT t=2	100 / ±0	c	W4	VB H60	a	W4	EP塗装	e	C1	GB-D t=9.5	V	c	2,550	
男性職員WC		F1	FS(B) t=2	100 / ±0	c	W1b W4	SUS H60	a	W1b W4	ケイカル板 t＝6 EP-G	a c	C1	DR（直） t=9	V	c	2,550	・ライニング・トイレブース・衝立・棚・鏡
SK		F1	FS(B) t=2	100 / ±0	c	W4	SUS H60	a	W4	EP塗装	e	C1	GB-D t=9.5	V	c	2,550	・ライニング・棚・フック
女性職員WC		F1	FS(B) t=2	100 / ±0	c	W1b W4	SUS H60	a	W1b W4	ケイカル板 t＝6 EP-G	a c	C1	DR（直） t=9	V	c	2,550	・ライニング・トイレブース・衝立・棚・鏡
金庫室		F1	KT t=2	100 / ±0	c	P2 W2a W4	VB H60	a	P2 W2a W4	EP塗装	e c	C1	GB-D t=9.5	V	c	2,550	
休憩・相談室		F1	複合フローリング t=15	100 / ±0	c	P2 W4	VB H60	a	P2 W4	EP塗装	a c	C1	DR（直） t=9	V	c	2,550	・BB
倉庫(1)		F4	KT t=2	±0 / ±0	c	W4 W4	VB H60	a	W4	EP塗装	e	C3	EP塗装		e	直天井	
解体																	
ゴミ庫		F1	KT t=2.0	100 / ±0	c	P1 W2a W4	SUS H60	a	P1 W2a W4	EP塗装	e c	C1	GB-D t=9.5	V	c	2,700	
電気室			既存のまま	±0 / ±0	f		既存のまま	f		既存のまま	f		既存のまま	-	f	直天井	
機械室			既存のまま	-540 / ±0	f		既存のまま	f		既存のまま	f		既存のまま	-	f	直天井	

改修内容凡例

特記事項

既存		改修	
A：仕上撤去		a：仕上新設	
B：図示の仕上撤去		b：図示の仕上新設	
C：下地共撤去		c：下地共新設	
D：図示の下地共撤去		d：図示の下地共新設	
E：下地の調整		e：塗装の塗替	
F：既存のまま		f：既存のまま	

下地凡例（詳細は仕上リスト参照）

床	壁・巾木			
F1：既存床仕上の上置床	P1 ：LGS+GB-F12.5+12.5（両面）	W4 ：既存のまま（下地調整）		C1 ：LGS下地（直貼用）
F2：既存土間コン増打	P2 ：LGS+GB-F12.5+12.5（遮音・両面）	We1 ：針葉樹合板12+GB-R9.5		C2a：LGS+GB-R12.5
F3：既存床仕上の上木根太	W1a：LGS+GB-R12.5+9.5			C2b：LGS+GB-NC9.5
F4：既存床下地調整（既存仕上撤去部）	W1b：LGS+GB-S12.5+9.5		天	C3 ：既存のまま（下地調整）
F5：既存床仕上下地（オーバーレイ）	W2a：LGS+GB-R12.5+12.5		井	
	W2b：LGS+GB-S12.5+12.5			
	W3a：LGS+GB-R12.5			
	W2b：LGS+GB-S12.5			

■共通事項

1. { }はアスベスト含有建材を示す。
2. 間仕切りの撤去・新設等の位置は平面図による。
3. 改修内容 a、bでモルタル下地の場合は下地調整の上新設する。床下地F-4（A-025図）参照
4. 改修内容 eで鉄鋼面の場合は下地調整RB種程度とする。
5. 既存内容 Eかつ改修内容 eでRC又はCB（モルタル下地）の場合クラック補修を見込むこと。

Copyright (C)株式会社エーシー工設計　著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁止する。

ACA + SITE
エーシーエ・サイト
建築 設計 監理

代表：株式会社エーシー工設計
一級建築士事務所登録
（長野） M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号 海瀬務

検査者 湯本桂司

担当 平林

担当

Job No. 24078

工事名
岡谷市川岸学園整備 第2期
（長寿命化大規模改修）
建築主体工事

発行日 2025.09.30

図面名称
仕上表（2）

縮尺 Non Scale

A-019

入札用 25.09.30

既存内部仕上

階	室名	内装制限	床 下地	床 仕上げ	床 FL/SL	床 改修内容	幅木 下地	幅木 仕上げ	幅木 改修内容	壁 下地	壁 仕上げ	壁 改修内容	天井 下地	天井 仕上げ	天井 廻縁	天井 改修内容	天井高	備考
2 A	201 廊下		{M}	{FS}	±0	F	C	WB	F	{M}	合成ゴム塗装 【消火栓壁下地】{GB-R}	E C	S	GB-Rt=9の上{DR} t=9	V	C	2,700	
					-25		S											
	202 ｶﾊﾞﾝ・ｺｰﾄ掛ｺｰﾅｰ		{M}	{FS}	±0	F	C	WB	F	{M}	合成ゴム塗装	E	S	GB-Rt=9の上{DR} t=9	V	C	2,700	
					-25													
	203-a 女子便所		M	FS	±0	F	C	VB	F	{M}	タイル	F	S	{有孔FS板}	V	C	2,700	
					-25													
	203-b 掃除具庫		M	FS	±0	F	C	VB	F	{M}	タイル	F	S	{有孔FS板}	V	C	2,700	
					-25													
	204-a 男子便所		M	FS	±0	F	C	VB	F	{M}	タイル	F	S	{有孔FS板}	V	C	2,700	
					-25													
	204-b 掃除具庫		M	FS	±0	F	C	VB	F	{M}	タイル	F	S	{有孔FS板}	V	C	2,700	
					-25													
	205 普通教室		M	FS {FS}(WS)	±0	F	C	WB	F	{M}	合成ゴム塗装 【WS】{GB-R の上合成ゴム塗装}	E	S	GB-Rt=9の上{DR} t=9	V	C	3,000	WSはワークスペース部分を示す。
					-25													
	206 普通教室		M	FS	±0	F	C	WB	F	{M}	合成ゴム塗装	E	S	GB-Rt=9の上{DR} t=9	V	C	3,000	
					-25													
	207 普通教室		M	FS {FS}(WS)	±0	F	C	WB	F	{M}	合成ゴム塗装 【WS】{GB-R の上合成ゴム塗装}	E	S	GB-Rt=9の上{DR} t=9	V	C	3,000	WSはワークスペース部分を示す。
					-25													
	208 普通教室		M	FS	±0	F	C	WB	F	{M}	合成ゴム塗装	E	S	GB-Rt=9の上{DR} t=9	V	C	3,000	
					-25													
	209 普通教室		M	FS	±0	F	C	WB	F	{M}	合成ゴム塗装	E	S	GB-Rt=9の上{DR} t=9	V	C	3,000	
					-25													
	210 給気機械室		{M}	{モルタル}	±0			-	-	{M}	ドリゾール打込み t=50		S	ドリゾール打込み t=50				
					-25													
	211 排気機械室		{M}	{モルタル}	±0			-	-	{M}	ドリゾール打込み t=50		S	ドリゾール打込み t=50				
					-25													
3 A	301 廊下		{M}	{FS}	±0	F	C	WB	F	{M}	合成ゴム塗装 【消火栓壁下地】{GB-R}	E C	S	GB-Rt=9の上{DR} t=9	V	C	2,700	
					-25		S											
	302 ｶﾊﾞﾝ・ｺｰﾄ掛ｺｰﾅｰ		{M}	{FS}	±0	F	C	WB	F	{M}	合成ゴム塗装	E	S	GB-Rt=9の上{DR} t=9	V	C	2,700	
					-25													
	303-a 女子便所		M	FS	±0	F	C	VB	F	{M}	タイル	F	S	{有孔FS板}	V	C	2,700	
					-25													
	303-b 掃除具庫		M	FS	±0	F	C	VB	F	{M}	タイル	F	S	{有孔FS板}	V	C	2,700	
					-25													
	304-a 男子便所		M	FS	±0	F	C	VB	F	{M}	タイル	F	S	{有孔FS板}	V	C	2,700	
					-25													
	304-b 掃除具庫		M	FS	±0	F	C	VB	F	{M}	タイル	F	S	{有孔FS板}	V	C	2,700	
					-25													
	305~306 普通教室		M	FS 【一部】{FS}	±0	F	C	WB	F	{M}	合成ゴム塗装	E	S	GB-Rt=9の上{DR} t=9	V	C	3,000	
					-25													
	307 普通教室		M	FS {FS}(WS)	±0	F	C	WB	F	{M}	合成ゴム塗装 【WS】{GB-Rの上合成ゴム塗装}	E	S	GB-Rt=9の上{DR} t=9	V	C	3,000	WSはワークスペース部分を示す。
					-25													
	308~309 普通教室		M	FS	±0	F	C	WB	F	{M}	合成ゴム塗装	E	S	GB-Rt=9の上{DR} t=9	V	C	3,000	
					-25													
4 A	水槽室		{M}	{モルタル}	±0	F		-		M	{ケイカル板}	F	S	{ケイカル板}				
					-25													

改修後内部仕上

室名	内装制限	床 下地	床 仕上げ	床 FL/現況L	床 改修内容	幅木 下地	幅木 仕上げ	幅木 改修内容	壁 下地	壁 仕上げ	壁 改修内容	天井 下地	天井 仕上げ	天井 廻縁	天井 改修内容	天井高	備考
廊下(201)		F1	複合フローリング t=15	100	c	P1 W2a W4	VB H60	a	P1 W2a W4	EP塗装	e c	C1	DR（直） t=9	V	c	2,700	・掲示板・PR（A）・消火器BOX
				±0													
談話スペース(3),(4)		F1	FS(A) t=2	100	c	W2a W4	VB H60	a	W2a W4	EP塗装	e c	C1	DR（直） t=9	V	c	2,550	
				±0													
女子WC(3)		F1	FS(B) t=2	100	c	W1b W4	SUS H60	a	W1b W4	ケイカル板 t=6 EP-G	a c	C1	DR（直） t=9	V	c	2,550	・ライニング・トイレブース・鏡
				±0													
男子WC(3)		F1	FS(B) t=2	100	c	W1b W4	SUS H60	a	W1b W4	ケイカル板 t=6 EP-G	a c	C1	DR（直） t=9	V	c	2,550	・ライニング・トイレブース・鏡
				±0													
英語教室		F1	複合フローリング t=15	100	c	P1 W2a	VB H60	a	P1 W2a	EP塗装	c e	C1 C2a	DR（直） t=9 EP塗装	V	c	2,700 2,400	・掲示板
				±0													
ｽﾍﾟｲﾝ教室		F1	複合フローリング t=15	100	c	P1 W2a	VB H60	a	P1 W2a	EP塗装	c e	C1 C2a	DR（直） t=9 EP塗装	V	c	2,700 2,400	・掲示板
				±0													
特別支援教室-1		F1	複合フローリング t=15	100	c	P1 W2a	VB H60	a	P1 W2a	EP塗装	c e	C1 C2a	DR（直） t=9 EP塗装	V	c	2,700 2,400	・掲示板
				±0													
特別支援教室-2		F1	複合フローリング t=15	100	c	P1 W2a	VB H60	a	P1 W2a	EP塗装	c e	C1 C2a	DR（直） t=9 EP塗装	V	c	2,700 2,400	・掲示板
				±0													
特別支援教室-3		F1	複合フローリング t=15	100	c	P1 W2a	VB H60	a	P1 W2a	EP塗装	c e	C1 C2a	DR（直） t=9 EP塗装	V	c	2,700 2,400	・掲示板
				±0													
解体																	
廊下(301)		F1	複合フローリング t=15	100	c	P1 W2a W4	VB H60	a	P1 W2a W4	EP塗装	e c	C1	DR（直） t=9	V	c	2,700	・掲示板・PR（A）・消火器BOX
				±0													
談話スペース(7),(8)		F1	FS(A) t=2	100	c	W2a W4	VB H60	a	W2a W4	EP塗装	e c	C1	DR（直） t=9	V	c	2,550	
				±0													
女子WC(5)		F1	FS(B) t=2	100	c	W1b W4	SUS H60	a	W1b W4	ケイカル板 t=6 EP-G	a c	C1	DR（直） t=9	V	c	2,550	・ライニング・トイレブース・鏡
				±0													
男子WC(5)		F1	FS(B) t=2	100	c	W1b W4	SUS H60	a	W1b W4	ケイカル板 t=6 EP-G	a c	C1	DR（直） t=9	V	c	2,550	・ライニング・トイレブース・鏡
				±0													
普通教室(5-1)(5-2)		F1	複合フローリング t=15	100	c	P1 W2a	VB H60	a	P1 W2a	EP塗装	c e	C1 C2a	DR（直） t=9 EP塗装	V	c	2,700 2,400	・掲示板
				±0													
ワークスペース(3)		F1	複合フローリング t=15	100	c	P1 W2a	VB H60	a	P1 W2a	EP塗装	c e	C1 C2a	DR（直） t=9 EP塗装	V	c	2,700 2,400	・掲示板
				±0													
普通教室(6-1)(6-2)		F1	複合フローリング t=15	100	c	P1 W2a	VB H60	a	P1 W2a	EP塗装	c e	C1 C2a	DR（直） t=9 EP塗装	V	c	2,700 2,400	・掲示板
				±0													
水槽室			複合フローリング t=15														

特記事項

改修内容凡例

既存		改修	
A：仕上撤去		a：仕上新設	
B：図示の仕上撤去		b：図示の仕上新設	
C：下地共撤去		c：下地共新設	
D：図示の下地共撤去		d：図示の下地共新設	
E：下地の調整		e：塗装の塗替	
F：既存のまま		f：既存のまま	

下地凡例（詳細は仕上リスト参照）

床	壁・巾木		天井	
F1：既存床仕上の上置床	P1 ：LGS+GB-F12.5+12.5（両面）	W4 ：既存のまま（下地調整）	C1：LGS下地（直貼用）	
F2：既存土間コン増打	P2 ：LGS+GB-F12.5+12.5（遮音・両面）	We1：針葉樹合板12+GB-R9.5	C2a：LGS+GB-R12.5	
F3：既存床仕上の上木根太	W1a：LGS+GB-R12.5+9.5		C2b：LGS+GB-NC9.5	
F4：既存床下地調整（既存仕上撤去部）	W1b：LGS+GB-S12.5+9.5		天 C3：既存のまま（下地調整）	
F5：既存床仕上下地（オーバーレイ）	W2a：LGS+GB-R12.5+12.5		井	
	W2b：LGS+GB-S12.5+12.5			
	W3a：LGS+GB-R12.5			
	W2b：LGS+GB-S12.5			

■共通事項

1. {　}はアスベスト含有建材を示す。
2. 間仕切りの撤去・新設等の位置は平面図による。
3. 改修内容ａ、ｂでモルタル下地の場合は下地調整の上新設する。床下地F-4（A-025図）参照
4. 改修内容ｅで鉄鋼面の場合は下地調整RB種程度とする。
5. 既存内容Ｅかつ改修内容ｅでRC又はCB（モルタル下地）の場合クラック補修を見込むこと。

Copyright (C)株式会社エーシー工設計　著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁止する。

ACA + SITE
エーシーエ・サイト
建築 設備 構造

代表：株式会社エーシー工設計
一級建築士事務所登録
（長野）　M第 77312　号

管理建築士　一級建築士登録
第222107号　湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号　海瀬務

検査者　湯本桂司

担当　平林

担当

Job No.　24078

工事名
岡谷市川岸学園整備 第2期
（長寿命化大規模改修）
建築主体工事

発行日　2025.09.30

図面名称
仕上表（3）

縮尺　Non Scale

A-020

入札用 25.09.30

既存内部仕上

階/棟	室名	内装制限	床 下地	床 仕上げ	床 FL/SL	床 改修内容	幅木 下地	幅木 仕上げ	幅木 改修内容	壁 下地	壁 仕上げ	壁 改修内容	天井 下地	天井 仕上げ	廻縁	天井 改修内容	天井高	備考
1/B	101 風除室		M	{モルタル}				SUS		{M}	アルミサッシ		S	{アスベストラックス}				
	102 昇降口		M	FS	±0 -25	F	C	人工大理石	A	M	合成ゴム塗装 【間仕切壁】{GB-Rの上合成ゴム塗装}	E	S	GB-R t=12の上{DR}t=9	V	C	2,700	
	103 廊下-1		M	FS	±0 -25	F	C	WB	F	M	合成ゴム塗装	E	S	GB-R t=9の上{DR}t=9	V	C	2,700	
	104 体育館		S	ナラフローリング t=18	-220 -245	E	S	WB	E	S	{FS板2枚貼り} 【壁上部】GB-R t=12の上合成ゴム塗装	A	S	パラボード（グラスウール板） 【廊下側】GB-Rt=9の上 {DR} t=9 【天井裏】岩綿吸音板吹付	-	F	-	
	105 庫		M	塗床	-220 -245	A	C	WB	A	{M}	合成ゴム塗装	E	{M}	合成ゴム塗装	-	E	-	
	106 ステージ		S	ナラフローリング t=18	480 -245	E	C	WB	E	S	{FS板2枚貼り}	A	S	{アスベストラックス}	-	E	-	
	107 庫		M	塗床	-220 -245	A	C	WB	A	{M}	合成ゴム塗装	E	{M}	合成ゴム塗装	-	E	-	
	108 廊下-2		M	FS	±0 -25	F	C S	WB	F	S	合成ゴム塗装 【一部】GB-R t=12の上合成ゴム塗装	E C	S	GB-R t=9の上{DR}t=9	V	C	2,700	
	109 図工準備室		M	FS 【二重窓際】{FS}	±0 -25	F A	C S	WB	F	S	合成ゴム塗装 【一部】GB-R t=12の上合成ゴム塗装	E C	S	GB-R t=9の上{DR}t=9 【二重窓際】{GB-Rの上塗材}	V	C	3,000	
	110 準備・展示ｺｰﾅｰ		M	FS	±0 -25	F	C	WB	F	M	合成ゴム塗装	E	S	GB-R t=9の上{DR}t=9	V	C	3,000	
	111 図画室		M	FS 【二重窓際】{FS}	±0 -25	A	C	WB	F	S	合成ゴム塗装 【一部】GB-R t=12の上合成ゴム塗装	E C	S	GB-R t=9の上{DR}t=9 【二重窓際】{GB-Rの上塗材}	V	C	3,000	
	112 掃除具庫		M	FS	±0 -25	F	C	VB	F	M	合成ゴム塗装	E	S	{GB-Rの上塗材}	V	C	2,700	
	113 男子便所		M	FS	±0 -25	F	C	VB	F	{M}	タイル	F	S	{有孔FS板}	V	C	2,700	
	114 女子便所		M	FS	±0 -25	F	C	VB	F	{M}	タイル	F	S	{有孔FS板}	V	C	2,700	
	115 前室		M	FS	±0 -25	F	C	WB	F	M	合成ゴム塗装	E	S	{有孔FS板}	V	C	2,700	
	116 廊下-3		M	FS	±0 -25	F	C S	WB	F	M	合成ゴム塗装 【南側】GB-R t=12の上合成ゴム塗装	E C	S	GB-R t=9の上{DR}t=9	V	C	2,700	
	117-a 理科室-1		M	FS	±0 -25	F	C S	WB	F	M	合成ゴム塗装 【一部】GB-R t=12の上合成ゴム塗装	E C	S	GB-R t=9の上{DR}t=9	V	C	3,000	
	117-b 準備		M	FS	±0 -25	F	C	WB	F	M	合成ゴム塗装	E	S	GB-R t=9の上{DR}t=9	V	C	3,000	
	118-a 理科室-2		M	FS	±0 -25	F	C S	WB	F	M	合成ゴム塗装 【一部】GB-R t=12の上合成ゴム塗装	E C	S	GB-R t=9の上{DR}t=9	V	C	3,000	
	118-b 準備		M	FS	±0 -25	F	C	WB	F	M	合成ゴム塗装	E	S	GB-R t=9の上{DR}t=9	V	C	3,000	
	119 音楽室-1		M	{FS}	±0 -25	F	C	WB	F	M	合成ゴム塗装 【一部】GB-R t=12の上合成ゴム塗装	E	S	小幅板t=12 目透し 小幅板t=12 数目張 【一部】{GB-Rの上塗材}	-	E	-	
	120 音楽室-2		M	{FS}	±0 -25	F	C	WB	F	M	合成ゴム塗装 【一部】GB-R t=12の上合成ゴム塗装	E	S	小幅板t=12 目透し 小幅板t=12 数目張 【一部】{GB-Rの上塗材}	-	C	-	
	121 準備室		M	FS	±0 -25	F	C	WB	F	M	合成ゴム塗装	E	S	GB-R t=9の上{DR}t=9	V	C	3,000	
	122 踏込		M	FS				合成ゴム塗装		M	合成ゴム塗装		S	GB-R t=9の上、内装用リシン吹付				
	123 玄関		M	カーペット				WB		M	合成ゴム塗装 【一部】GB-R t=12の上合成ゴム塗装		S	GB-R t=9の上、内装用リシン吹付				

改修後内部仕上

室名	内装制限	床 下地	床 仕上げ	床 FL/現況L	床 改修内容	幅木 下地	幅木 仕上げ	幅木 改修内容	壁 下地	壁 仕上げ	壁 改修内容	天井 下地	天井 仕上げ	廻縁	天井 改修内容	天井高	備考
解体																	
昇降口		F2 F1	コンクリート表面強化材 複合フローリング t=15	100 ±0	c	P1 W4	VB H60	a	P1 W4	EP塗装	c e	C1	DR（直） t=9	W	c	2,700	ステンレス框
一般玄関		F2 F1	コンクリート表面強化材 複合フローリング t=15	100 **±0**	c	P1 W4	VB H60	a	P1 W4	EP塗装	c e	C1	DR（直） t=9	W	c	2,700	ステンレス框
多目的WC		F1	FS(B)	100 ±0	c	P2 W1b	VB H60	a	P2 W1b	ケイカル板 t=6 EP-G	c	C1	GB-D t=9.5	V	c	2,550	・ライニング・鏡
外部WC前室		F2	コンクリート表面強化剤	-20 -160	c	P2 W1b	SUS **H60**	a	P2 W1b	ケイカル板 t=6 EP-G	c	C1	DR（直） t=9	V	c	2,720	
男子外部WC		F2	コンクリート表面強化剤	-20 -160	c	P2 W1b	SUS **H60**	a	P2 W1b	ケイカル板 t=6 EP-G	c	C1	DR（直） t=9	V	c	2550	・ライニング・トイレブース・鏡
女子外部WC		F2	コンクリート表面強化剤	-20 -160	c	P2 W1b	SUS **H60**	a	P2 W1b	ケイカル板 t=6 EP-G	c	C1	DR（直） t=9	V	c	2550	・ライニング・トイレブース・鏡
SK		F2	コンクリート表面強化剤	-20 **-160**	c	P2 W1b	SUS **H60**	a	P2 W1b	ケイカル板 t=6 EP-G	c	C1	GB-D t=9.5	V	c	2550	・ライニング
廊下(105)		F1	複合フローリング t=15	100 **±0**	c	P1 W2a W4	VB H60	a	P1 W2a W4	EP塗装	e c	C1	DR（直） t=9	V	c	2,700	・掲示板・PR（B）
体育館		F6	既存フローリング研磨 UC塗装	-220 -220	e	P1 W4	既存研磨 UC塗装	e	P1 W4	内装薄塗材 E 木押縁 WP	a		既存/パラボード再塗装（EP）	-	e	-	
庫		F2	ウレタン樹脂系厚膜型塗材	-220 -350	c	W4	VB H60	a	W4	EP塗装	e	C3	EP塗装	-	e	-	
ステージ		F6	既存フローリング研磨 UC塗装	480 480	e	W4	既存研磨 UC塗装	e	W4	内装薄塗材 E 木押縁 WP	a	C3	内装薄塗材 E	-	e	-	
庫		F2	ウレタン樹脂系厚膜型塗材	-220 -350	c	W4	VB H60	a	W4	EP塗装	e	C3	EP塗装	-	e	-	
廊下(102)		F1	複合フローリング t=15	100 ±0	c	P1 W4	VB H60	a	P1 W4	EP塗装	e c	C1	DR（直） t=9	V	c	2,700	・掲示板・PR（B）・消火器BOX
調理実習室		F1	FS(A) t=2	100 ±0	c	P1 W2a	VB H60	a	P1 W2a	EP塗装	c e	C1 C2a	DR（直） t=9 EP塗装	V	c	2,700 2,400	・掲示板・CR(A)
集会室		F1	複合フローリング t=15	100 ±0	c	P1 W2a	VB H60	a	P1 W2a	EP塗装	c e	C1 C2a	DR（直） t=9 EP塗装	V	c	2,700 2,400	・掲示板・CR(A)
被服室		F1	FS(A) t=2	100 **±0**	c	P1 W2a	VB H60	a	P1 W2a	EP塗装	c e	C1 C2a	DR（直） t=9 EP塗装	V	c	2,700 2,400	・掲示板・CR(A)
SK		F1	FS(B) t=2	100 ±0	c	W4	SUS H60	a	W4	EP塗装	e	C1	GB-D t=9.5	V	c	2,550	・ライニング
男子WC(1)		F1	FS(B) t=2	100 ±0	c	W1b W4	SUS H60	a	W1b W4	ケイカル板 t=6 EP-G	a c	C1	DR（直） t=9	V	c	2,700	・ライニング・トイレブース・鏡
女子WC(1)		F1	FS(B) t=2	100 ±0	c	W1b W4	SUS H60	a	W1b W4	ケイカル板 t=6 EP-G	a c	C1	DR（直） t=9	V	c	2,700	・ライニング・トイレブース・鏡
前室(1)		F1	FS(B) t=2	100 ±0	c	W4	SUS H60	a	W4	ケイカル板 t=6 EP-G	a c	C1	DR（直） t=9	V	c	2,700	
廊下(103)		F1	複合フローリング t=15	100 ±0	c	P1 W4	VB H60	a	P1 W4	EP塗装	e c	C1	DR（直） t=9	V	c	2,700	・掲示板・PR（B）・消火器BOX
理科室		F1	FS(A) t=2	100 ±0	c	P1 W2a W4	VB H60	a	P1 W2a W4	EP塗装	c e	C1 C2a	DR（直） t=9 EP塗装	V	c	2,700 2,400	・掲示板・CR(A)
解体																	
業務員室	準不	F1 F4	FS(A) t=2 一部コンクリート補修 表面強化剤	100 ±0	c	P1 W2a We1	VB H60	a	P1 W2a We1	EP塗装	e c	C1 C2a	DR（直） t=9 EP塗装	V	c	2,700 2,400	・棚板・CR(A)・キッチン（B）
理科準備室		F1	FS(A) t=2	100 ±0	c	P1 W2a W4	VB H60	a	P1 W2a W4	EP塗装	c e	C1 C2a	DR（直） t=9 EP塗装	V	c	2,700 2,400	・CR(A)
音楽室		F1	複合フローリング t=15	100 ±0	c	W2a W4	VB H60	a	W2a W4	EP塗装	e c	C1	県産材杉羽目板 t=12 WP グラスウール共	V	e	-	・掲示板・CR(A)
楽器室		F1	複合フローリング t=15	100 ±0	c	P2 W2a W4	VB H60	a	P2 W2a W4	EP塗装	e c	C1	県産材杉羽目板 t=12 WP グラスウール共	V	e	-	・掲示板・CR(A)
廊下(104)		F1	複合フローリング t=15	100 ±0	c	P2 W4	VB H60	a	P2 W4	EP塗装	e c	C1	DR（直） t=9	V	c	2,700	
音楽準備室		F1	FS(A) t=2	100 ±0	c	W4	VB H60	a	W4	EP塗装	e	C1	GB-D t=9.5	V	c	2,700	
解体																	

特記事項

改修内容凡例

既存		改修	
A：仕上撤去		a：仕上新設	
B：図示の仕上撤去		b：図示の仕上新設	
C：下地共撤去		c：下地共新設	
D：図示の下地共撤去		d：図示の下地共新設	
E：下地の調整		e：塗装の塗替	
F：既存のまま		f：既存のまま	

下地凡例（詳細は仕上リスト参照）

床		壁・巾木			
F1：既存床仕上の上置床		P1 ：LGS+GB-F12.5+12.5（両面）	W4 ：既存のまま（下地調整）		C1 ：LGS下地（直貼用）
F2：既存土間コン増打		P2 ：LGS+GB-F12.5+12.5（遮音・両面）	We1 ：針葉樹合板12+GB-R9.5		C2a：LGS+GB-R12.5
F3：既存床仕上の上木根太		W1a：LGS+GB-R12.5+9.5			C2b：LGS+GB-NC9.5
F4：既存床下地調整（既存仕上撤去部）		W1b：LGS+GB-S12.5+9.5		天	C3 ：既存のまま（下地調整）
F5：既存床仕上下地（オーバーレイ）		W2a：LGS+GB-R12.5+12.5		井	
		W2b：LGS+GB-S12.5+12.5			
		W3a：LGS+GB-R12.5			
		W2b：LGS+GB-S12.5			

■共通事項

1. {　}はアスベスト含有建材を示す。
2. 間仕切りの撤去・新設等の位置は平面図による。
3. 改修内容 a、b でモルタル下地の場合は下地調整の上新設する。床下地F-4（A-025図）参照
4. 改修内容 e で鉄鋼面の場合は下地調整RB種程度とする。
5. 既存内容 E かつ改修内容 e でRC又はCB（モルタル下地）の場合クラック補修を見込むこと。

Copyright (C)株式会社エーシー工設計　著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁止する。

ACA + SITE
エーシーエ・サイト
建築・設計

代表：株式会社エーシー工設計
一級建築士事務所登録
（長野）　M第 77312　号

管理建築士　一級建築士登録
第222107号　湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号　海瀬務

検査者　湯本桂司

担当　平林

担当

Job No.　24078

工事名
岡谷市川岸学園整備 第2期
（長寿命化大規模改修）
建築主体工事

発行日　2025.09.30

図面名称
仕上表（4）

縮尺　Non Scale

A-021

入札用 25.09.30

既存内部仕上

階/棟	室名	内装制限	床 下地	床 仕上げ	床 FL/SL	床 改修内容	幅木 下地	幅木 仕上げ	幅木 改修内容	壁 下地	壁 仕上げ	壁 改修内容	天井 下地	天井 仕上げ	天井 廻縁	天井 改修内容	天井高	備考
1/B	124 居間		M	カーペット				WB		M	合成ゴム塗装 【一部】GB-R t=12の上合成ゴム塗装		S	GB-R t=9の上、内装用リシン吹付				
	125 台所		M	カーペット				WB		M	合成ゴム塗装 【一部】GB-R t=12の上合成ゴム塗装		S	GB-R t=9の上、内装用リシン吹付				
	126 和室6帖		M	畳t=50				畳寄せ		M	GB-Rの上ジュラク壁		S	DR t=9				
	127 和室6帖		M	畳t=50				畳寄せ		M	GB-Rの上ジュラク壁		S	DR t=9				
	128 便所		M	FS				VB		M	合成ゴム塗装		S	GB-R t=9の上合成塗材				
	129 洗面室		M	FS				VB		M	合成ゴム塗装		S	有孔ベニヤt=4の上合成塗材				
	130 浴室		{M}	{タイル}				{タイル}		{M}	{タイル}		S	バスリブ巾＝100　塩ビ製				
	131 倉庫		{M}	{モルタル}				{M}		{M}	{モルタル}		S	スタイロフォームt=50打込み				
2/B	201 廊下		M	FS	±0 -25	F	C S	WB	F	M	合成ゴム塗装 【一部】GB-R t=12の上合成ゴム塗装	E	S	GB-R t=9の上{DR}t=9	V	C	2700	
	202 家庭科-1		M	FS 【二重窓際】{FS}	±0 -25	F A	C	WB	F	M	合成ゴム塗装 【一部】GB-R t=12の上合成ゴム塗装	E C	S	GB-R t=9の上{DR}t=9 【二重窓際】{GB-Rの上塗材}	V	C	3,000	
	203 準備室		M	FS 【二重窓際】{FS}	±0 -25	F A	C	WB	F	M	合成ゴム塗装 【一部】GB-R t=12の上合成ゴム塗装	E C	S	GB-R t=9の上{DR}t=9 【二重窓際】{GB-Rの上塗材}	V	C	3,000	
	204 家庭科-2		M	FS 【二重窓際】{FS}	±0 -25	F A	C	WB	F	M	合成ゴム塗装 【一部】GB-R t=12の上合成ゴム塗装	E C	S	アスベストラックス 【二重窓際】{GB-Rの上塗材}	V	C	3,000	
	205 渡廊下		M	FS 【窓際】{FS}	±0 -25	F A	S	WB	F	S	{合成ゴム塗装} 【一部】GB-R t=12の上合成ゴム塗装	C	S	GB-R t=12の上{DR}t=9 【窓際】GB-R t=9の上塗材	V	C	2,700	【柱】{耐火被覆ケイカル板}
1/C	101 風除室		{M}	{モルタル}	±0 -25			SUS		M	アルミサッシ		S	アスベストラックス				
	102 昇降口		{M}	{モルタル} {FS}	±0 -25	F	C	人工大理石	F	{M}	合成ゴム塗装	E	S	GB-R t=12の上{DR}t=9	V	C	2,700	
	103 廊下-1		{M}	{FS}	±0 -25	F	C	WB	F	{M}	合成ゴム塗装	E	S	GB-R t=12の上{DR}t=9	V	C	2,700	
	104 廊下-2		{M}	{FS}	±0 -25	F	C	WB	F	{M}	合成ゴム塗装 GB-R t=12の上合成ゴム塗装	E	S	GB-R t=12の上{DR}t=9	V	C	2,700	
	105 保健室		{M}	{FS}	±0 -25	F	C	WB	F	{M}	合成ゴム塗装 GB-R t=12の上合成ゴム塗装	E	S	GB-R t=9の上{DR}t=9	V	C	3,000	
	106 図書室		{M}	{FS}	±0 -25	F	C	WB	F	M	GB-R t=12の上合成ゴム塗装 【柱】{モルタル}の上合成ゴム塗装	E	S	GB-R t=9の上{DR}t=9	V	C	3,000	
	107 児童会		{M}	{FS}	±0 -25	F	C	WB	F	M	GB-R t=12の上合成ゴム塗装 【柱】{モルタル}の上合成ゴム塗装	E	S	GB-R t=9の上{DR}t=9	V	C	3,000	
	108 プラネタリウム		{M}	{FS} カーペット{接着剤}	±0 -25	A	C	WB	F	{M}	合成ゴム塗装	E	S	GB-R t=9の上{DR}t=9	V	C	3,000	【掲示板】{クロス}
	109 倉庫		{M}	{FT}	±0 -25	F	C	WB	F	{M}	合成ゴム塗装	E	S	GB-R t=9の上{DR}t=9	-	E	直天井	
	110 資料室		{M}	{FS}	±0 -25	F	C	WB	F	{M}	合成ゴム塗装 GB-R t=12の上合成ゴム塗装	E	S	GB-R t=9の上{DR}t=9	V	C	2,700	
	111-a 男子便所		{M}	{FS}	-320 -345	F	C	{VB}	F	{M}	タイル	F	S	{有孔FS板}	V	C	2,700	
	111-b 掃除具庫		{M}	{FS}	-320 -345	F	C	{VB}	F	{M}	合成ゴム塗装	F	S	{有孔FS板}	V	C	2,700	
	112-a 女子便所		{M}	{FS}	-320 -345	F	C	{VB}	F	{M}	タイル	F	S	{有孔FS板}	V	C	2,700	
	112-b 掃除具庫		{M}	{FS}	-320 -345	F	C	{VB}	F	{M}	合成ゴム塗装	F	S	{有孔FS板}	V	C	2,700	
	112-c 多目的トイレ		{M}	{FS}	-320 -345	F	C	{VB}	F	{M}	タイル	F	S	{有孔FS板}	V	C	2,700	
	112-c トイレ通路		{M}	{FS}	-320 -345	F	C	{VB}	F	{M}	合成ゴム塗装 GB-R t=12の上合成ゴム塗装	F	S	{有孔FS板}	V	C	2,700	

改修後内部仕上

室名	内装制限	床 下地	床 仕上げ	床 FL/現況FL	床 改修内容	幅木 下地	幅木 仕上げ	幅木 改修内容	壁 下地	壁 仕上げ	壁 改修内容	天井 下地	天井 仕上げ	天井 廻縁	天井 改修内容	天井高	備考
解体																	
廊下(202)		F1	複合フローリング t=15	100 ±0	c	P1 W4	VB H60	a	P1 W4	EP塗装	e c	C1	DR（直） t=9	V	c	2,700	・掲示板・PR（B）・消火器BOX
メディアセンター		F1	複合フローリング t=15 一部TCP t=6.5	100 ±0	c	P1 W2a W4	VB H60	a	C	EP塗装	e	C1	DR（直） t=9 一部県産杉 t=12 羽目板WP	V	c	2,700	
廊下(203)		F1	複合フローリング t=15	100 ±0	c	P1 W4	VB H60	a	P1 W4	EP塗装	e c	C1	DR（直） t=9	V	c	2,700	
解体																	
プレイルーム		F1	複合フローリング t=15	100 ±0	c	P1 W4	VB H60	a	P1 W4	EP塗装	e c	C1	DR（直） t=9	V	c	2,700	
廊下(106)		F1	複合フローリング t=15	100 ±0	c	P1 W4	VB H60	a	P1 W4	EP塗装	e c	C1	DR（直） t=9	V	c	2,700	
廊下(107)		F1	複合フローリング t=15	100 ±0	c	P1 W4	VB H60	a	P1 W4	EP塗装	e c	C1	DR（直） t=9	V	c	2,700	
通級教室		F1	複合フローリング t=15	100 ±0	c	P1 W2a W4	VB H60	a	P1 W2a W4	EP塗装	c e	C1 C2a	DR（直） t=9 EP塗装	V	c	2,700 2,400	
学童クラブ		F1	TCP t=6.0 複合フローリング t=15	100 ±0	c	P1 W2a W4	VB H60	a	P1 W2a W4	EP塗装	c e	C1 C2a	DR（直） t=9 EP塗装	V	c	2,700 2,400	
体育教材庫		F1	KT t=2	100 ±0	c	P1 W2a	VB H60	a	P1 W2a	EP塗装	c	C1	GB-D t=9.5	V	c	2,700	
資料室		F1	KT t=2	100 ±0	c	P1 W2a	VB H60	a	P1 W2a	EP塗装	c	C1	GB-D t=9.5	V	c	2,700	
休養室		F1	複合フローリング t=15	100 ±0	c	P1 W2a	VB H60	a	P1 W2a	EP塗装	c	C1	DR（直） t=9	V	c	2,400	
廊下		F1	複合フローリング t=15	100 ±0	c	P1	VB H60	a	P1	EP塗装	c	C1	DR（直） t=9	V	c	2,700	
郷土資料室		F1	複合フローリング t=15	100 ±0	c	P1 W2a W4	VB H60	a	P1 W2a W4	EP塗装	e c	C1 C2a	DR（直） t=9 EP塗装	V	c	2,700 2,400	
プラネタリウム		F1	複合フローリング t=15	100 ±0	c	W2a W4	VB H60	a	W2a W4	EP塗装	e c	C1 C2a	DR（直） t=9 EP塗装	V	c	2,700 2,400	
倉庫(4)		F4	KT t=2	±0 ±0	c	W4 W4	VB H60	a	W4	EP塗装	e	C3	EP塗装		e	直天井	
更衣室(1)(2)		F1	複合フローリング t=15	100 ±0	c	P1 W2a W4	VB H60	a	P1 W2a W4	EP塗装	e	C1	GD-D t=9.5	V	c	2,550	
男子WC(2)		F1	FS(B) t=2	-220 -350	c	W1b W4	SUS H60	a	W1b W4	ケイカル板 t=6　EP-G	a	C1	DR（直） t=9	V	c	2,920	
女子WC(2)		F1	FS(B) t=2	-220 -350	c	W1b W4	SUS H60	a	W1b W4	ケイカル板 t=6　EP-G	a	C1	DR（直） t=9	V	c	2,920	
前室(2)		F1	FS(B) t=2	-220 -350	c	W4	SUS H60	a	W4	ケイカル板 t=6　EP-G	a	C1	DR（直） t=9	V	c	2,700	

特記事項

改修内容凡例

既存		改修	
A：仕上撤去		a：仕上新設	
B：図示の仕上撤去		b：図示の仕上新設	
C：下地共撤去		c：下地共新設	
D：図示の下地共撤去		d：図示の下地共新設	
E：下地の調整		e：塗装の塗替	
F：既存のまま		f：既存のまま	

下地凡例（詳細は仕上リスト参照）

床	壁・巾木		天	
F1：既存床仕上の上置床	P1　：LGS+GB-F12.5+12.5（両面）	W4　：既存のまま（下地調整）		C1 ：LGS下地（直貼用）
F2：既存土間コン増打	P2　：LGS+GB-F12.5+12.5（遮音・両面）	We1：針葉樹合板12+GB-R9.5		C2a：LGS+GB-R12.5
F3：既存床仕上の上木根太	W1a：LGS+GB-R12.5+9.5			C2b：LGS+GB-NC9.5
F4：既存床下地調整（既存仕上撤去部）	W1b：LGS+GB-S12.5+9.5		天	C3 ：既存のまま（下地調整）
F5：既存床仕上下地（オーバーレイ）	W2a：LGS+GB-R12.5+12.5		井	
	W2b：LGS+GB-S12.5+12.5			
	W3a：LGS+GB-R12.5			
	W2b：LGS+GB-S12.5			

■共通事項

1. {　}はアスベスト含有建材を示す。
2. 間仕切りの撤去・新設等の位置は平面図による。
3. 改修内容 a、b でモルタル下地の場合は下地調整の上新設する。床下地F-4（A-025図）参照
4. 改修内容 e で鉄鋼面の場合は下地調整RB種程度とする。
5. 既存内容 E かつ改修内容 e でRC又はCB（モルタル下地）の場合クラック補修を見込むこと。

Copyright (C)株式会社エーシー工設計　著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁止する。

ACA + SITE
エーシーエ・サイト
建築 構造 設備

代表：株式会社エーシー工設計
一級建築士事務所登録
（長野）　M第 77312　号

管理建築士　一級建築士登録
第222107号　湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号　海瀬務

検査者　湯本桂司

担当　平林

担当

Job No.　24078

工事名
岡谷市川岸学園整備 第2期
（長寿命化大規模改修）
建築主体工事

発行日　2025.09.30

図面名称
仕上表（5）

縮尺　Non Scale

A-022

入札用 25.09.30

既存内部仕上

階/棟	室名	内装制限	床 下地	床 仕上げ	床 FL/SL	床 改修内容	幅木 下地	幅木 仕上げ	幅木 改修内容	壁 下地	壁 仕上げ	壁 改修内容	天井 下地	天井 仕上げ	天井 廻縁	天井 改修内容	天井高	備考
1/C	113 器具庫		M	合成ゴム塗装	-220 -245	A	C	WB	F	{M}	合成ゴム塗装	E	C	コンクリート打放し	-	E	直天井	
	114 倉庫		{M}	{FT}	±0 -25	F	C	WB	F	{M}	合成ゴム塗装	E	S	塗材	-	E	直天井	
	115 プレイルーム																	
	116 廊下																	
	117 倉庫																	
	118 湯沸室																	
	119 ｶﾊﾞﾝ・ｺｰﾄ掛ｺｰﾅｰ																	
	120 ｶﾊﾞﾝ・ｺｰﾄ掛ｺｰﾅｰ																	
	121 倉庫																	
	122-a 女子便所																	
	122- b 掃除具庫																	
	123-a 男子便所																	
	123-b 掃除具庫																	
	124～125 普通教室																	
	126～128 普通教室																	
	129 廊下																	
	130～131 特殊学級																	
2/C	201 廊下		{M}	FS	±0 -25	F	C S	WB	F	{M}	合成ゴム塗装	E	S	GB-R t=9の上{DR}t=9	V	C	2,700	
	202 ｶﾊﾞﾝ・ｺｰﾄ掛ｺｰﾅｰ		{M}	FS	±0 -25	F	C	WB	F	{M}	合成ゴム塗装	E	S	GB-R t=9の上{DR}t=9	V	C	2,700	
	203-a 女子便所		{M}	{FS}	±0 -25	F	C	{VB}	F	{M}	タイル	F	S	{有孔FS板}	V	C	2,700	
	203-b 掃除具庫		{M}	{FS}	±0 -25	F	C	{VB}	F	{M}	モルタル	F	S	{有孔FS板}	V	C	2,700	
	204-a 男子便所		{M}	{FS}	±0 -25	F	C	{VB}	F	{M}	タイル	F	S	{有孔FS板}	V	C	2,700	
	204-b 掃除具庫		{M}	{FS}	±0 -25	F	C	{VB}	F	{M}	モルタル	F	S	{有孔FS板}	V	C	2,700	
	205 視聴覚室		{M}	TCP {接着剤}【窓廻り】{FS}	±0 -25	A A	C	WB	A	{M}	合成ゴム塗装	E	S	GB-R t=9の上{DR}t=9	V	C	3,000	
	206 準備室		{M}	{FS}	±0 -25	F	C	WB	F	{M}	合成ゴム塗装	E	S	GB-R t=9の上{DR}t=9	V	C	3,000	
	207～208 普通教室		{M}	{FS}	±0 -25	F	C	WB	F	{M}	合成ゴム塗装	E	S	GB-R t=9の上{DR}t=9	V	C	3,000	
	209 普通教室		{M}	{FS}	±0 -25	F	C	WB	F	{M}	合成ゴム塗装	E	S	GB-R t=9の上{DR}t=9	V	C	3,000	【掲示板】{クロス}
	210～211 普通教室		{M}	{FS}	±0 -25	F	C	WB	F	{M}	合成ゴム塗装	E	S	GB-R t=9の上{DR}t=9	V	C	3,000	【掲示板】{クロス}(211のみ)

改修後内部仕上

室名	内装制限	床 下地	床 仕上げ	床 FL/現況FL	床 改修内容	幅木 下地	幅木 仕上げ	幅木 改修内容	壁 下地	壁 仕上げ	壁 改修内容	天井 下地	天井 仕上げ	天井 廻縁	天井 改修内容	天井高	備考
器具庫		F4	ウレタン樹脂系厚膜型塗材	-220 -220	a	W4	WB H60	a	W4	EP塗装	e	C3	EP塗装	-	e	直天井	
倉庫(3)		F4	KT t=2	±0 ±0	c	W4 W4	VB H60	a	W4	EP塗装	e	C3	EP塗装		e	直天井	
解体済み																	
廊下(205)		F1	複合フローリング t=15	100 ±0	c	P1 W2a W4	VB H60	a	P1 W2a W4	EP塗装	e c	C1	DR（直） t=9	V	c	2,700	・掲示板・PR（A）・消火器BOX
談話スペース(1)(2)		F1	FS(A) t=2	100 ±0	c	W2a W4	VB H60	a	W2a W4	EP塗装	e c	C1	DR（直） t=9	V	c	2,550	
女子WC(4)		F1	FS(B) t=2	100 ±0	c	W1b W4	SUS H60	a	W1b W4	ケイカル板 t=6 EP-G	a c	C1	DR（直） t=9	V	c	2,550	・ライニング・トイレブース・鏡
男子WC(4)		F1	FS(B) t=2	100 ±0	c	W1b W4	SUS H60	a	W1b W4	ケイカル板 t=6 EP-G	a c	C1	DR（直） t=9	V	c	2,550	・ライニング・トイレブース・鏡
地域交流室		F1	複合フローリング t=15	100 ±0	c	P1 W2a W4	VB H60	a	P1 W2a W4	EP塗装	e c	C1 C2a	DR（直） t=9 EP塗装	V	c	2,700 2,400	
サーバー室		F1	TCP t=6.5	100 ±0	c	P1 W2a	VB H60	a	P1 W2a	グラスウールボード t=50	c	C2a C2a	グラスウールボード t=50 EP塗装	V	c	2,700 2,400	
廊下(204)		F1	複合フローリング t=15	100 ±0	c	P1 W2a W4	VB H60	a	P1 W2a W4	EP塗装	e c	C1	DR（直） t=9	V	c	2,700	・掲示板・PR（B）・消火器BOX
普通教室(1-1)(1-2)		F1	複合フローリング t=15	100 ±0	c	P1 W2a	VB H60	a	P1 W2a	EP塗装	c e	C1 C2a	DR（直） t=9 EP塗装	V	c	2,700 2,400	・掲示板
ワークスペース(1)		F1	複合フローリング t=15	100 ±0	c	P1 W2a	VB H60	a	P1 W2a	EP塗装	c e	C1 C2a	DR（直） t=9 EP塗装	V	c	2,700 2,400	・掲示板
普通教室(2-1)(2-2)		F1	複合フローリング t=15	100 ±0	c	P1 W2a	VB H60	a	P1 W2a	EP塗装	c e	C1 C2a	DR（直） t=9 EP塗装	V	c	2,700 2,400	・掲示板

特記事項

改修内容凡例

既存		改修	
A	仕上撤去	a	仕上新設
B	図示の仕上撤去	b	図示の仕上新設
C	下地共撤去	c	下地共新設
D	図示の下地共撤去	d	図示の下地共新設
E	下地の調整	e	塗装の塗替
F	既存のまま	f	既存のまま

下地凡例（詳細は仕上リスト参照）

床		壁・巾木			天井	
F1	既存床仕上の上置床	P1	LGS+GB-F12.5+12.5（両面）	W4 既存のまま（下地調整）	C1	LGS下地（直貼用）
F2	既存土間コン増打	P2	LGS+GB-F12.5+12.5（遮音・両面）	We1 針葉樹合板12+GB-R9.5	C2a	LGS+GB-R12.5
F3	既存床仕上の上木根太	W1a	LGS+GB-R12.5+9.5		C2b	LGS+GB-NC9.5
F4	既存床下地調整（既存仕上撤去部）	W1b	LGS+GB-S12.5+9.5		C3	既存のまま（下地調整）
F5	既存床仕上下地（オーバーレイ）	W2a	LGS+GB-R12.5+12.5			
		W2b	LGS+GB-S12.5+12.5			
		W3a	LGS+GB-R12.5			
		W2b	LGS+GB-S12.5			

■共通事項

1. {　}はアスベスト含有建材を示す。
2. 間仕切りの撤去・新設等の位置は平面図による。
3. 改修内容 a、b でモルタル下地の場合は下地調整の上新設する。床下地F-4（A-025図）参照
4. 改修内容 e で鉄鋼面の場合は下地調整RB種程度とする。
5. 既存内容 E かつ改修内容 e でRC又はCB（モルタル下地）の場合クラック補修を見込むこと。

ACA + SITE
エーシーエ・サイト
建築設計事務所

代表：株式会社エーシー工設計
一級建築士事務所登録
（長野）　M第 77312　号

管理建築士　一級建築士登録
第222107号　湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号　海瀬務

検査者　湯本桂司

担当　平林

担当

Job No. 24078

工事名

岡谷市川岸学園整備 第2期
（長寿命化大規模改修）
建築主体工事

発行日　2025.09.30

図面名称

仕上表（6）

縮尺　Non Scale

A-023

入札用 25.09.30

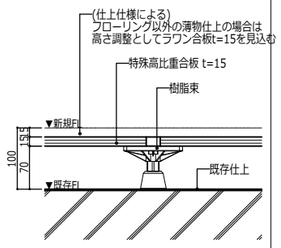
Copyright (C)株式会社エーシー工設計　著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁止する。

| 既存内部仕上 | | |

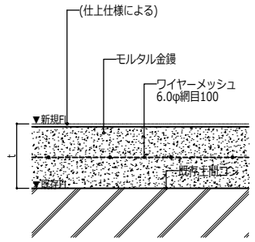
床

下地仕様

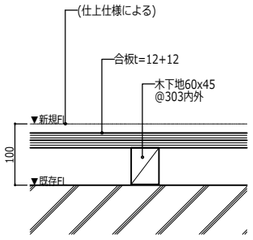
F1	F2	F3	F4	F5	F6
既存床仕上の上置床	既存土間コンの上増し打ち	既存床仕上の上木根太	既存床下地調整 （既存床仕上撤去部）	既存床仕上下地 （オーバーレイ用）	木床研磨

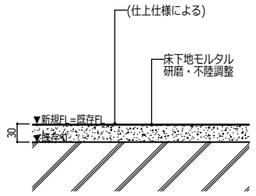


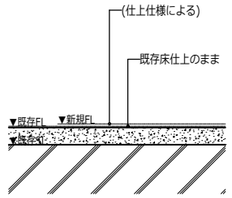
三洋工業MPフロアEタイプ同等

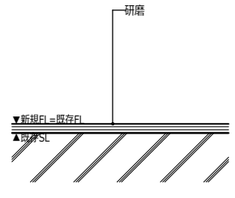


t は仕上表による





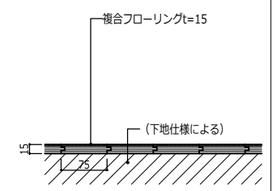


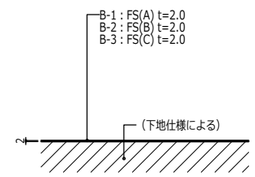


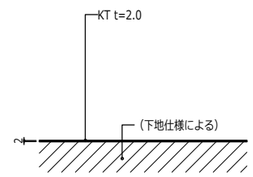
以下を見込む
フローリング張替 1820x455 t=18 10枚程度
パテ処理 幅2~15mm L=600mm 50か所程度
EXPゴム交換

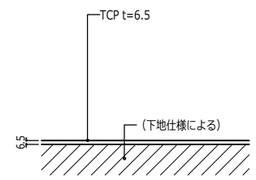
仕上仕様

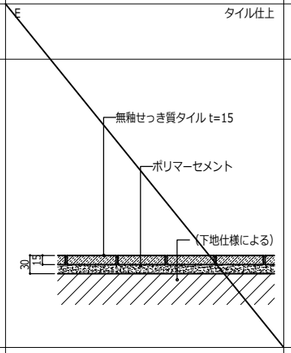
A	B	C	D	E	F
複合フローリング仕上	長尺塩ビシート仕上	塩ビ床タイル仕上	タイルカーペット仕上	タイル仕上	塗床（塗装床）

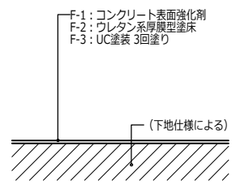








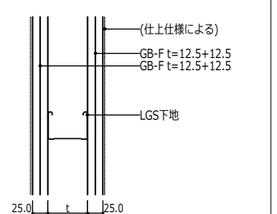




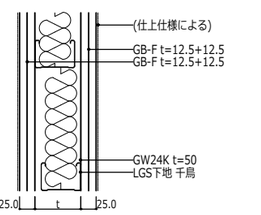
壁

下地仕様

P1	P2
GB-F 12.5+12.5（両面） 1時間耐火間仕切壁 FP-060NP-0174	GB-F 12.5+12.5（両面） 1時間耐火・遮音間仕切壁 FP-060NP-0175 SOI-0110(TLd-50)

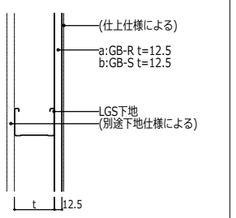


水廻りの場合、GB-St=9.5を増張りする
LGS t は特記による

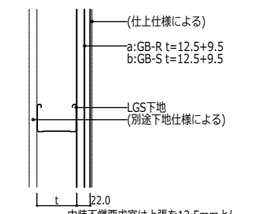


水廻りの場合、GB-St=9.5を増張りする
LGS t は特記による

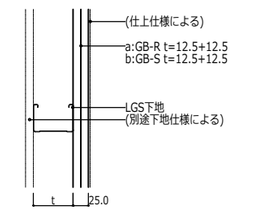
W1a W1b	W2a W2b	W3a W3b	W4	We1
GB-R 12.5 GB-S 12.5	GB-R 12.5+9.5 GB-S 12.5+9.5	GB-R 12.5+12.5 GB-S 12.5+12.5	既存下地のまま	針葉樹合板 12 + GB-R 9.5 増張り・補強下地用



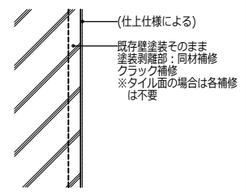
LGS t は特記による

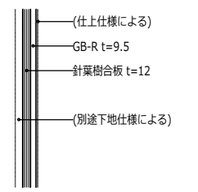


内装不燃要求室は上張を12.5mmとし、
GB-Sは不燃認定品とする
LGS t は特記による



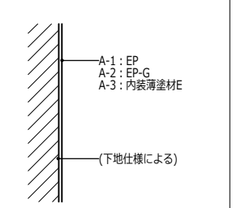
LGS t は特記による

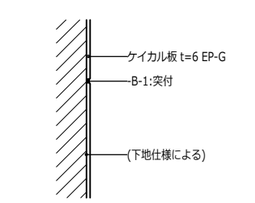


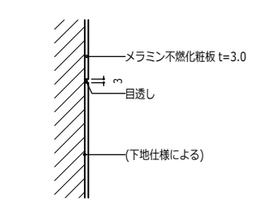


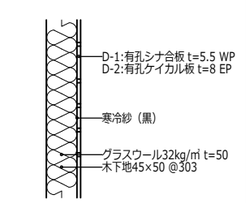
仕上仕様

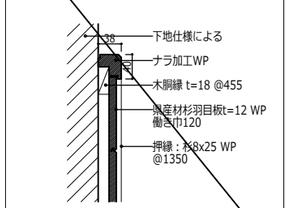
A	B	C	D	E	F	G
塗装仕上	化粧ケイカル板仕上	メラミン不燃化粧板仕上	吸音壁	腰壁	シナ合板	掲示クロス

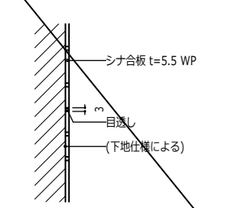


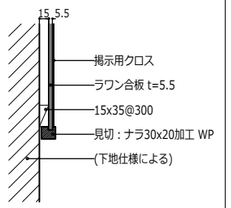












W,Hは別図による

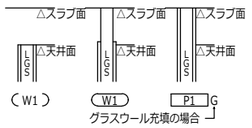
凡例・特記事項

■各図面の記載方法

床	F1 下地仕様	-	A 仕上仕様
壁	W1 下地仕様	-	A 仕上仕様
天井	C1 下地仕様	-	A 仕上仕様

■壁符号について

下地材が天井までの場合　ボード類が天井までの場合　ボード類がスラブまでの場合



グラスウール充填の場合

■壁LGSについて

LGSのサイズは平面詳細図において（ ）で示す。
例）W1(75)の場合はLGS75型とする。
上記によらず、特記無き限りはLGS65型とする。

■各図面の表示内容

図面名	表示部位	表示内容
矩計図	床・壁・天井	下地仕様-仕上仕様
平面詳細図	床	下地仕様-仕上仕様
	壁	下地仕様
天井伏図	天井	下地仕様-仕上仕様
展開図	壁・巾木	仕上仕様

■天井インサートについて

天井インサートは原則既存利用とする。

■クラック補修について

W4クラック補修数量として以下を見込む
幅0.2~1.0mm以下　全体数量L=300m程度
　自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
幅1.0mm超　全体数量L=150m程度
　Uカットシール充填工法

代表：株式会社エーシーエ設計
一級建築士事務所登録
（長野）　M第 77312　号

管理建築士　一級建築士登録
第222107号　湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号　海瀬務

検査者　湯本桂司
担当　平林
担当

Job No.　24078
工事名
岡谷市川岸学園整備 第2期
（長寿命化大規模改修）
建築主体工事

発行日　2025.09.30
図面名称

仕上リスト（1）

縮尺　A1:1/5,A3;1/10

A-025

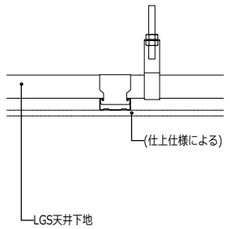
入札用
25.09.30

Copyright (C)株式会社エーシーエ設計　著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁止する。

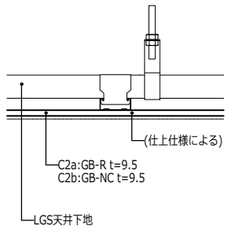
天井

下地仕様

C1　LGS下地（直貼用）



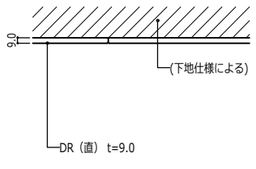
C2a　GB-R 9.5
C2b　GB-NC 9.5（不燃下地）



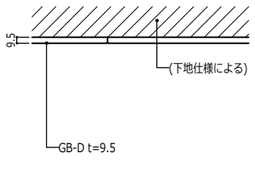
C3　既存下地のまま

仕上仕様

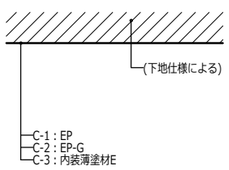
A　岩綿吸音板（直張）



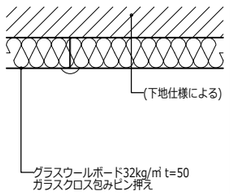
B　化粧石膏ボード



C　塗装

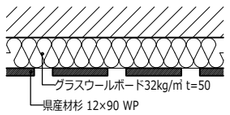


D　グラスウールボード

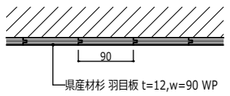


E　木天井

E-1

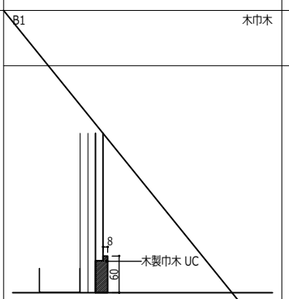


E-2

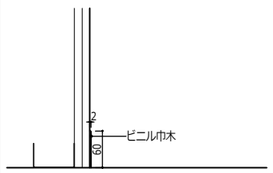


巾木

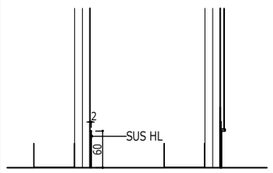
B1　木巾木



B2　ビニル巾木



B3　ステンレス巾木



B4　タイル巾木

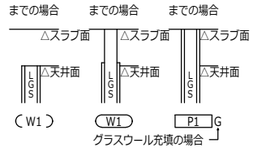
凡例・特記事項

■各図面の記載方法

床	F1 下地仕様	-	A 仕上仕様
壁	W1 下地仕様	-	A 仕上仕様
天井	C1 下地仕様	-	A 仕上仕様

■壁符号について

下地材が天井までの場合　ボード類が天井までの場合　ボード類がスラブまでの場合



■壁LGSについて

LGSのサイズは平面詳細図において（ ）で示す。
例）W1(75)の場合はLGS75型とする。
上記によらず、特記無き限りはLGS65型とする。

■各図面の表示内容

図面名	表示部位	表示内容
矩計図	床・壁・天井	下地仕様-仕上仕様
平面詳細図	床	下地仕様-仕上仕様
	壁	下地仕様
天井伏図	天井	下地仕様-仕上仕様
展開図	壁・巾木	仕上仕様

■天井インサートについて

天井インサートは原則既存利用とする。

■クラック補修について

W4クラック補修数量として以下を見込む
幅0.2～1.0mm以下　全体数量L=300m程度
　自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
幅1.0mm超　全体数量L=150m程度
　Uカットシール充填工法

代表：株式会社エーシーエ設計
一級建築士事務所登録
（長野）　M第 77312　号

管理建築士　一級建築士登録
第222107号　湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号　海瀬務

検査者　湯本桂司

担当　平林

担当

Job No.　24078

工事名

岡谷市川岸学園整備 第2期
（長寿命化大規模改修）
建築主体工事

発行日　2025.09.30

図面名称

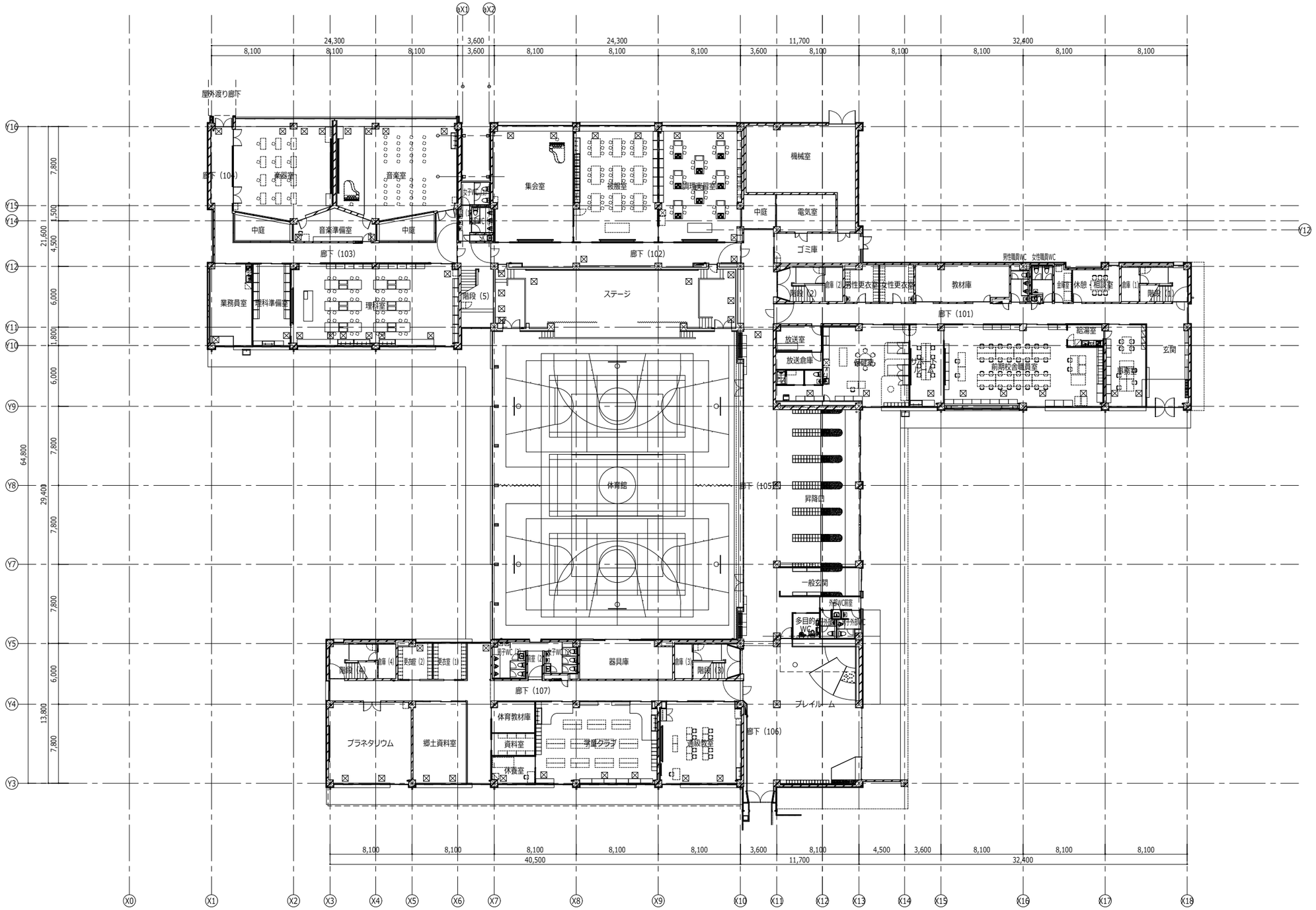
仕上リスト（2）

縮尺　A1:1/5,A3;1/10

A-026

入札用
25.09.30

Copyright (C)株式会社エーシーエ設計　著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁止する。



代表：株式会社エーシー工設計
一級建築士事務所登録
（長野） M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号 海瀬務

検査者 湯本桂司
担当 平林
担当

Job No. 24078

工事名
岡谷市川岸学園整備 第2期
（長寿命化大規模改修）
建築主体工事

発行日 2025.09.30

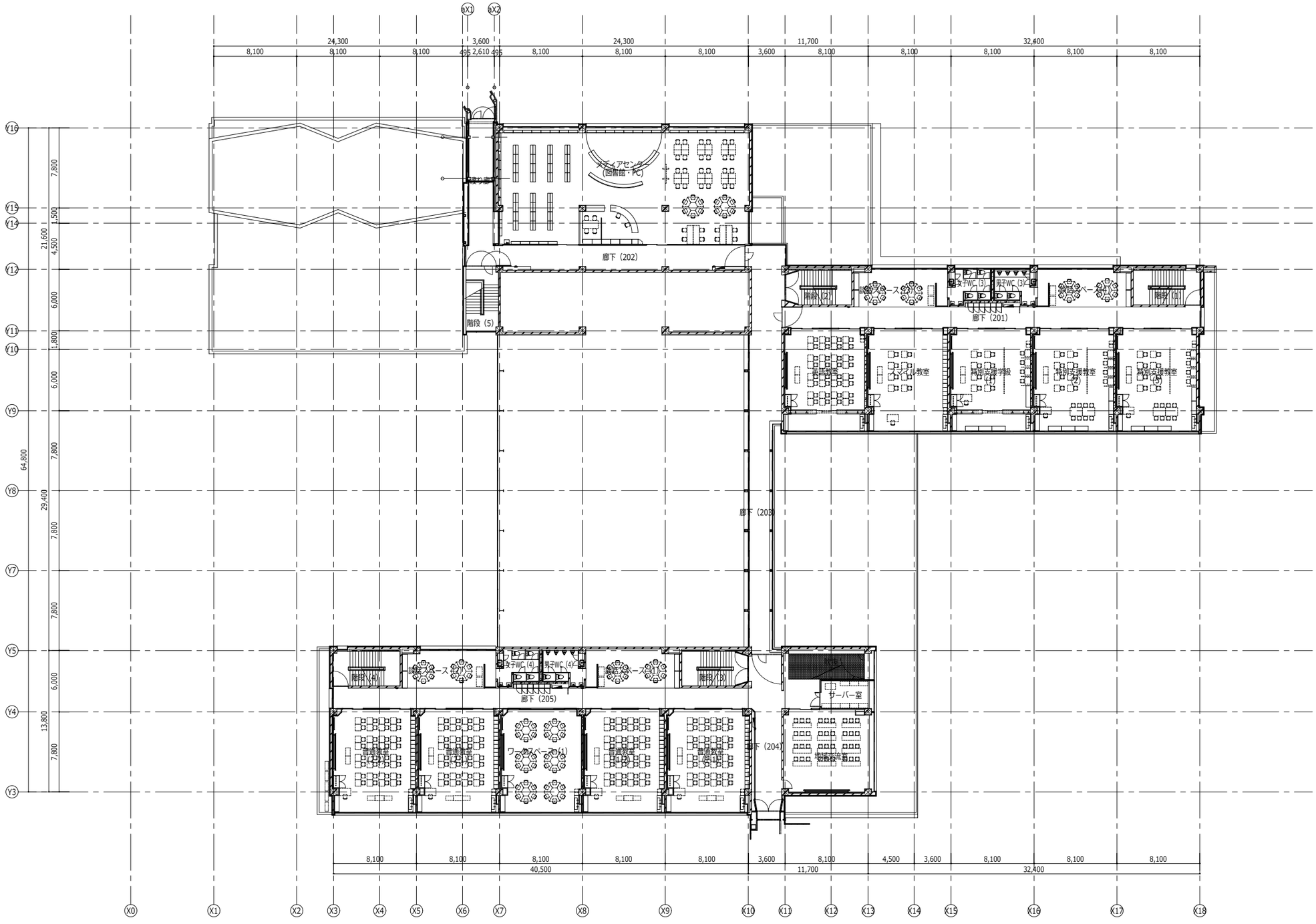
図面名称
1階平面図
（改修後）

縮尺 A1:1/200,A3:1/400

A-027

入札用
25.09.30

Copyright (C)株式会社エーシー工設計　著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁止する。



代表：株式会社エーシー工設計
一級建築士事務所登録
（長野） M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号 海瀬務

検査者 湯本桂司

担当 平林

担当

Job No. 24078

工事名

岡谷市川岸学園整備 第2期
（長寿命化大規模改修）
建築主体工事

発行日 2025.09.30

図面名称

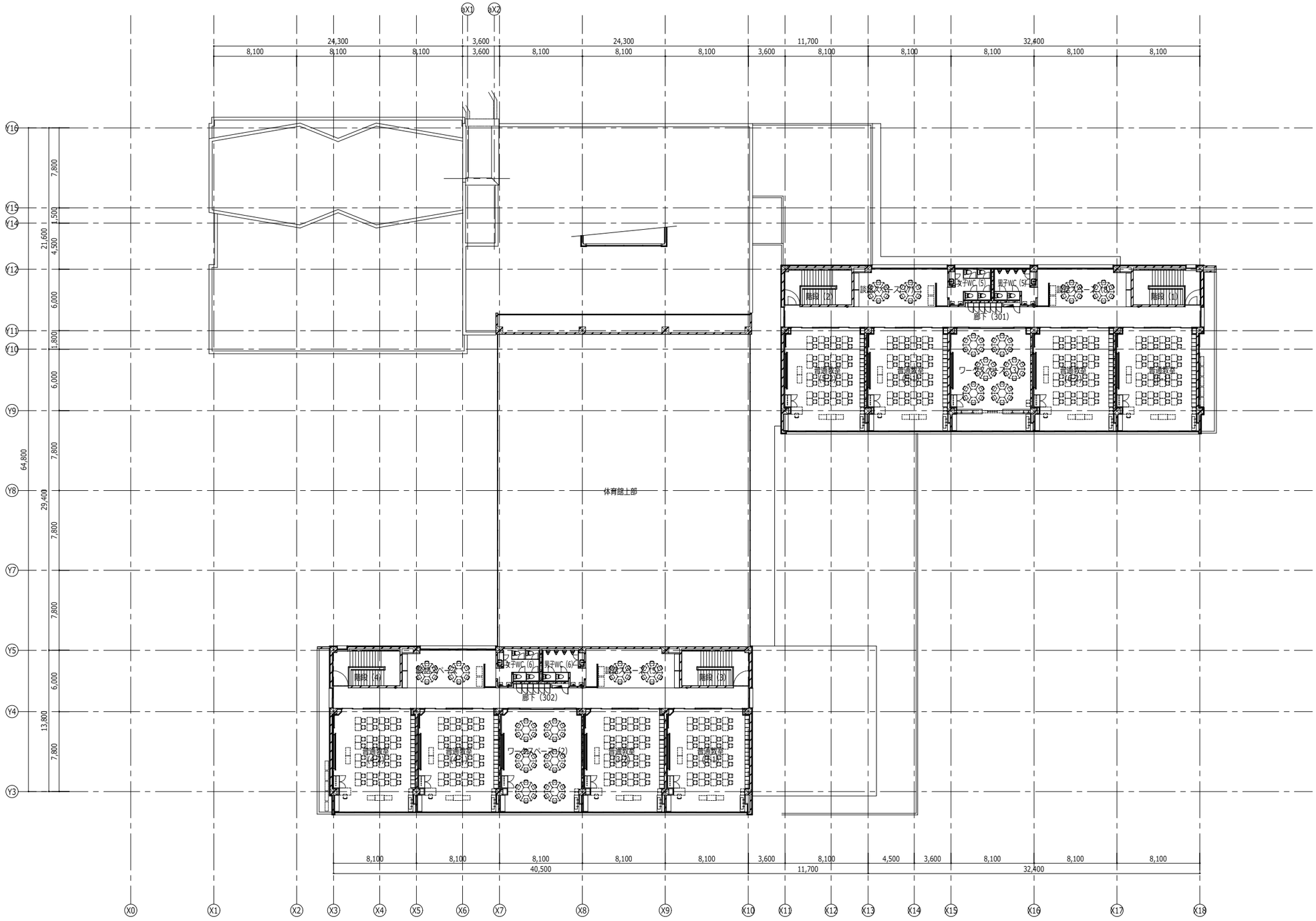
2階平面図
（改修後）

縮尺 A1:1/200,A3:1/400

A-028

入札用
25.09.30

Copyright (C)株式会社エーシー工設計　著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁止する。



代表：株式会社エーシー工設計
一級建築士事務所登録
（長野） M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号 海瀬務

検査者 湯本桂司

担当 平林

担当

Job No. 24078

工事名

岡谷市川岸学園整備 第2期
（長寿命化大規模改修）
建築主体工事

発行日 2025.09.30

図面名称

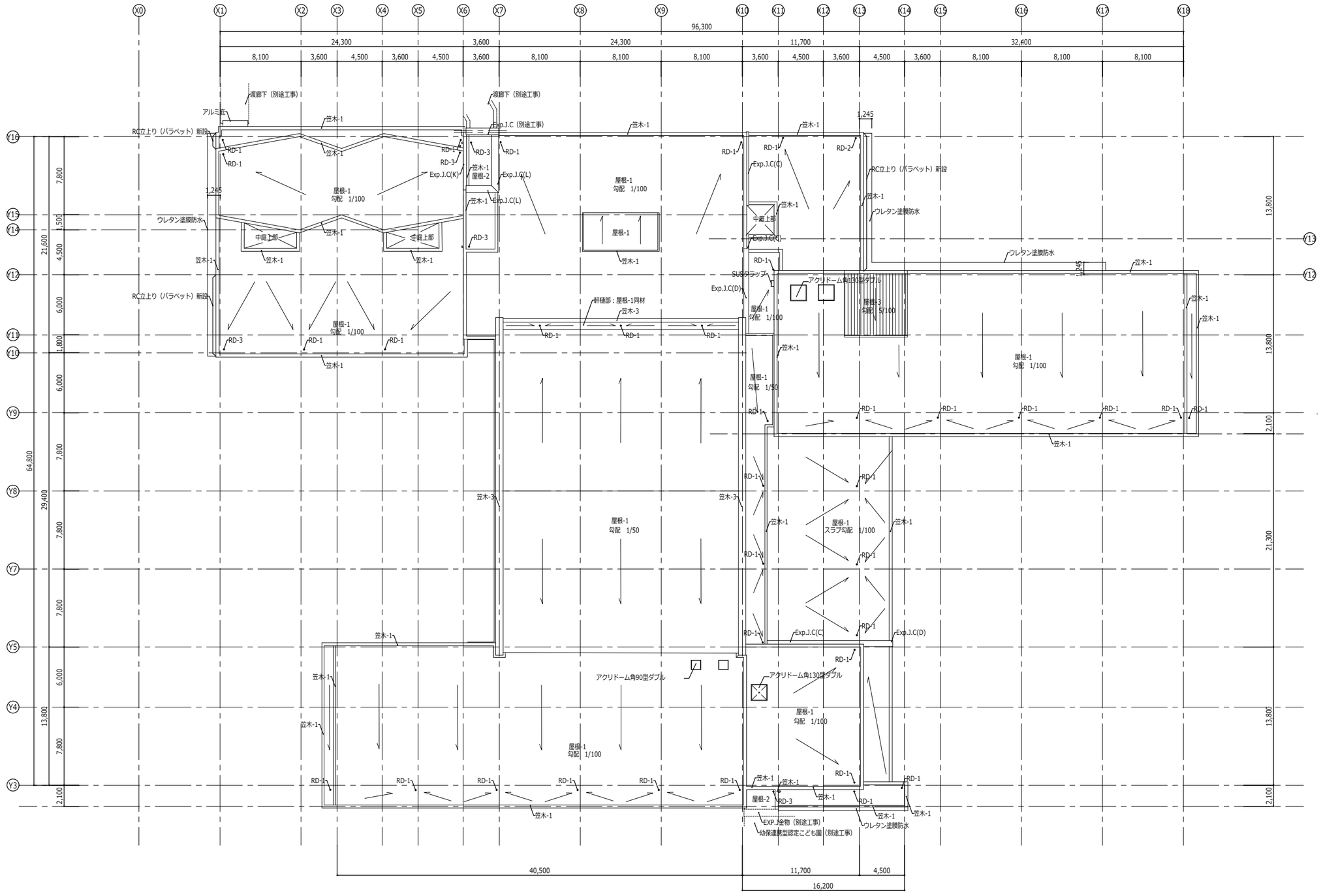
3階平面図
（改修後）

縮尺 A1:1/200,A3:1/400

A-029

入札用
25.09.30

Copyright (C)株式会社エーシー工設計 著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁止する。



凡例								
	屋根-1	塩化ビニル樹脂系シート防水 t=1.5 硬質ウレタンフォームt=35 既存防水残置	屋根-3	既存折板のまま	笠木-1	アルミ押し出し型材	RD-1	改修用ドレン
					笠木-2	アルミ押し出し型材	RD-2	鋳鉄製縦引きドレン（新設）
	屋根-2	塩化ビニル樹脂系シート防水 t=1.5 硬質ウレタンフォームt=35 カラーガルバリウム鋼板t=1.2 折板屋根下地			笠木-3	既存アルミ笠木のまま	RD-3	鋳鉄製横引ドレン（新設）

代表：株式会社エーシー工設計
一級建築士事務所登録
（長野） M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号 海瀬務

検査者 湯本桂司
担当 平林
担当

Job No. 24078

工事名
岡谷市川岸学園整備 第2期
（長寿命化大規模改修）
建築主体工事

発行日 2025.09.30

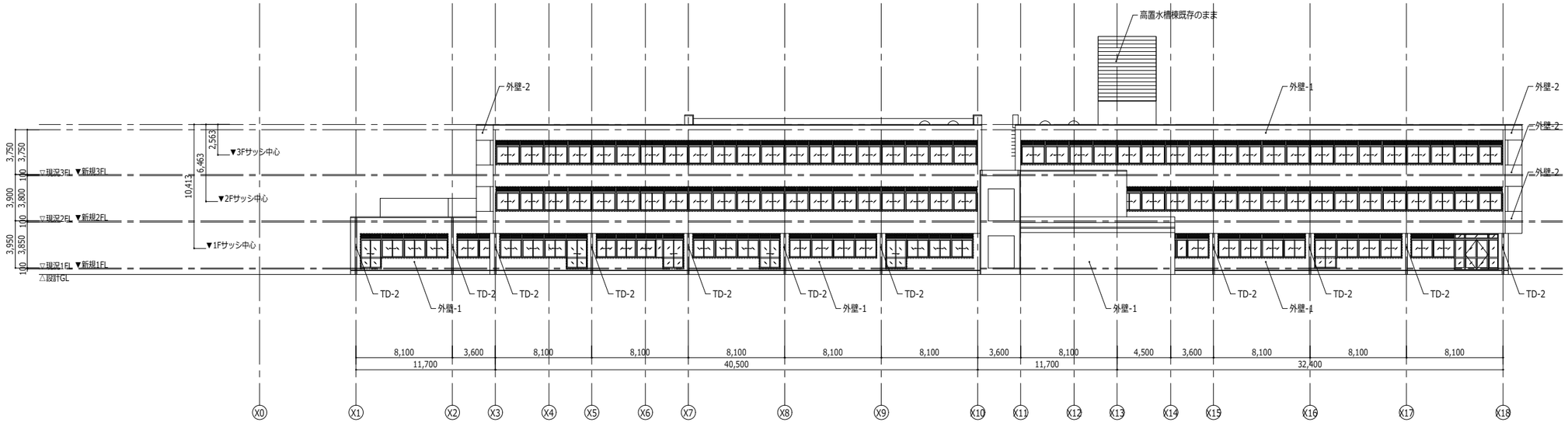
図面名称
屋根伏図

縮尺 A1:1/200,A3:1/400

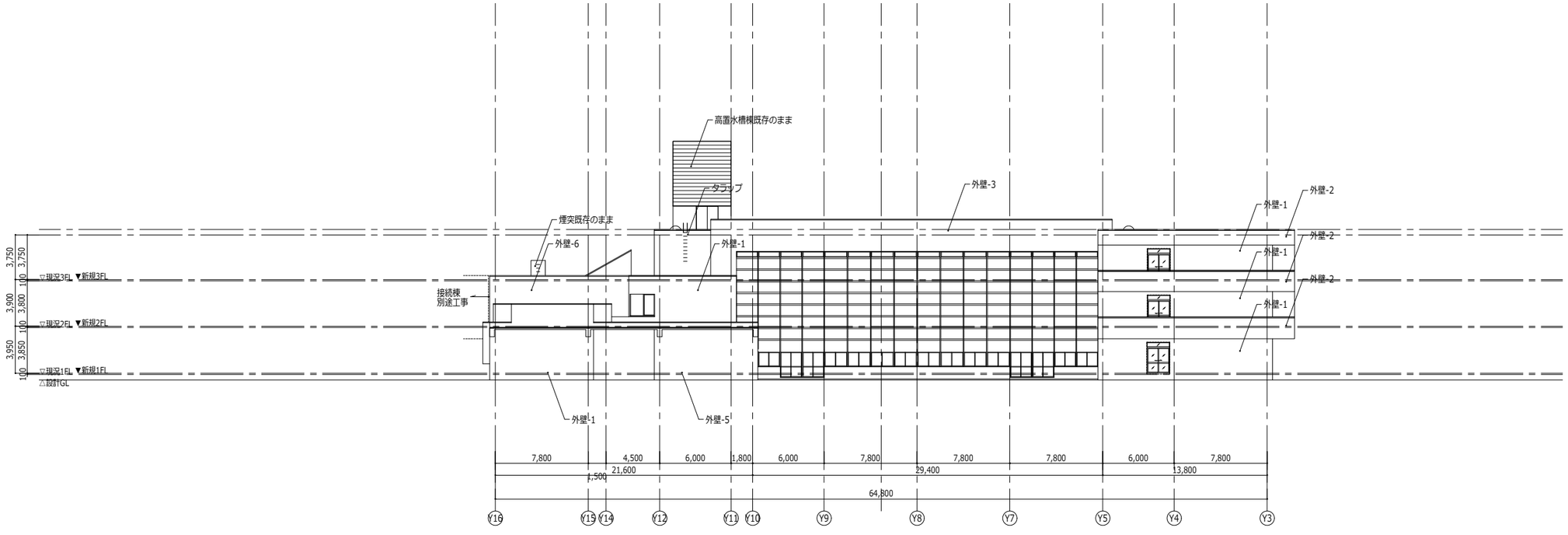
A-030

入札用 25.09.30

Copyright (C)株式会社エーシー工設計　著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁止する。



南側立面図



西側立面図

代表：株式会社エーシーエ設計
一級建築士事務所登録
（長野） M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号 海瀬務

検査者 湯本桂司
担当 平林
担当 石井

Job No. 24078

工事名
岡谷市川岸学園整備 第2期
（長寿命化大規模改修）
建築主体工事

発行日 2025.09.30

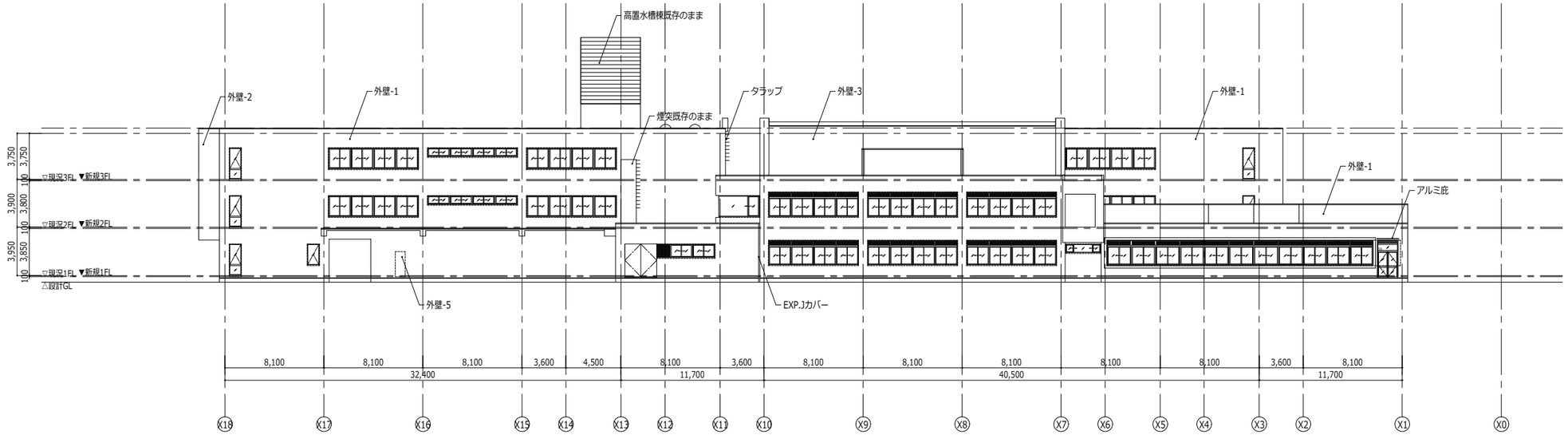
図面名称
立面図（1）
（改修後）

縮尺 A1:1/200,A3:1/400

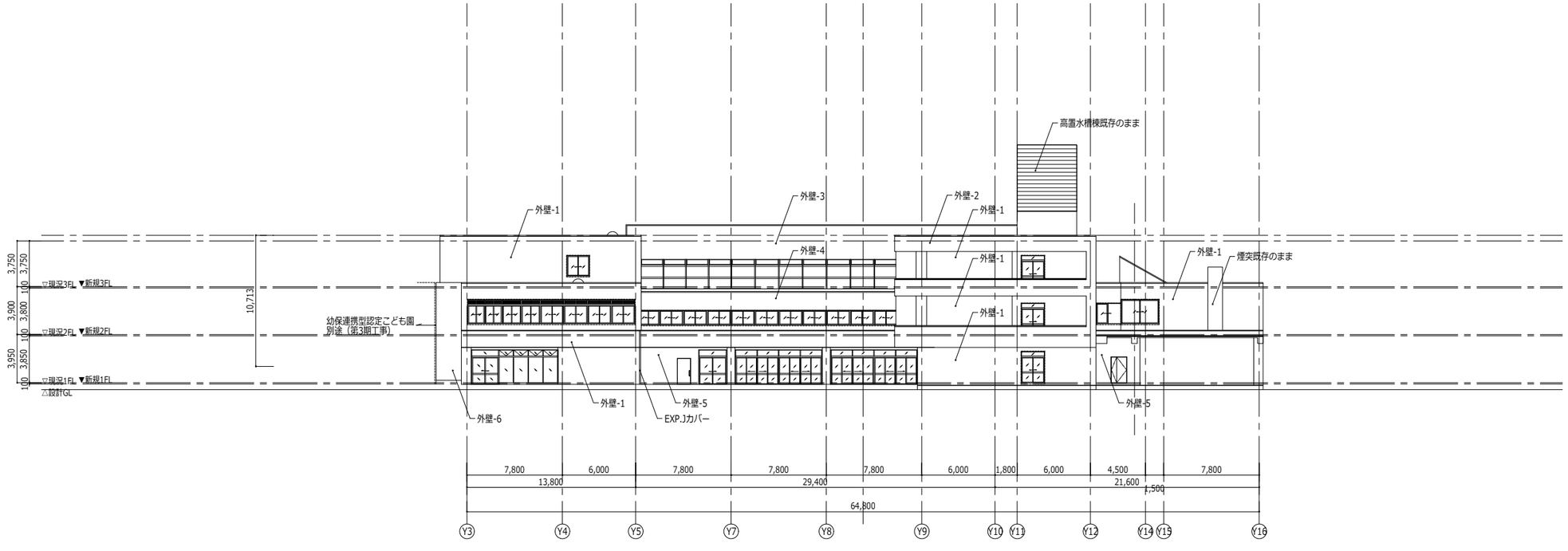
A-031

入札用
25.09.30

Copyright (C)株式会社エーシーエ設計　著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁止する。



北側立面図



東側立面図

代表：株式会社エーシーエ設計
一級建築士事務所登録
（長野） M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号 海瀬務

検査者 湯本桂司

担当 平林

担当 石井

Job No. 24078

工事名
岡谷市川岸学園整備 第2期
（長寿命化大規模改修）
建築主体工事

発行日 2025.09.30

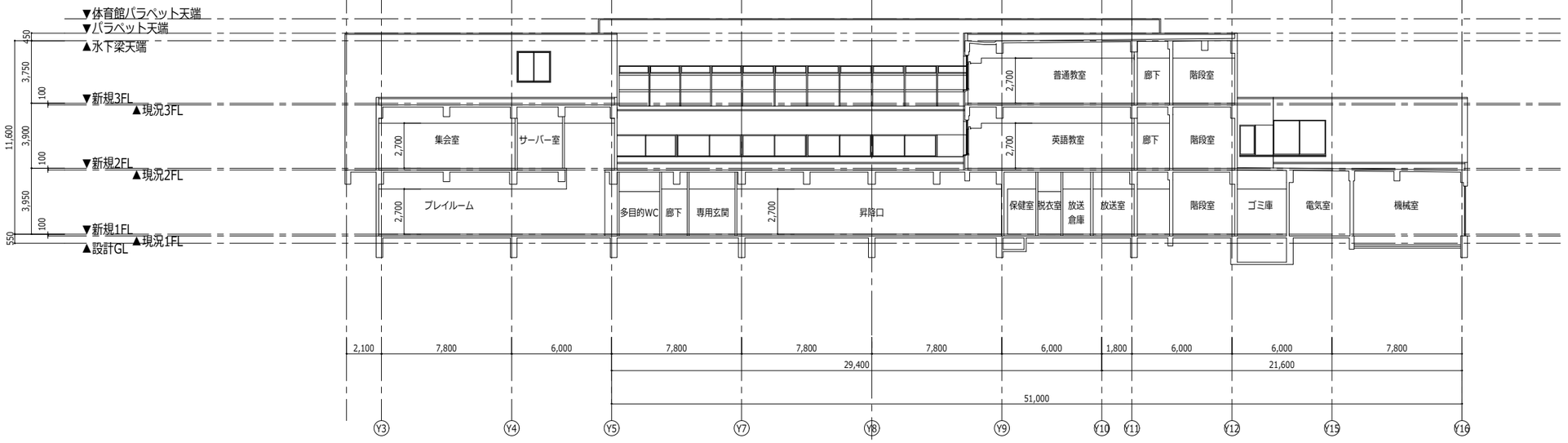
図面名称
立面図（2）
（改修後）

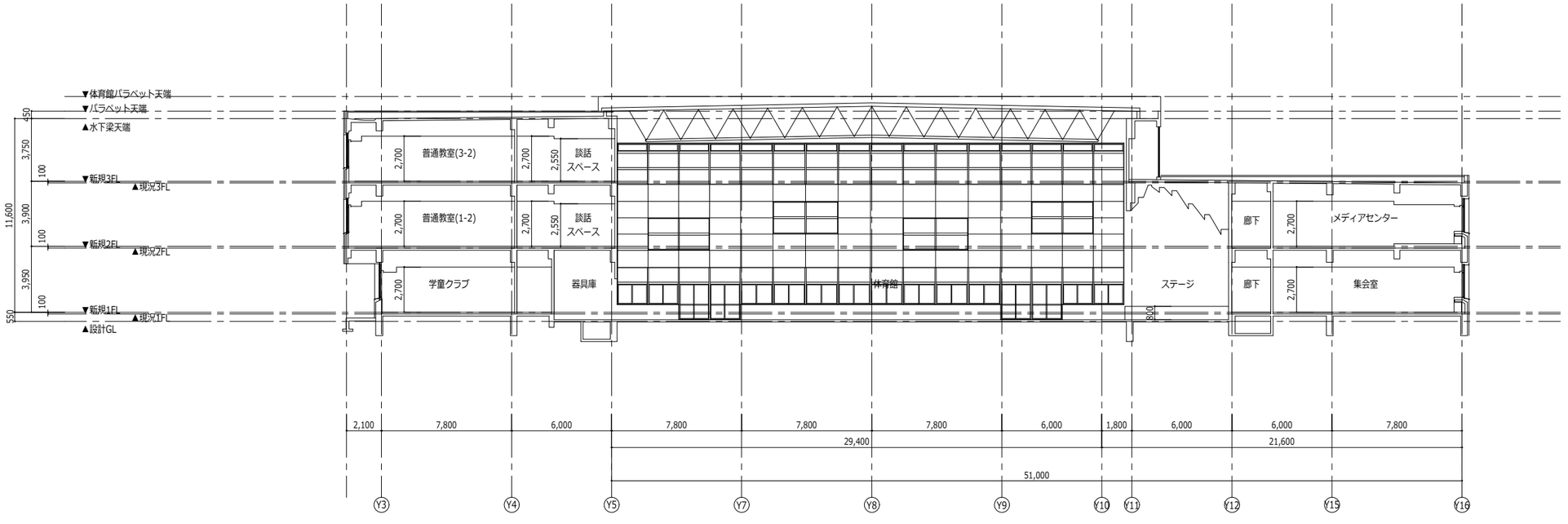
縮尺 A1:1/200,A3:1/400

A-032

入札用
25.09.30

Copyright (C)株式会社エーシーエ設計 著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁止する。





代表：株式会社エーシーエ設計
一級建築士事務所登録
（長野） M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号 海瀬務

検査者 湯本桂司
担当 平林
担当 石井

Job No. 24078
工事名
岡谷市川岸学園整備 第2期
（長寿命化大規模改修）
建築主体工事

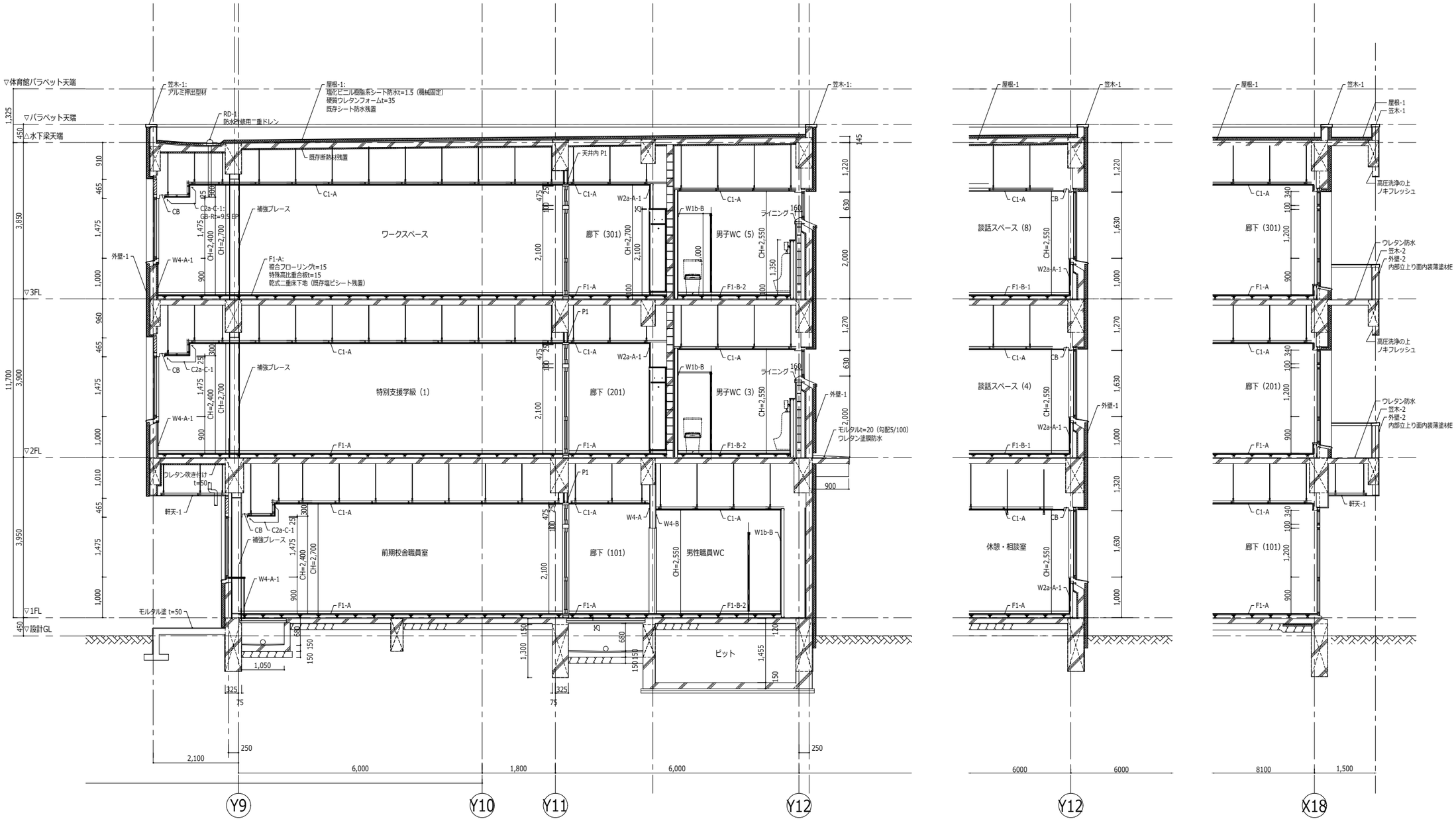
発行日 2025.09.30
図面名称
断面図
（改修後）

縮尺 A1:1/150,A3:1/300

A-033

入札用
25.09.30

Copyright (C)株式会社エーシーエ設計　著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁止する。



代表：株式会社エーシーエ設計
一級建築士事務所登録
（長野） M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号 海瀬務

検査者 湯本桂司

担当 平林

担当 石井

Job No. 24078

工事名
岡谷市川岸学園整備 第2期
（長寿命化大規模改修）
建築主体工事

発行日 2025.09.30

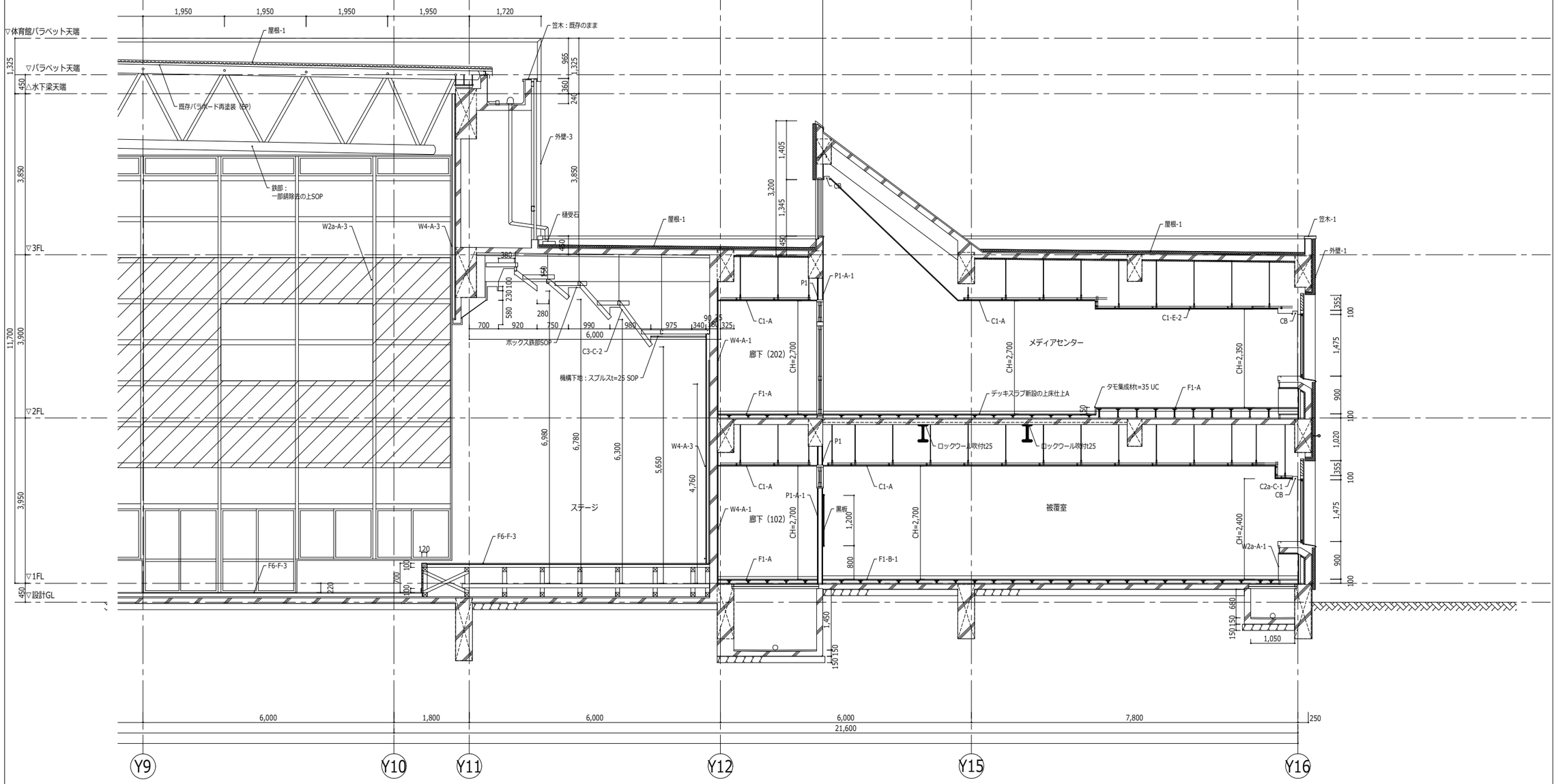
図面名称
矩計図（1）
（改修後）

縮尺 A1:1/50,A3:1/100

A-034

入札用
25.09.30

Copyright (C)株式会社エーシーエ設計 著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁止する。



代表：株式会社エーシーエ設計
一級建築士事務所登録
（長野） M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号 海瀬務

検査者 湯本桂司

担当 平林

担当 石井

Job No. 24078

工事名
岡谷市川岸学園整備 第2期
（長寿命化大規模改修）
建築主体工事

発行日 2025.09.30

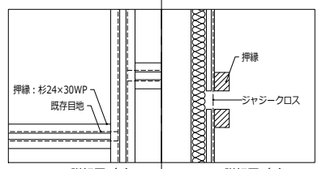
図面名称
矩計図（2）
（改修後）

縮尺 A1:1/50,A3:1/100

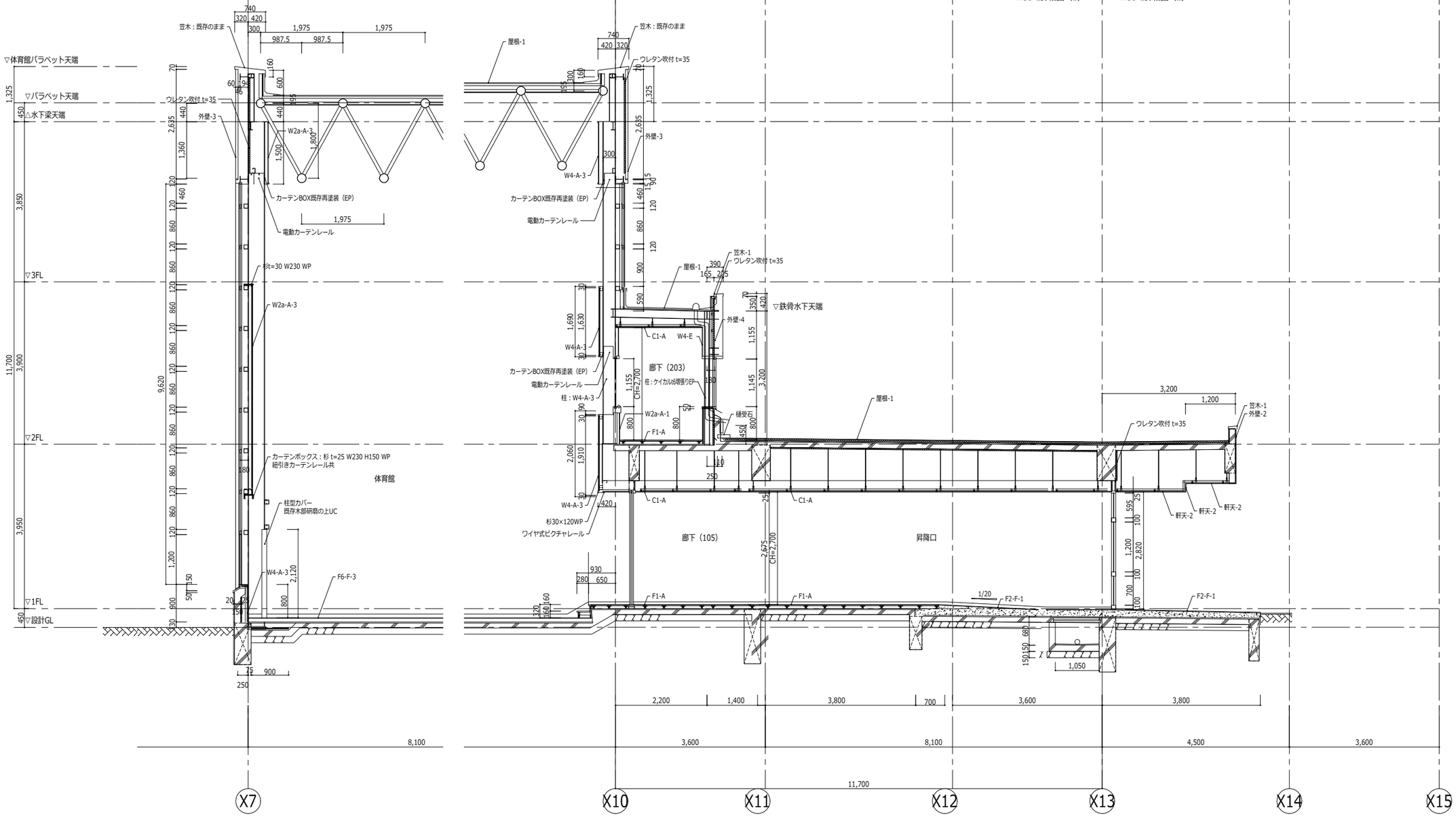
A-035

入札用
25.09.30

Copyright (C)株式会社エーシーエ設計　著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁止する。



W3a-E詳細図（1）　W3a-E詳細図（2）



代表：株式会社エーシーエ設計
一級建築士事務所登録
（長野）　M第 77312　号

管理建築士　一級建築士登録
第222107号　湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号　海瀬務

検査者　湯本桂司

担当　平林

担当　石井

Job No.　24078

工事名
岡谷市川岸学園整備 第2期
（長寿命化大規模改修）
建築主体工事

発行日　2025.09.30

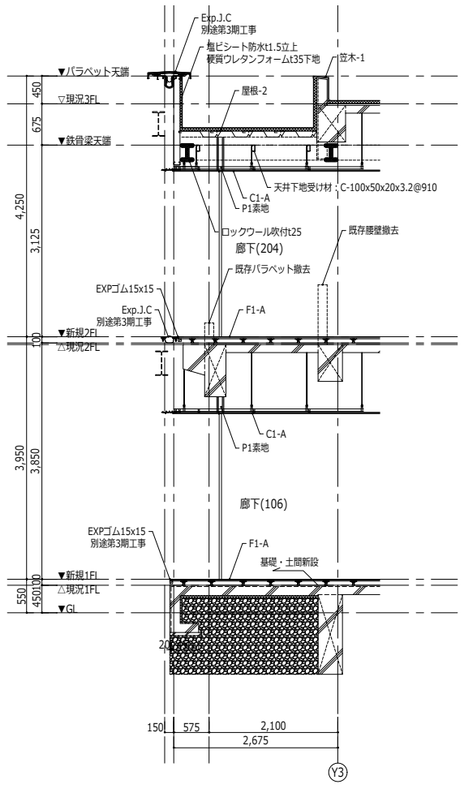
図面名称
矩計図（3）
（改修後）

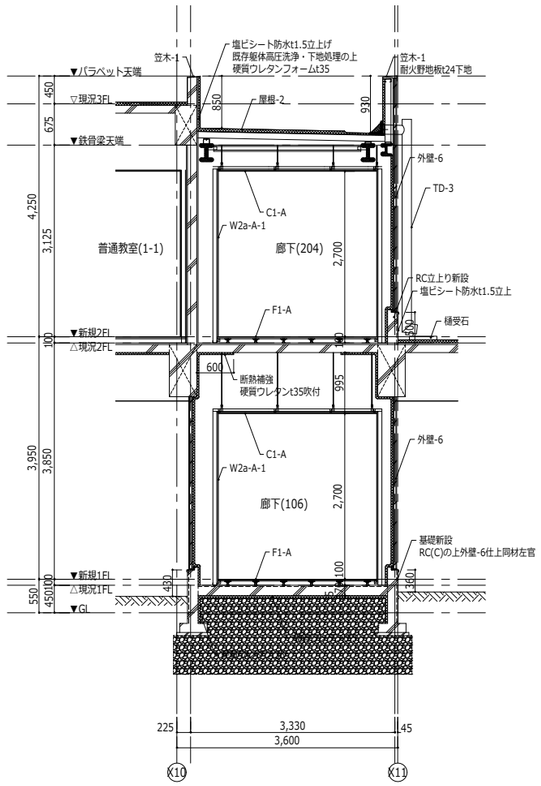
縮尺　A1:1/50,A3:1/100

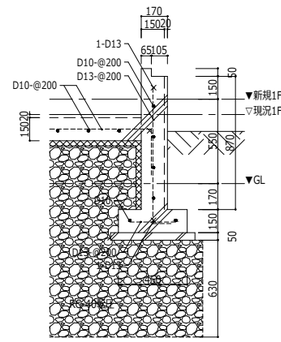
A-036

入札用
25.09.30

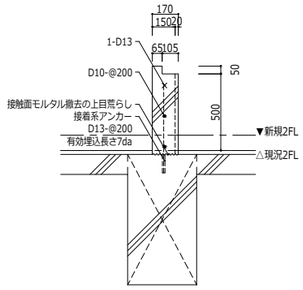
Copyright (C)株式会社エーシーエ設計　著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁止する。



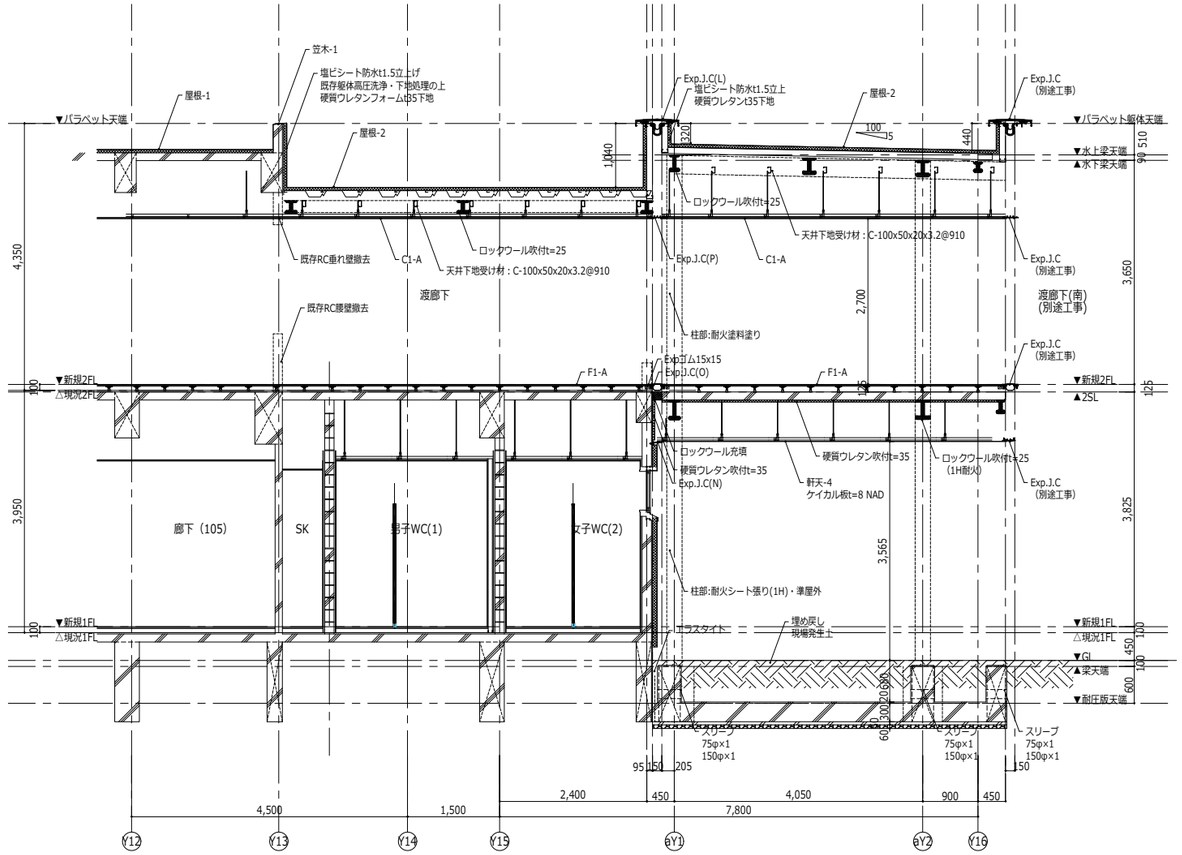


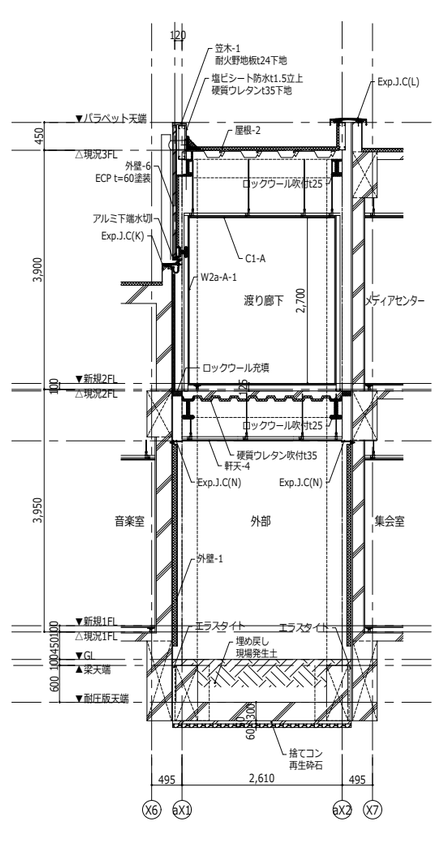


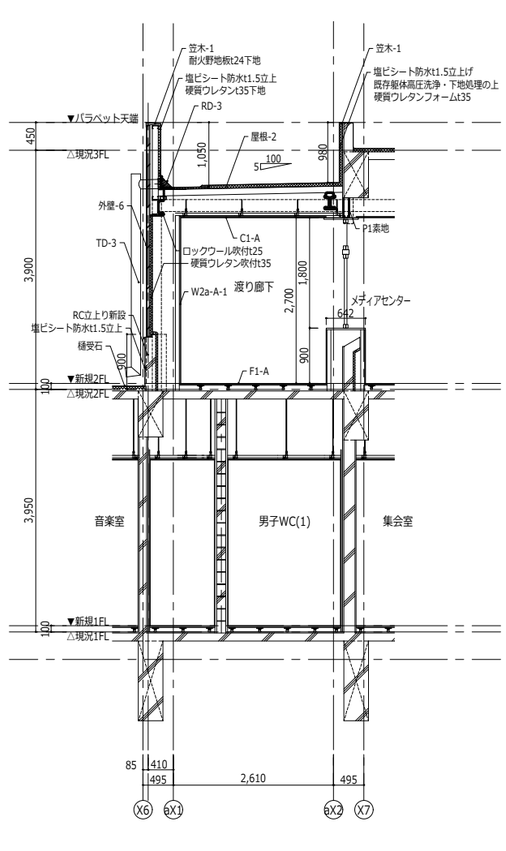
新設土間部詳細図　S=1/20



2F新設立上り部詳細図　S=1/20







代表：株式会社エーシーエ設計
一級建築士事務所登録
（長野）　M第 77312 号

管理建築士　一級建築士登録
第222107号　湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号　海瀬務

検査者　湯本桂司

担当　平林

担当

Job No.　24078

工事名

岡谷市川岸学園整備 第2期
（長寿命化大規模改修）
建築主体工事

発行日　2025.09.30

図面名称

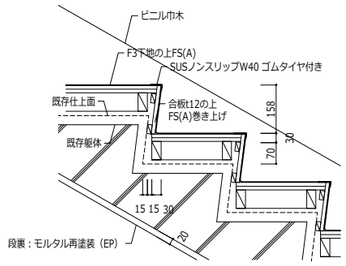
矩計図（4）
（改修後）

縮尺　A1:1/50,A3:1/100

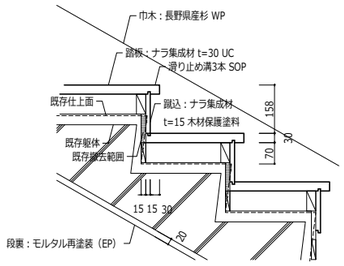
A-037

入札用
25.09.30

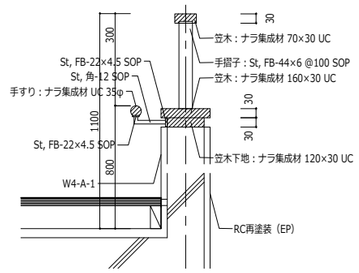
Copyright (C)株式会社エーシーエ設計　著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁止する。



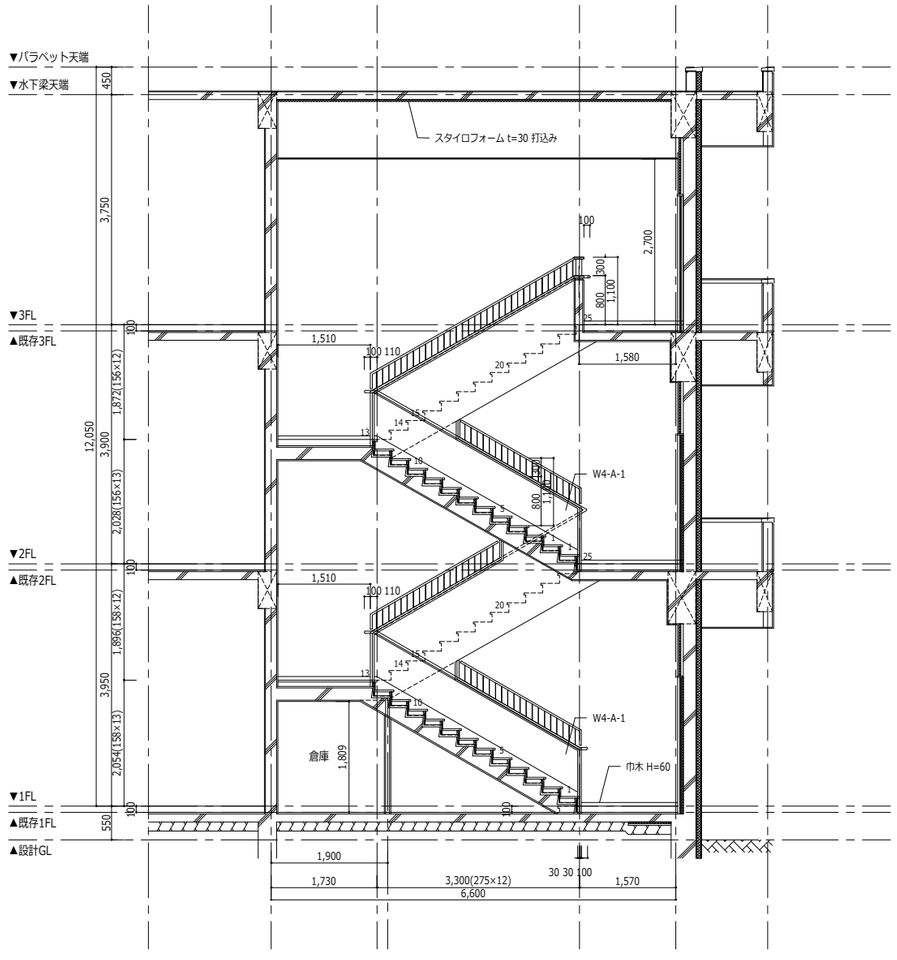
階段-1～4　段鼻詳細図 S:1/10



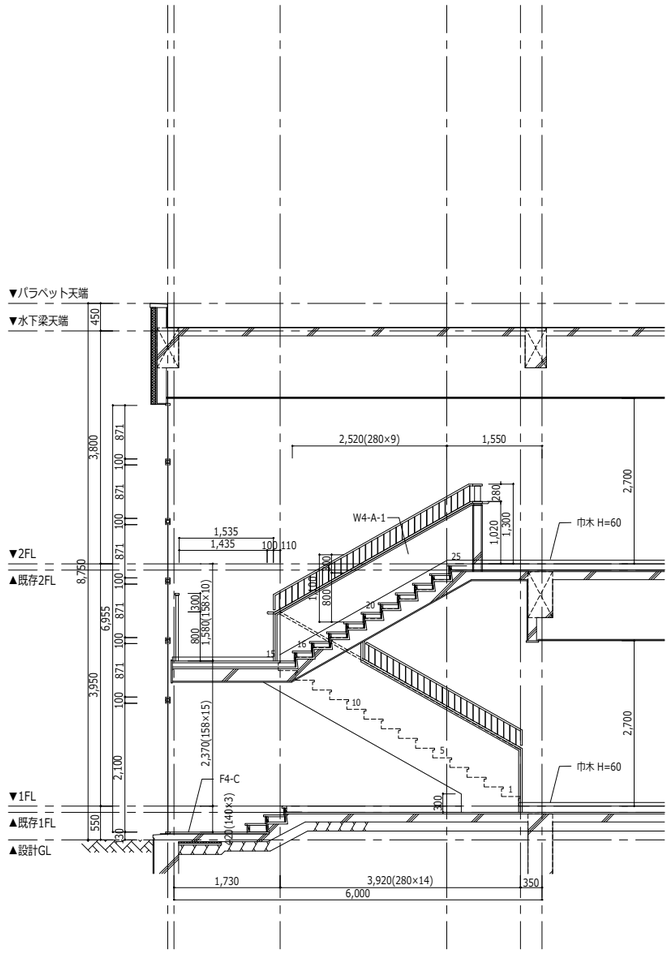
階段-5　段鼻詳細図 S:1/10



手すり詳細図S:1/20



階段-1~4



階段-5

階段（5）踊り場手摺詳細図 S:1/10

代表：株式会社エーシーエ設計
一級建築士事務所登録
（長野） M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号 海瀬務

検査者 湯本桂司

担当 平林

担当 石井

Job No. 24078

工事名
岡谷市川岸学園整備 第2期
（長寿命化大規模改修）
建築主体工事

発行日 2025.09.30

図面名称
【前期校舎棟】
階段詳細図

縮尺 A1:1/50,A3:1/100

A-038

入札用
25.09.30

Copyright (C)株式会社エーシーエ設計　著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁止する。